

2021.4 > 2021.9

研修サービスガイド

COURSE

日立製品 講座

JP1
uCosminexus Application Server
HiRDB OpenTP1
VOS3 XDM
日立ストレージ Pentaho

デジタルトランスフォーメーション 講座

DXマインド・プロセス・マネジメント
課題分析(何をなすべきかを着想する)
仮説構築(ビジネスモデルをデザインする)
プロトタイピングと価値検証(共通)
プロトタイピングと価値検証(データ環境構築)
プロトタイピングと価値検証(分析モデル構築)

RPA 講座

クラウド/サーバ仮想化 講座

ITサービスマネジメント 講座

システム基盤 講座

IT基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux Microsoft ネットワーク
ハードウェア セキュリティ データベース

IT戦略・IS企画 講座

システム開発 講座

要件定義/設計 プログラミング

情報処理技術者試験対策 講座

ITリテラシ 講座

プロジェクトマネジメント 講座

コンプライアンス 講座

ビジネス/ヒューマン 講座

グローバル 講座

OT(モノづくり・専門技術) 講座

Topics1 社会イノベーション事業を
加速するためのデジタルトランスフォーメーション研修体系
ーデジタル人材に必要なものとは?ー

Topics2 RPAユーザー、エンジニアに向けてさらなる支援の強化!
UiPath、WinActorコースのご案内

Topics3 アジャイル(スクラム) 開発研修コースのご案内

Topics4 ニューノーマル時代のプロジェクトマネジメント
ー価値変革への戦略的対応ー

Topics5 テレワーク中の学習に最適、一人ひとりの学びをご支援します!
ー<eラーニング>ITスキル基礎パッケージー

はじめに

平素は、株式会社 日立製作所および人財育成サービス会社である株式会社 日立アカデミーの各種研修サービスをご利用いただき、誠にありがとうございます。

日立グループはいま、さまざまな事業領域のお客さまとともに、次の社会に向けて新しい価値を創出する「デジタルイノベーション」に取り組んでいます。

当社は、お客さまやパートナーと協創し、デジタル技術を活用した社会イノベーション事業（デジタルソリューション事業）を実現すべく、人財の育成を強化するとともに各種研修体系を整備しております。これらの研修体系に基づき、本ガイドでご案内する研修サービス（以下、「日立講習会」といいます。）によりお客さまの人財育成をご支援いたします。

本ガイドは、2021年4月から2021年9月までの研修サービスをご紹介します。人財の可能性と価値を最大限に引き出すために、豊富なメニューをご用意しております。

お客さまの人財育成に本研修サービスをご活用いただければ幸いです。

2021年1月
株式会社 日立製作所
株式会社 日立アカデミー

研修サービスに関するお問い合わせ先：
株式会社 日立アカデミー

東京地区	TEL 03-5471-8962	FAX 03-5471-2564
大阪地区	TEL 06-4797-7360	FAX 06-4797-7361
名古屋地区	TEL 052-269-8940	FAX 052-261-8276
広島地区	TEL 082-546-6172	FAX 082-546-6173
福岡地区	TEL 092-844-7522	FAX 092-844-7580

日立講習会開催時間のお知らせ

※当社 Web サイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
正式には、ご受講前に送付いたします「日立講習会受講ご案内」（メール）をご確認ください。



本ガイドに記載している内容および金額は、2020年12月時点のものであり、将来変更する場合があります。

CONTENTS

Topics

- Topics 1 社会イノベーション事業を加速するためのデジタルトランスフォーメーション研修体系ーデジタル人財に必要なものとは？ー
- Topics 2 RPAユーザー、エンジニアに向けてさらなる支援の強化!UiPath、WinActorコースのご案内
- Topics 3 アジャイル(スクラム)開発研修コースのご案内
- Topics 4 ニューノーマル時代のプロジェクトマネジメントー価値変革への戦略的対応ー
- Topics 5 テレワーク中の学習に最適、一人ひとりの学びをご支援しますー<eラーニング>ITスキル基礎パッケージー

1	体系的にIT技術修得を進めるための日立講習会コース活用例	14
2	開催コース/スケジュール一覧	20
3	講座別コースフロー/コースカリキュラム	54
4	研修会場	248
5	お申込方法	250
6	受講規約	253

! ※本ガイドは2020年12月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※集合研修の開催時間については、当社Webサイトでご確認ください。

本ガイドで紹介する研修サービスは、お客さまのご要望に合わせてカスタマイズできるオーダー研修サービスもございます。研修の実施だけでなく、研修企画、開発実施、アフターフォローまでワンストップでご提供も可能です。詳しくはお問い合わせください。

最新のコース開催情報・お薦めコースのご案内

<https://www.hitachi-ac.co.jp/>

日立アカデミーのWebサイトでは、最新のコース開催情報・お薦めコースを掲載しております。また、コースのお申し込みはWebサイトから行うことができますので、ぜひご活用ください。



- コース最新情報
- お薦めコース
- 臨時開催コース
- 話題のコース
- 人気コースランキング
- 講座別コース紹介 (PDFファイル)
- スキル標準対応研修コースマップ
- iCD 対応研修コースマップ

社会イノベーション事業を加速するためのデジタルトランスフォーメーション研修体系 —デジタル人材に必要なものとは?—

今、あらゆる産業において、AI×データ、IoTの活用などにより、新たなビジネスやサービスが立ち上がり、事業構造の変革が起こっています。こうした変革は、デジタルトランスフォーメーション(DX)と呼ばれ、どの企業においても重点経営課題として議論されています。DXは過去に起きた技術トレンドとは異なり、ICTを活用した新たな社会であるSociety5.0を実現するための手段として注目されています。一般社団法人 日本経済団体連合会(以下 経団連)が発表した資料「Society5.0概要(※1)」には、「デジタル革新と多様な人々の想像・創造力の融合によって、社会の課題を解決し、価値を創造する社会」と定義されています。

(※1) 経団連「Society5.0概要」http://www.keidanren.or.jp/policy/2018/095_gaiyo.pdf



日立アカデミーが提供する研修の構造

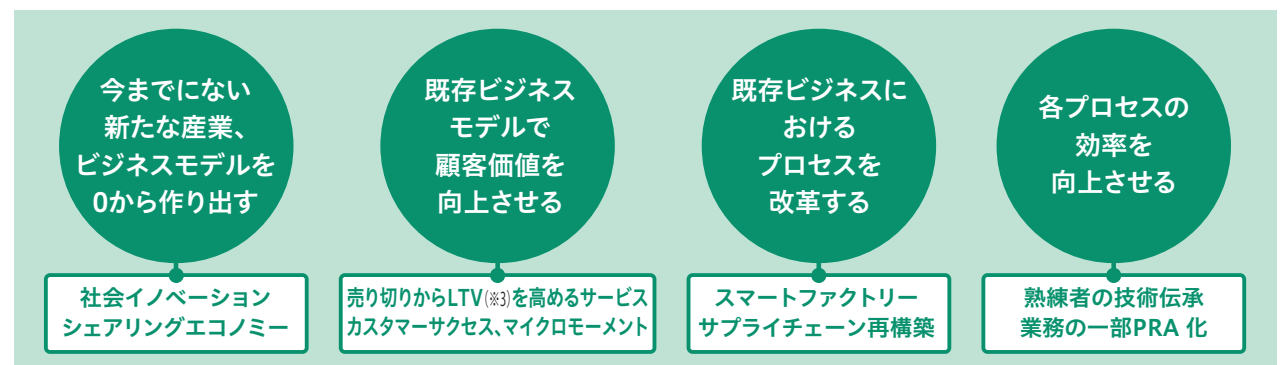
多くの企業においてDXは、実証実験段階から実行段階へ移行しつつあります。DXには、「現場視点でビジネスを考える」、「利用者にとってのデータによる価値を考える」、「価値を生み出すデータを集約する」の三つの視点が重要です。

DXを推進する現場やソリューションを提供する組織など、DXへの関わり方によって、重視するスキルが異なります。

当社では、日立グループ内の多くの有識者と連携し、各社がこれまで蓄えてきた知見と、連携を通じて得られた現場の取り組み、ノウハウを融合して、DX研修体系として継続的に整備し提供しています。

(※2) OT: Operational Technology

DXを推進する会社・組織が取り扱う課題はさまざま、時間・空間を含めた異なるレイヤーで分解・構成できます。また、デジタル時代に合った個人・組織に変容させることも同時に必要となります。



[DXを推進する会社・組織が取り扱う課題の例]

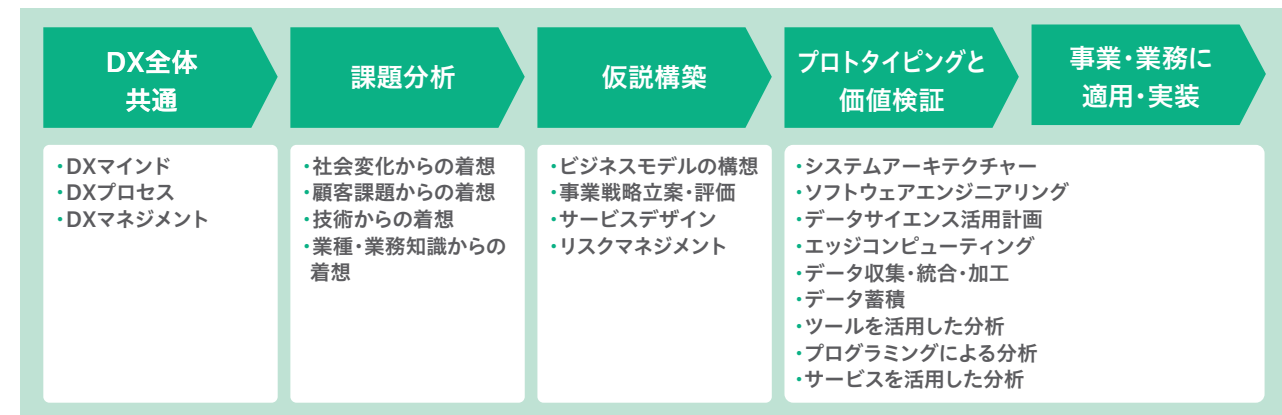
(※3) LTV: Life Time Value (顧客生涯価値)

いずれの課題に取り組む場合でも、取り扱う課題をデータで解いて、エコシステムを作りたいと想像することから始まります。その上で、業務、サービスなど、ビジネス(事業)としてどういう形になるか周囲の共感を得るような絵(ビッグピクチャ)を描き、データの利活用やデータ分析で解くビジネス課題として定義していきます。ある程度企画がまとまると、データの利活用やデータ分析に必要なデジタルデータを取得する、実際に分析、モデル化し、業務プロセスを変え、業務にモデルを組み込んでいくことで、DXは推進されます。



[DXの推進イメージ]

当社では、DXに必要なプロセス・タスクを整理・分類・体系化しています。また、こうしたDXの考え方やプロセスに沿って、必要な人材の育成・拡充をめざしています。



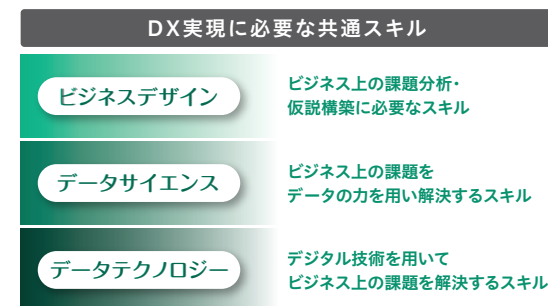
[DXのプロセスと各プロセスに必要な要素]

DX研修はLumada協創プロセス(※4)を軸に「課題分析」「仮説構築」「プロトタイプと価値検証」をスコープにし、さらに「ビジネスデザイン」、「データサイエンス」、「テクノロジー」の観点でも整理した階層構造となっています。また、全体共通として、DXに必要なマインドセット、プロセス理解、マネジメントの領域を整理しています。

[DX研修体系]

NO.	第二階層	第三階層	ビジネスデザイン	データサイエンス	テクノロジー
1	DX全体共通(プロセス・マインド)	DXマインド DXプロセス DXマネジメント	■	■	■
2	課題分析(何をなすべきかを着想する)	社会変化からの着想 顧客課題からの着想 技術からの着想 業種・業務知識からの着想	■	■	■
3	仮説構築(顧客と日立それぞれのビジネスモデルをデザインする)	ビジネスモデルの構想 事業戦略立案・評価 サービスデザイン リスクマネジメント	■	■	■
4	プロトタイプと価値検証(共通)	システムアーキテクチャ ソフトウェアエンジニアリング データサイエンス活用計画	■	■	■
5	プロトタイプと価値検証(データ環境構築)	エッジコンピューティング データ収集・統合・加工 データ蓄積	■	■	■
6	プロトタイプと価値検証(分析モデル構築)	ツールを活用した分析 プログラミングによる分析 サービスを活用した分析	■	■	■

■ 重要要素 ■ 参考要素



[DX実現に必要な共通スキル]

DX実現に必要なスキルは、解くべき課題を解ける状態にまで落とし込んで定義していくビジネスデザイン、データの力を解き放ち、課題解決に結びつけるデータサイエンス、課題解決のために必要な環境、機器などを設計・実装していくためのデジタルテクノロジーによって構成されています。この3要素はプロセスにおいて、必要の度合いは異なります。プロセス遂行上、コアとなる重要要素と参考となる要素に色分け、イメージしやすくしています。

(※4) Lumada協創プロセスについては右記のサイトをご参照ください。<http://www.hitachi.co.jp/products/it/lumada/about/index.html>

DX 講座 コース体系

1 DX全体共通 (プロセス・マインド・マネジメント)

第三階層	説明	キーワード
DXマインド	DXがもたらす新たなビジネスの可能性について理解し、デジタル化を推進するために持つべきマインドセットを強化	デジタル・ディスラプション 最新動向、事例、概要理解 DXプロセス体験 (DXとは、事例、実際に触れる)
DXプロセス	DXによる変革プロセス、日立の協創プロセス、それら関連するプロセスの全体把握	NEXPERIENCE、Lumada協創プロセスの理解 DXプロセス実践 (アクションラーニング、ハッカソン、アイデアソンなど)
DXマネジメント	DX時代に必要なデータドリブンのマネジメント (データの資産価値管理、データによる意思決定を行う文化の醸成と組織作り、データに伴うリスク・セキュリティ管理)	DDDM (データドリブンデザインメイキング)、体制、チームのマインドセットなど セキュリティマネジメント データマネジメント

2 課題分析 (何をなすべきかを着想する)

第三階層	説明	キーワード
社会変化からの着想	社会変化から着想する考え方・技法 (社会のさざしから将来の人間の価値観・生活像を思い描き、あるべき姿を描ける)	NEXPERIENCE、デザインアプローチ、SDGs、シナリオプランニング、バックキャスト、PESTLE分析、ESG、Society 5.0など
顧客課題からの着想	顧客の観察、ヒアリングから真の課題を探る考え方・技法 (顧客が口にしたこと、顧客を見たことから本質的な課題を掘り下げ、整理し、顧客にも納得させられる)	デザイン思考 観察・共感・洞察の方法論 (エスノグラフィ、コンテキストインタビューなど) 顧客理解徹底 (バリューグラフ、WCA、ペルソナ、カスタマージャーニーマップ)
技術からの着想	技術から着想するための最新技術知識 (常識にとらわれないこと、新技術や新ビジネスに常にアンテナを立て、それらを発想の材料にして独自の解決案を着想する)	OTエンジニア向けのIT研修など、技術の実装力までは必要無いが、その概要を知りたい方 データサイエンスの概要 (AI動向など) モノに関する技術の概要 (新素材、量子コンピュータなど) ITに関する技術の概要 (ブロックチェーンなど) 最新テーマの概要 (RPA・ロボティクスなど)
業種・業務知識からの着想	自分たちの持つOT、IT技術を組み合わせる着想のために、顧客の業界におけるバリューチェーン、ビジネスプロセス、業務オペレーションを他業種との連関も含めて徹底理解する	ITエンジニア向けのOT研修 ビジネスの業務・業種知識

3 仮説構築 (顧客と日立それぞれのビジネスモデルをデザインする)

第三階層	説明	キーワード
ビジネスモデルの構築	データを活用した[XaaS]を実現するために、ビジネスモデルを構築する際に活用できる、思考法、可視化するフレームワーク	ビジネスモデルキャンバス、ビジネスオリガミ、WCA、CVCAなど
事業戦略立案・評価	デジタル戦略を立案するための、ビジネスフレームワークなど	KPIツリー、戦略マップ、事業戦略の作り方など、マネタイズ
サービスデザイン	立案したデジタル戦略を実現するためのサービス提供形態設計	サービス構想 (提供機能、プライシング、契約形態、SLAなど)
リスクマネジメント	データ活用ビジネスにおけるリスク (知財、契約、プライバシーなど)を理解し、リスクを事前に最小化する	知財、契約、プライバシーなど

4 プロトタイプと価値検証 (共通)

第三階層	説明	キーワード
システムアーキテクチャ	顧客課題と技術上の制約の両方を理解し、ビジネス価値検証も含めて、SoEを実現するためのビジネス/OT/ITアーキテクチャ設計	一気通貫コース、全体概要コース システム構成設計 テクニカル系のセキュリティ
ソフトウェアエンジニアリング	ビジネス/OT/ITアーキテクチャに基づき、SoEを実現するためのシステム開発手順と実装技術	IoT HIPACE、アジャイル、DevOps、スクラム等
データサイエンス活用計画	データサイエンティストのためのビジネス力 (課題の構造的整理、データ分析のプロセス、仮説検証のサイクル)、サイエンス力 (統計・検定・多変量解析・機械学習の基礎理論、データ分析計画の立て方)	ビジネス力 (課題の構造的整理、データ分析プロセス、仮説検証サイクル) サイエンス力 (統計・検定・多変量解析・機械学習の基礎知識、データ分析計画の立て方) エンジニアリング力 (ツール操作、プログラミングの修得)は含まない)

5 プロトタイプと価値検証 (データ環境構築)

第三階層	説明	キーワード
エッジコンピューティング	データ発生現場やユーザーの近くに設置したエッジ機器を制御する技術、エッジ機器で学習済みのモデルを実際に動かす技術	IoT、Jetson
データ収集・統合・加工	IoT機器や基幹DB、オープンデータなどからデータを収集し、クレンジング、統合、加工する技術	センサ、HAF/EDC ETL、Pentaho (DI)
データ蓄積	多種多様な非構造データを蓄積・管理するためのデータレイク、主にOLTPで発生した構造化データを蓄積・管理するためのデータウェアハウスに関する技術	NoSQL、Hadoop (HDFS)、DWH、OSS、クラウド (環境側)

6 プロトタイプと価値検証 (分析モデル構築)

第三階層	説明	キーワード
ツールを活用した分析	各種アナリティクスツールを有効活用し、データ活用を効率的に進める操作力	BIツール (Pentaho (BA)、Tableau、PowerBI、QlikSense、Spotfire)、アナリティクスツール (KNIME、R、SPSS、Orange)、テキストマイニングツール、Excel
プログラミングによる分析	分析モデル構築のためのプログラミング技術	言語 (Python、C++、SQL)、実装技術
サービスを活用した分析	クラウドなどにより提供されているツールを活用し、分析するスキル	DLのフレームワーク活用 (TensorFlow、Pytorchなど)、サービス活用 (PaaS、SaaS、GCPなど)

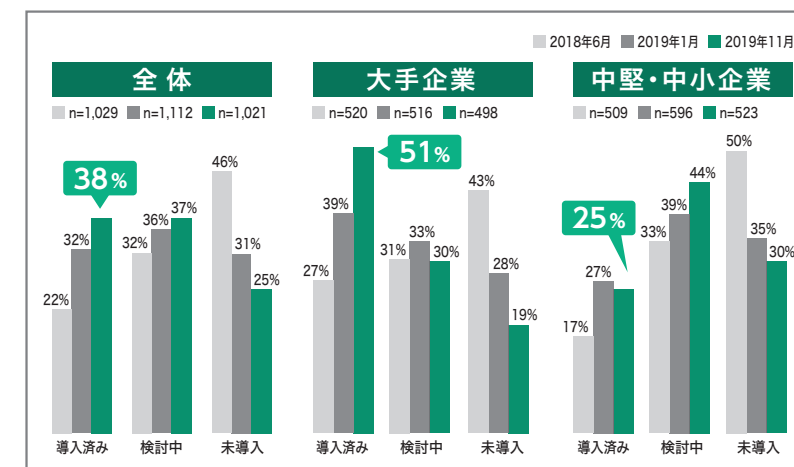
RPAユーザー、エンジニアに向けてさらなる支援の強化! UiPath、WinActorコースのご案内

RPA

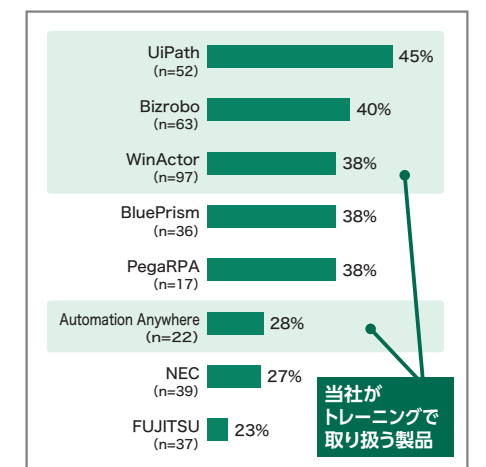
Topics 2

「RPA国内利用動向調査2020 (※1)」において、RPA (ロボティック・プロセス・オートメーション) 導入率および浸透率について、次の発表がありました。

RPA導入率推移



大手企業におけるRPAブランド別の浸透率



※出典 株式会社MM総研様「RPA国内利用動向調査2020」 <https://www.m2ri.jp/release/detail.html?id=391>

既に、2020年初頭では、大手企業が51%、中堅・中小企業においても25%が導入済みとなっております。大手企業における浸透率をみるとUiPath、BizRobo!、WinActorが高く、今後の製品シェアにも大きく影響すると考えられます。また、ニューノーマル (新常态) では、多くの企業でデジタル化 (テレワークの導入、リモート/ネットワーク環境の強化、業務のオンライン化など) が加速し、より抜本的な働き方改革が求められる中、RPAが再注目されています。

当社では、「大手企業におけるRPAブランド別の浸透率」における主要ブランドのトレーニングを提供しており、RPAを利用するユーザーからロボット開発を行うエンジニアまで強力にサポートします。

また、2021年4月より新たに「UiPath StudioX」、「WinActor」の対応コースの提供をスタートします。今後も製品動向、ニーズに合わせて研修を拡充することで、RPAの人財育成に貢献してまいります。

新コースのご紹介

UiPath トレーニング UiPathのロボット開発は、直観的な操作で容易にワークフローを開発・メンテナンスができるため、ユーザーフレンドリーな開発作業が可能です。UiPathトレーニングに新たにUiPath StudioXが加わり、より簡単にロボット開発が可能となりました。

こんな方におすすめ! コード無しのドラッグアンドドロップ方式で簡単に操作できる「UiPath StudioX」で、ロボット開発手法を学習したい方。

コースコード	コース名	日数	コース概要
RPV010	New UiPath公式 UiPath StudioX 開発トレーニング	1日	UiPath StudioXによる業務プロセス自動化について、マシン実習を通して修得します。

(※1) 株式会社MM総研様 プレスリリース 2020年1月27日より引用

WinActor
トレーニング

WinActorは、国産RPAとして国内で高いシェアをもつ製品です。PC操作を録画(レコーディング)し、自動でシナリオを生成、編集するシナリオ型開発が特徴です。プログラムやスクリプトなどの知識がなくても容易にロボット開発が行えます。

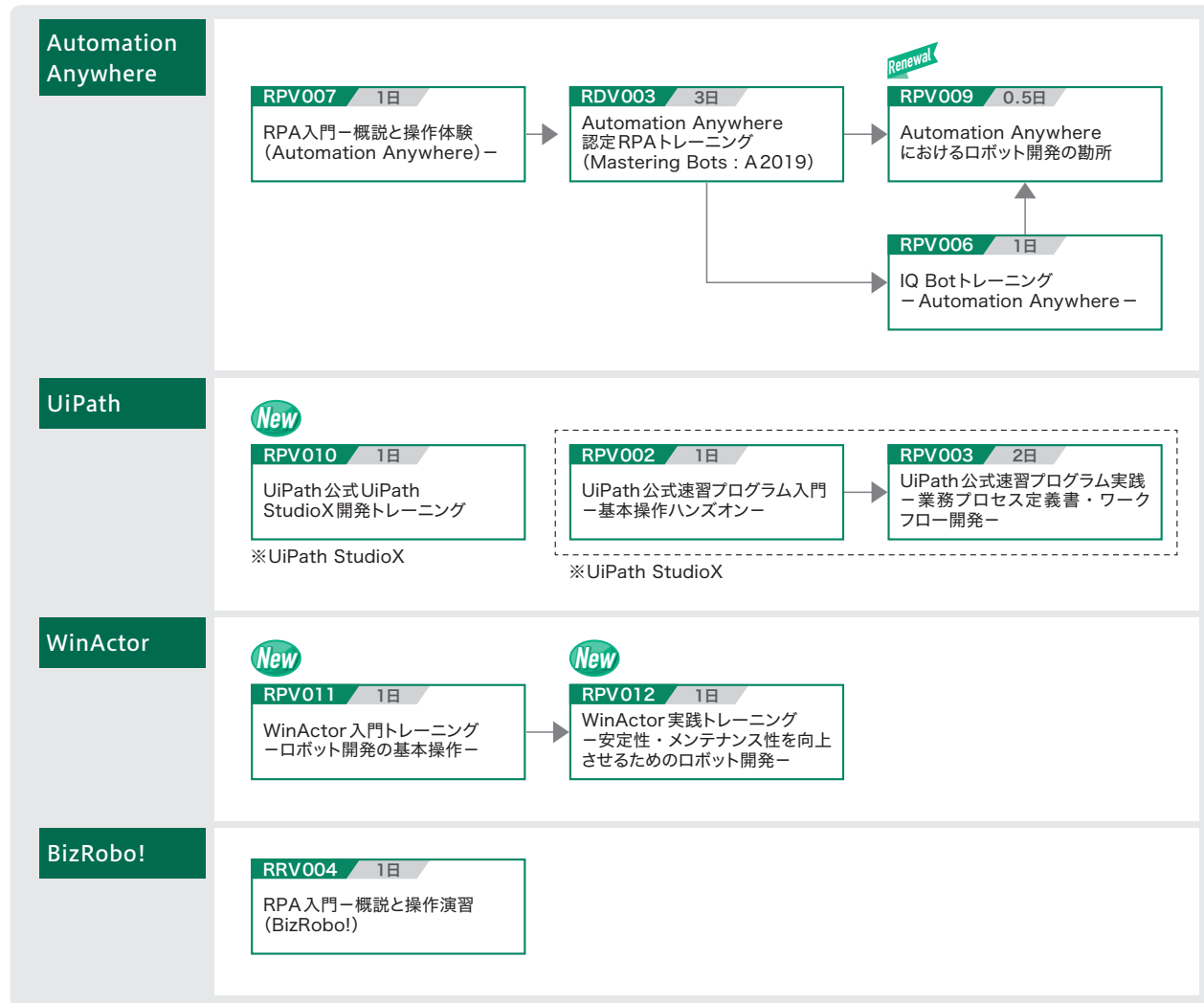
こんな方におすすめ!

PC操作をレコーディング(記録)するシナリオ型の「WinActor」の基本的なロボット開発手法を学習したい方。また、安定性やメンテナンス性に優れたロボット開発(シナリオ作成)手法を修得したい方。

コースコード	コース名	日数	コース概要
RPV011	New WinActor入門トレーニング -ロボット開発の基本操作-	1日	RRAツール「WinActor」の業務を自動化するためのロボット開発(シナリオ作成)について、マシン実習を通して学習します。
RPV012	New WinActor実践トレーニング -安定性・メンテナンス性を向上させるためのロボット開発-	1日	RRAツール「WinActor」の安定性・メンテナンス性を向上させるためのロボット開発(シナリオ作成)について、マシン実習を通して学習します。

RPA 講座 コース体系

各RPAの基本から応用に至る最適なコースをご用意しています。RPAの基本から学習し、ロボット開発・実行方法を修得したい方、実務に直結するロボット開発のノウハウを修得したい方におすすめです。



RPA 講座 提供中コース

Automation Anywhere

全コースが2019年にリリースされたAutomation Anywhere Enterprise A2019に対応しました。Webブラウザを使用してロボットの開発・実行・管理が行うことができ、ロボット実行PCにクライアント製品をインストールする必要がないため、従来の製品であるAutomation Anywhere Enterprise V11と比較し導入がしやすくなっています。

コースコード	コース名	日数	コース概要
RPV007	RPA入門 -概説と操作体験(Automation Anywhere)-	1日	RPAの基礎について学習し、RPA製品(Automation Anywhere Enterprise)によるロボット作成を体験します。
RDV003	Automation Anywhere認定RPAトレーニング (Mastering Bots: A2019)	3日	Automation Anywhere Enterprise A2019を実際に使用することで、単純なものからやや複雑な業務を自動化するためのロボット開発方法について、マシン実習を通して修得します。
RPV006	IQ Botトレーニング -Automation Anywhere-	1日	Automation Anywhere EnterpriseおよびIQ Botを実際に使用することで、非構造データを構造化データに変換しボットにて登録する一連のプロセスについて、マシン実習を通して修得します。
RPV009	Renewal Automation Anywhereにおける ロボット開発の動所	0.5日	ロボットの安定稼働と品質をテーマに、ロボットの開発・管理・運用という観点でマニュアルでは紹介されないノウハウ(ロボット開発のコツ、安定稼働のための構成)を学習します。

UiPath

PC上のさまざまなアプリ(Office、デスクトップアプリ、Webブラウザなど)を自動化できます。ロボット開発時は、直観的な操作で容易にワークフローを開発・メンテナンスができるため、ユーザーフレンドリーな開発作業が可能です。

コースコード	コース名	日数	コース概要
RPV002	UiPath公式速習プログラム入門 -基本操作ハンズオン-	1日	UiPath Studioの基本操作を学習し、UiPathの特徴であるセレクター、処理の制御方法を理解しUiPathと業務のRPA化につなげます。
RPV003	UiPath公式速習プログラム実践 -業務プロセス定義書・ワークフロー開発-	2日	RPA開発までのフェーズごとに必要なこと、業務改善手法の基礎、業務可視化のための業務フロー図の作成を学習します。また、RPA開発においてコミュニケーションの要となる「業務プロセス定義書」の作成、活用方法を学習します。次に、メンテナンス性が高く、効率的なワークフロー開発、Configファイルの概念を学習します。

BizRobo!

ソフトウェアロボット(Digital Labor)の導入・運用を支援するデジタルレイバープラットフォームであり、スモールスタート(BizRobo! Mini)、クラウド型(BizRobo! DX Cloud)、大規模(BizRobo! Basic)など自動化の規模にあわせて選べます。また、ユーザーフレンドリーな開発作業が可能です。

コースコード	コース名	日数	コース概要
RPV004	RPA入門-概説と操作演習(BizRobo!)	1日	RPA(BizRobo!)の基礎について学習し、RPAツール(BizRobo!)によるロボット作成の演習を行います。

アジャイル(スクラム)開発 研修コースのご案内

現在、ソフトウェア開発の手法として、アジャイル開発が脚光を浴び、中でもスクラム開発が代表的な手法として広く知られています。当社では、アジャイル開発を支える各種ツールの活用方法や、アジャイル開発の基礎知識修得、さらにアジャイル開発プロジェクト運用に関する研修など、多数のコースをご提供しています。

こんな方に **おススメ!**

1 アジャイル開発を支えるツール群について知りたい方

アジャイル開発においては、ソフトウェアの変更要望に対して即座に対応ができるような開発環境を整えることが重要です。このような開発環境を構築していくためには、構成管理ツールなどの各種ツールを活用していくことが欠かせません。当社では、アジャイル開発を支えるさまざまなツールをご紹介します研修をご用意しています。

コースコード	コース名	日数	コース概要
UXV070	gitによるソフトウェア構成管理	1日	構成管理の必要性、集中型/分散型それぞれの特徴を、マシン演習を通して学習します。個人演習だけでなくペア演習も行い、複数人の開発で起こり得る問題点とその解決策も学習します。
SPV060	体験!最新OSSを活用したDevOps入門 — Lumadaにおけるアプリケーション開発の流れ—	1日	OSS (Redmine, Rocket.Chat, Git, Jenkins, Docker, Hubot) を活用したDevOps環境において、頻りに設計、開発、テストを行うアプリケーション開発手法を体験しながら学びます。
SPV059	(PDU)実践! DevOpsによるアジャイル開発 — お客様に素早く価値を届けるために—	1日	Redmineを用いてバックログを管理し、GitHubを使ってTDD(テスト駆動開発)などのアジャイル開発手法を実践的に学びます。実際の開発のシナリオに合わせて実習を行います。

2 アジャイル開発の基礎や運用上のポイントについて知りたい方

アジャイル開発を円滑に進めるためには、基礎知識やプロジェクトの進め方はもちろん、運用上のポイントも修得する必要があります。当社では、基礎や進め方について学習する研修、スクラムにおいて重要な役割であるプロダクトオーナーの振る舞いについて修得する研修など、アジャイル開発に必要なスキルを修得する研修をご用意しています。

コースコード	コース名	日数	コース概要
SPJ064	スクラムの基礎と実践	1日	アジャイル開発手法の中でも主流のスクラムを取り上げます。基礎知識の解説に加え、実際のプロジェクトの進め方や要素技術など、アジャイル開発/スクラムの基礎と実践について学習します。また演習やワークショップによってアジャイル開発のメリットを体験します。
SPV070	アジャイル開発(スクラム)における プロダクトオーナー体験ワークショップ	1日	ワークショップを通じてアジャイル開発(スクラム)におけるプロダクトオーナーの責務、作業内容、振る舞いについて体験します。

ニューノーマル時代の プロジェクトマネジメント —価値変革への戦略的対応—

テレワークは、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方です。テレワークにより、ワークライフバランスの実現、地域の活性化への寄与が期待されており、政府が経済界に強く要請している働き方改革でもあります。

企業や組織においてテレワークが浸透していくに伴い、対面コミュニケーションでないと伝わらないと言われてきた種々の活動(顧客ヒアリングや提案、条件交渉、プロジェクト定例報告会など)が、非対面主体へと変化しています。

この変化に対応するためには、非対面でもステークホルダの期待を汲み取る信頼関係構築力や、プロジェクト情報を早く正確に取得する状況判断・理解力、さらに、プロジェクトメンバーの信頼を得るリーダーシップや、プロジェクトや組織を巻き込むファシリテーション力などが、これまで以上に重要なスキルとして、強く求められることになります。

研修のご紹介

当社では、バーチャルとリアルをハイブリッドにご用意し、より戦略的かつ効果的に学べるコースをご提供します。

【プロジェクト・マネージャーにお薦めする研修】

コースコード	コース名	日数	コース概要
CTV070	Renewal (PDU)1日でわかる 今、必要な戦略的IT投資のポイント —変革の時代に生き残るために—	1日	関与者とコミュニケーションを取りながらビジネス変革の成功シナリオを共有し、戦略的IT投資でそれを実現する手法を学びます。
PMV073	(PDU)プロジェクトの敵を味方にするステークホルダーマネジメント	1日	プロジェクトの複雑度やスピード感が高まる中、顧客や上級マネジメント、関連部署などプロジェクトに影響を与えるステークホルダーの協力的な関与を引き出すことが、プロジェクトの成功に直結します。このコースでは、ステークホルダーマネジメントと体系的に学び、具体的なツールを修得します。
PMJ079	(PDU)プロジェクト・マネージャーのためのメンバーの力を引き出すモチベーション・マネジメント —行動特性分析に基づく—	2日	メンタリングとは何かについて、メンタリングに関する知識を修得し、メンティの育成を支援できるようなメンターとしてのスキルをフレームワークを通して学習します。このコースは、統合共育研究所発行の「メンタースガイド」をフレームワークとして利用します。
SPV045	(PDU)[リーダー向け]アジャイル開発における自律型チーム運営	1日	アジャイル開発を担当するリーダーとして、その力量がもっとも発揮されるべき局面がチーム運営です。このコースでは、自律的なチームとは何か、どうすれば自律的なチームになるのかを、開発現場の状況を想定した講師とのディスカッション演習や質疑応答を通して考察します。

【リーダーにお薦めする研修】

コースコード	コース名	日数	コース概要
HSV216	Renewal (PDU)ストラクチャード・コミュニケーション —会議を空中戦にせず、図で共有する・伝える・理解する・考える—	1日	このコースでは、限られた時間の中で、できるだけ有効な情報を引き出し、整理し、考えを伝えることが求められる方が、相手とのコミュニケーションにおいて、情報を構造化し図で表現するために必要な知識を学びます。基本となる図解パターンを元に、考えを伝える演習や、聞く演習、また考えをまとめる演習を通じて、相手の課題を解決するための図解スキルを修得します。
HSV222	Renewal (PDU)リーダーのためのマインドフルネス —成果発揮へのセルフリーダーシップとマインドフル—	1日	忙しい現代ビジネスパーソンが集中力を高め記憶力や思考力を増進し、些事に悩まない強靱なリーダーシップが発揮できるようになるための手がかりです。GoogleやIntelのみならず世界のトップ企業において実践され始めている、マインドフルネスについて学習します。基本的な方法論を学び、実践できるようにします。
HSV220	Renewal (PDU)会議/プロジェクトを円滑に進めるためのファシリテーション・スキル向上	2日	効率的、効果的な会議/プロジェクトを運営するために有効である、ミーティング・コミュニケーションと対応法を学習します。さらに、生産的会議に必要なファシリテーション・スキルを理解し、適切なコミュニケーション技術を修得できます。
HSV217	Renewal (PDU)部下のパフォーマンスを高める1on1ミーティングとフィードバック	1日	メンバが話したいことを話すミーティングとは何か、またメンバの自主性が上がっていく会話とは何か、をロールプレイングを通して体系的に学習します。

eラーニング パッケージ

Topics 5

テレワーク中の学習に最適、 一人ひとりの学びをご支援します！ —<eラーニング>ITスキル基礎パッケージ—

eラーニングはテレワークにおいても自律した学習に最適です。新入社員や新たにIT部門へ配属された社員が、IT業界で働くための基礎知識を修得できるようご用意したのが、ITスキル基礎パッケージです。受講実績が豊富で、厳選したコースラインアップをパッケージにしました。学習のペースは自分でコントロールし、着実に修得するまで何度も繰り返し学習できます。

こんな方におススメ！

- 採用時に、人材育成を自社の強みとしてPRしたい
- 自社の独自研修や行事に合わせ、受講日程を自由に決めたい
- 実績のあるIT基礎研修カリキュラムを受講させたい
- なるべくコストを抑えて、効率よく学習させたい
- 申し込みや受講管理には手間をかけたくない

ここがポイント！

- 年間のべ4万人の受講実績があるコース群
- 自社で決めた日程で自由に受講可能
- 自律人材の育成に役立つ学習計画表や学習サポートメール
- 申込は一括でオトク(最大58%OFF)

パッケージ概要

「ITスキル基礎パッケージ」シリーズは、日立講習会の中から、基本的なITスキルが修得できるコースを厳選し、体系的に学習し効果的なスキルアップを図れるようにまとめた、eラーニングのパッケージ商品です。ご希望により、2つのパッケージからお選びいただけます。

学習計画表

EXCELで提供される学習計画表に、推奨受講フローを参考にして学習計画を立てます。漫然と受講するのではなく、自分で学習の計画を立て、進捗を確認し、対策を立てることで、PDCAを回します。

学習計画表(2020年4月~9月)

日付	曜日	【学習】	【研修】	【研修】	【研修】	【研修】
4/1	水	ITスキル基礎-ビジネススキル基礎	ITスキル基礎-ハードウェア編	ITスキル基礎-ソフトウェア編	ITスキル基礎-情報の基礎理論編	ITスキル基礎-情報システム編
4/2	木	ITスキル基礎-ビジネススキル基礎	ITスキル基礎-ハードウェア編	ITスキル基礎-ソフトウェア編	ITスキル基礎-情報の基礎理論編	ITスキル基礎-情報システム編
4/3	金	ITスキル基礎-ビジネススキル基礎	ITスキル基礎-ハードウェア編	ITスキル基礎-ソフトウェア編	ITスキル基礎-情報の基礎理論編	ITスキル基礎-情報システム編
4/4	土					
4/5	日					
4/6	月	ITスキル基礎-ビジネススキル基礎	ITスキル基礎-ハードウェア編	ITスキル基礎-ソフトウェア編	ITスキル基礎-情報の基礎理論編	ITスキル基礎-情報システム編
4/7	火	ITスキル基礎-ビジネススキル基礎	ITスキル基礎-ハードウェア編	ITスキル基礎-ソフトウェア編	ITスキル基礎-情報の基礎理論編	ITスキル基礎-情報システム編
4/8	水	ITスキル基礎-ビジネススキル基礎	ITスキル基礎-ハードウェア編	ITスキル基礎-ソフトウェア編	ITスキル基礎-情報の基礎理論編	ITスキル基礎-情報システム編
4/9	木	ITスキル基礎-ビジネススキル基礎	ITスキル基礎-ハードウェア編	ITスキル基礎-ソフトウェア編	ITスキル基礎-情報の基礎理論編	ITスキル基礎-情報システム編
4/10	金	ITスキル基礎-ビジネススキル基礎	ITスキル基礎-ハードウェア編	ITスキル基礎-ソフトウェア編	ITスキル基礎-情報の基礎理論編	ITスキル基礎-情報システム編
4/11	土					
4/12	日					
4/13	月	ITスキル基礎-ビジネススキル基礎	ITスキル基礎-ハードウェア編	ITスキル基礎-ソフトウェア編	ITスキル基礎-情報の基礎理論編	ITスキル基礎-情報システム編
4/14	火	ITスキル基礎-ビジネススキル基礎	ITスキル基礎-ハードウェア編	ITスキル基礎-ソフトウェア編	ITスキル基礎-情報の基礎理論編	ITスキル基礎-情報システム編
4/15	水	ITスキル基礎-ビジネススキル基礎	ITスキル基礎-ハードウェア編	ITスキル基礎-ソフトウェア編	ITスキル基礎-情報の基礎理論編	ITスキル基礎-情報システム編
4/16	木	ITスキル基礎-ビジネススキル基礎	ITスキル基礎-ハードウェア編	ITスキル基礎-ソフトウェア編	ITスキル基礎-情報の基礎理論編	ITスキル基礎-情報システム編
4/17	金	ITスキル基礎-ビジネススキル基礎	ITスキル基礎-ハードウェア編	ITスキル基礎-ソフトウェア編	ITスキル基礎-情報の基礎理論編	ITスキル基礎-情報システム編
4/18	土					
4/19	日					
4/20	月	ITスキル基礎-ビジネススキル基礎	ITスキル基礎-ハードウェア編	ITスキル基礎-ソフトウェア編	ITスキル基礎-情報の基礎理論編	ITスキル基礎-情報システム編
4/21	火	ITスキル基礎-ビジネススキル基礎	ITスキル基礎-ハードウェア編	ITスキル基礎-ソフトウェア編	ITスキル基礎-情報の基礎理論編	ITスキル基礎-情報システム編

学習サポートメール

学習アドバイザーから知識定着をうながすアドバイスメールが届きます。受講コースに関連したおまけコンテンツの視聴URL付きで、飽きさせません。

学習サポートメール文例

こんにちは。学習アドバイザーの水木です。今回は、理解度を確認する別の方法として、実際に手を動かす方法をご紹介します。「アルゴリズム」で学習した内容を、手を動かして確認するにはどんな方法があるでしょうか。例えば、フローチャートをトレースし、変数に値が入ったり、画面に出力される様子を紙に描いてみましょう。ご自身の日々の作業をフローチャートに描いてみましょう。とはいえ、初めのうちはどうやってトレースすればよいか、イメージしにくいかもしれません。トレースのコツを動画にしました。

(アルゴリズムの基本)どのようにトレースすると効果的か?
http://www.....

ライト パッケージ

ITスキル基礎(ライトパッケージ)

コースコード: SJE709 受講料: ¥116,600(税込)

学習開始日 4/12,5/10,6/14 学習終了日 9/30

新社会人としてIT業界で働くための基礎知識が修得できるよう、複数のeラーニングコースを1つのパッケージとしてまとめました。もっとも基本的な9コースのパッケージです。

各コースの受講料合計の
40%OFF

コースコード(単科)	コース名	標準学習時間
HSE049	<eラーニング>ビジネススキル基礎	8時間
SJE701	<eラーニング>【ナビ機能付き】コンピュータ基礎-ハードウェア編-	8時間
SJE702	<eラーニング>【ナビ機能付き】コンピュータ基礎-ソフトウェア編-	8時間
SJE703	<eラーニング>【ナビ機能付き】コンピュータ基礎-情報の基礎理論編-	4時間
SJE704	<eラーニング>【ナビ機能付き】コンピュータ基礎-情報システム編-	4時間
CBE006	<eラーニング>アルゴリズムの基礎-フローチャート編-	16時間
NWE706	<eラーニング>【ナビ機能付き】ネットワーク基礎 I-イーサネットの仕組み-	12時間
NWE707	<eラーニング>【ナビ機能付き】ネットワーク基礎 II-TCP/IPの仕組み-	12時間
DBE711	<eラーニング>【ナビ機能付き】データベース基礎	8時間

フル パッケージ

ITスキル基礎(フルパッケージ)

コースコード: SJE710 受講料: ¥275,000(税込)

学習開始日 4/12,5/10,6/14 学習終了日 9/30

最も基本的な9コースに加え、セキュリティ、プログラミング言語、システム開発やプログラムのテスト技法まで含めた、全25コースのフルパッケージです。

各コースの受講料合計の
58%OFF

コースコード(単科)	コース名	標準学習時間
HSE049	<eラーニング>ビジネススキル基礎	8時間
HSE126	<eラーニング>ロジカルシンキング基礎-論理の可視化と論理チェックのポイント-	8時間
HSE709	<eラーニング>【ナビ機能付き】WHYで学ぶアカウンティング(基礎知識編)	8時間
SJE701	<eラーニング>【ナビ機能付き】コンピュータ基礎-ハードウェア編-	8時間
SJE702	<eラーニング>【ナビ機能付き】コンピュータ基礎-ソフトウェア編-	8時間
SJE703	<eラーニング>【ナビ機能付き】コンピュータ基礎-情報の基礎理論編-	4時間
SJE704	<eラーニング>【ナビ機能付き】コンピュータ基礎-情報システム編-	4時間
NWE706	<eラーニング>【ナビ機能付き】ネットワーク基礎 I-イーサネットの仕組み-	12時間
NWE707	<eラーニング>【ナビ機能付き】ネットワーク基礎 II-TCP/IPの仕組み-	12時間
SCE708	<eラーニング>【ナビ機能付き】情報セキュリティリテラシー-セキュリティの必要性と対策-	4時間
SCE703	<eラーニング>【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎-要素技術(暗号、認証)編-	6時間
DBE711	<eラーニング>【ナビ機能付き】データベース基礎	8時間
DBE703	<eラーニング>【ナビ機能付き】SQL入門	8時間
CBE006	<eラーニング>アルゴリズムの基礎-フローチャート編-	16時間
SJE707	<eラーニング>【ナビ機能付き】システム開発の基礎	4時間
ITE701	<eラーニング>【ナビ機能付き】運用管理概説	6時間
OJE701	<eラーニング>【ナビ機能付き】オブジェクト指向概説	6時間
OJE702	<eラーニング>【ナビ機能付き】Javaプログラミング1(基本文法編)	24時間
OJE703	<eラーニング>【ナビ機能付き】Javaプログラミング2-基本クラス編-	16時間
CCE701	<eラーニング>【ナビ機能付き】C言語プログラミング1(前編)-制御文と関数を学ぶ-	8時間
CCE702	<eラーニング>【ナビ機能付き】C言語プログラミング1(後編)-データ構造とポインタを学ぶ-	16時間
CCE005	<eラーニング>C言語プログラミング2-ポインタ実践編-	24時間
CBE004	<eラーニング>COBOLプログラミング基礎編(フローチャート)	16時間
CBE005	<eラーニング>COBOLプログラミング応用編(フローチャート)	16時間
SPE701	<eラーニング>【ナビ機能付き】プログラムのテスト技法	7時間

1 体系的にIT技術修得を進めるための日立講習会コース活用例

日立講習会では、企業や組織で必要となるITの修得に適したコースを各種ご用意しています。階層別研修とともに、IT研修の企画立案の際に日立講習会のコースをぜひご活用ください。

IT修得に必要な一連のコースをご用意しています!!

●情報システム部門の方向け推奨IT研修体系

企業における情報システムの役割は、合理化・効率化を進めるツールから、他社との差別化・競争力強化を図るツールへと変遷しました。ITは、経営戦略や事業戦略を成功に導く重要な要素になりました。

これらの背景から、情報システム部門は、システムの実装技術だけでなく、戦略に結び付くITサービスを企画立案/開発し、継続して提供し続けるスキルが求められます。

日立講習会では、システム化戦略策定から運用管理や実装技術まで一連のIT修得に対応したコースをご用意しています。下記は、日立講習会を活用した情報システム部門の研修体系の一例です。

日立講習会を活用したIT修得コースマップの例

項目	初級	中級	上級	
IS戦略 IS戦略評価	<p>HSV175 / 0.5日間 データ利活用のパターンとビジネス着想</p> <p>HSJ181 / 1日間 (PDU)ソリューション提案のための経営と情報戦略 -経営・事業・情報戦略のあるべき関係性-</p>	<p>CTV070 / 1日間 1日でわかる今、必要な戦略的IT投資のポイント-変革の時代に生き残るために-</p>	<p>HSV213 / 1日間 デジタル時代における成果型サービスのデザイン-ジョブ理論とデジタルダイヤモンドフレームワークの活用-</p> <p>CTD013 / 2日間 (PDU)エンタープライズ・ビジネスアナリシス</p>	
IS企画 IS企画評価		<p>CTV071 / 1日間 IT主導で攻めのビジネスを実現するためのビジネス要件とIT化企画の作り方</p>	<p>CTV074 / 1日間 IT活用による業務改善を実現するための業務要件定義と業務プロセス設計のコツ</p> <p>CTV068 / 2日間 (PDU) BABOK®で学ぶビジネスアナリシスの基礎</p> <p>SPJ036 / 2日間 システム化要求を実現するための業務設計</p> <p>CTV005 / 2日間 (PDU)トラブルを防止する調達要件の分析-RFPの作成と提案書の評価を中心に-</p>	
IS導入	システム開発	<p>SJE707 / 4時間 eL【ナビ機能付き】システム開発の基礎</p> <p>SPV058 / 2日間 演習で学ぶ!情報システムの役割と開発の進め方</p>	<p>SPV071 / 2日間 システムのニーズ分析</p>	<p>CTJ046 / 1日間 情報システム導入を成功させる要件定義とベンダー折衝の実践ポイント</p> <p>CTJ026 / 1日間 情報システムのコーサテストと移行・切替・本番稼働の準備実務</p> <p>CTV065 / 2日間 エンタープライズITアーキテクチャのセオリー</p>
	要件定義	<p>SPJ024 / 2日間 システムの要件定義技法</p> <p>CTV072 / 1日間 現場主導で現状業務の見える化を推進するための業務フロー作成技法</p>	<p>CTV073 / 1日間 既存システムの改修/リプレースのための現行システム要件と利用業務状況の洗い出し方</p>	<p>SPV074 / 1日間 後工程で慌てない!ユーザー/業務要件の漏れを未然に防ぐシステム要件定義のコツ</p> <p>CTJ018 / 1日間 非機能要求の考え方</p>
	設計技法	<p>NWE031 / 8時間 eL Webアプリケーション設計の基礎</p>	<p>SPE017 / 5時間 eL 構造化モデリングによるシステムの機能抽出</p>	<p>SPV075 / 1日間 開発の手戻りを最小限にするシステム要件の品質チェックと基本設計のコツ</p>
	アプリケーション開発	<p>CBE006 / 16時間 eL アルゴリズムの基礎-フローチャート編-</p> <p>SPV028 / 1日間 品質確保のためのソフトウェアテスト</p> <p>SPE019 / 3時間 eL 速習! Webシステムテストのポイント</p> <p>プログラミング言語ごとのコース群</p>	<p>SPE016 / 8時間 eL 実践! テストケース設計(テスト技法演習編)</p>	<p>SPV051 / 1日間 実践! テストケース設計(テスト設計実践編)</p> <p>SPV038 / 2日間 アプリケーション・アーキテクチャ策定演習</p> <p>SPV060 / 1日間 体験!最新OSSを活用したDevOps入門-Lumadaにおけるアプリケーション開発の流れ-</p> <p>SPV059 / 1日間 (PDU)実践! DevOpsによるアジャイル開発-お客様に素早く価値を届けるために-</p>
	システム基盤	<p>UXE003 / 4時間 eL クラウドコンピューティング入門</p>	<p>サーバ製品ごとのコース群</p> <p>CLJ005 / 1日間 実機で学ぶ! サーバ仮想化入門-VMware vSphere、Microsoft Hyper-V、KVM-</p>	<p>CLV014 / 1日間 実機で学ぶ! クラウドコンピューティング入門</p> <p>CDV001 / 2日間 事業と技術の観点から検討するクラウドへの移行と管理-Cloud Essentials-</p> <p>CLV019 / 0.5日間 クラウドコンピューティングで読み解くITサービスの最新動向</p>
	セキュリティ	<p>SCE708 / 4時間 eL【ナビ機能付き】情報セキュリティテラシー-セキュリティの必要性と対策-</p> <p>SCE706 / 8時間 eL【ナビ機能付き】情報セキュリティマネジメント概説-セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度-</p> <p>SCJ052 / 1日間 情報セキュリティ基礎-セキュリティ全体を俯瞰する-</p>	<p>SCE705 / 6時間 eL【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎-ネットワーク構成技術とシステム保護の概要編-</p>	<p>SCV038 / 1日間 情報セキュリティマネジメント運用</p> <p>SCV039 / 1日間 情報セキュリティマネジメントの評価と改善</p> <p>SCV047 / 1日間 ケーススタディから学ぶ情報セキュリティリスクマネジメント</p>
	ネットワーク	<p>NWV103 / 2日間 ネットワーク基礎</p> <p>NWE715 / 8時間 eL【ナビ機能付き】LANの技術-高可用ネットワーク-</p> <p>NWE717 / 8時間 eL【ナビ機能付き】WANの技術-VPNサービスへの変遷-</p>	<p>NWJ099 / 2日間 TCP/IPプロトコル解析</p>	<p>NWE704 / 6時間 eL【ナビ機能付き】ネットワーク管理解説</p> <p>NWE028 / 4時間 eL ネットワーク設計基礎</p> <p>NWJ084 / 2日間 ネットワークトラブル解決</p>
データベース	<p>DBV045 / 1日間 データベース入門-解説と操作体験-</p> <p>DBV055 / 1日間 速習! 1日でわかるデータベース設計の基礎</p>	<p>データベース製品ごとのコース群</p>	<p>DBV054 / 2日間 データベース設計技法と演習</p>	
プロジェクトマネジメント	<p>PMV065 / 2日間 プロジェクトマネジメント基礎</p>	<p>PMJ066 / 2日間 (PDU)ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践</p>	<p>CTJ022 / 2日間 情報システム部門のための開発工程におけるベンダー・マネジメント</p> <p>プロジェクトマネージャ向けのコース群</p>	
ITサービスマネジメント 運用管理・保守	<p>ITV008 / 1日間 情報システム運用入門-運用からITサービスへ-</p> <p>ITV009 / 1日間 IT運用におけるヒューマンエラー予防</p>	<p>ITV014 / 3日間 ITIL®ファンデーション(ITIL®2011対応)(受験バウチャーチケット付き)</p> <p>ITV013 / 3日間 ITIL®4ファンデーション(受験バウチャーチケット付き)</p>	<p>ITV004 / 2日間 システム運用の現状分析・設計力養成ワークショップ</p> <p>SPV033 / 1日間 保守開発におけるトラブル対策の考え方</p> <p>HSV062 / 1日間 事例から学ぶシステムトラブル対策の考え方-高信頼性システム実現のために-</p>	
システム監査		<p>HSV018 / 2日間 システムトラブルの予防と是正-ISMS・システム監査の視点から-</p>		

eL eラーニング

TOPICS

1 日立講習会コース活用例

2 開催コース/スケジュール一覧

3 講座別コースフロー/コースカリキュラム

4 研修会場

5 お申込方法

6 受講規約

● SI 企業 / IT 開発ベンダ向け推奨 IT 研修体系

現在のIT産業は、ハードウェアやソフトウェアといったプロダクトの提供だけではなく、顧客企業がめざす経営戦略や事業戦略を実現するITサービスの提供が重要です。これを実現するために、高い専門性を持つ人財の必要性が高まっています。そのため、企業の競争力強化に向けた体系的な人財育成が重要です。

高い専門性を身につける「基礎体力」として、ITの基本をしっかりと身につけることが重要です。日立講習会では、JP1 や HiRDB といった製品技術修得のコースに留まらず、IT 基本、情報セキュリティ、ネットワークやデータベースといった汎用的な IT の修得に対応したコースをご用意しています。下記は、日立講習会を活用した研修体系の一例です。

日立講習会を活用した情報システム/ソフトウェア開発技術者のITスキル(ITの基礎体力)修得コースマップの例

項目		初 級				中 級			上 級
IT 基本	コンピュータ科学基礎、コンピュータシステムの構成	SJV099 / 5日間 コンピュータ基礎	SJE701 / 8時間 【ナビ機能付き】コンピュータ基礎-ハードウェア編-	SJE702 / 8時間 【ナビ機能付き】コンピュータ基礎-ソフトウェア編-	SJE703 / 4時間 【ナビ機能付き】コンピュータ基礎-情報基礎論編-	SJE704 / 4時間 【ナビ機能付き】コンピュータ基礎-情報システム編-			
	セキュリティ、ネットワーク、データベースの基本	SCE708 / 4時間 【ナビ機能付き】情報セキュリティレクチャー-セキュリティの必要性と対策-	NWV103 / 2日間 ネットワーク基礎	DBV045 / 1日間 データベース入門-解説と操作体験-					
クラウド / サーバ仮想化	仮想化技術	CLJ005 / 1日間 実機で学ぶ!サーバ仮想化入門-Virtualware vSphere, Microsoft Hyper-V, KVM-	CLJ016 / 1日間 実機で学ぶ!デスクトップ仮想化入門-Citrix Virtual Apps and DesktopとVirtualware vSphere-			仮想化製品提供ベンダーごとのコース群			
	クラウド	UXE003 / 4時間 【eL】クラウドコンピューティング入門	CLV003 / 1日間 クラウドコンピューティング技術解説	CLV014 / 1日間 実機で学ぶ!クラウドコンピューティング入門		CDV001 / 2日間 事業と技術の観点から検討するクラウドへの移行と管理-Cloud Essentials-	CLV019 / 0.5日間 クラウドコンピューティングで読み解くITサービスの最新動向	クラウドサービス提供ベンダーごとのコース群	
システム基盤	サーバOS	UNIX/Linux	UXV078 / 2日間 UNIX/Linux 基礎-コマンド編-	UXV049 / 2日間 UNIX/Linux 基礎-シェルスクリプト編-	UXV029 / 2日間 Linuxシステム管理 前編-Linuxインストールとシステム ネットワーク管理の基礎-	UXV030 / 2日間 Linuxシステム管理 後編-システム起動の仕組みとディスク管理技術-	UXE004 / 3時間 【eL】オープンソースソフトウェア(OSS)概観	UXV080 / 2日間 Linuxトラブルシューティング	
	Windows	MSV052 / 2日間 Windows Server 2019 管理概観	Windows Serverの運用目的に応じたコース群			Windows Serverの運用目的に応じたコース群			
データベース	データベース設計、実装技術	DBV055 / 1日間 速習!1日でわかるデータベース設計の基礎	DBV043 / 2日間 【eL】基礎から学ぶSQL-現場で使える力をつける-	DBE706 / 4時間 【eL】【ナビ機能付き】データベース設計の基礎	データベース製品ごとのコース群	DBV057 / 1日間 脱初心者のためのSQL-SQLでここまでできる-	DBV054 / 2日間 データベース設計法と演習	データベース製品ごとのコース群	
ネットワーク	ネットワークシステムの要素技術	NWE715 / 8時間 【eL】【ナビ機能付き】LANの技術-高可用ネットワーク	NWE717 / 8時間 【eL】【ナビ機能付き】WANの技術-VPNサービスの運用-	NWJ147 / 1日間 【eL】【ナビ機能付き】ネットワークインフラ構築-基礎編-		NWJ133 / 2日間 ネットワークインフラ構築-スイッチ編-	NWJ138 / 2日間 ネットワークインフラ構築-ルータ編-		
	ネットワーク設計	NWE028 / 4時間 【eL】ネットワーク設計基礎	NWE703 / 12時間 【eL】【ナビ機能付き】IPv6の基礎と移行技術			NWJ120 / 2日間 ネットワークインフラ構築-冗長化・負荷分散編-			
セキュリティ	要素技術、セキュリティ計画、リスクマネジメント	SCE706 / 8時間 【eL】【ナビ機能付き】情報セキュリティマネジメント概観-セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制編-	SCE703 / 6時間 【eL】【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎-実業技術(暗号、認証)編-	SCE705 / 6時間 【eL】【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎-ネットワーク構成技術とシステム保護の概要編-	SCE704 / 4時間 【eL】【ナビ機能付き】データベースセキュリティ概観	SCV038 / 1日間 情報セキュリティマネジメント運用	SCV039 / 1日間 情報セキュリティマネジメントの評価と改善	SCV047 / 1日間 ケーススタディから学ぶ情報セキュリティリスクマネジメント	
システム設計 / システム開発	ソフトウェアエンジニアリング	SJE707 / 4時間 【eL】【ナビ機能付き】システム開発の基礎	SPV058 / 2日間 演習で学ぶ!情報システムの役割と開発の進め方						
	ニーズ分析、要件定義	SPJ024 / 2日間 システムの要件定義技法	CTV073 / 1日間 既存システムの改修 / リプレースのための現行システム要件と利用業務状況の洗い出し方	SPV071 / 2日間 システムのニーズ分析		CTJ018 / 1日間 非機能要求の考え方	SPV074 / 1日間 後工程で使えないユーザー 要件要件の漏れを未然に防ぐシステム要件定義のコツ	CTV088 / 2日間 【PDU】BABOK®で学ぶビジネスアナリシスの基礎	
	システム設計、業務アプリケーション設計	NWE031 / 8時間 【eL】Webアプリケーション設計の基礎	SPE017 / 5時間 【eL】構造化モデリングによるシステムの機能抽出			SPV038 / 2日間 アプリケーション・アーキテクチャ策定演習	SPJ036 / 2日間 システム化要求を実現するための業務設計	SPV075 / 1日間 開発の手戻りを最小限にするシステム要件の品質チェックと基本設計のコツ	CTV065 / 2日間 エンタープライズITアーキテクチャのセオリー
	アプリケーション開発	Javaテクノロジー				CLV017 / 2日間 クラウドアプリケーション開発	SPV060 / 1日間 体験最新OSSを活用したDevOps入門-Lumadaにおけるアプリケーション開発の流れ-	SPV059 / 1日間 【PDU】実践! DevOpsによるアジャイル開発-お客様に早く価値を届けるために-	
プログラミング	アルゴリズム / プログラミング	CBJ001 / 2日間 アルゴリズムの基礎-フローチャート編-	CBE006 / 15時間 【eL】アルゴリズムの基礎-フローチャート編-	プログラミング言語ごとのコース群					
	テスト技法	SPE701 / 7時間 【eL】【ナビ機能付き】プログラムのテスト技法	SPV028 / 1日間 品質確保のためのソフトウェアテスト	SPE016 / 8時間 【eL】実践! テストケース設計(テスト技法演習編)	SPV051 / 1日間 【eL】実践! テストケース設計(テスト設計実践編)	SPE019 / 3時間 【eL】速習! Webシステムテストのポイント	SPV072 / 1日間 Javaによる単体テスト自動化とテスト駆動開発演習	SPV035 / 1日間 SeleniumによるWebアプリケーションテスト自動化演習	
評価、改善、信頼性向上 リスクマネジメント						SPV033 / 1日間 保守開発におけるトラブル対策の考え方	HSV062 / 1日間 事例から学ぶシステムトラブル対策の考え方-高信頼性システム実現のために-	HSV018 / 2日間 システムトラブルの予防と是正-ISMS・システム監査の視点から-	
プロジェクトマネジメント		PMV065 / 2日間 プロジェクトマネジメント基礎				PMJ066 / 2日間 【PDU】ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践	CTV069 / 2日間 【PDU】プロジェクトマネジメントにおけるベンダーマネジメント	知識エリアごとのコース群	

eL eラーニング

1 日立講習会
コース活用例

1 日立講習会
コース活用例

2 開催コース /
スケジュール一覧

3 講座別コースフロー /
コースカリキュラム

4 研修会場

5 お申込方法

6 受講規約

日立講習会を活用したITサービス企画/開発/運用管理技術者のITスキル(ITの基礎体力)修得コースマップの例

Table with columns for '分野' (Field), '項目' (Item), '初級' (Beginner), '中級' (Intermediate), and '上級' (Advanced). Rows include categories like '新事業・サービスの創成', 'サービス企画/開発', 'システム企画/導入', 'ITサービス運用', 'ITサービスの評価', and 'ITサービスのライフサイクル全体'. Each cell contains course codes and titles.

eL eラーニング : コース内で主に扱う工程 : コース内で概要もしくは副次的に扱う工程

TOPICS

1 日立講習会コース活用例

2 開催コース/スケジュール一覧

3 講座別コースプロフィール

4 研修会場

5 お申込方法

6 受講規約

1 日立講習会コース活用例

2 開催コース／スケジュール一覧

日立講習会は下記の通り「日立製品研修」と「IT／ビジネス研修」からなり、ITの利活用に必要なコースを多数取り揃えております。

「日立製品研修」、「IT／ビジネス研修」の概要および提供するコースをご紹介します。

日立製品研修

日立製品

日立製作所のオープンミドルウェア、プラットフォームソフトウェアなどを扱うために必要な技術が修得できます。

●JP1

統合システム運用管理ソフトウェアJP1を扱うために必要となる機能や操作、設定方法等の技術が修得できます。

●uCosminexus Application Server

uCosminexus Application Serverを使用したアプリケーション開発やシステム構築を行ううえで必要となる知識と技術が修得できます。

●HiRDB

データベースマネジメントシステムであるHiRDBのシステム運用やアプリケーション開発を行ううえで必要となる知識と技術が修得できます。

●OpenTP1

TPモニターであるOpenTP1システムの構築や運用、およびアプリケーションを開発するうえで必要となる知識と技術が修得できます。

●VOS3

日立メインフレームOSであるVOS3の使用方法や機能、システム運用管理技術が修得できます。

●XDM

日立メインフレームDB/DCであるXDMの機能や設定、システム運用管理技術が修得できます。

●日立ストレージ

日立ブロックストレージに関する製品・機能について必要な知識やスキルを修得できます。

●Pentaho

データ統合・分析基盤であるPentahoを使用したデータの統合処理や、分析・可視化に必要な機能や操作等の技術が修得できます。

IT／ビジネス研修

デジタルトランスフォーメーション

デジタル化に対応するための要素技術やデジタルビジネスに必要なスキルが修得できます。

●DXマインド・プロセス・マネジメント

DXがもたらすビジネスヘインパクト、可能性について理解し、DXを推進するためのマインドを修得できます。

●課題分析(何をなすべきかを着想する)

社会変化や顧客課題、技術や業種・業務知識といったさまざまな要因から何をなすべきかを着想するイノベティブな考え方・技法を修得できます。

●仮説構築(ビジネスモデルをデザインする)

あらゆるモノをサービスとして提供する『XaaS』を実現するためにビジネスモデルを構想する思考法、フレームワークなどを修得できます。

●プロトタイプと価値検証(共通)

IoT/AI/ビッグデータなどの技術を理解し、ビジネス価値検証も含めたアーキテクチャ設計や、システム開発手順・実装技術、データサイエンス活用計画を修得できます。

●プロトタイプと価値検証

(データ環境構築)
データ収集・統合・加工技術、データ蓄積のためのデータレイクやデータウェアハウスの技術を修得できます。

●プロトタイプと価値検証

(分析モデル構築)
各種アナリティクスツールを有効活用し、データ活用・データ分析を効率的に進めるスキルや、プログラミングによる分析も修得できます。

RPA

RPA(Robotic Process Automation)製品を使用して業務自動化のロボットを開発するために必要な基礎知識と技術が修得できます。

クラウド／サーバ仮想化

クラウド/サーバ仮想化やクラウドという最新システムについての基礎知識と技術が修得できます。

ITサービスマネジメント

情報システムを活用し、ビジネスを支援するITサービスの業務プロセスを管理・改善するITサービスマネジメントの基礎知識・手法が修得できます。

システム基盤

ネットワーク、データベースやOSなどのシステム基盤構築、管理するために必要な技術が修得できます。

●IT基本

IT基礎力に必要な知識や技術が修得できます。

●オープンソースソフトウェア(OSS)

OSSの概要や活用方法を理解し、OSSによるシステム運用やサーバ構築に関する技術が修得できます。

●Linux

Linuxの機能や操作方法を理解し、システム構築・運用管理に関する技術が修得できます。

●Microsoft

Windows ServerなどのMicrosoft製品を使用した、システム構築・運用管理に関する技術が修得できます。

●ネットワーク

ネットワークの構成を理解し、LANおよびWANに接続したシステム設計・構築・運用管理に関する技術が修得できます。

●ハードウェア

サーバ・ストレージシステムの構築・活用に有効なハードウェア技術が修得できます。

●セキュリティ

個人情報保護や情報セキュリティに関する基礎知識、セキュリティを考慮したシステム構築・管理に必要な技術が修得できます。

●データベース

データベースの概念を理解し、データベースシステムを構築するための技術が修得できます。

IT戦略・IS企画

IT戦略・企画立案やプロセス評価、BA(Business Analysis)に関する知識や手法が修得できます。

システム開発

システム開発/アプリケーション開発を行うために必要な技術が修得できます。

●要件定義/設計

情報システムの開発に必要な基礎知識や、開発手順、分析、設計技法が修得できます。

●プログラミング

各種プログラミング言語を使用したアプリケーション開発を行うために必要な基本文法やプログラミング技術、Webアプリケーションの開発技術が修得できます。

情報処理技術者試験対策

情報処理技術者試験の資格取得に向け、知識や解答技法が修得できます。

ITリテラシ

情報の扱い方、特にコンピュータを利用して業務を行うための基礎的な知識や技術が修得できます。

プロジェクトマネジメント

情報システム開発プロジェクトの計画・実行を行うために必要な知識や手順、技法が修得できます。

コンプライアンス

個人情報保護や情報セキュリティ、内部統制といった、コンプライアンス意識向上に不可欠な知識が修得できます。

ビジネス/ヒューマン

仕事を進めるうえで必要となるスキル(ロジカルシンキング、コミュニケーション、ライティング、リーダシップ、業務知識など)が修得できます。

グローバル

グローバルでビジネスを進めるうえで必要となるスキル(グローバルマインドセット、各国の動機付け要因、反発要因など)が修得できます。

OT(モノづくり・専門技術)

自動化設備の運用・保守に関する電気と制御の基礎知識やグローバル図面・公差設計に関する技法が修得できます。

↓ 新設コース

分野	コースコード	コース名	日数 [※]
● デジタルトランスフォーメーション			
課題分析 (何をなすべきかを着想する)	技術からの着想	IOE006 <eラーニング>IoT 概説	3時間
仮説構築 (ビジネスモデルを デザインする)	ビジネスモデルの構想	HSE133 <eラーニング>視座を高めるシステムシンキング	6.5時間
		DBE041 <eラーニング>考えてみようDX-ビジネス着想編-	3時間
		DBE042 <eラーニング>考えてみようDX-データ活用による業務改善編-	3時間
		HSV215 シミュレーションゲームで学ぶカスタマーサクセス-サブスクリプション時代の顧客との付き合い方- 【バーチャル・クラスルーム】	0.5日
プロトタイピングと価値 検証(データ環境構築)	データ収集・ 統合・加工	IOV023 IoT 技術解説-最新技術動向・適用事例編-【バーチャル・クラスルーム】	0.5日
● RPA			
RPA	RPV010 UiPath公式 UiPath StudioX 開発トレーニング【バーチャル・クラスルーム】	1日	
	RPV011 WinActor入門トレーニング-ロボット開発の基本操作-【バーチャル・クラスルーム】	1日	
	RPV012 WinActor実践トレーニング-安定性・メンテナンス性を向上させるためのロボット開発- 【バーチャル・クラスルーム】	1日	
● クラウド / サーバ仮想化			
クラウド / サーバ仮想化	CLV020 サーバ仮想化/コンテナ仮想化技術解説【バーチャル・クラスルーム】	1日	
	CLE003 <eラーニング>クラウドネイティブ時代のAPI管理技術概説	6時間	
● システム基盤			
セキュリティ	セキュリティ技術	SDV004 CND(Certified Network Defender)【GSXライブ配信】	3日
● システム開発			
プログラミング	Web 関連技術	NWE033 <eラーニング>HTML/CSSによるWebコンテンツ制作	8時間
● ITリテラシ			
ITリテラシ	OAE033 <eラーニング>Excel 2019 エントリー	2時間	
	OAE034 <eラーニング>Excel 2019 ベーシック	2時間	
	OAE035 <eラーニング>Excel 2019 アドバンス	2時間	
	OAE036 <eラーニング>Word 2019 エントリー	2時間	
	OAE037 <eラーニング>Word 2019 ベーシック	2時間	
	OAE038 <eラーニング>Word 2019 アドバンス	2時間	
	OAE039 <eラーニング>PowerPoint 2019 エントリー	2時間	
	OAE040 <eラーニング>PowerPoint 2019 ベーシック	2時間	
	OAE041 <eラーニング>PowerPoint 2019 アドバンス	2時間	
	● ビジネス/ヒューマン		
ビジネス/ヒューマン	コミュニケーション	HSV218 自己回復力を高めるストレスマネジメント-レジリエンスを育むために-【バーチャル・クラスルーム】	1日

※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています。

分野	コースコード	コース名	日数 [※]
● OT(モノづくり・専門技術)			
OT(モノづくり・専門技術)	OTJ005	リレーシーケンスの基礎とPLC入門	3日
	OTJ006	電気が苦手な人のための電気回路入門-リレーシーケンスとトラブルシューティングから学ぶ-	2日
	OTE001	<eラーニング>幾何公差の基礎	6時間
	OTE002	<eラーニング>公差設計の基礎	4時間

改訂コース

コース内容の大幅な変更(改訂)と、コース名称を変更したものは下記の通りです。改訂したコースについては、表右側の「改訂のポイント」をご覧ください。

分野	コースコード	コース名	日数 [※]	改訂のポイント	
● 日立製品					
日立ストレージ	SLV083	日立ストレージ リモートコピー機能【バーチャル・クラスルーム】 旧コースコードおよび名称>> SPL078 日立ストレージ機能-リモートコピー編-	1日	コース名称変更	
	SPL085	日立ストレージ 仮想ストレージ機能 旧コースコードおよび名称>> SPL079 日立ストレージ機能-無停止運用管理編-	1日	コース名称変更	
	SLV085	日立ストレージ 仮想ストレージ機能【バーチャル・クラスルーム】 旧コースコードおよび名称>> SPL079 日立ストレージ機能-無停止運用管理編-	1日	コース名称変更	
	SPL082	日立ストレージ ローカルコピー機能 旧コースコードおよび名称>> SPL073 日立ストレージハンズオン-バックアップ編-	1日	コース名称変更	
	SLV082	日立ストレージ ローカルコピー機能【バーチャル・クラスルーム】 旧コースコードおよび名称>> SPL073 日立ストレージハンズオン-バックアップ編-	1日	コース名称変更	
	SPL084	日立ストレージ 仮想ボリューム機能 旧コースコードおよび名称>> SPL074 日立ストレージハンズオン-仮想化編-	1日	コース名称変更	
	SLV084	日立ストレージ 仮想ボリューム機能【バーチャル・クラスルーム】 旧コースコードおよび名称>> SPL074 日立ストレージハンズオン-仮想化編-	1日	コース名称変更	
	SLV086	日立ストレージ REST API概要【バーチャル・クラスルーム】 旧コースコードおよび名称>> SPL075 日立ストレージハンズオン-REST API編-	1日	コース名称変更	
	● デジタルトランスフォーメーション				
	仮説構築 (ビジネスモデルをデザインする)	ビジネスモデルの 構想	HSV223	システムシンキング基礎-問題を構成する互いに影響しあう要素の「つながり」を可視化する-【バーチャル・クラスルーム】 旧コースコードおよび名称>> HSV157 システムシンキング基礎-問題を構成する互いに影響しあう要素の「つながり」を可視化する-【バーチャル・クラスルーム】	1日
● RPA					
RPA		RPV009	Automation Anywhereにおけるロボット開発の勘所【バーチャル・クラスルーム】 旧コースコードおよび名称>> RPV005 Automation Anywhereにおけるロボット開発の勘所【バーチャル・クラスルーム】	0.5日	新バージョン内容に変更

[※]eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています。
PDU : PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

分野	コースコード	コース名	日数 [※]	改訂のポイント
● システム基盤				
Microsoft	MSV054	実践! Windows PowerShellを用いたシステム管理の効率化【バーチャル・クラスルーム】 旧コースコードおよび名称>> MSJ047 実践! Windows PowerShellを用いたシステム管理の効率化-IT投資マネジメントの基礎-【PDU】 -Windows Server 2016編-	1日	コース名称変更
● IT戦略・IS企画				
IT戦略・IS企画	CTV070	(PDU)1日でわかる 今、必要な戦略的IT投資のポイント-変革の時代に生き残るために-【バーチャル・クラスルーム】 PDU 旧コースコードおよび名称>> CTJ016 (PDU) IT投資対効果の考え方-IT投資マネジメントの基礎- PDU	1日	コース名称変更
	CTV074	IT活用による業務改善を実現するための業務要件定義と業務プロセス設計のコツ【バーチャル・クラスルーム】 旧コースコードおよび名称>> CTV054 IT活用による業務改善を実現するための問題分析と新業務プロセス設計技法【バーチャル・クラスルーム】	1日	コース名称変更、および受講料の改訂
	CTV071	IT主導で攻めのビジネスを実現するためのビジネス要件とIT企画の作り方【バーチャル・クラスルーム】 旧コースコードおよび名称>> CTV055 IT主導で攻めのビジネスを実現するための構想立案とIT企画の作り方【バーチャル・クラスルーム】	1日	コース名称変更、および受講料の改訂
	CTV072	現場主導で現状業務の見える化を推進するための業務フロー作成技法【バーチャル・クラスルーム】 旧コースコードおよび名称>> CTV053 現場主導で現状業務の見える化を推進するための業務フロー作成技法【バーチャル・クラスルーム】	1日	受講料の改訂
IT戦略・IS企画	CTV073	既存システムの改修/リプレースのための現行システム要件と利用業務状況の洗い出し方【バーチャル・クラスルーム】 旧コースコードおよび名称>> CTV052 現行システムのリプレース/改修における現状洗い出しを確実にするための業務フロー作成技法【バーチャル・クラスルーム】	1日	コース名称変更、および受講料の改訂
● システム開発				
要件定義/設計	SPV074	後工程で慌てない!ユーザー/業務要件の漏れを未然に防ぐシステム要件定義のコツ【バーチャル・クラスルーム】 旧コースコードおよび名称>> SPV067 後工程で慌てない!ユーザー/業務要件の漏れを未然に防ぐ業務設計と要件定義のコツ【バーチャル・クラスルーム】	1日	コース名称変更、および受講料の改訂
	SPV073	業務要件とユーザビリティを確保するためのユーザ要件定義とUIデザインのコツ【バーチャル・クラスルーム】 旧コースコードおよび名称>> SPV068 業務要件とユーザビリティを確保するための要件定義のポイント【バーチャル・クラスルーム】	1日	コース名称変更、および受講料の改訂
	SPV075	開発の手戻りを最小限にするシステム要件の品質チェックと基本設計のコツ【バーチャル・クラスルーム】 旧コースコードおよび名称>> SPV069 開発での手戻りを最小限にする要件品質チェックポイントと基本設計の肝【バーチャル・クラスルーム】	1日	コース名称変更、および受講料の改訂
	SPV072	Javaによる単体テスト自動化とテスト駆動開発演習【バーチャル・クラスルーム】 旧コースコードおよび名称>> SPV062 Javaによるテスト駆動開発演習【バーチャル・クラスルーム】	1日	コース名称変更
● プロジェクトマネジメント				
プロジェクトマネジメント	PME021	<eラーニング>プロジェクトマネジメント基礎 旧コースコードおよび名称>> PME007 <eラーニング>【ナビ機能付き】プロジェクトマネジメント基礎	8時間	受講料の改訂、および学習時間の変更
	PMV088	(PDU) PMBOK® ガイド第7版セミナー【バーチャル・クラスルーム】 PDU 旧コースコードおよび名称>> PMJ083 (PDU) PMBOK® ガイド第6版セミナー PDU	2日	PMBOK® バージョンアップに伴うコース名称変更

TOPICS

1 日立講習会
コース活用例

2 開催コース/スケジュール一覧

3 講座別コースフロー
コースカリキュラム

4 研修会場

5 お申込方法

6 受講規約

2 開催コース/スケジュール一覧

分野	コースコード	コース名	日数*	改訂のポイント
プロジェクトマネジメント	PMV091	(PDU) PMBOK®ガイド第6版と第7版の差分講座-半日でわかる第7版-【バーチャル・クラスルーム】 PDU	0.5日	PMBOK®バージョンアップに伴うコース名称変更
		旧コースコードおよび名称>> PMV084 (PDU) PMBOK®ガイド第5版と第6版の差分講座-半日でわかる第6版-【バーチャル・クラスルーム】 PDU		

● ビジネス/ヒューマン

分野	コースコード	コース名	日数*	改訂のポイント
ビジネス/ヒューマン	HSV 216	(PDU) ストラクチャード・コミュニケーション-会議を空中戦にせず、図で共有する・伝える・理解する・考える-【バーチャル・クラスルーム】 PDU	1日	時間数変更
		旧コースコードおよび名称>> HSV 212 (PDU) ストラクチャード・コミュニケーション-会議を空中戦にせず、図で共有する・伝える・理解する・考える-【バーチャル・クラスルーム】 PDU		
	HSV 219	(PDU) アサーティブ・コミュニケーション-職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上-【バーチャル・クラスルーム】 PDU	1日	受講料の改訂、および時間数の変更
		旧コースコードおよび名称>> HSV 125 (PDU) アサーティブ・コミュニケーション-職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上-【バーチャル・クラスルーム】 PDU		
	HSV 221	(PDU) 自分を知り他者を知るコミュニケーションマネジメント-DISCモデルによる-【バーチャル・クラスルーム】 PDU	2日	時間数変更、PDU対象コースに改訂
		旧コースコードおよび名称>> HSV 197 自分を知り他者を知るコミュニケーションマネジメント-DISCモデルによる-【バーチャル・クラスルーム】		
	HSV 222	(PDU) リーダーのためのマインドフルネス-成果発揮へのセルフリーダーシップとマインドフル-【バーチャル・クラスルーム】	1日	PDU対象コースに改訂、コース名称変更、受講料の改訂、および時間数の変更
旧コースコードおよび名称>> HSV 196 リーダーのためのマインドフルネス基礎-成果発揮へのセルフリーダーシップとマインドフル-【バーチャル・クラスルーム】				
HSV 220	(PDU) 会議/プロジェクトを円滑に進めるためのファシリテーション・スキル向上【バーチャル・クラスルーム】 PDU	2日	受講料の改訂、および時間数の変更	
	旧コースコードおよび名称>> HSV 148 (PDU) 会議/プロジェクトを円滑に進めるためのファシリテーション・スキル向上【バーチャル・クラスルーム】 PDU			
HSV 217	(PDU) 部下のパフォーマンスを高める1on1ミーティングとフィードバック【バーチャル・クラスルーム】 PDU	1日	受講料の改訂、および時間数の変更	
	旧コースコードおよび名称>> HSV 195 (PDU) 部下のパフォーマンスを高める1on1ミーティングとフィードバック【バーチャル・クラスルーム】 PDU			

↓ 廃止コース

新設コースの実施や大幅な内容改訂を図り、ニーズの高いコース・お役に立てるコースの充実に努めております。そのため、大変ご迷惑をお掛けしますが、次のコースを廃止とさせていただきます。なお、下記廃止コースのうち、内容が同等または類似のコースがある場合は、廃止コース名の下段に対象のコース名をご紹介します。コースの詳細は日立アカデミーのWebサイトをご覧ください。

分野	コースコード	コース名	日数*
● 日立製品			
HiRDB	DBE307	<eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDB入門-GUIによる構築・運用・チューニング操作体験編-	7時間
Hitachi Advanced Data Binder	DBJ118	Hitachi Advanced Data Binder 概説	0.5日
● デジタルトランスフォーメーション			
課題分析 (何をなすべきかを着想する)	IOV011	技術からの着想 スマートスピーカの最新動向と社会インフラ適用の可能性【バーチャル・クラスルーム】	0.5日
プロトタイプと価値検証 (共通)	IOJ016	体験! Node-REDによるIoTシステム入門-Raspberry Piを使用した風車のリアルタイム監視から予兆診断まで-	1日
	IOJ018	IoTにおけるイベント駆動型システム開発入門-Hitachi Application Framework/Event Driven Computing (HAF/EDC)による故障予知診断を例にして-	0.5日

*eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています。
PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

分野	コースコード	コース名	日数*
プロトタイプと価値検証 (共通)	IOJ017	ソフトウェアエンジニアリング IoTにおけるイベント駆動型システム開発実践-Hitachi Application Framework/Event Driven Computing (HAF/EDC)によるアプリケーション、システム開発演習を通して-	2日
	DBD057	ツールを活用した分析 Rによる統計解析-分析結果を統計的に正しく理解し、次の意思決定に向けた提案へ-	2.5日
プロトタイプと価値検証 (分析モデル構築)	DBD064	機械学習による問題解決実践-機械学習で大量データを分析し、データからビジネス価値を創出-	2日

● RPA

分野	コースコード	コース名	日数*
RPA	RDV002	Automation Anywhere認定RPAトレーニング(Mastering Bots: V11)【バーチャル・クラスルーム】	3日
	RPV008	RPA入門-概説と基本操作(Blue Prism)-【バーチャル・クラスルーム】	2日

● システム基盤

分野	コースコード	コース名	日数*	
IT基本	SJJ030	アプリケーション開発者のための文字コード入門-アプリケーションの文字化けを防ぐ-	1日	
オープンソースソフトウェア (OSS)	UXJ077	Linuxで実現! Zabbixによるシステム監視	1日	
	UXJ079	Linuxにおけるコンテナ環境の使い方 - DockerとKubernetes編- >>同等または類似のコースコードおよび名称>> UXE006 <eラーニング>Kubernetes基礎	1日	
	UXE005	<eラーニング>Hyperledger Fabric基礎	35時間	
Linux	UXJ063	Linuxで実現!セキュリティ対策手法の解説と要塞化実習	2日	
Microsoft	MSJ051	ここが新しい! Windows Server 2019新機能	1日	
	CLJ010	実践!Hyper-Vのインストールから可用性向上まで-Windows Server 2016編-	1日	
データベース	SQL Server	DBV113	SQL Server 2016 データベース管理【バーチャル・クラスルーム】	2日
	Oracle	DBE346	<eラーニング>【マシン演習付き】 MySQL 5.7 データベース管理I	14時間
		DBE347	<eラーニング>【マシン演習付き】 MySQL 5.7 データベース管理II	21時間
		DBE345	<eラーニング>【マシン演習付き】 MySQL パフォーマンス・チューニング	28時間
		DBE316	<eラーニング>【マシン演習付き】 Oracle Database 12c 新機能	35時間
		DBE333	<eラーニング>【マシン演習付き】 Oracle Database 12c SQL基礎II	14時間
		DBE332	<eラーニング>【マシン演習付き】 Oracle Database 12c PL/SQL基礎	14時間
		DBE309	<eラーニング>【マシン演習付き】 Oracle Database 12c PL/SQLプログラム開発	21時間
		DBE308	<eラーニング>【マシン演習付き】 Oracle Database 12c バックアップ・リカバリ	35時間
DBE310	<eラーニング>【マシン演習付き】 Oracle Database 12c パフォーマンス・チューニング	35時間		
DBE311	<eラーニング>【マシン演習付き】 Oracle Database 12c インストール&アップグレード	14時間		
DBE315	<eラーニング>【マシン演習付き】 Oracle Database 11g R2 管理 ワークショップII	35時間		
DBE319	<eラーニング>【マシン演習付き】 Exadata Database Machine 管理ワークショップ	35時間		
DBE322	<eラーニング>【マシン演習付き】 Oracle Database 12c Clusterware 管理	28時間		
DBE331	<eラーニング>【マシン演習付き】 Oracle Database 12c RAC管理	28時間		
DBE321	<eラーニング>【マシン演習付き】 Oracle Database 12c ASM 管理	14時間		

分野	コースコード	コース名	日数*
データベース	Oracle	DBE324 <eラーニング>【マシン演習付き】 Oracle Database 12c セキュリティ	35時間
		DBE323 <eラーニング>【マシン演習付き】 Oracle Database 12c Database Vault	14時間
		DBE325 <eラーニング>【マシン演習付き】 Oracle Database 12c マルチテナント・アーキテクチャ	14時間
		DBE341 <eラーニング>【マシン演習付き】 Oracle Database 12c R2 新機能 for 12c R1 管理者	35時間
		DBE343 <eラーニング>【マシン演習付き】 Oracle Enterprise Manager Cloud Control 12c による管理	21時間
		DBE019 <eラーニング>Oracleではじめる統計入門	7時間
		DBE342 <eラーニング>【マシン演習付き】 Oracle Database 12c データ・マイニング手法	14時間
		DBE043 <eラーニング>資格試験準備セミナー：ORACLE MASTER Bronze DBA (受験チケット付)	7時間
		DBE044 <eラーニング>資格試験準備セミナー：ORACLE MASTER Silver SQL (受験チケット付)	7時間
		DBE045 <eラーニング>資格試験準備セミナー：ORACLE MASTER Silver DBA (受験チケット付)	7時間
		DBE046 <eラーニング>資格試験準備セミナー：ORACLE MASTER Gold DBA (受験チケット付)	7時間

● IT戦略・IS企画

IT戦略・IS企画	コースコード	コース名	日数*
IT戦略・IS企画	SPJ008	(PDU) IT投資の評価手法-IT投資の種類・パターンから効果を考える- PDU	2日
	CTV069	(PDU) プロジェクトマネジメントにおけるベンダーマネジメント【バーチャル・クラスルーム】 PDU	2日
	CTJ051	ビジネス要求引き出しのための業務課題抽出のテクニック	1日

● システム開発

要件定義/設計	コースコード	コース名	日数*	
要件定義/設計	SPJ032	Javaモジュールテスト演習	1日	
プログラミング	Java	NWJ145 システムを危険から守る!セキュアプログラミング	1日	
		OJE025 <eラーニング>【マシン演習付き】 Java SE 7 パフォーマンス・チューニング	21時間	
		OJE022 <eラーニング>資格試験準備セミナー：OCJP Bronze SE 7/8(受験チケット付)	7時間	
		OJE023 <eラーニング>資格試験準備セミナー：OCJP Silver SE 8(受験チケット付)	7時間	
		OJE024 <eラーニング>資格試験準備セミナー：OCJP Gold SE 8(受験チケット付)	7時間	
		Web関連技術	NWE709 <eラーニング>【ナビ機能付き】 CSSによるWebコンテンツ制作	8時間
			NWE710 <eラーニング>【ナビ機能付き】 HTMLによるWebコンテンツ制作	8時間
		スマートデバイス	NWE029 <eラーニング>スマートデバイス活用システムの提案概説	3時間
			NWJ144 スマートフォンの特性を踏まえたWebアプリケーション設計の考え方	1日

● ITリテラシ

ITリテラシ	コースコード	コース名	日数*
ITリテラシ	OAE027	<eラーニング>Excel 2016 基礎編 >>同等または類似のコースコードおよび名称>> OAE033 <eラーニング>Excel 2019 エントリー	2時間
	OAE028	<eラーニング>Excel 2016 応用編 >>同等または類似のコースコードおよび名称>> OAE035 <eラーニング>Excel 2019 アドバンス	2時間
	OAJ046	Excelで業務データを使いこなす-関数とピボットテーブルを利用して-	1日

*eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています。
PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

分野	コースコード	コース名	日数*
ITリテラシ	OAE029	<eラーニング>Word 2016 基礎編 >>同等または類似のコースコードおよび名称>> OAE036 <eラーニング>Word 2019 エントリー	2時間
		<eラーニング>Word 2016 応用編 >>同等または類似のコースコードおよび名称>> OAE038 <eラーニング>Word 2019 アドバンス	2時間
	OAE031	<eラーニング>PowerPoint 2016 基礎編 >>同等または類似のコースコードおよび名称>> OAE039 <eラーニング>PowerPoint 2019 エントリー	2時間
		<eラーニング>PowerPoint 2016 応用編 >>同等または類似のコースコードおよび名称>> OAE041 <eラーニング>PowerPoint 2019 アドバンス	2時間

● プロジェクトマネジメント

プロジェクトマネジメント	コースコード	コース名	日数*
プロジェクトマネジメント	PMJ072	(PDU) プロジェクトマネジメント仮想体験講座 PDU	2日
	PMJ074	(PDU) プロジェクト・マネージャ・コンピテンシ指向トレーニング(PMCOT) -プロジェクト・マネージャに必要な行動・思考の気付きと振り返り PDU	2日
	PMJ006	ソフトウェア開発の品質管理と信頼性-日立の取り組み紹介-	1日
	PMV089	PMP®対策講座(2日間)【バーチャル・クラスルーム】	2日
	PMV090	PMP®直前講座(模試)(1日間)【バーチャル・クラスルーム】	1日
	PDV017	PRINCE 2®ファンデーション(認定試験付き)【ITPライブ配信】	3日
	PMD018	PRINCE 2®プラクティショナ(認定試験付き)	2日

● ビジネス/ヒューマン

ビジネス/ヒューマン	サブ分野	コースコード	コース名	日数*
ビジネス/ヒューマン	ライティング	HSJ204	ビジネスライティング(演習編) -読みやすい文書を作成する-	1日
		HSJ153	リーダ向け「文書添削と指導法」	1日
	意思決定	HSJ137	意思決定のスキルII-ディビジョンマネジメントを実践するために-	1日
		コミュニケーション	HSJ127	情報を整理して伝えるコミュニケーション技法-ロゴス・パトス・エトスを高める-
	HSJ188		わたしを活かすキャリアデザイナー-人生100年時代のキャリアを考える-	1日
	リスニング	HSJ124	リスニング力を高めてコミュニケーションスキルアップ-職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上- >>同等または類似のコースコードおよび名称>> HSE124 <eラーニング>リスニング力を高めてコミュニケーションスキルアップ-レクチャ編-	1日
		マネジメント/リーダシップ	HSJ147	(PDU) 目標達成のためのコーチング実践 PDU
	HSJ187		共に勝つ人生戦略 ウィナーシップ研修 -ビジネスパーソンとして「本気づくり」に挑戦する-	1日
	アカウントティング/ファイナンス	HSE710	<eラーニング>【ナビ機能付き】業務に活かす簿記入門	8時間

● OT(モノづくり・専門技術)

OT(モノづくり・専門技術)	コースコード	コース名	日数*
OT(モノづくり・専門技術)	OTJ004	シーケンスコントローラ活用入門	5日(宿泊有)

クラウド / サーバ仮想化

Course header table with columns: Course Code, Division, Course Name, Fee, Duration, Learning Method, Region, Months (Apr-Sep), End Date, (e-Learning) Service Validity/End Date.

クラウド / サーバ仮想化(掲載ページ: P. 120 ~)

Main table listing various cloud and virtualization courses (CLE703, CLJ005, etc.) with details on fees, durations, and schedules.

ITサービスマネジメント

Course header table for IT service management courses.

ITサービスマネジメント(掲載ページ: P. 127 ~)

Table listing IT service management courses (ITE701) with details on fees and schedules.

※2020年12月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトをご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。
※バーチャル・クラスルーム / 集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄をご確認ください。

Table listing various IT courses (ITV008, ITV014, etc.) with details on fees, durations, and schedules.

システム基盤

Course header table for system infrastructure courses.

IT基本(掲載ページ: P. 132 ~)

Table listing basic IT courses (SJV099, SJE701, etc.) with details on fees and schedules.

オープンソースソフトウェア (OSS) (掲載ページ: P. 134 ~)

Table listing Open Source Software (OSS) courses (UXE004, UXV081, etc.) with details on fees and schedules.

Linux (掲載ページ: P. 137 ~)

Table listing Linux courses (UXV078, UXV049, etc.) with details on fees and schedules.

New: 新設コース | 改訂コース | 休講: 今期の定期開催はありません
PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。
学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.55)を参照ください。

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

TOPICS

1 日立講習会
コース活用例

2 開催コース/スケジュール一覧

3 講座別コースフロー
コースカリキュラム

4 研修会場

5 お申込方法

6 受講規約

2 開催コース/スケジュール一覧

Table with columns: コースコード, 開催区分, コース名, 受講料(税込)*, 日数/平均学習時間, 学習形態, 開催地区, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月, (eラーニング) サービス有効期間/学習終了日. Rows include UXV030, UXV080.

Microsoft (掲載ページ: P. 139 ~)

Table of Microsoft courses including MSV052, MSV053, MSE306, MSE701, MSE307, SCE707, MSE308, MSV054. Includes icons for learning methods like マシン学習 and オンライン.

ネットワーク (掲載ページ: P. 143 ~)

Table of Network courses including NWV103, NWE706, NWE707, NWE715, NWE714, NWJ099, NWE717, NWE001, NWE028, NWV146, NWJ147, NWJ138, NWJ133. Includes icons for learning methods like レクチャ and グループ演習.

*2020年12月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※バーチャル・クラスルーム・集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「T」)の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。

Table of courses including NWJ120, NWE703, NWJ084, NWE704. Includes icons for learning methods like マシン学習 and eラーニング.

ハードウェア (掲載ページ: P. 149 ~)

Table of Hardware courses including SJE705, SJE016, SJE028, SJE018, SJE017. Includes icons for learning methods like eラーニング.

セキュリティ (掲載ページ: P. 151 ~)

Table of Security courses including SCE708, SCJ052, SCV041, SCE706, SCJ048, SCV047, SCV038, SCV039, SCE011, SCJ053, SCE703, SCE705, SCV051, SCE704. Includes icons for learning methods like eラーニング and グループ演習.

New: 新設コース, PMP: 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。
学習形態: 3. 「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.55)を参照ください。

2 開催コース/スケジュール一覧

TOPICS

1 日立講習会 コース活用例

2 開催コース/スケジュール一覧

3 講座別コースプロフィール コースカリキュラム

4 研修会場

5 お申込方法

6 受講規約

Table with columns: Course Code, Opening Area, Course Name, Tuition, Days/Avg Learning Time, Learning Format, Opening Area, Months (Apr-Sep), (e-Learning) Service Validity Period/End Date. Rows include SDV001 and SDV004.

IT戦略・IS企画

Table with columns: Course Code, Opening Area, Course Name, Tuition, Days/Avg Learning Time, Learning Format, Opening Area, Months (Apr-Sep), (e-Learning) Service Validity Period/End Date. Header for the IT Strategy/IS Planning section.

IT戦略・IS企画(掲載ページ: P. 168 ~)

Main table for IT Strategy/IS Planning courses, listing various courses like CTV070, CTV005, SPV033, CTD010, etc., with detailed descriptions and schedules.

データベース(掲載ページ: P. 158 ~)

Main table for Database courses, listing various courses like DBV045, DBE711, DBV063, etc., with detailed descriptions and schedules.

システム開発

Table with columns: Course Code, Opening Area, Course Name, Tuition, Days/Avg Learning Time, Learning Format, Opening Area, Months (Apr-Sep), (e-Learning) Service Validity Period/End Date. Header for the System Development section.

要件定義/設計(掲載ページ: P. 174 ~)

Main table for System Development courses, listing various courses like SPV058, SJE707, SPV071, etc., with detailed descriptions and schedules.

*2020年12月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
*一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
*バーチャル・クラスルーム/集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。

【New】: 新設コース 【R】: 改訂コース 【休講】: 今期の定期開催はおりません
【PDU】: PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。
学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.55)を参照ください。

TOPICS

1 日立講習会
コース活用例

2 開催コース/
スケジュール一覧

3 講座別コースフロー/
コースカリキュラム

4 研修会場

5 お申込方法

6 受講規約

2 開催コース/
スケジュール一覧

Table listing courses with columns: Course Code, Division, Course Name, Fee, Days, Learning Type, Region, Dates (Apr-Sep), End Date, and (e-Learning) Service Validity.

※2020年12月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※バーチャル・クラスルーム/集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄で確認ください。

Table listing courses with columns: Course Code, Division, Course Name, Fee, Days, Learning Type, Region, Dates (Apr-Sep), End Date, and (e-Learning) Service Validity.

POU : PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。
学習形態 : 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例 (P.55) を参照ください。

- 1 日立講習会
コース活用例
2 開催コース/スケジュール一覧
3 講座別コースプロフィール
コースカリキュラム
4 研修会場
5 お申込み方法
6 受講規約

2 開催コース/スケジュール一覧

Table of courses including columns for Course Code, Course Name, Fee, Duration, Learning Style, Region, and Schedule. Includes courses like COBOL Programming and C Language Programming.

情報処理技術者試験対策

Table header for IT Exam Strategy courses with columns for Course Code, Course Name, Fee, Duration, Learning Style, Region, and Schedule.

情報処理技術者試験対策(掲載ページ: P. 196 ~)

Table of IT Exam Strategy courses including titles like IT Passport Exam and Information Security Exam.

※2020年12月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※「バーチャル・クラスルーム」集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄をご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「T」)の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。

Table of courses including application technology exams and database specialization courses. Includes titles like Application Technology Exam and Database Specialist Exam.

ITリテラシ

Table header for IT Literacy course with columns for Course Code, Course Name, Fee, Duration, Learning Style, Region, and Schedule.

ITリテラシ(掲載ページ: P. 203 ~)

Table of IT Literacy course including Excel 2019 course.

New: 新設コース
PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。
学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.55)を参照ください。

TOPICS
1 日立講習会
コース活用例
2 開催コース/スケジュール一覧
3 講座別コースプロフィール
コースカリキュラム
4 研修会場
5 お申込方法
6 受講規約

コンプライアンス

Table with columns: Course Code, Course Name, Fee, Days, Learning Format, Region, Months (Apr-Sep), and End Date. Includes courses like HSV062 (事例から学ぶシステムトラブル対策) and HSE129 (eラーニング SNSのリスク).

ビジネス/ヒューマン

Table with columns: Course Code, Course Name, Fee, Days, Learning Format, Region, Months (Apr-Sep), and End Date. Includes courses like HSV202 (クリティカルマインド基礎) and HSE126 (eラーニング ロジカルシンキング基礎).

※2020年12月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。

Main table with columns: Course Code, Course Name, Fee, Days, Learning Format, Region, Months (Apr-Sep), and End Date. Includes courses like HSE711 (eラーニング ナビ機能付き 協創を生みだす交渉) and HSV218 (自己回復力を高めるストレスマネジメント).

New: 新設コース, PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。
学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.55)を参照ください。

TOPICS
1 日立講習会
コース活用例
2 開催コース/スケジュール一覧
3 講座別コースフロー/
コースカリキュラム
4 研修会場
5 お申込方法
6 受講規約

2 開催コース/
スケジュール一覧

Table with columns: Course Code, Division, Course Name, Fee, Days/Time, Learning Format, Region, Months (Apr-Sep), and Service Validity. Lists various e-learning and PDU courses including topics like business models, supply chain, and financial analysis.

※2020年12月時点の内容で記載しています。最新の情報は、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。

Table with columns: Course Code, Division, Course Name, Fee, Days/Time, Learning Format, Region, Months (Apr-Sep), and Service Validity. Lists PDU courses such as '兵法を現代に役立てる方法' and 'リーダーに必要な人間力'.

グローバル

Table with columns: Course Code, Division, Course Name, Fee, Days/Time, Learning Format, Region, Months (Apr-Sep), and Service Validity. Lists global business courses.

グローバル(掲載ページ: P. 243 ~)

Table with columns: Course Code, Course Name, Fee, Days/Time, Learning Format, Region, Months (Apr-Sep), and Service Validity. Lists global business courses like 'グローバルビジネスの基礎' and '多様性の理解'.

OT(モノづくり・専門技術)

Table with columns: Course Code, Division, Course Name, Fee, Days/Time, Learning Format, Region, Months (Apr-Sep), and Service Validity. Lists OT courses like 'リレーシーケンスの基礎とトラブル診断'.

OT(モノづくり・専門技術)(掲載ページ: P. 246 ~)

Table with columns: Course Code, Course Name, Fee, Days/Time, Learning Format, Region, Months (Apr-Sep), and Service Validity. Lists OT courses including 'トラブルシューティング(制御系基礎)' and '電気が苦手な人のための電気回路入門'.

ITスキル基礎 パッケージ

Table with columns: Course Code, Division, Course Name, Fee, Days/Time, Learning Format, Region, Months (Apr-Sep), and Service Validity. Lists IT skill package courses like 'ITスキル基礎(ライトパッケージ)' and 'ITスキル基礎(フルパッケージ)'.

New: 新設コース PDU: 改訂コース 休講: 今期の定期開催はありません

PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。
学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.55)を参照ください。

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ https://www.hitachi-ac.co.jp/

↓ eラーニングコースのご紹介

ビジネススタイルやライフスタイルが多様化する中、自分の空いた時間を有効活用して知識やスキルを修得できる「eラーニング」は、非常に有効な研修方法です。

オリジナルeラーニング	マシン演習付きオリジナルeラーニング	提携コースeラーニング
<ul style="list-style-type: none"> ナビ機能付きeラーニング スキル定着を支援するeラーニング 動画型eラーニング 		<ul style="list-style-type: none"> Oracleトレーニング・オンデマンド eラーニング アイテック社 情報処理技術者試験対策 eラーニング SBI大学院 eラーニング ライトワークス社 Microsoft Officeシリーズ eラーニング STANDARD社 AI eラーニング プラーナー社 eラーニング

種類やコースによってサービスの利用期間や学習利用環境(PCおよびWeb環境)が異なります。サービスの利用期間については、「開催コース/スケジュール一覧」(P.30～)または当社のWebサイトでご確認ください。学習利用環境については、当社のWebサイトでご確認いただけます。

ナビ機能付きeラーニング

1つのコースを細かく複数の学習コンテンツ(チャンク)に分離し、プレテストで学習の必要度を判断しながら学習を進められるeラーニングです(既に理解しているチャンクは、スキップが可能)。また、学習コンテンツへのメモの書き込みやブックマーク保存、キーワードのWeb検索機能により、受講者の学習を支援します。

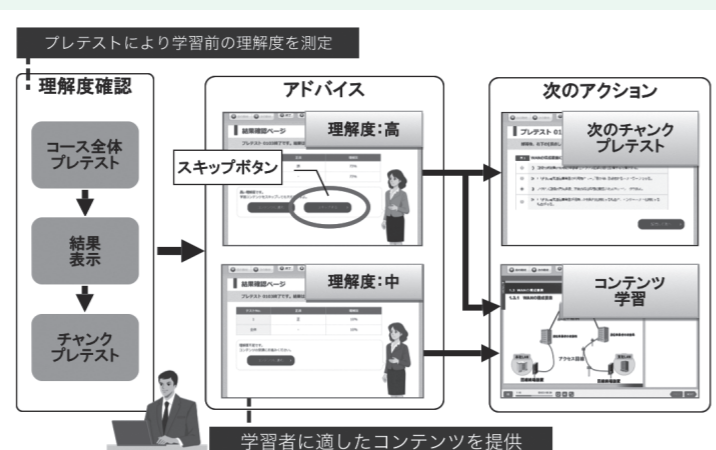
○ナビ機能付きeラーニングの特長

学習者毎に学習内容を最適化し、提供するeラーニングです。学習をチャンク*と呼ばれる短い単位で区切ることで、細かく理解度を測りながら段階的に学習を進めることができます。

また、修了試験の結果から、理解度が不十分な箇所のみ、再学習できるようになっています。

*チャンク: 5~15分程度の短い学習コンテンツ

- Point 1** 学習前の知識レベルに応じて必要な学習内容を判断しながら進めるため、学習時間を短縮できます。
- Point 2** 学習前に自分の理解度を知ることで、学習への動機が明確になります。



スキル定着を支援するeラーニング

「知識(わかる)」を「スキル(できる)」に! スキル定着を支援するeラーニングです。

○スキル定着を支援するeラーニングの特長

学習者の「知識(わかる)」を「スキル(できる)」にレベルアップさせる学習経験の機会を拡大し、さらなる主体的、継続的な学習や「実践力(使える)」の養成に向けたスキル定着のプロセスを支援します。

- Point 1** 繰り返し設問に取り組むことにより、知識がスキルとして定着することを支援します。
- Point 2** 実務ベースで起こりうるシーンを設問に取り入れているため、すぐに業務に活用できます。



さらなるレベルアップをめざした継続的な学習や実践力養成をめざしたスキル定着を支援するeラーニング!

動画型eラーニング

講義のプレゼンテーション画面や業務用アプリケーションなどのソフトウェア操作画面を、講師の説明音声とともに、動画にて学習できるeラーニングです。

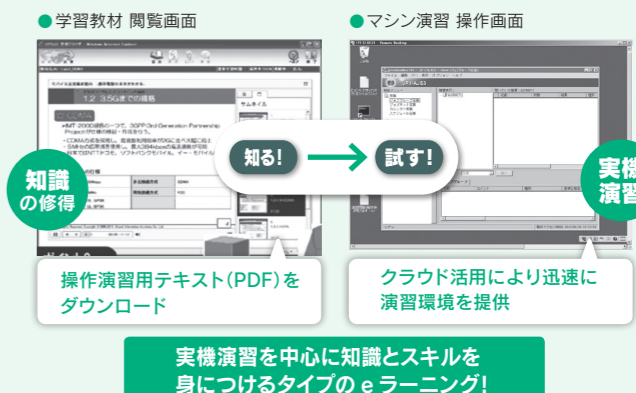
マシン演習付きオリジナルeラーニング

従来のコンテンツによる学習やテストに加え、クラウド上のマシン環境で操作演習できるeラーニングです。

○マシン演習付きオリジナルeラーニングの特長

学習者主体の学びが実現できるeラーニングに、クラウド上のマシン演習環境を合わせてご提供いたします。eラーニングで理解した内容をクラウド上のマシンで操作演習し、知識とスキルを定着させます。

- Point 1** Webブラウザとインターネット環境があれば、実機演習を用いた学習をすぐに開始できます。
*学習教材はPDFファイルにて提供いたします。
- Point 2** ご自身のペースで実機演習に取り組みます。
- Point 3** 受講期間中は、何度でもマシン演習環境を利用できます。



実機演習を中心に知識とスキルを身につけるタイプのeラーニング!

提携コースeラーニング

提携コースeラーニングは、各社に委託し提供しているeラーニングです。このeラーニングは、提携各社のサービスを利用します。(学習利用環境、学習要領など提携各社ごとに異なりますので、あらかじめご了承ください)

- 提携コースeラーニングには、以下のコースがあります。
- Oracleトレーニング・オンデマンド eラーニング
 - アイテック社 情報処理技術者試験対策 eラーニング
 - SBI大学院 eラーニング
 - ライトワークス社 Microsoft Officeシリーズ eラーニング
 - STANDARD社 AI eラーニング
 - プラーナー社 eラーニング

↓ eラーニングの学習利用環境

eラーニングのコースによって学習利用環境が異なります。

学習利用環境 学習利用環境については、下記のURLをご確認ください。
<https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/elearning>

↓ eラーニングの利用期間

(1) オリジナルeラーニングの利用期間

開始日にかかわらず学習終了日は各期の当社最終営業日となります。(3月末または9月末) 開始日によっては最大6ヶ月の利用期間となりますが、期末に近い開始日では利用期間が短くなりますので、お申し込み時に確認をお願いいたします。

なお、マシン演習付きオリジナルeラーニングと提携コースeラーニングは、従来どおりコースごとに設定された利用期間で変更はございません。

(2) 利用時間

メンテナンス日を除き、サービスの利用時間は24時間365日となります。メンテナンスの日程は当社のWebサイトでお知らせします。

お客さまの人財育成に役立てていただけるよう適切な体系を考え、また各種スキル標準に沿ったかたちで、さまざまなカリキュラムをご用意しています。35の講座カテゴリーに分類し、体系的に学習し、効率的なスキルアップを図れるよう、コースフローを紹介しています。

コースフロー参照の **POINT!**

日立製作所のオープンミドルウェア、プラットフォームソフトウェアなどを学ぶために必要な技術が修得できます。

各講座カテゴリーの概要を紹介しています。

統一システム運用管理ソフトウェア JP1 を扱うために必要となる機能や操作、設定方法等の技術が修得できます。

修得したいスキルや目標とした内容を表記しています。

1 JP1製品の導入を検討する方

2 JP1統合管理製品を使用したシステムを構築・運用する方

3 JP1認定エンジニア資格対応

3 JP1認定プロフェッショナル(統合管理)資格対応

講座カテゴリー

日立製品研修

- 日立製品**
- JP1
 - uCosminexus Application Server
 - HiRDB
 - OpenTP1
 - VOS3
 - XDM
 - 日立ストレージ
 - Pentaho

IT/ビジネス研修

- デジタルトランスフォーメーション**
 - DX マインド・プロセス・マネジメント
 - 課題分析 (何をなすべきかを着想する)
 - 仮説構築 (ビジネスモデルをデザインする)
 - プロトタイプと価値検証 (共通)
 - プロトタイプと価値検証 (データ環境構築)
 - プロトタイプと価値検証 (分析モデル構築)
- RPA**
- クラウド / サーバ仮想化**
- IT サービスマネジメント**
- システム基盤**
 - IT 基本
 - オープンソースソフトウェア (OSS)
 - Linux
 - Microsoft
 - ネットワーク
 - ハードウェア
 - セキュリティ
 - データベース
- IT 戦略・IS 企画**
- システム開発**
 - 要件定義 / 設計
 - プログラミング
- 情報処理技術者試験対策**
- IT リテラシ**
- プロジェクトマネジメント**
- コンプライアンス**
- ビジネス / ヒューマン**
- グローバル**
- OT (モノづくり・専門技術)**

コースカリキュラム参照の **POINT!**

コースコード: JPV277 JP1

コース名: JP1操作入門

1日間のマシン実習

1 JP1の代表的な5製品の基本操作を、マシン実習を通して学習します。

2 学習目標: JP1の主要5製品の特徴を説明できる。

- JP1/Automatic Job Management System3 (ジョブ管理) で業務を自動実行するための基本操作ができる。
- JP1/IT Desktop Management2 (資産・配布管理) で資産管理をするための基本操作ができる。
- JP1/Network NodeManager i(ネットワーク管理) でネットワークの監視をするための基本操作ができる。
- JP1/Performance Management (パフォーマンス管理) で稼働情報を監視するための基本操作ができる。
- JP1/Integrated Management 2-Manager (統合管理) でシステム監視するための基本操作ができる。

3 対象者: JP1を使用してシステム運用管理をする方。JP1の導入を検討する方。

前置知識: オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語をご存知で、かつMicrosoft Windowsの操作経験があること。

内容: 1. システム運用管理とJP1
2. ジョブ管理の操作入門
3. 資産・配布管理の操作入門
4. ネットワーク管理の操作入門
5. パフォーマンス管理の操作入門
6. 統合管理の操作入門

備考: このコースは、最新のバージョンに対応します。旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

分野名: JPE016 JP1

<eラーニング> JP1機能概説 (Version 11)

6時間のeラーニング

1 学習目標: JP1製品の特長が説明できる。

- 各管理製品にどのような製品があるか説明できる。
- 各管理の主要製品の主な機能を説明できる。

2 対象者: JP1製品の導入を検討する方。JP1のシステム構築・販売をする方。

前置知識: オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語をご存知のこと。

内容: 1. JP1の基礎知識
2. オートメーション
3. モニタリング
4. コンプライアンス
5. 修了試験 (JP1認定資格試験ではありません)

備考: 開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります。このコースは、JP1 Version 11に対応です。このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

アイコン凡例

1 開催区分

- New 新設コース
- Renewal 改訂コース
- 休講 今期の定期開催はありません

2 開催日数/平均学習時間

コースの開催日数となります。eラーニング、自習テキスト・演習環境の場合は平均学習時間を表記しています。

3 学習形態

学習形態により学習利用環境が異なりますので、Web サイトをご参照のうえ、事前に環境をご確認ください。

バーチャル・クラスルーム (オンライン研修) / 集合研修

- マシン実習: 原則として1人1台のマシンを使用しながらの研修
- グループ演習: グループ演習を中心とした研修
- レクチャ: 座学による研修

その他

- <演習環境>: 職場・ご自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習
- <自習テキスト>: 職場・ご自宅など自習テキストによる自己学習

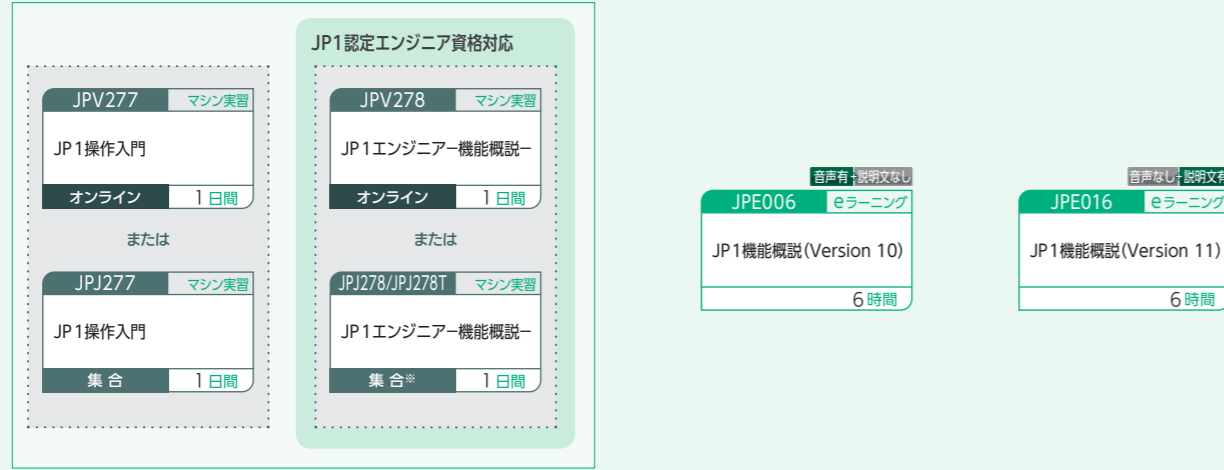
eラーニング

- <オリジナルeラーニング>
 - ナビ機能付き eラーニング
 - スキル定着 eラーニング
 - 動画型 eラーニング
- <マシン演習付きオリジナルeラーニング>
- <提携コースeラーニング>
 - Oracleトレーニング・オンデマンド eラーニング
 - アイテック社 情報処理技術者試験対策 eラーニング
 - SBI大学院 eラーニング
 - ライトワークス社 Microsoft Officeシリーズ eラーニング
 - STANDARD社 AI eラーニング
 - ブラーナー社 eラーニング

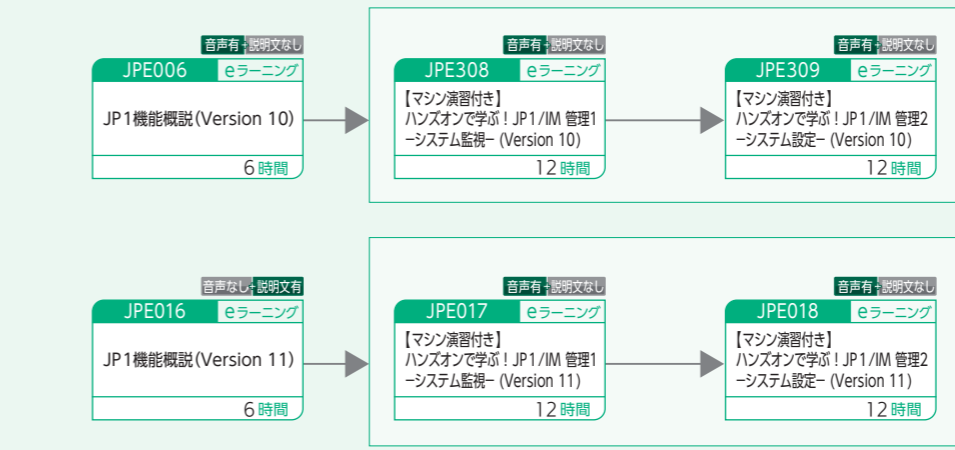
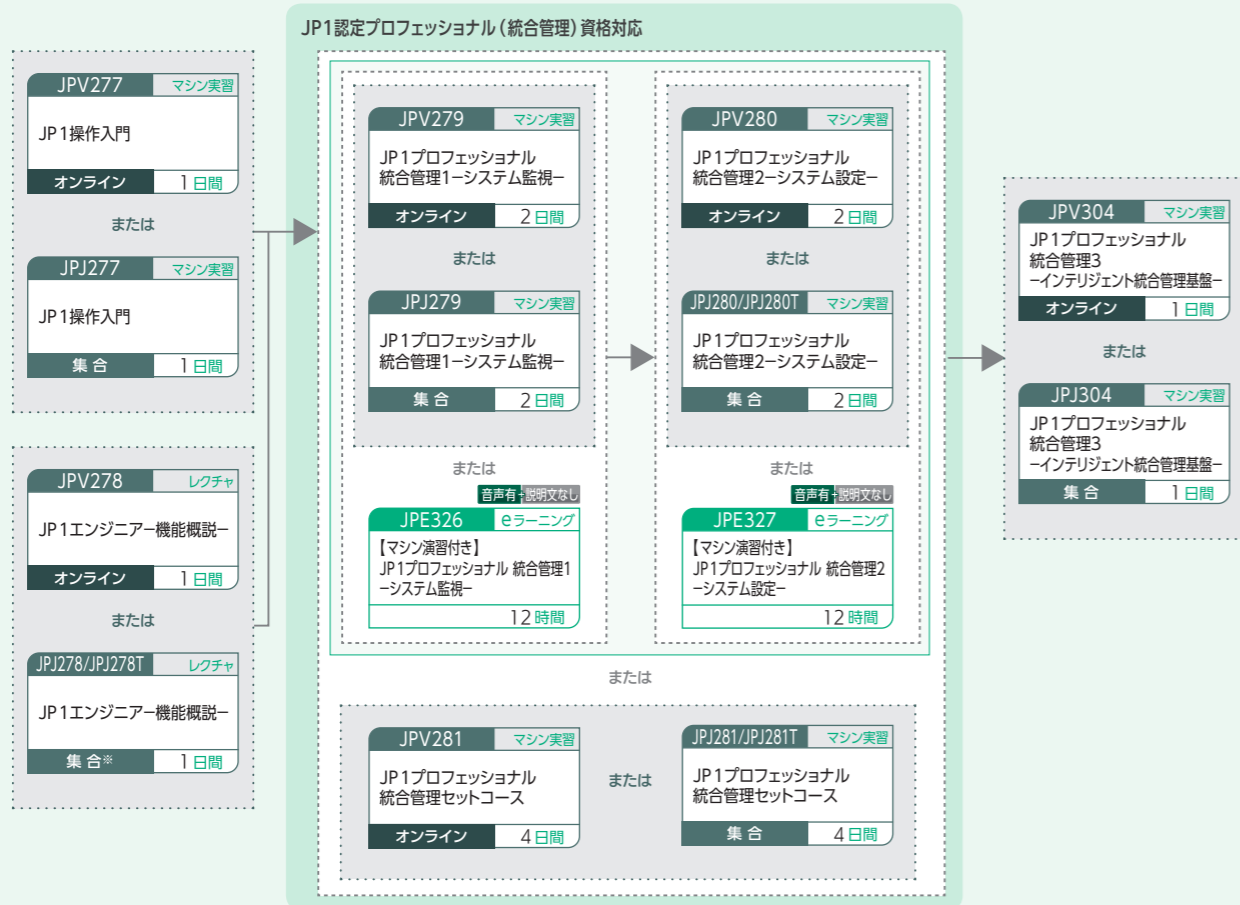
JP1

統合システム運用管理ソフトウェア JP1 を扱うために必要となる機能や操作、設定方法等の技術が修得できます。

● JP1 製品の導入を検討する方



● JP1 統合管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



● JP1 IT運用自動化製品を使用したシステムを構築・運用する方

JPV286 マシン実習
JP1 プロフェッショナル IT 運用自動化
 オンライン 2日間

※ 集合研修での開催をご希望の場合はお問い合わせください。

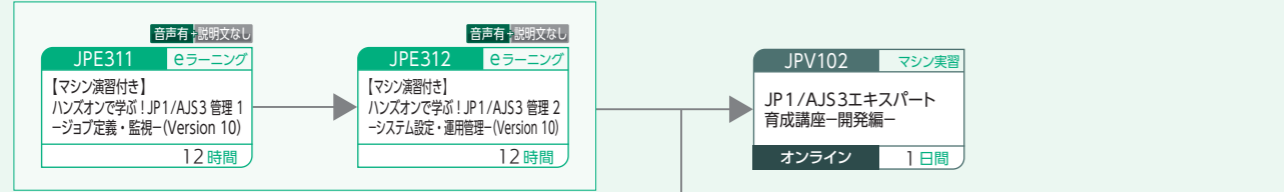
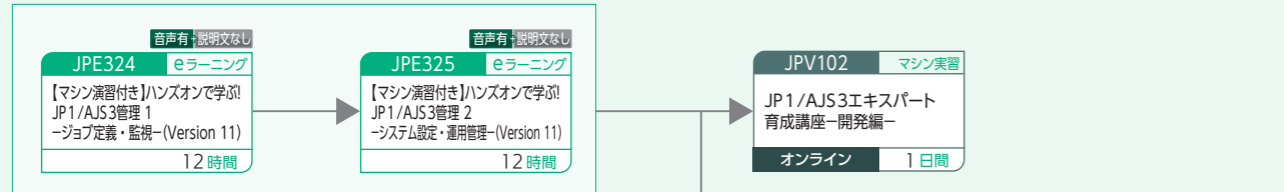
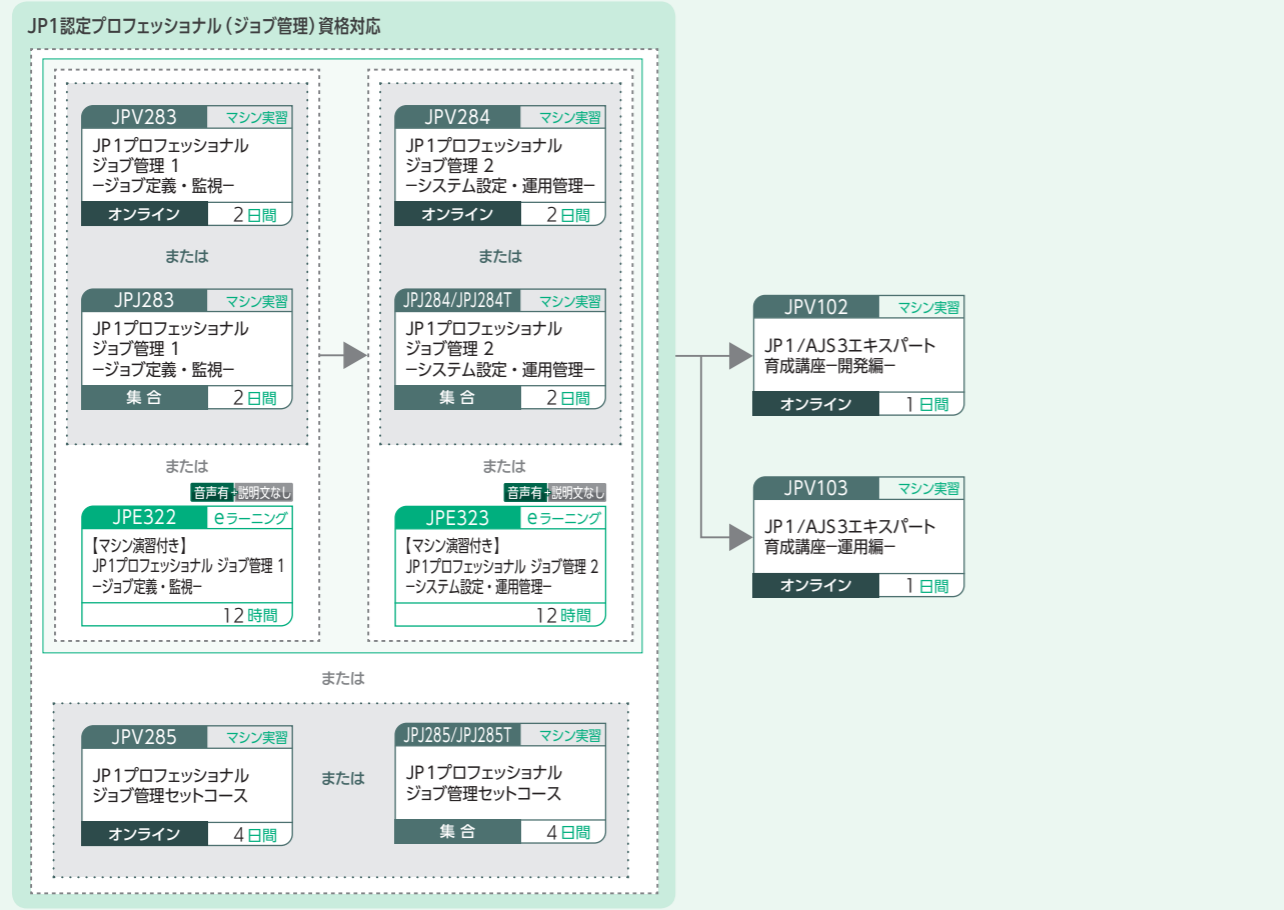
- 音声有+説明文有** : 説明画面と説明文(音声あり)で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)
- 音声有+説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
- 音声なし+説明文有** : 説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

バーチャル・クラスルーム(オンライン研修)については ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/virtualclassroom/>

● JP1 ジョブ管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



※ 集合研修での開催をご希望の場合はお問い合わせください。

音声有・説明文有 : 説明画面と説明文(音声あり)で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)

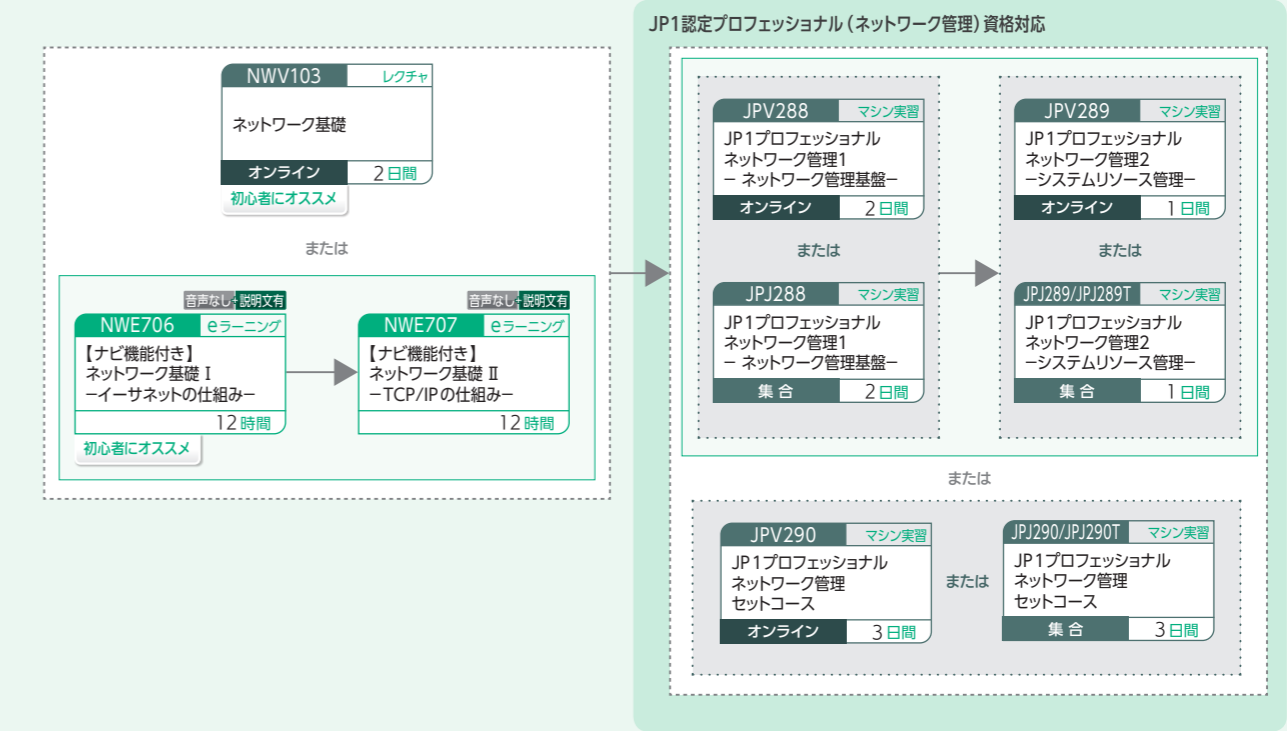
音声なし・説明文有 : 説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

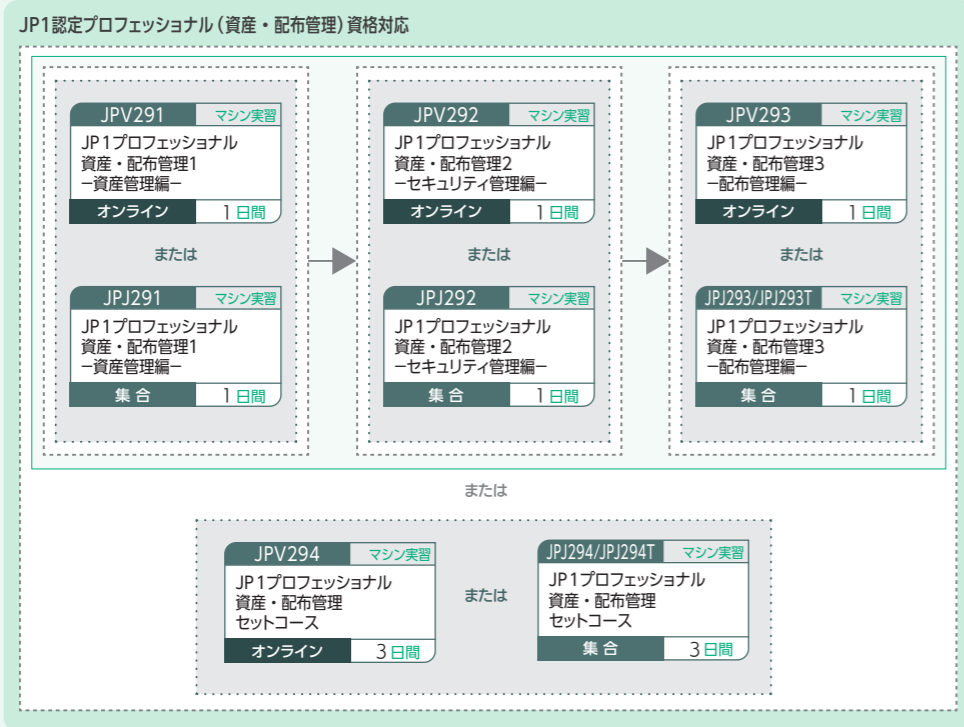
● JP1 クライアント業務自動化製品を使用したシステムを構築・運用する方

JPV303 マシン実習
JP1プロフェッショナル
ジョブ管理
-クライアント業務自動化-
オンライン 1日間

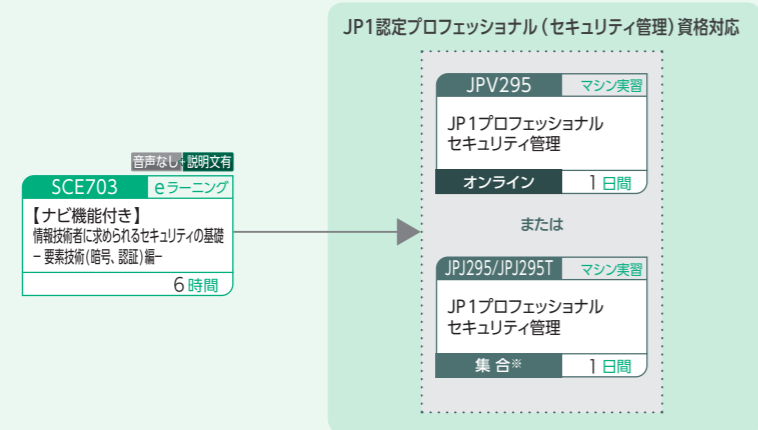
● JP1 ネットワーク管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



● JP1 資産・配布管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



● JP1 セキュリティ管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



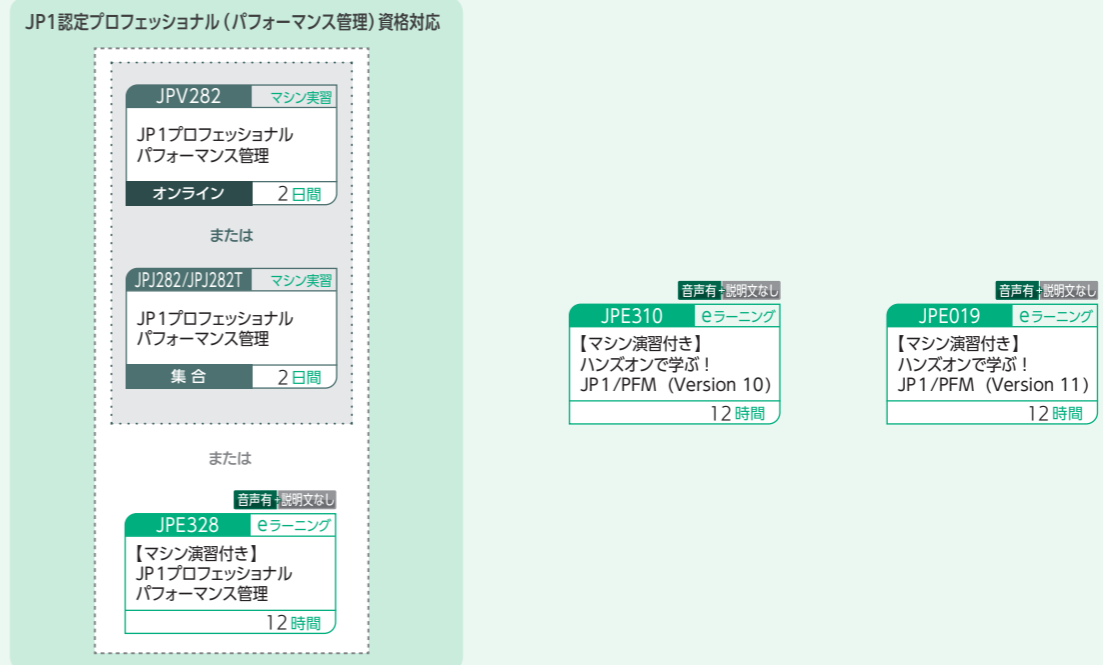
※ 集合研修での開催をご希望の場合はお問い合わせください。

- 音声有・説明文有：説明画面と説明文(音声あり)で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)
- 音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
- 音声なし・説明文有：説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

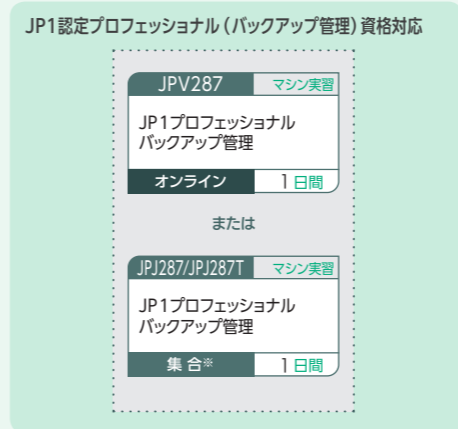
初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

マシ実習 マシンを使用しながらの研修 | グループ実習 グループ演習を中心とした研修 | レクチャ レクチャによる研修 | eラーニング インターネット接続による自己学習 | その他 | 休講 休講 今期の定期開催はありません

● JP1 パフォーマンス管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



● JP1 バックアップ管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



● JP1の販売に携わる方

JPJ302 レクチャ
【日立パートナー様 限定コース】
JP1セールスコーディネーター
1日間

● JP1の各カテゴリ製品のシステム設計をする方



※ 集合研修での開催をご希望の場合はお問い合わせください。

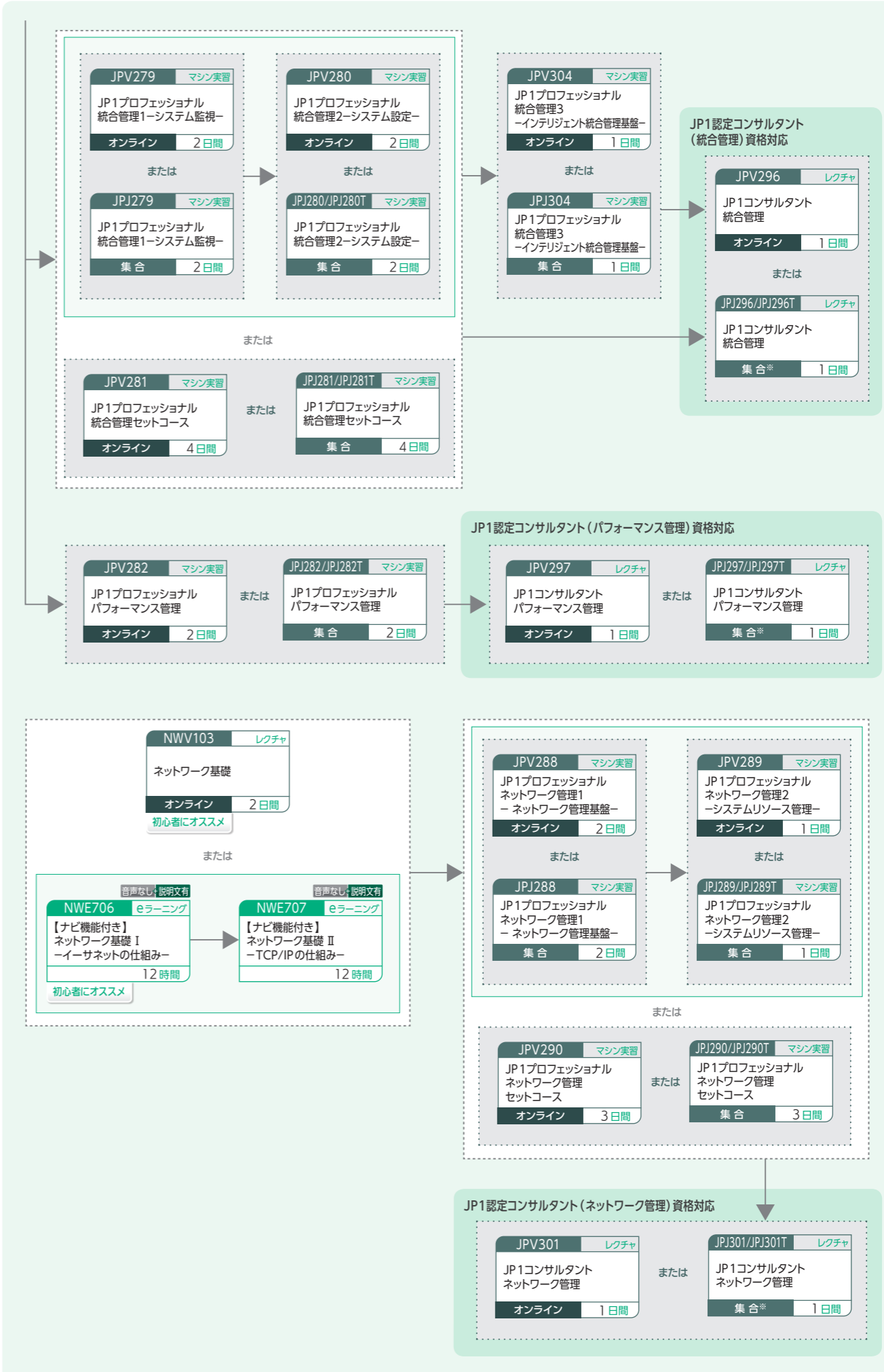
音声有・説明文有：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）

音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）

音声なし・説明文有：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

マシの実習：マシンを使用しながらの研修
 グループ演習：グループ演習を中心とした研修
 レクチャ：座学による研修
 eラーニング：eラーニング
 その他：その他
 休講：休講（今期の定期開催はありません）



コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>
 バーチャル・クラスルーム(オンライン研修)については ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/virtualclassroom/>

- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HiRDB
- OpenTP1
- VOS3
- XDM
- 日立ストレージ
- Pentaho
- デジタルトランスフォーメーション
- DXマインド・プロセス・マネジメント
- 課題分析(何をなすべきかを着想する)
- 仮設構築(ビジネスモデルをデザインする)
- プロトタイプと価値検証(共通)
- プロトタイプと価値検証(データ環境構築)
- プロトタイプと価値検証(分析モデル構築)
- RPA
- クラウド/サーバ仮想化
- ITサービスマネジメント
- システム基盤
- IT基本
- オープンソースソフトウェア(OSS)
- Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- ハードウェア
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画
- システム開発
- 要件定義/設計
- プログラミング
- 情報処理技術者試験対策
- ITリテラシ
- プロジェクトマネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル
- OT(モノづくり・専門技術)

- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HiRDB
- OpenTP1
- VOS3
- XDM
- 日立ストレージ
- Pentaho
- デジタルトランスフォーメーション
- DXマインド・プロセス・マネジメント
- 課題分析(何をなすべきかを着想する)
- 仮設構築(ビジネスモデルをデザインする)
- プロトタイプと価値検証(共通)
- プロトタイプと価値検証(データ環境構築)
- プロトタイプと価値検証(分析モデル構築)
- RPA
- クラウド/サーバ仮想化
- ITサービスマネジメント
- システム基盤
- IT基本
- オープンソースソフトウェア(OSS)
- Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- ハードウェア
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画
- システム開発
- 要件定義/設計
- プログラミング
- 情報処理技術者試験対策
- ITリテラシ
- プロジェクトマネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル
- OT(モノづくり・専門技術)

JPE006 JP1

<eラーニング>
JP1機能概説 (Version 10)
6時間

すべての運用管理分野におけるJP1製品の機能を学習します。

到達目標・JP1製品の特徴が説明できる。
・各管理製品にどのような製品があるか説明できる。
・各管理の主要製品の主な機能を説明できる。

対象者 JP1製品の導入を検討する方、JP1のシステム構築・販売する方。

前置知識 オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語について知識があること。

内 容

1. JP1の基本知識
2. 統合管理
3. サービスレベル管理
4. アベイラビリティ管理
5. IT運用自動化
6. ジョブ管理
7. 資産・配布管理
8. セキュリティ管理
9. ネットワーク管理
10. ストレージ管理
11. 修了試験 (JP1認定資格試験ではありません)

備 考 ・開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
・このコースは、JP1 Version 10対応です。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
・このコースには、資格認定試験はありません。
・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供します。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
・このコースは、旧「JP1エンジニア機能概説 (Version 10)」コースと同等の内容です。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

JPE311 JP1

<eラーニング> [マシン演習付き]
ハンズオンで学ぶ! JP1/AJS3 管理 1
—ジョブ定義・監視— (Version 10)
12時間

JP1/Automatic Job Management System 3 (JP1/AJS3)の業務自動化定義や監視操作を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標 ・自動化する業務の定義、実行、監視操作ができる。
・運用スケジュールの定義、実行、監視操作ができる。
・実行条件の定義、実行、監視操作ができる。

対象者 JP1/AJS3を使用した自動化業務の設定および、運用操作を行う方。

前置知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内 容

1. JP1/AJS3の概要
2. 業務の自動化
 - (1)ジョブ定義 (2)即時実行登録 (3)ジョブ実行状況の監視
3. スケジュールに基づいた業務の自動運用
 - (1)カレンダー情報の設定 (2)スケジュール設定 (3)計画/確定実行登録 (4)実行スケジュールの確認
4. 特定の事象を契機とした業務の自動運用
 - (1)ファイル更新契機のジョブの実行 (2)起動条件の設定
5. 修了試験 (JP1認定資格試験ではありません)

備 考 ・サービス有効期間は21日間です。
【お申し込み前に必ずご確認ください】
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf>
・このコースは、JP1 Version 10対応です。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
・このコースには、資格認定試験はありません。
・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

JPE312 JP1

<eラーニング> [マシン演習付き]
ハンズオンで学ぶ! JP1/AJS3 管理 2
—システム設定・運用管理— (Version 10)
12時間

JP1/Automatic Job Management System 3 (JP1/AJS3)のインストール、設定、運用に関する知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標 ・JP1/AJS3のインストールができる。
・エージェントの追加・変更ができる。
・JP1/AJS3を操作するためのユーザー情報 (JP1ユーザー、資源グループ別権限レベル、ユーザーマッピング) の設定ができる。
・JP1/AJS3のバックアップとリカバリーができる。
・ジョブネットの定義の退避・回復、運用状況監視の操作ができる。
・運用中のジョブネットの変更 (ジョブネット変更・リリース管理) ができる。

対象者 JP1/AJS3を使用してシステム構築・運用管理をする方。

前置知識 「ハンズオンで学ぶ! JP1/AJS3管理1—ジョブ定義・監視— (Version 10)」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容

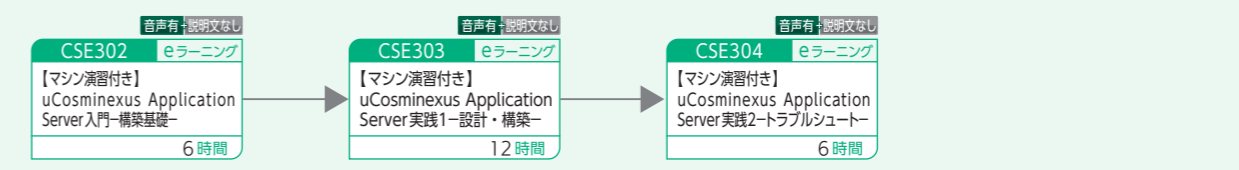
1. JP1/AJS3のインストール
 - (1)JP1/Base、JP1/AJS3-Manager、JP1/AJS3-View
2. ジョブ実行環境の設定
 - (1)エージェント管理機能の設定
3. ユーザー機能の設定
 - (1)JP1ユーザー、アクセス権限、ユーザーマッピング
4. ジョブネットの運用
 - (1)ジョブネット定義の退避・回復 (2)運用状況の監視 (3)運用中のジョブネット変更
5. システムのバックアップとリカバリー
 - (1)JP1/Base、JP1/AJS3のバックアップ、リカバリー (2)JP1/AJS3データベースのバックアップ、リカバリー
6. 修了試験 (JP1認定資格試験ではありません)

備 考 ・サービス有効期間は21日間です。
【お申し込み前に必ずご確認ください】
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf>
・このコースは、JP1 Version 10対応です。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
・このコースには、資格認定試験はありません。
・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

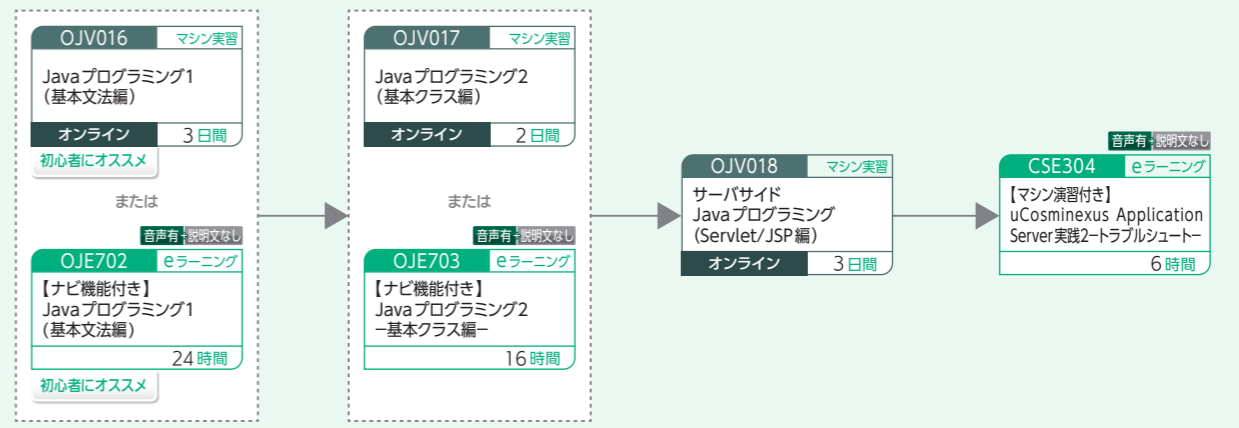
uCosminexus Application Server

uCosminexus Application Serverを使用したアプリケーション開発やシステム構築を行ううえで必要となる知識と技術が修得できます。

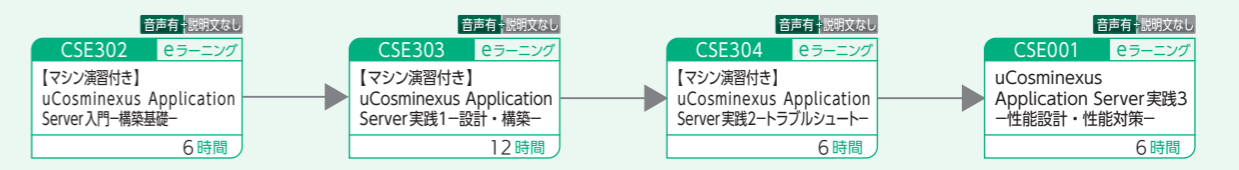
● uCosminexus Application Serverの設計・構築・運用をする方



● uCosminexus Application Serverを使用してWebアプリケーションの開発をする方



● uCosminexus Application Serverを使用したWebシステムの性能設計・性能対策をする方



※下記集合研修のコースについてお問い合わせがある場合は、日立オープンミドルウェア技術者認定センターまでご連絡願います。
【CSJ017 uCosminexus Application Server入門—構築基礎—】
【CSJ018 uCosminexus Application Server実践1—設計・構築—】
【日立オープンミドルウェア技術者認定センター問い合わせ窓口】
https://www.8.hitachi.co.jp/inquiry/it/soft/cert_contact/form.jsp

音声有 + 説明文有 : 説明画面と説明文 (音声あり) で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)
音声有 + 説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
音声なし + 説明文有 : 説明画面と説明文 (音声なし) で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

CSE302 uCosminexus Application Server

<eラーニング>【マシン演習付き】
uCosminexus Application Server 入門
ー構築基礎ー

6時間

uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの構築手法を学習します。uCosminexus Application ServerのインストールからWebシステムの構築までを扱います。

到達目標 ・uCosminexus Application Serverの機能概要を説明できる。
・uCosminexus Application Serverを用いて基本的な構成のWebシステムを構築できる。

対象者 uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムを構築する方、uCosminexus Application Serverの導入を検討している方。

前置知識 Webアプリケーションに関する基礎知識があり、かつMicrosoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内容 1. アプリケーションサーバ概要
2. uCosminexus Application Serverシステム構築の流れ
3. uCosminexus Application Serverのインストール
4. セットアップウィザードを用いたシステム構築
5. 運用管理ポータルを用いた操作・設定
6. 修了試験

備考 ・サービス有効期間は21日間です。
【お申し込み前にも必ずご確認ください】
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必要です)
・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf>
・このコースは、uCosminexus Application Server V9対応です。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
・このコースは、集合研修「uCosminexus Application Server 入門ー構築基礎ー」コース(CSJ017)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
・このコースは、「【マシン演習付き】<eラーニング>Cosminexusエンジニア アプリケーションサーバシステム構築基礎ー」コースの名称を変更したものです。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前には必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

CSE303 uCosminexus Application Server

<eラーニング>【マシン演習付き】
uCosminexus Application Server 実践1
ー設計・構築ー

12時間

uCosminexus Application Serverを用いたシステムの設計・構築・運用に必要なノウハウを学習します。

到達目標 ・要件にあった運用方法や信頼性確保手順を説明できる。
・システム構築に使用するパラメータを設計できる。
・システムの構築・運用ができる。

対象者 uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの設計・構築をする方。

前置知識 【【マシン演習付き】】uCosminexus Application Server入門ー構築基礎ーJeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。さらにWebシステムの構築または運用に携わった経験があること。

内容 1. 作業概要とシステム基本構成
2. システム基本設計
3. システム詳細設計
4. システム構築
5. 修了試験

備考 ・サービス有効期間は21日間です。
【お申し込み前にも必ずご確認ください】
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必要です)
・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf>
・このコースは、uCosminexus Application Server V9対応です。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
・このコースは、集合研修「uCosminexus Application Server 実践1ー設計・構築ー」コース(CSJ018)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前には必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

CSE304 uCosminexus Application Server

<eラーニング>【マシン演習付き】
uCosminexus Application Server 実践2
ートラブルシュートー

6時間

uCosminexus Application Serverを用いたシステムのトラブルシュートについて学習します。トラブルが発生したときの対処方法を理解できます。

到達目標 ・トラブルシュートの流れを説明できる。
・代表的なトラブルについて、原因を切り分けることができる。

対象者 uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの障害対応をする方、JavaEEアプリケーションの開発をする方。

前置知識 【【マシン演習付き】】uCosminexus Application Server実践1ー設計・構築ーJeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。さらにJavaEEアプリケーション開発に携わった経験があること。

内容 1. トラブルシュートの概要
2. トラブルシュート手順
3. 代表的なトラブルの原因切り分け方法
4. 修了試験

備考 ・サービス有効期間は21日間です。
【お申し込み前にも必ずご確認ください】
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必要です)
・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf>
・このコースは、uCosminexus Application Server V9対応です。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
・このコースは、旧「uCosminexus Application Server実践2ートラブルシュートー」コース(集合研修)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前には必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

CSE001 uCosminexus Application Server

<eラーニング>
uCosminexus Application Server 実践3
ー性能設計・性能対策ー

6時間

uCosminexus Application Server を用いたWebシステムにおいて、要件を満たす性能設計、性能対策について学習します。

到達目標 ・性能設計と性能検証の関係について説明できる。
・要件を満たす性能設計ができる。
・ボトルネックの要因を分析し、性能対策ができる

対象者 uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの性能設計および性能対策をする方。

前置知識 【【マシン演習付き】】uCosminexus Application Server実践1ー設計・構築ーおよび【【マシン演習付き】】uCosminexus Application Server実践2ートラブルシュートーJeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

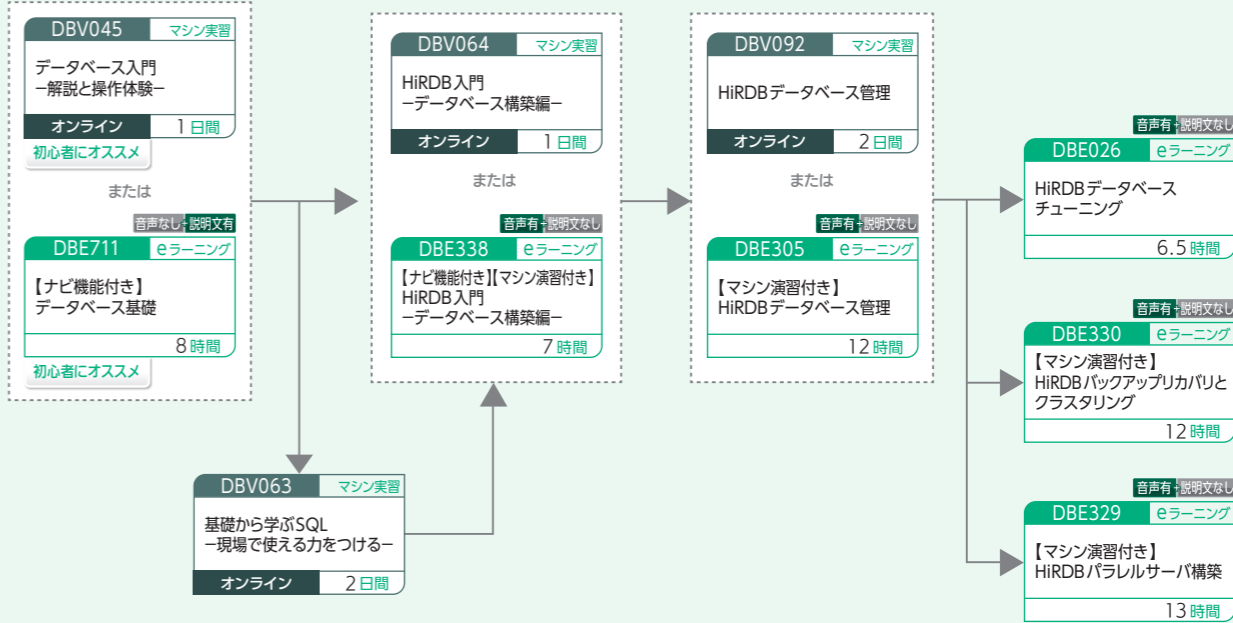
内容 1. 性能設計と性能検証
2. 性能設計
3. 性能検証とチューニング
4. 修了試験

備考 ・開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必要です)
・このコースは、uCosminexus Application Server V9対応です。
・このコースは、旧「uCosminexus Application Server実践3ー性能設計・性能対策ー」コース(集合研修)をeラーニング化したものです。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前には必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

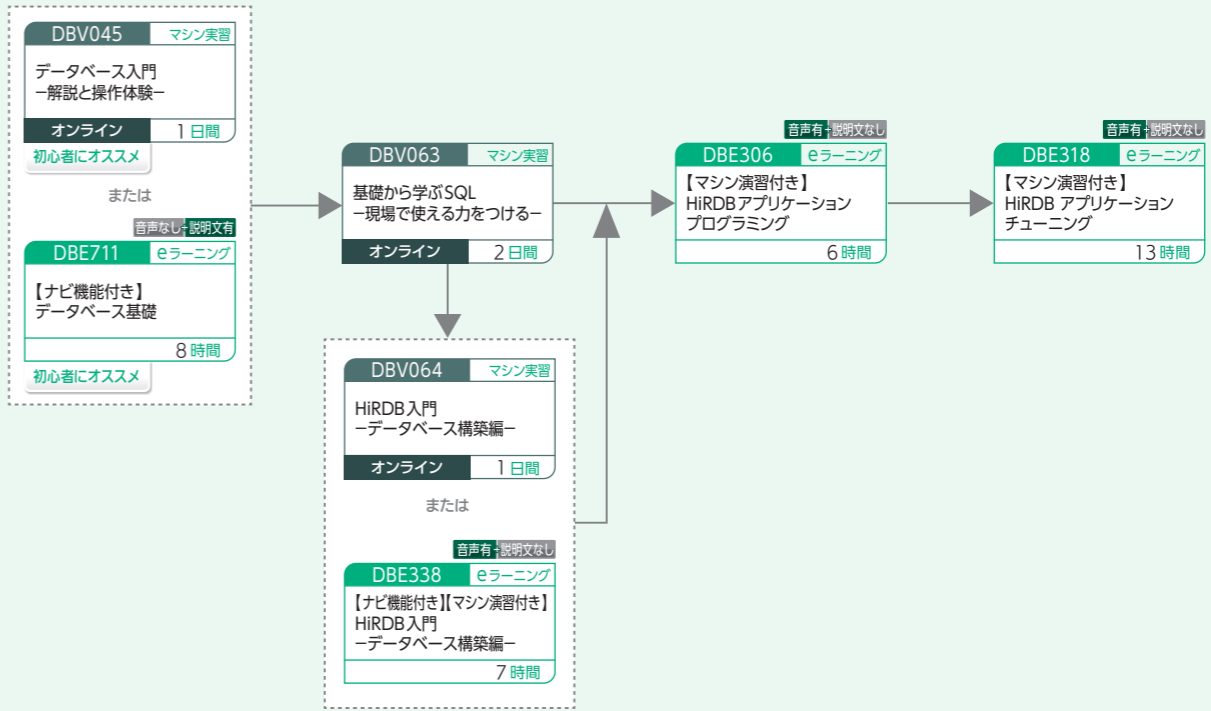
HiRDB

データベースマネジメントシステムであるHiRDBのシステム運用やアプリケーション開発を行ううえで必要となる知識と技術が修得できます。

● HiRDBを使用してデータベースを構築・運用する方



● HiRDBにアクセスするアプリケーションプログラムを開発する方



音声有 + 説明文有 : 説明画面と説明文(音声あり)で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)
 音声有 + 説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必要です)
 音声なし + 説明文有 : 説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

初心者にオススメ : コンピュータ未経験の方が前置知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3
XDM
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
DXマインド・プロセス・マネジメント
課題分析 (何をなすべきかを着想する)
仮説構築 (ビジネスモデルをデザインする)
プロトタイプと価値検証 (共通)
プロトタイプと価値検証 (データ環境構築)
プロトタイプと価値検証 (分析モデル構築)
RPA
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
IT基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル
OT (モノづくり・専門技術)

DBV009 OpenTP1

OpenTP1基礎
【バーチャル・クラスルーム】
1日間

OLTPシステムの構築に必要なOLTPの基礎知識、およびTPモニタとしてのOpenTP1の役割、構成、機能を学習します。

到達目標・トランザクションの定義を説明できる。
・OLTPを説明できる。
・OpenTP1の機能を説明できる。

対象者 OpenTP1システムを構築・管理する方、OpenTP1システムにアクセスするアプリケーションを開発する方。

前提知識 OS、データベースおよびネットワークの基礎知識があること。

内 容

- OLTPの基礎知識
 - (1)クライアントサーバシステム
 - (2)OLTPの基礎知識
 - (3)インターネット連携
- OpenTP1の機能
 - (1)アプリケーション間の通信形態
 - (2)リモートプロシジャコール(RPC)
 - (3)メッセージ送受信形態
 - (4)メッセージキューイング形態
 - (5)OpenTP1のプロセス制御
 - (6)トランザクション制御
- OpenTP1の日常的な運用
 - (1)システムファイル
 - (2)OpenTP1の開始および終了

DBE709 OpenTP1

<eラーニング>【ナビ機能付き】
OpenTP1基礎
6時間

OLTPシステムを構築するにあたり必要となるOLTPの基礎知識、およびTPモニタとしてのOpenTP1の役割、構成、機能について学習します。

到達目標・トランザクションの特徴とOLTPについて理解し説明できる。
・OpenTP1の役割、構成、機能について理解し説明できる。

対象者 OpenTP1システムを構築および管理する方、OpenTP1システムにアクセスするアプリケーションを開発する方。

前提知識 【ナビ機能付き】OLTP概説/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容

- OLTPの基礎知識
 - (1)クライアントサーバシステム
 - (2)OLTPの基礎知識
 - (3)OpenTP1の特徴
 - (4)インターネット連携
- OpenTP1の機能
 - (1)アプリケーション間の通信形態
 - (2)リモートプロシジャコール
 - (3)メッセージ送受信形態
 - (4)メッセージキューイング形態
 - (5)OpenTP1のプロセス制御
 - (6)トランザクション制御
 - (7)OpenTP1のソフトウェア製品
- OpenTP1の日常的な運用
 - (1)システムファイル
 - (2)OpenTP1の運用
- 修了試験

備 考・開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります。
・説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBV041 OpenTP1

OpenTP1の設計と運用
—Server Base編—
【バーチャル・クラスルーム】
2日間

OpenTP1によるOLTPシステムの構築に必要なOpenTP1のシステムの作成、運用方法を学習します。

到達目標・OpenTP1のコマンドを用いOpenTP1システムを構築できる。
・OpenTP1システムの基本的な管理ができる。

対象者 OpenTP1システムを構築する方、OpenTP1システムを管理する方。

前提知識 「OpenTP1基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容

- OpenTP1の概要
- OpenTP1システム構築
- システムファイルの作成
- システム定義の作成
- リソースマネージャの登録
- OpenTP1の運用
- ユーザサーバの設定と運用
- システムファイルの障害対策
- OpenTP1クライアントの設定

DBE023 OpenTP1

<eラーニング>
OpenTP1の設計と運用
—MCF編—
6時間

MCFを使用するOpenTP1のシステムの作成、運用方法について学習します。

到達目標・OpenTP1のコマンドを用い、MCFの機能を実装したOpenTP1システムを構築できる。
・MCFの機能を実装したOpenTP1システムの基本的な管理作業ができる。

対象者 OpenTP1システムを構築する方、OpenTP1システムを管理する方。

前提知識 「OpenTP1設計と運用—Server Base編—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容

- メッセージ送受信形態
- OpenTP1システムの構築
- ネットワークコミュニケーション定義の作成
- OpenTP1の運用
- 修了試験

備 考・開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE014 OpenTP1

<eラーニング>
OpenTP1性能チューニング解説
4時間

OpenTP1における性能見積の考え方と、さまざまな性能チューニング方法について学習します。

到達目標・OpenTP1における性能見積の考え方を理解し説明できる。
・さまざまな性能チューニング方法を理解し説明できる。

対象者 OpenTP1システムを管理する方。

前提知識 「OpenTP1基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容

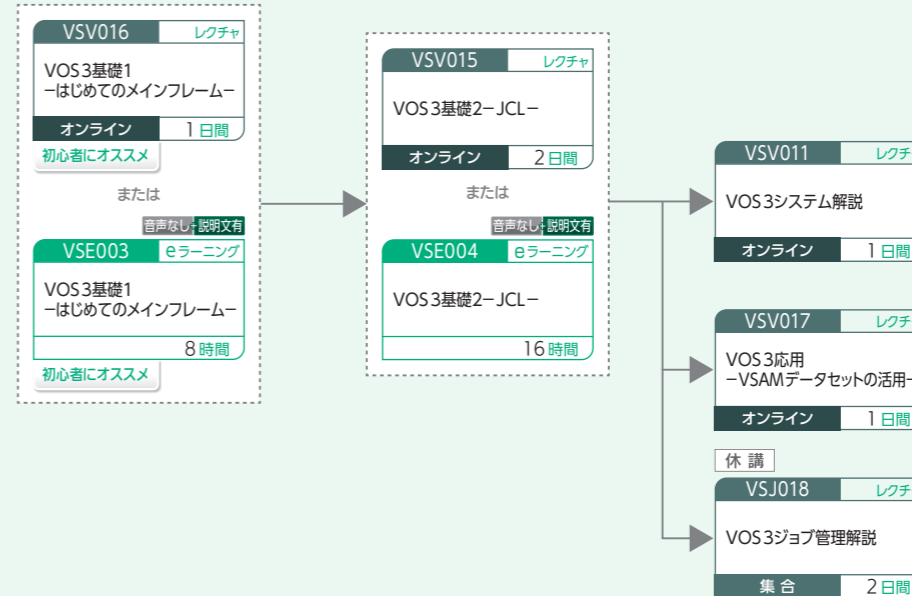
- OpenTP1の通信性能
- OpenTP1のトランザクション性能
- OpenTP1のプロセス・メモリ性能
- OpenTP1の性能全般
- 修了試験

備 考・開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります。
・説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

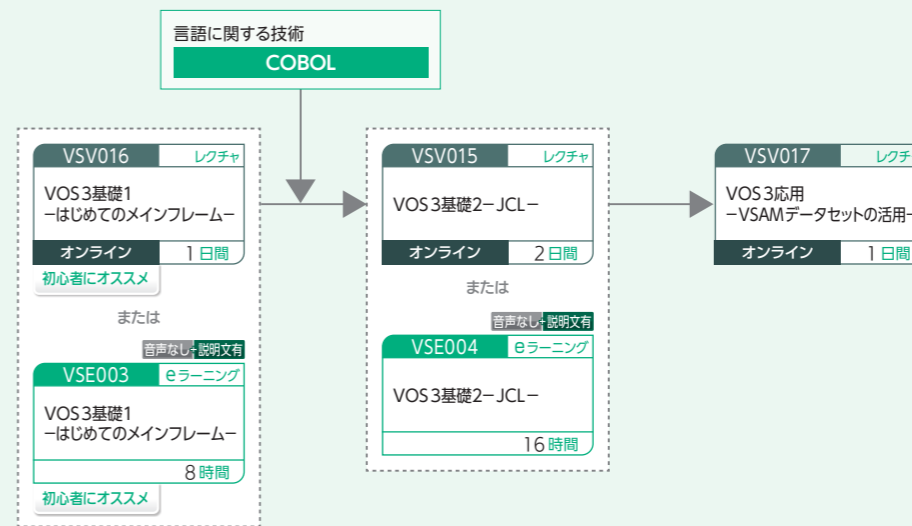
VOS3

日立メインフレーム OSであるVOS3の使用方法や機能、システム運用管理技術が修得できます。

● VOS3システムの運用設計および実装・運用する方



● VOS3システムでアプリケーションを開発する方



- 音声有+説明文有** : 説明画面と説明文(音声あり)で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)
- 音声有+説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
- 音声なし+説明文有** : 説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。



日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3
XDM
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
DXマインド・プロセス・マネジメント
課題分析 (何をなすべきかを着想する)
仮説構築 (ビジネスモデルをデザインする)
プロトタイプと価値検証 (共通)
プロトタイプと価値検証 (データ環境構築)
プロトタイプと価値検証 (分析モデル構築)
RPA
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
IT基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル
OT (モノづくり・専門技術)

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HiRDB
OpenTP1
VOS3
XDM
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
DXマインド・プロセス・マネジメント
課題分析 (何をなすべきかを着想する)
仮説構築 (ビジネスモデルをデザインする)
プロトタイピングと価値検証(共通)
プロトタイピングと価値検証 (データ環境構築)
プロトタイピングと価値検証 (分析モデル構築)
RPA
クラウド/サーバ仮想化
ITサービス マネジメント
システム基盤
IT基本
オープンソース ソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
プログラミング
情報処理技術者 試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ ヒューマン
グローバル
OT(モノづくり・ 専門技術)

マシン実習
マシンを使用しながらの研修グループ演習
グループ演習を中心とした研修レクチャ
座学による研修eラーニング
インターネット接続による自己学習

その他

休講

休講

休講
今期の定期開催はありません

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HiRDB
OpenTP1
VOS3
XDM
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
DXマインド・プロセス・マネジメント
課題分析 (何をなすべきかを着想する)
仮説構築 (ビジネスモデルをデザインする)
プロトタイピングと価値検証(共通)
プロトタイピングと価値検証 (データ環境構築)
プロトタイピングと価値検証 (分析モデル構築)
RPA
クラウド/サーバ仮想化
ITサービス マネジメント
システム基盤
IT基本
オープンソース ソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
プログラミング
情報処理技術者 試験対策
ITリテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ ヒューマン
グローバル
OT(モノづくり・ 専門技術)

レクチャ	VOS3
1日間	VOS3基礎1 －はじめてのメインフレーム－ 【バーチャル・クラスルーム】
メインフレームシステムの構成要素(ハードウェア/ソフトウェア)、および日立メインフレームのオペレーティングシステムであるVOS3の基本的な機能を学習します。	

到達目標・メインフレームシステムの概要を説明できる。
・メインフレームシステムのデータ管理方法を説明できる。
・メインフレームシステムでのプログラム開発手順を説明できる。
・メインフレームシステムでのジョブの実行手順を説明できる。
・メインフレームシステムの運用管理機能を説明できる。

対象者 はじめてVOS3を学習する方で、今後アプリケーション開発や運用・管理をする方。

前提知識 特に必要としません。

内容
1. メインフレームシステムの概要
2. メインフレームシステムのデータ管理方式
3. メインフレームシステムでのプログラム開発手順
4. メインフレームシステムでのジョブの実行手順
5. メインフレームシステムの運用管理機能

eラーニング	VOS3
8時間	<eラーニング>VOS3基礎1 －はじめてのメインフレーム－
メインフレームシステムの構成要素(ハードウェア/ソフトウェア)、および日立メインフレームのオペレーティングシステムであるVOS3の基本的な機能を学習します。	

到達目標・メインフレームシステムの概要を説明できる。
・メインフレームシステムのデータ管理方法を説明できる。
・メインフレームシステムでのプログラム開発手順を説明できる。
・メインフレームシステムでのジョブの実行手順を説明できる。
・メインフレームシステムの運用管理機能を説明できる。

対象者 はじめてVOS3を学習する方で、今後アプリケーション開発や運用・管理をする方。

前提知識 特に必要としません。

内容
1. メインフレームシステムの概要
2. メインフレームシステムのデータ管理方式
3. メインフレームシステムでのプログラム開発手順
4. メインフレームシステムでのジョブの実行手順
5. メインフレームシステムの運用管理機能
6. 修了試験

備考 ・開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります。
・説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)
・このコースは、集合研修「VOS3基礎1－はじめてのメインフレーム－」コース(VSJ016)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

レクチャ	VOS3
2日間	VOS3基礎2－JCL－ 【バーチャル・クラスルーム】
VOS3システムでジョブの実行に必要な基本的なJCL(ジョブ制御文)や、システムメッセージリストの見方を学習します。	

到達目標・JCL(ジョブ制御文)の役割を説明できる。
・JOB文、EXEC文、DD文を使用してジョブ制御文を作成できる。
・システムメッセージリストからジョブ実行に関する情報を読み取ることができる。

対象者 VOS3システムでJCL(ジョブ制御文)を使用したアプリケーション開発や運用を行う方、ジョブ制御文を基礎から学習したい方。

前提知識 「VOS3基礎1－はじめてのメインフレーム－」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容
1. JCL(ジョブ制御文)の役割
2. ジョブの実行過程
3. ジョブ制御文
(1)JOB文
(2)EXEC文
(3)DD文
4. システムメッセージリストの見方

備考 このコースは、旧「VOS3使用法」コース(集合研修)と同等の内容です。すでにご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。

レクチャ	VOS3	休講
2日間	VOS3ジョブ管理解説	
VOS3のシステム管理をするために必要となるJSS3の機能と設定方法を学習します。		

到達目標・JSS3の機能を説明できる。
・JSS3の起動の流れや仕組みを説明できる。
・ジョブ入出力に関するパラメタを説明できる。
・ジョブの実行スケジュールに関するパラメタを説明できる。

対象者 VOS3システムの運用管理に携わる方。
前提知識 「VOS3基礎2－JCL－」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容
1. JSS3の概要
2. JSS3の起動と初期設定
(1)JSS3起動用カタログデプロシジャ
(2)JSS3初期設定パラメタ
3. ジョブの実行管理
(1)ジョブの流れ
(2)ジョブの入力
(3)ジョブの実行スケジュール
(4)ジョブの実行制御
(5)ジョブ結果の出力
(6)スプールとジョブキューの管理

備考 ※このコースは、休講とさせていただきます。

eラーニング	VOS3
16時間	<eラーニング> VOS3基礎2－JCL－
VOS3システムでジョブの実行に必要な基本的なJCL(ジョブ制御文)や、システムメッセージリストの見方を学習します。	

到達目標・JCL(ジョブ制御文)の役割を説明できる。
・JOB文、EXEC文、DD文を使用してジョブ制御文を作成できる。
・システムメッセージリストからジョブ実行に関する情報を読み取ることができる。

対象者 VOS3システムでJCL(ジョブ制御文)を使用したアプリケーション開発や運用を行う方、ジョブ制御文を基礎から学習したい方。

前提知識 「VOS3基礎1－はじめてのメインフレーム－」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容
1. JCL(ジョブ制御文)の役割
2. ジョブの実行過程
3. ジョブ制御文
(1)JOB文
(2)EXEC文
(3)DD文
4. システムメッセージリストの見方
5. 修了試験

備考 ・開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります。
・説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)
・このコースは、旧「VOS3使用法」コース(集合研修)、または「VOS3基礎2－JCL－」コース(VSJ015)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

レクチャ	VOS3
1日間	VOS3システム解説 【バーチャル・クラスルーム】
VOS3システムを管理するために必要となるVOS3の基礎知識や機能を学習します。	

到達目標・VOS3システムの処理形態を説明できる。
・仮想空間の構成について説明できる。
・仮想空間と記憶装置(主記憶・補助記憶)の関係を説明できる。
・TRUSTの機能について説明できる。
・システム運用の自動化機能について説明できる。

対象者 VOS3システムを管理する方。

前提知識 「VOS3基礎2－JCL－」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること、VOS3の利用経験が2年以上であると、より理解が深まります。

内容
1. VOS3の概要
2. 各種処理形態
(1)バッチ
(2)TSS
(3)DB/DC
3. 仮想記憶装置のしくみ
4. データ処理の高速化機能
(1)LPAの利用
(2)XPL
(3)VSAMHAF
(4)VIO
(5)SAMSEF
5. セキュリティ管理機能(TRUST)
6. システム運用の自動化機能
(1)AOMPLUS
(2)HOPSS3
(3)JP1との連携

レクチャ	VOS3
1日間	VOS3応用 －VSAMデータセットの活用－ 【バーチャル・クラスルーム】
VOS3システムを管理、およびVOS3システムでアプリケーションプログラムを開発するうえで必要となるVSAMの基礎知識や機能を学習します。	

到達目標・VSAMデータセットの特長を説明できる。
・VSAMユーティリティの機能を説明できる。
・ライブラリ管理システム LIME E2の機能を説明できる。
・カタログの役割、機能を説明できる。

対象者 VOS3システムの運用を行う方、VOS3システムでアプリケーションの開発を行う方。

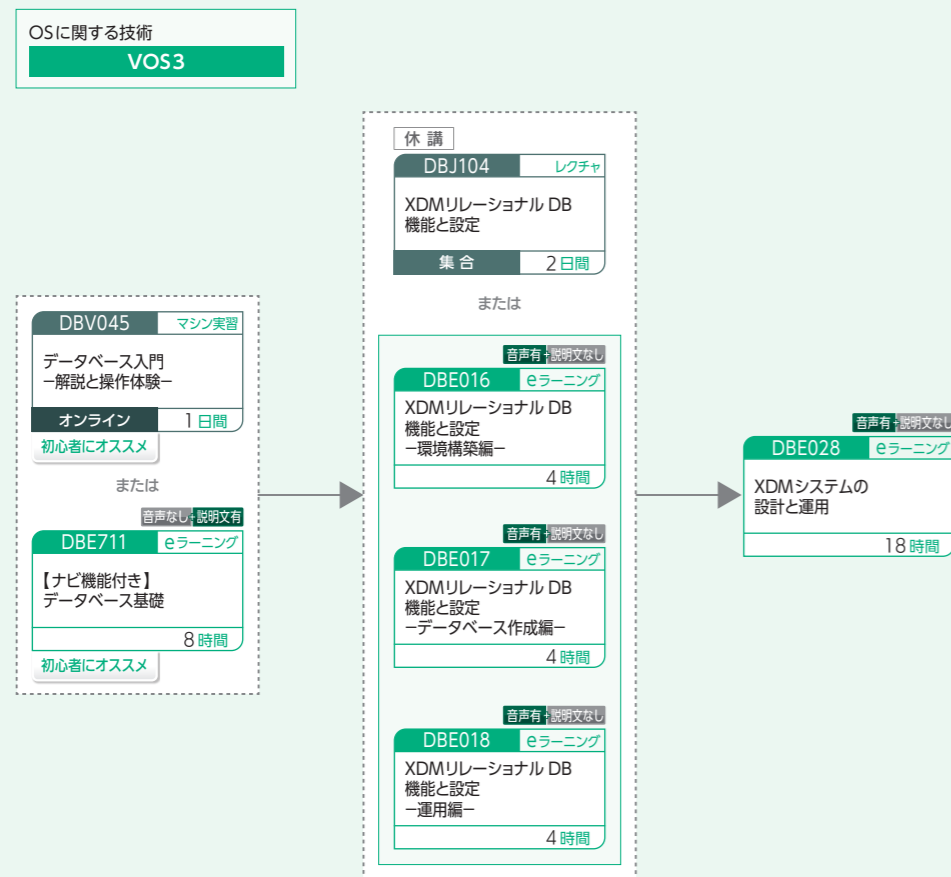
前提知識 「VOS3基礎2－JCL－」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容
1. データセットとディスクボリューム
2. VSAMデータセットの特長
3. ライブラリ管理システムLIMEE2の機能
4. データセットのカタログ機能
5. VSAMユーティリティの機能

XDM

日立メインフレーム DB/DCであるXDMの機能や設定、システム運用管理技術が修得できます。

● XDMを使用してリレーショナルデータベースを構築・運用・設計する方



音声有・説明文有：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）

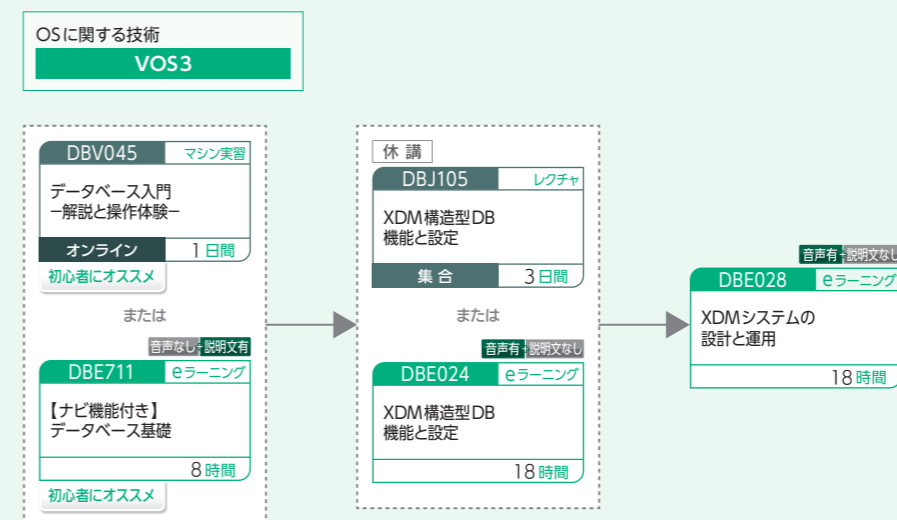
音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）

音声なし・説明文有：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

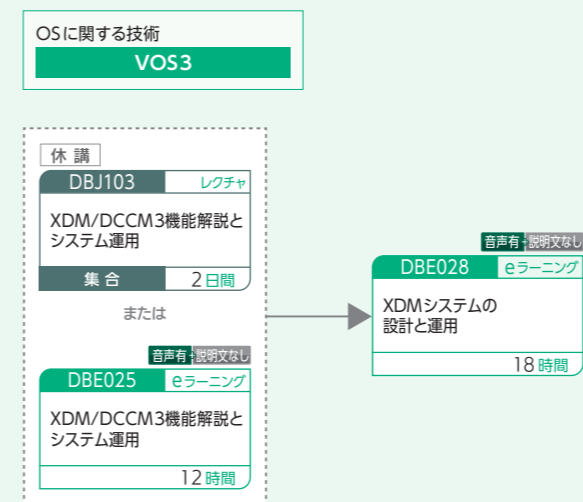
初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

● XDMを使用して構造型データベースを構築・運用・設計する方



● XDM/DCCM3オンラインシステムを構築・運用・設計する方



日立ストレージ

日立ブロックストレージに関する製品・機能について必要な知識やスキルを修得できます。

● ストレージの基礎および周辺知識を知りたい方

【ストレージ】

- CLE703** eラーニング 音声有、説明文なし
【ナビ機能付き】
ストレージ関連者向け
サーバ仮想化技術概説
3時間
- SLV076** レクチャ 音声有、説明文なし
日立ストレージ製品概要
-ストレージ基礎・
製品紹介編-
オンライン 1日間
- SJE708** eラーニング 音声なし、説明文有
【ナビ機能付き】
ストレージシステム基礎
8時間

【周辺知識】

- SJE705** eラーニング 音声有、説明文なし
【ナビ機能付き】
SAN概説
5時間
- SJE016** eラーニング 音声有、説明文なし
Fibre Channel概説
-日立ストレージ・ホストの
接続を理解するために-
4時間
- SJE017** eラーニング 音声有、説明文なし
SATA入門
2時間
- SJE028** eラーニング 音声有、説明文なし
SCSI入門
-ストレージインタフェースを
理解するために-
2時間
- SJE018** eラーニング 音声有、説明文なし
SAS (Serial Attached SCSI)
入門-ストレージインタフェース
を理解するために-
2時間

● 日立ストレージのハードウェア製品特長・構成を知りたい方

SLV076 レクチャ 音声有、説明文なし

日立ストレージ製品概要
-ストレージ基礎・
製品紹介編-
オンライン 1日間

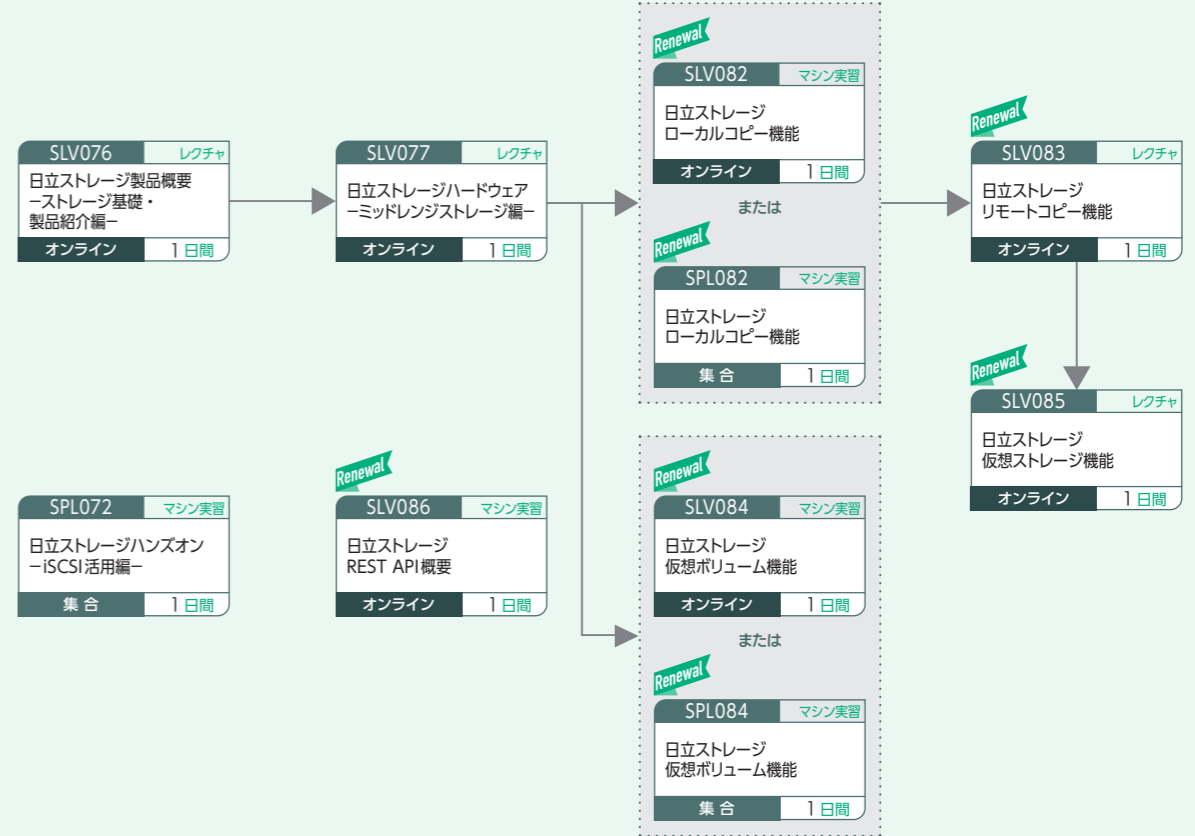
➔

SLV077 レクチャ 音声有、説明文なし

日立ストレージハードウェア
-ミッドレンジストレージ編-
オンライン 1日間

※SLV077は、製品シミュレータを使用したストレージ設定操作が体験できます。

● 日立ストレージの各機能を使用したシステムの構築・運用技術を知りたい方



- 音声有、説明文有**：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
- 音声有、説明文なし**：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
- 音声なし、説明文有**：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

マシン実習
マシンを使用しながらの研修

グループ演習
グループ演習を中心とした研修

レクチャ
座学による研修

eラーニング
インターネット接続による自己学習

その他

休講 休講
今期の定期開催はありません

PDV005 Pentaho



3日間

**(Pentaho認定) データ統合の基本
【バーチャル・クラスルーム】**

Pentahoデータ統合を活用し、生産性を向上させるスキルを修得
できます。また、Pentahoのデータ統合機能を使用して、さまざま
なアプリケーションにデータを配信する方法を学習できます。

- 到達目標**
- ステップやホップを含む基本的なデータ変換の作成、プレビュー、実行ができる。
 - データ変換の結果をメトリクスビューやログビューで確認できる。
 - 基本的なセキュリティを含むPentahoエンタープライズレポジトリを設定できる。
 - Pentahoエンタープライズレポジトリを使用できる。
 - データ変換ステップのためのエラーハンドリングができる。
 - データベース接続を作成してデータベース探索が行える。
 - データ変換の作成が行える。
 - ストリーム上での複雑な計算を行うデータ変換の作成できる。
 - パラメータや環境変数を使った繰り返しのデータ変換を作成できる。
 - データ補正データクレンジングにPentahoデータ統合を使用できる。
 - 異なるデータソースへデータをロードできる。
 - ジョブを作成できる。
 - データ変換やジョブのためのログを設定し、結果を検証できる。
 - Pentahoデータ統合、Pentahoエンタープライズコンソールから、スケジュールしてモニタリングできる。

対象者 データアナリストをめざす方。

前提知識 特に必要としません。

- 内容**
1. 基本的なデータ変換の作成、プレビュー、実行
 2. メトリクスビューやログビュー
 3. Pentahoエンタープライズレポジトリ
 4. エラーハンドリング
 5. データベース接続
 6. 各種データ変換
 7. データ統合
 8. ジョブの作成

備考 カリキュラムの詳細は、都合により多少変更される場合がございます。

DXマインド・プロセス・マネジメント

DXがもたらすビジネスへのインパクト、可能性について理解し、DXを推進するためのマインドを修得できます。

● DXを推進するためのマインドセット・プロセスを理解したい方

HSV175	レクチャ
データ活用パターンとビジネス着想	
オンライン	0.5日間

HSV170	グループ演習
イノベーション思考 -単なるアイデアで終わらせないためのロジカル・システム・デザイン思考の組み合わせ-	
オンライン	2日間

HSJ163	グループ演習
クリエイティブシンキング	
集合	1日間

- 音声有 + 説明文有** : 説明画面と説明文 (音声あり) で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)
- 音声有 + 説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
- 音声なし + 説明文有** : 説明画面と説明文 (音声なし) で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

HSJ163 DXマインド・プロセス・マネジメント



クリエイティブシンキング

1日間

イノベーションを切り開くために必須となる、クリエイティブなアイデアを閃かせるためのプロセスを実践演習を通して体験・学習します。

- 到達目標**
- ・クリエイティブなアイデアを閃かせるプロセスを実体験を通して理解することができる。
 - ・クリエイティブなアイデアを閃かせるために必要な思考、行動様式を知ることができる。

対象者 新しいことを考え出したいすべての方。


前提知識 特に必要としません。


- 内容**
1. なぜ今クリエイティブシンキングなのか?
 2. イノベーションと知識創造社会とは何か?
 3. IT人材にとってのクリエイティブ、イノベーションとは?
 4. クリエイティブシンキングの実体とは?
 5. なぜ、できないのか? どうすれば、できるのか?
 6. どうすれば実務で活かせるのか?
 7. ワークショップ
 8. 最後に


備考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3
XDM
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
DXマインド・プロセス・マネジメント
課題分析(何をなすべきかを着想する)
仮説構築(ビジネスモデルをデザインする)
プロトタイプと価値検証(共通)
プロトタイプと価値検証(データ環境構築)
プロトタイプと価値検証(分析モデル構築)
RPA
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
IT基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル
OT(モノづくり・専門技術)

課題分析(何をなすべきかを着想する)

IOE006	課題分析(何をなすべきかを着想する)	New
	<eラーニング> IoT概説	
3時間		
IoTの全体像を理解します。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> IoTとは何かを理解することができる。 IoTシステムを理解することができる。 各社のIoTの動向を理解することができる。 IoTの技術的なポイントを理解することができる。 	
対象者	IoTを適用するSE、IoT関連製品をこれから開発する方	
前提知識	特に必要としません。	
内 容	<ol style="list-style-type: none"> IoTとは IoTシステムと関連技術 IoT技術動向 各社の動向 	
備 考	<ul style="list-style-type: none"> 開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります。 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です) このコースは、集合研修「IoT概説」コース(IOV001)と同等の内容です。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 	

IOV001	課題分析(何をなすべきかを着想する)
	IoT概説 【バーチャル・クラスルーム】
0.5日間	
IoTの全体像を理解します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> IoTとは何かを理解できる。 IoTのシステム構成を理解できる。 各社のIoTの動向を理解できる。 IoTの技術的なポイントを理解できる。
対象者	IoTを適用するSE、IoT関連製品を開発する初級技術者の方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	<ol style="list-style-type: none"> IoTとは IoTシステムと関連技術 IoT技術動向 各社の動向

HSV175	課題分析(何をなすべきかを着想する)
	データ利活用のパターンとビジネス着想 【バーチャル・クラスルーム】
0.5日間	
IoTの事例は昨今たくさんあります。ただ、いくつ事例を見ても、それだけでは自分のビジネスにおける活用は思いつきません。事例で示されるのはそのビジネス、その状況での非常に具体的な話であって、自分のビジネスとは何から何まで条件が違うのですから、どの箇所を参考にすればいいのかわかりません。適度と同じところと違うところが混在する抽象化が着想には必要となります。本コースでは、データ利活用を9パターンに抽象化し、具体的な活用例とそれらを抽象化・整理したパターンを交互に見ること、自らのビジネスに置き換えたデータ利活用のアイデア着想ができます。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> データ利活用の事例をパターン化して理解できる。 自分のドメインや担当顧客でのデータ利活用を発想できる。 顧客と一緒に発想するワークショップのファシリテーションを自分がやってみようと思える。
対象者	フロント業務を行っており、事業案やサービス案を顧客と一緒に考える必要のある方、データを利活用したサービス提案をしなくてはいけないが顧客側でももやもやしており、着想のきっかけをつかみたい方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	<ol style="list-style-type: none"> はじめに パターン(1) 入力の手間を無くせる パターン(2) 行かなくても確認できる パターン(3) 判断を肩代わりする パターン(4) 未然に防げる パターン(5) 改善のサイクルが素早く回る パターン(6) 最適配分してくれる パターン(7) 問題と解決策を引き合わせる パターン(8) 利害が一致する パターン(9) タイムリーにコンタクトできる そして実務へ

デジタルトランスフォーメーション

デジタル化に対応するための要素技術やデジタルビジネスに必要なスキルが修得できます。

仮説構築(ビジネスモデルをデザインする)

あらゆるモノをサービスとして提供する「XaaS」を実現するためにビジネスモデルを構想する思考法、フレームワークなどを修得できます。

● ビジネスモデルを構想する際に活用できる、思考法、可視化のフレームワークを活用したい方

HSV159 グループ演習	HSV213 グループ演習	HSV210 グループ演習	HSV209 グループ演習
顧客価値発見と ビジネスモデルのデザイン	デジタル時代における成果型 サービスのデザイン→ジョブ理論と ダブルダイヤモンドフレームワークの活用→	デジタル時代における 顧客接点のデザイン →顧客体験ジャーニーマップの活用→	デジタル時代における 収益モデルのデザイン →KPIツリーによる事業性の評価→
オンライン 2日間	オンライン 1日間	オンライン 1日間	オンライン 1日間
Renewal	HSV223 グループ演習		
	システムシンキング基礎 →問題を構成する互いに影響しあう 要素の「つながり」を可視化する→		
	オンライン 1日間		

● 事業戦略を立案するためのビジネスフレームワークの活用や、サービスデザイン、リスクマネジメントを実践したい方

PDU	音声なし+説明文有	音声なし+説明文有	休 講
HSV182 グループ演習	ITE006 eラーニング	SCE011 eラーニング	SCJ053 グループ演習
(PDU)ITビジネスにおける 戦略の基本と最新動向 →イノベーション実現のために→	SLAにおける サービスレベル設計の基礎	サイバー攻撃対応基礎 (知識修得編)	サイバー攻撃対応 コミュニケーション訓練 (ITシステム編)
オンライン 1日間	4時間	3時間	集合 0.5日間
New	New	New	New
HSE133 eラーニング	DBE041 eラーニング	DBE042 eラーニング	HSV215 グループ演習
視座を高める システムシンキング	考えてみようDX →ビジネス着想編→	考えてみようDX →データ活用による業務改善編→	シミュレーションゲームで学ぶ カスタマーサクセス→サブスクリプション時代の顧客との付き合い方→
6.5時間	3時間	3時間	オンライン 0.5日間

音声有+説明文有 : 説明画面と説明文(音声あり)で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)
音声有+説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
音声なし+説明文有 : 説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

バーチャル・クラスルーム(オンライン研修)については ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/virtualclassroom/>

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3
XDM
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
DXマインド・プロセス・マネジメント
課題分析(何をなすべきかを着想する)
仮説構築(ビジネスモデルをデザインする)
プロトタイプと価値検証(共通)
プロトタイプと価値検証(データ環境構築)
プロトタイプと価値検証(分析モデル構築)
RPA
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
IT基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル
OT(モノづくり・専門技術)



プロトタイプと価値検証(共通)

IoT/AI/ビッグデータなどの技術を理解し、ビジネス価値検証も含めたアーキテクチャ設計や、システム開発手順・実装技術、データサイエンス活用計画を修得できます。

● SoEを実現するためのビジネス/OT/ITアーキテクチャ設計を行う方

DBV106 <small>グループ演習</small>	IOV020 <small>レクチャ</small>	IOV021 <small>レクチャ</small>	CTV065 <small>グループ演習</small>
ビッグデータにおけるシステム設計実践-多様なデータを統合しビッグデータとして活用する-	「IoTシステム技術検定(基礎検定)」対策講座	「IoTシステム技術検定(中級)」対策講座	エンタープライズITアーキテクチャのセオリー
オンライン 1日間	オンライン 1日間	オンライン 2日間	オンライン 2日間

● SoEを実現するためのビジネス/OT/ITアーキテクチャに基づき、システム開発・実装をされる方

SPJ064 <small>グループ演習</small>	SPV060 <small>マシン実習</small>	SPD002 <small>グループ演習</small>	SPV059 <small>マシン実習</small>
スクラムの基礎と実践	体験! 最新OSSを活用したDevOps入門-Lumadaにおけるアプリケーション開発の流れ-	DevOpsテスト入門~継続的デリバリーを実現するテスト自動化の基礎~	(PDU)実践! DevOpsによるアジャイル開発-お客様に素早く価値を届けるために-
集合 1日間	オンライン 1日間	集合 1日間	オンライン 1日間

SPD003 <small>グループ演習</small>	DBJ121 <small>マシン実習</small>	IOV022 <small>マシン実習</small>
テストプロセス改善~評価・改善案策定を一日で習得!~	NVIDIA JetsonNanoを用いたAIエッジコンピューティングハンズオン-ディープラーニングxJetbotによる自動走行体験-	デジタルビジネスを支えるIoTの理解
集合 1日間	集合 2日間	オンライン 3日間

● データサイエンティストのためのビジネスカ、サイエンスカ、エンジニアリングカを高めたい方

HSV198 <small>グループ演習</small>	HSE116 <small>eラーニング</small>	HSV109 <small>マシン実習</small>	AIE004 <small>eラーニング</small>
定量分析のスキル	データ分析手法の理論と適用	データ分析手法の理論と適用-ビジネスにおける統計的手法活用の広がりに	AIリテラシー-AI技術の概要と活用事例-
オンライン 2日間	14時間	オンライン 2日間	20時間

- 音声有・説明文有** : 説明画面と説明文(音声あり)で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)
- 音声有・説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
- 音声なし・説明文有** : 説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

初心者におススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修	グループ演習 グループ演習を中心とした研修	レクチャ 座学による研修	eラーニング インターネット接続による自己学習	その他	休講 <small>休講</small> 今期の定期開催はありません
-------------------------------	---------------------------------	------------------------	-----------------------------------	------------	--

DBV106 プロトタイプと価値検証(共通)

グループ演習

ビッグデータにおけるシステム設計実践-多様なデータを統合しビッグデータとして活用する-【バーチャル・クラスルーム】

1日間

設備保守支援システム、業務最適化支援システムからテーマを選択し、それを実現するためのシステムの初期設計を行います。どこにどのような装置やソフトウェアを配置し、それらをどのようにつなげるか検討し、議論することでデータ活用システムの設計力を身につけます。

到達目標 ・システムを構成するうえで必要となる要素技術の全体像を説明できる。
 ・ビッグデータシステムにおいて顧客要件から必要な技術を選択しシステムを設計できる。
 ・設計したシステムの意図を他者に説明できる。
対象者 ・ITエンジニア職、若手・中堅の方。
 ・基幹DBや他のデータを、分析用に加工および統合するシステムを設計する方。
 ・分析に適したデータ設計をする方。
前提知識 ・データベース、仮想環境、ビッグデータに関する基礎知識があること。
 ・基幹業務システムを構成する技術要素の基礎知識があること。
内容 1. オリエンテーション
 2. 利用する技術要素の概要
 3. グループワーク
 4. 発表
備考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただきますようお願いいたします。

IOV020 プロトタイプと価値検証(共通)

レクチャ

「IoTシステム技術検定(基礎検定)」対策講座【バーチャル・クラスルーム】

1日間

IoTの提案・企画を今後行う営業・SEに対して、「IoTシステムのデモンストレーション」、「座学」、「模擬試験」を使用し、IoTに関する基礎知識(考え方・用語)を紹介します。なお、このコースはMCPC主催「IoTシステム技術検定 基礎検定」についての対策講座です。

到達目標 ・MCPC主催「IoTシステム技術検定(基礎検定)」に合格できる技術力を修得する。
 ・IoTシステムの概要、技術的なキーワードが理解できる。
対象者 SE・営業の若年層。これからIoTに携わる業務を行う営業・SEの方。
前提知識 特に必要としません。
内容 1. デモンストレーション(IoTデバイス・IoTサーバなど)
 2. 技術ポイント解説
 (1)IoTシステム構築
 (2)センサ・アクチュエータ
 (3)IoTデータ活用(ビッグデータ・AI)
 (4)IoTセキュリティ
 (5)IoTシステムプロトタイプ
 3. 模擬試験
備考 このコースではテキストとして「IoT技術テキスト 基礎編 改訂2版」を使用します。テキストは、受講当日までにご自身でご用意いただきますようお願いいたします(本コースでのご用意はございません)。MCPC(<https://mcpc.jp.org/iotkentei/index.html>)、あるいは楽天、Amazonなどから電子テキストあるいは書籍を購入できます。

IOV021 プロトタイプと価値検証(共通)

レクチャ

「IoTシステム技術検定(中級)」対策講座【バーチャル・クラスルーム】

2日間

IoT関連業務に携わっている方を対象に、模擬試験などを活用して、検定合格に必要な技術を効率的に修得していただきます。なお、このコースはMCPC主催「IoTシステム技術検定 中級検定」についての対策講座です。

到達目標 MCPC主催「IoTシステム技術検定(中級)」に合格できる技術力を修得できる。
対象者 IoTシステム構築に関するSE/技術者の方。
前提知識 IoT関連業務(システム構築、製品開発など)に携わっている方。
内容 1. 試験の概要
 2. IoTシステム構築と構築技術
 (1)IoTシステムアーキテクチャ
 (2)IoTサーバプラットフォーム
 3. センサ/アクチュエータと通信方式
 (1)IoTデバイス
 (2)ネットワーク
 (3)プロトコル
 4. AI分析とデータ活用
 (1)ビッグデータ分析技術
 (2)IoTデータ活用事例
 5. セキュリティ対策とプライバシー保護
 (1)セキュリティ対策
 (2)情報セキュリティと法制度
 6. IoTのプロトタイプ
 (1)プロトタイプ
備考 このコースでは、テキストとして「IoT技術テキスト 第2版」を使用します。テキストは、受講当日までにご自身でご用意いただきますようお願いいたします(本コースでのご用意はございません)。MCPC(<https://mcpc.jp.org/iotkentei/index.html>)、あるいは楽天、Amazonなどから電子テキストあるいは書籍を購入できます。

- JP1
- uCosminexus Application Server
- HIRDB
- OpenTP1
- VOS3
- XDM
- 日立ストレージ
- Pentaho

デジタルトランスフォーメーション

- DXマインド・プロセス・アプリケーション
- 課題分析(何をなすべきかを着想する)
- 仮説構築(ビジネスモデルをデザインする)
- プロトタイプと価値検証(共通)
- プロトタイプと価値検証(データ環境構築)
- プロトタイプと価値検証(分析モデル構築)

RPA

クラウド/サーバ仮想化

ITサービスマネジメント

システム基盤

IT基本

- オープンソースソフトウェア(OSS)
- Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- ハードウェア
- セキュリティ
- データベース

IT戦略・IS企画

システム開発

- 要件定義/設計
- プログラミング

情報処理技術者試験対策

ITリテラシ

プロジェクトマネジメント

コンプライアンス

ビジネス/ヒューマン

グローバル

OT(モノづくり・専門技術)

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3
XDM
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
DXマインド・プロセス・マネジメント
課題分析(何をなすべきかを着想する)
仮説構築(ビジネスモデルをデザインする)
プロトタイプリングと価値検証(共通)
プロトタイプリングと価値検証(データ環境構築)
プロトタイプリングと価値検証(分析モデル構築)
RPA
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
IT基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル
OT(モノづくり・専門技術)

IOE002 プロトタイプリングと価値検証(データ環境構築)

<eラーニング>
IoT技術解説 セキュリティ編
3時間

IoTシステムでのセキュリティ適用に関するポイントを事例解説と通して学習します。

到達目標 ・IoTでのセキュリティの重要性を説明できる。
・IoTでのセキュリティの考え方を説明できる。
・IoTシステムに即したセキュリティを提案できる。

対象者 IoTを適用するSE、IoT関連製品を開発する初級技術者の方。

前提知識 「IoT概説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容 1. IoTセキュリティの重要性
2. ITセキュリティとの異なり
3. IoTシステムでのセキュリティ適用事例
4. 業界ごとのセキュリティ技術(自動車・製造関連・医療関連など)
5. セキュリティ技術：ホワイトリスト、SSL/TLSなど
6. その他
(1)各種セキュリティガイドライン

備 考 ・開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります。
・説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

IOE003 プロトタイプリングと価値検証(データ環境構築)

<eラーニング>
IoT技術解説 IoTネットワーク編
3時間

IoTネットワークの構築に必要な知識(電波特性・関連法令・ネットワークの種類)とともに、LPWAを使用したネットワークのシステム構成・セキュリティについて学習します。

到達目標 ・IoT広域ネットワークで使用される技術について理解できる。
・IoTエリアネットワークで使用される技術について理解できる。
・IoTネットワークを構築するための関連知識について理解できる。

対象者 IoTを適用するSE、IoT関連製品を開発する初級技術者の方。

前提知識 「IoT概説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容 1. 無線関連の基礎知識
(1)電波特性
(2)関連法令
(3)その他
2. 広域ネットワーク技術
(1)LPWA
LoRa, Sigfox, NB-IoT等
(2)その他
3. エリアネットワーク技術
(1)Wi-Fi
(2)その他 ZigBeeなど
4. ネットワークセキュリティ技術概要

備 考 ・開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります。
・説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

IOV019 プロトタイプリングと価値検証(データ環境構築)

IoT技術解説 5G編
【バーチャル・クラスルーム】
0.5日間

IoTシステム構築・関連製品の企画・構築を行う方を対象に、高速・低遅延の無線ネットワークとして、各種IoTシステムやコネクテッドカーへの適用が進む5Gの構成と機能を学習します。

到達目標 5Gを使用したIoTシステムの構築について説明できる。

対象者 IoTを適用するSE、IoT関連製品を開発する初級技術者の方。

前提知識 「IoT概説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容 1. 5Gとは
(1)5Gとは
(2)4G(LTE)や既存LPWA(Sigfoxなど)との異なり
(3)今後の適用
2. 5G詳細技術
(1)フェーズ1関連技術
(2)フェーズ2関連技術
3. IoTへの適用
(1)自動車関連(コネクテッドカー・オートノムスカー)
(2)医療関連
(3)製造関連
4. 関連事項
(1)3GPPや業界の動向
(2)ローカル5G

DBE705 プロトタイプリングと価値検証(データ環境構築)

<eラーニング>【ナビ機能付き】
データウェアハウスにおけるデータモデリング解説
6時間

基幹系データベース設計との相違点をふまえながら、データウェアハウスの設計手順について学習します。

到達目標 ・トランザクションのACID特性について理解し説明できる。
・さまざまなOLTPシステム構成について理解し説明できる。
・DTPモデルの各種ソフトウェアの役割とAPIについて理解し説明できる。

対象者 データウェアハウスの設計・構築を行うための知識を必要とする方。

前提知識 「【ナビ機能付き】データウェアハウス概説」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容 1. データウェアハウス概要
2. 基幹系データベース設計との相違点
3. データウェアハウスの概念設計
4. 修了試験

備 考 ・開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります。
・説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

IOV023 プロトタイプリングと価値検証(データ環境構築)

IoT技術解説
最新技術動向・適用事例編
【バーチャル・クラスルーム】
0.5日間 **New**

IoTを取り巻く最新の業界・技術動向を学習します。また、顧客提案に役立つ豊富なIoT最新事例を紹介します。

到達目標 ・IoT技術の動向を理解することができる。
・IoT技術の最新の適用例を理解することができる。
・他社ベンダの動向を理解することができる。

対象者 IoTを適用するSE、IoT関連製品を開発する初級技術者。

前提知識 「IoT概説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容 1. マクニカ社の考えるAI X IoT最新技術動向
2. 最新事例、ソリューション・製品の紹介

CLJ015 プロトタイプリングと価値検証(データ環境構築)

Hadoop入門
—HBaseとSparkハンズオン—
1.5日間

Hadoop/YARNの概要、HBaseの概要、Sparkの概要、それぞれ構築作業の実際についてハンズオンにて学習します。

到達目標 ・Hadoop/MapReduceの概要と基本的な機能を理解できる。
・カラム指向DB(HBase)の基本と機能を理解できる。
・Sparkの基本と機能を理解できる。
・Linux上でHadoopとSparkを実装できる。

対象者 クラウドやビッグデータ技術に興味があるSE・運用管理者の方。

前提知識 「Linuxシステム管理前編」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容 1. Hadoopの概要
2. ネットワーク構成(演習)
3. Hadoopの構成(演習)
4. HBaseの構成演習
5. Spark on YARN構成演習

DBE706 プロトタイプリングと価値検証(データ環境構築)

<eラーニング>【ナビ機能付き】
データウェアハウス概説
6時間

データウェアハウスの概念やデータウェアハウスの設計・構築方法および利用方法の基礎を学習します。

到達目標 ・データウェアハウスの概念を理解し説明できる。
・データウェアハウスの利用方法について理解し説明できる。
・データウェアハウスに適する設計方法を理解し説明できる。

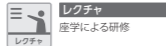
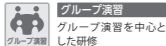
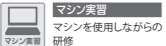
対象者 DSSシステムの管理者として、基本的な知識を必要とする方。

前提知識 「データベース入門—解説と操作体験—」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容 1. データウェアハウス登場の背景
2. 意思決定支援システムにおけるデータウェアハウス
3. データウェアハウスとは
4. OLAPとデータマイニング
5. 修了試験

備 考 ・開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります。
・説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

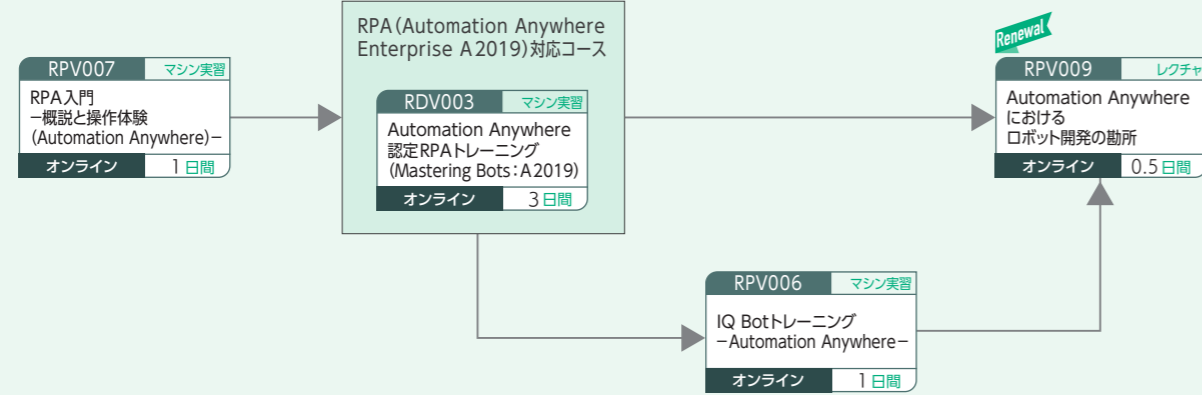
日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3
XDM
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
DXマインド・プロセス・マネジメント
課題分析(何をなすべきかを着想する)
仮説構築(ビジネスモデルをデザインする)
プロトタイプリングと価値検証(共通)
プロトタイプリングと価値検証(データ環境構築)
プロトタイプリングと価値検証(分析モデル構築)
RPA
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
IT基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル
OT(モノづくり・専門技術)



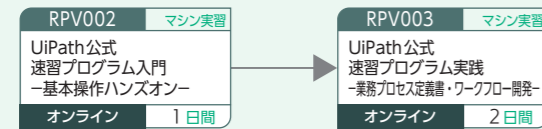
RPA

RPA(Robotic Process Automation)製品を使用して業務自動化のロボットを開発するために必要な基礎知識と技術が修得できます。

Automation Anywhereを使用して業務自動化のロボットを開発する方



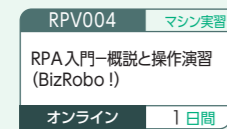
UiPath Studioを使用して業務自動化のロボットを開発する方



UiPath StudioXを使用して業務自動化のロボットを開発する方



BizRobo!を使用して業務自動化のロボットを開発する方



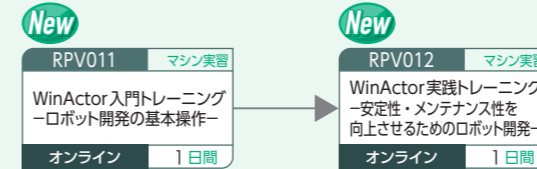
音声有・説明文有 : 説明画面と説明文(音声あり)で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)

音声なし・説明文有 : 説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

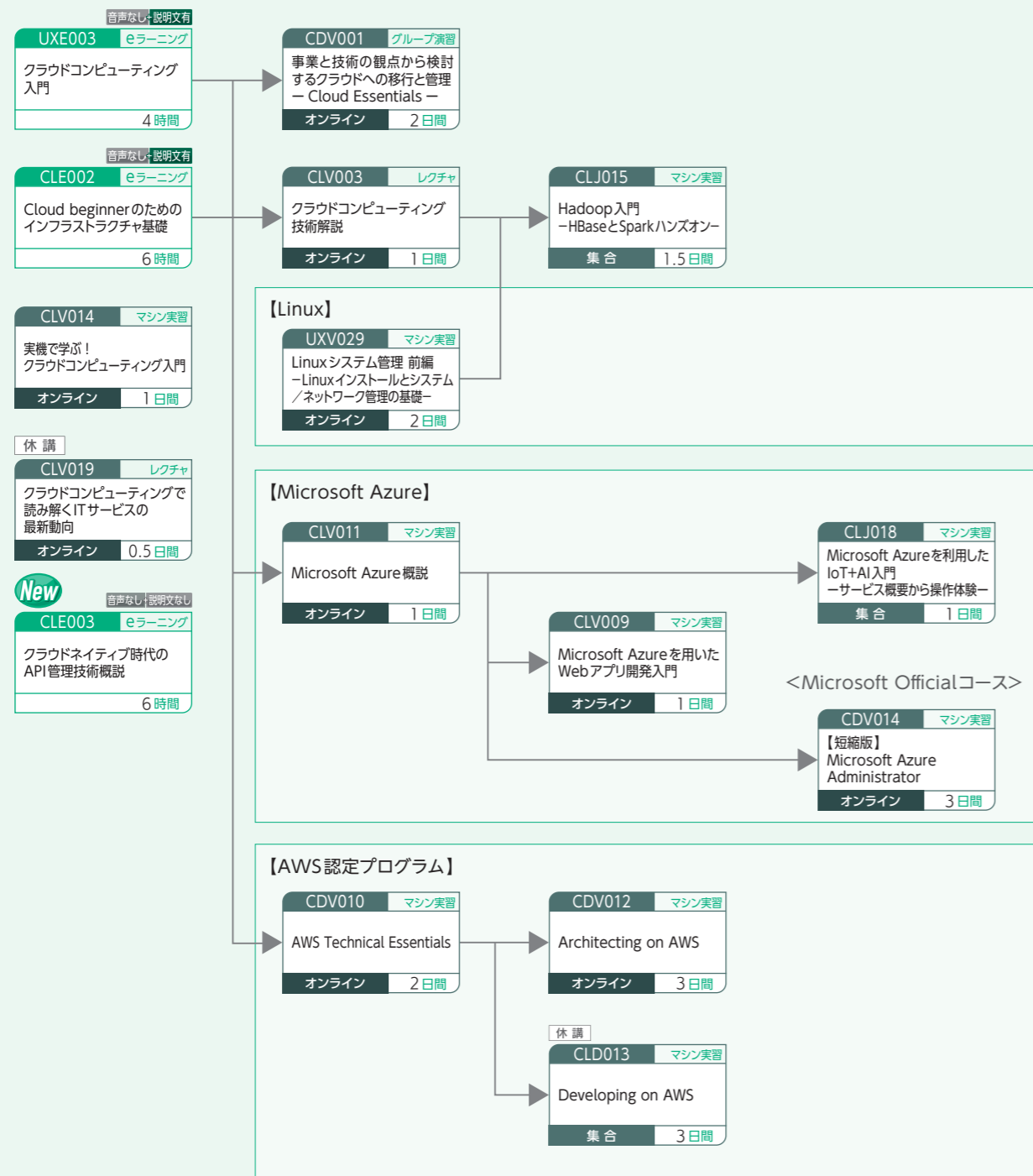
WinActorを使用して業務自動化のロボットを開発する方



クラウド/サーバ仮想化

クラウド/サーバ仮想化やクラウドという最新システムについての基礎知識と技術が修得できます。

● クラウド基盤の基礎知識や技術を修得したい方



● サーバ仮想化の基礎知識や技術を修得したい方



● VMware認定資格の取得をめざす方

<VMware Certified Professional (VCP: VMware 認定プロフェッショナル)>



- 音声有 + 説明文有** : 説明画面と説明文 (音声あり) で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)
- 音声有 + 説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
- 音声なし + 説明文有** : 説明画面と説明文 (音声なし) で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

資格 VMware 認定資格

VMware認定資格とは、VMwareソリューションの導入・展開を担う技術者を育成するために、VMware社が提供している認定プログラムです。主なVMware認定資格には、VMware Certified Professional (VCP) - VMware認定プロフェッショナルがあります。

詳しくは、日立アカデミーのWebサイトにてご確認ください。

<https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/license/vmware.html>



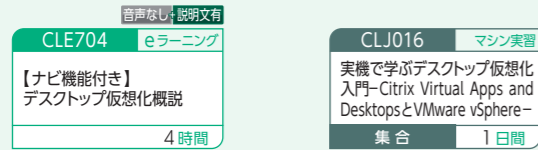
資格 アマゾン ウェブ サービス (AWS) 認定資格

AWS認定資格は、AWSプラットフォームで稼働するアプリケーションの設計、デプロイ、管理に必要なスキルと技術知識を有するITプロフェッショナルであることを証明します。認定資格を取得することによりAWSに関してスキルや知識を有していることを証明できるだけでなく、所属組織がAWSベースのアプリケーションを運用構築ができる人材を有していることを証明します。

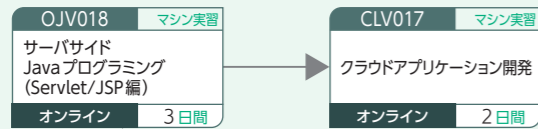
詳しくは、日立アカデミーのWebサイトにてご確認ください。

<https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/license/aws.html>

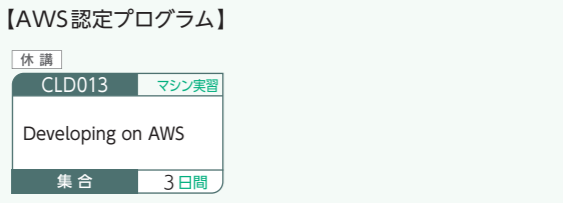
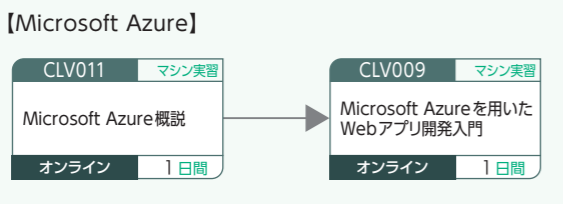
● デスクトップ仮想化の基礎知識や技術を修得したい方



● クラウド環境で動作するアプリケーションを開発する方



【Javaテクノロジーの基礎トレーニング】



- 音声有・説明文有**：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
- 音声有・説明文なし**：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
- 音声なし・説明文有**：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者におススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

CLE703 クラウド/サーバ仮想化

<eラーニング>【ナビ機能付き】
ストレージ関連者向け
サーバ仮想化技術概説

3時間

VMware・Hyper-Vなどのサーバ仮想化環境で日立ストレージを動作させる場合のシステム構成・ポイントサーバ仮想化の基本技術を交えて学習します。

到達目標 VMware・Hyper-Vなどのサーバ仮想化環境で日立ストレージを動作させる場合のシステム構成・ポイントをサーバ仮想化の基本技術を理解できる。

対象者 ストレージ関連の方で、サーバ仮想化に興味のある方。

前提知識 特に必要としません。

内容

1. サーバ仮想化概要
2. 代表的なサーバ仮想化製品
3. サーバ仮想化環境でのストレージ関連設定
4. 修了試験

備考 ・開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

CLJ005 クラウド/サーバ仮想化

実機で学ぶ！サーバ仮想化入門
-VMware vSphere、Microsoft Hyper-V、KVM-

1日間

サーバ仮想化の基礎を解説し、市場で大きなシェアを持っているVMware vSphere、Microsoft Hyper-V、KVMを利用したサーバ仮想化方法を実機で学習します。

到達目標 ・サーバ仮想化の概要を説明できる。
・各種製品（VMware vSphere、Microsoft Hyper-V、KVM）をインストールしそれらの製品を使用して仮想サーバを作成できる。

対象者 サーバ仮想化の提案、構築を行う営業、SEの方。

前提知識 特に必要としません。

内容

1. サーバ仮想化の概要
2. VMware vSphereの概要と特徴
 - (1) 演習1：VMware vSphereのインストールと仮想サーバの作成
3. Hyper-Vの概要と特徴
 - (1) 演習2：Microsoft Hyper-Vのインストールと仮想サーバの作成
4. KVMの概要と特徴
 - (1) 演習3：KVMのインストールと仮想サーバの作成

備考 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

CLJ016 クラウド/サーバ仮想化

実機で学ぶデスクトップ仮想化入門
-Citrix Virtual Apps and DesktopsとVMware vSphere-

1日間

仮想デスクトップ用仮想マシンの作成から、管理、クライアントでの接続までの一連の作業を実機ベースで行い、デスクトップ仮想化環境を構成する各種サーバ類の役割を理解します。また、複数の仮想デスクトップ構成パターンを実装し、各方式の特徴（長所/短所）を理解します。

到達目標 デスクトップ仮想化の実現に必要なシステムインフラの構成と役割を説明できる。

対象者 デスクトップ仮想化ソリューションを提案・構築する営業/システムエンジニアの方。

前提知識 ・サーバ仮想化の基礎知識があること。
・Windows OSの基本的な操作ができること。

内容

1. デスクトップ仮想化の仕組み
 - (1) デスクトップ仮想化とは
 - (2) デスクトップ仮想化のシステム構成
2. 仮想デスクトップの作り方
 - (1) 仮想デスクトップへの接続の流れ
 - (2) 仮想デスクトップ用仮想マシンの作成
 - (3) 仮想デスクトップ接続用クライアント
3. デスクトップ仮想化導入の注意点
 - (1) ライセンス
 - (2) デスクトップ仮想化システムのボトルネックについて

CLV014 クラウド/サーバ仮想化

実機で学ぶ！
クラウドコンピューティング入門
【バーチャル・クラスルーム】

1日間

AWSとMicrosoft Azureの概要や違いを実機を操作しながら学習します。

到達目標 ・AWSとMicrosoft Azureの概要を理解し、基本的な違いを説明できる。
・仮想マシンの起動など、AWSとMicrosoft Azureの操作コンソールで基本的な操作ができる。

対象者 これからクラウドを利用・提案するうえで、主要なパブリッククラウドを比較検討したい方。

前提知識 コンピュータの基礎知識があること。

内容

1. クラウドコンピューティングの概要
2. AWS
3. Microsoft Azure
4. AWSとMicrosoft Azureの比較

CLV020 クラウド/サーバ仮想化

サーバ仮想化／
コンテナ仮想化技術解説
【バーチャル・クラスルーム】

1日間

・サーバ仮想化に関する基礎知識を学習します。
・コンテナ仮想化に関する基礎知識を学習します。
・OSS仮想化ソフトウェアに関する基礎知識を学習します。

到達目標 ・サーバを仮想化するための技術概要・今後の動向を説明できる。
・コンテナ仮想化を支える技術を理解・説明できる。

対象者 DXの基盤を支えるサーバインフラ・クラウドインフラに共通する仮想化テクノロジーを知りたいシステムアーキテクト、ソフトウェアエンジニア。
・仮想化システムの提案・構築をする方。

前提知識 【ナビ機能付き】【マシン演習付き】UNIX/Linux基本使用法/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. サーバ/コンテナ仮想化の概要
 - (1) サーバ仮想化
 - (2) コンテナ仮想化
 - (3) コンテナランタイム、コンテナオーケストレーション
 - (4) クラウドネイティブ、サーバレス
2. インフラの仮想化を支える技術群
 - (1) Intel VT、準仮想化、完全仮想化、Hardware仮想化
 - (2) Infiniband、RDMA、Intel Persistent memory
 - (3) SDN (AHV、NSX)、SDS (vSAN、NDFS、S2D)
3. OSS仮想化技術
 - (1) Xen、QEMU、KVM
 - (2) chroot、jail、LXC、Docker
 - (3) CRI、CRI-O、runc
 - (4) Google Borg、Kubernetes
 - (5) Istio、Consul、Knative

CLE704 クラウド/サーバ仮想化

<eラーニング>【ナビ機能付き】
デスクトップ仮想化概説

4時間

デスクトップを仮想化することで得られるメリット/デメリットと、その実現の仕組みを学習します。また、デスクトップ仮想化の2大製品であるVMware ViewとCitrix Virtual Apps and Desktopsの特徴を紹介します。

到達目標 ・デスクトップを仮想化する事でのメリット/デメリットが説明できる。
・デスクトップ仮想化の実現に必要な機能・役割を説明できる。
・デスクトップ仮想化の2大製品であるVMware ViewとCitrix Virtual Apps and Desktopsの特徴を理解できる。

対象者 デスクトップ仮想化製品をこれから扱うシステムエンジニアおよび営業の方。

前提知識 特に必要としません。

内容

1. デスクトップ仮想化の概念
 - (1) この章で学ぶこと
 - (2) デスクトップの仮想化とは
 - (3) デスクトップ仮想化のメリット・デメリット
2. デスクトップ仮想化のシステム構成
 - (1) この章で学ぶこと
 - (2) デスクトップ仮想化のシステム構成
3. 代表的なデスクトップ仮想化製品について
 - (1) この章で学ぶこと
 - (2) VMware Horizon
 - (3) Citrix Virtual Apps and Desktops
 - (4) 日立SPC
 - (5) VDIライセンスについて
4. 修了試験

備考 ・開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HIRDB
- OpenTP1
- VOS3
- XDM
- 日立ストレージ
- Pentaho
- デジタルトランスフォーメーション
- DXマインド・プロセス・マネジメント
- 課題分析（何をなすべきかを着想する）
- 仮説構築（ビジネスモデルをデザインする）
- プロトタイプと価値検証（共通）
- プロトタイプと価値検証（データ環境構築）
- プロトタイプと価値検証（分析モデル構築）
- RPA
- クラウド/サーバ仮想化
- ITサービスマネジメント
- システム基盤
- IT基本
- オープンソースソフトウェア(OSS)
- Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- ハードウェア
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画
- システム開発
- 要件定義/設計
- プログラミング
- 情報処理技術者試験対策
- ITリテラシ
- プロジェクトマネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル
- OT(モノづくり・専門技術)

- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HIRDB
- OpenTP1
- VOS3
- XDM
- 日立ストレージ
- Pentaho
- デジタルトランスフォーメーション
- DXマインド・プロセス・マネジメント
- 課題分析（何をなすべきかを着想する）
- 仮説構築（ビジネスモデルをデザインする）
- プロトタイプと価値検証（共通）
- プロトタイプと価値検証（データ環境構築）
- プロトタイプと価値検証（分析モデル構築）
- RPA
- クラウド/サーバ仮想化
- ITサービスマネジメント
- システム基盤
- IT基本
- オープンソースソフトウェア(OSS)
- Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- ハードウェア
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画
- システム開発
- 要件定義/設計
- プログラミング
- 情報処理技術者試験対策
- ITリテラシ
- プロジェクトマネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル
- OT(モノづくり・専門技術)

- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HiRDB
- OpenTP1
- VOS3
- XDM
- 日立ストーリー
- Pentaho
- デジタルトランスフォーメーション
- DXマインド・プロセス・マネジメント
- 課題分析 (何をなすべきかを着想する)
- 仮説構築 (ビジネスモデルをデザインする)
- プロトタイプと価値検証 (共通)
- プロトタイプと価値検証 (データ環境構築)
- プロトタイプと価値検証 (分析モデル構築)
- RPA
- クラウド/サーバ仮想化
- IT サービス マネジメント
- システム基盤
- IT 基本
- オープンソース ソフトウェア(OSS)
- Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- ハードウェア
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画
- システム開発
- 要件定義/設計
- プログラミング
- 情報処理技術者 試験対策
- ITリテラシ
- プロジェクト マネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル
- OT(モノづくり・専門技術)

CLD013 クラウド/サーバ仮想化

マシン実習

休講

Developing on AWS

3日間

セキュアで信頼性が高く、スケーラブルなAWSベースのアプリケーションを設計、構築する方法を学習します。AWS コードライブラリ、SDK、IDE ツールキットの使い方も学習し、AWS プラットフォームでの効率的なコード開発とデプロイの方法を学習します。

到達目標

- AWS SDKとIDEツールキットをインストールして設定できる。
- 基本的なAWSサービス操作をC#またはJavaを利用して自動化できる。
- セキュリティモデルを使用してAWSへのアクセスを管理できる。
- AWSでのデプロイメントモデルと利用方法を理解できる。

対象者

AWSサービスを利用してソフトウェア(アプリケーション)を開発される方。

前提知識

- 「AWS Technical Essentials(旧Amazon Web Services実践入門1)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
- ソフトウェア開発の実務的知識、クラウドコンピューティングの概念の知識、Javaの基本的な知識があること。

内容

1. Developing on AWSの紹介
2. データストアを選択する
3. Amazon S3を使用してストレージソリューションを開発する
4. Anazon DynamoDBを使用して柔軟なNoSQLソリューションを開発する
5. イベントの使用
6. Amazon Kinesisを使用してイベントドリブンプライム型ソリューションを開発する
7. AWS Step Functions、Amazon SQS、Amazon SNSを使用してイベントドリブンプライム型ソリューションを開発する
8. AWS Lambdaを使用してイベントドリブンプライム型ソリューションを開発する
9. 安全なアプリケーションを開発する
10. スケーラビリティのために情報をキャッシュする
11. Amazon CloudWatchを使用してアプリケーションとAWSリソースをモニタリングする
12. AWS Elastic BeanstalkとAWS CloudFormationを使用してアプリケーションをデプロイする

備考

- このコースは、AWS社認定コースです。
- このコースは、Gilmore社が提供する電子テキストを使用するため、研修受講にあたりGilmore社のアカウント登録が必要です。電子テキストのライセンスコードは研修初日に配布いたしますので、Bookshelfのアカウント登録は研修開始時にお願いたします。
- 既にBookshelfのアカウントをお持ちでしたら、ログインID(メールアドレス)とパスワードをご持参ください。
- このコースの内容は、予告なく変更される場合があります。
- ※このコースは、休講とさせていただきます。

VMV007 クラウド/サーバ仮想化

マシン実習

休講

VMware vSphere システム構築実習[V6.7]-実装編-【パーチャル・クラスルーム】

2日間

VMware vSphere 6.7を使用した仮想マシン環境の構築方法を、実機での実習を通して学習します。

到達目標

- サーバ仮想化に関連するVMware製品の概要を説明できる。
- VMware vSphere 6.7を使用して、基本的な仮想マシンの実行環境を構築できる。
- 仮想マシンの構成(仮想マシンの作成/ゲストOSのインストール/リソース割当て)ができる。
- vMotionおよびStorage vMotionによる仮想マシンの移動ができる。
- VMware vSphere環境における仮想マシンの可用性確保の考え方を説明でき、vSphere HAによる仮想マシンの可用性を確保できる。
- VMware vSphereシステムのセキュリティ対策の概要を説明できる。
- VMware vSphereシステムの運用、保守の概要を説明できる。

対象者

VMware vSphereを使用した仮想環境を提案・構築予定の方。

前提知識

- Windows OSの基本的な管理操作ができること(コマンドプロンプトによるコマンド実行、コンピュータ名/IPアドレスの変更等)。
- クライアント/サーバシステムの基本的なシステム構成を理解していること。

内容

1. VMware製品概要
2. VMware vSphere環境の構築
3. 仮想マシンの作成
4. VMware vSphereによる仮想化の仕組み
5. 仮想環境ならではの機能
6. リソースの管理と監視
7. ESXiホスト間の負荷分散
8. VMware vSphere環境における可用性の確保
9. セキュリティの強化
10. VMware vSphereシステムの運用、保守

VMD010 クラウド/サーバ仮想化

マシン実習

休講

VMware vSphere: Install, Configure, Manage[V6.7]

5日間

ESXiとvCenter Serverを含むVMware vSphere 6.7のインストール、構成、管理を、マシン実習を通して5日間で学習します。このコースはVCP-DCV資格を新規取得する方の、受講必須対象コースです。

到達目標

- vSphere環境の構築と運用に必要な下記の知識、スキル、能力を修得できる。
- ESXiとvCenter Serverのインストールと構成ができる。
- vCenter Serverを使用して、ESXiホストと仮想マシンを管理することができる。

対象者

ITエンジニア職、若手・中堅の方でVMware vSphere 6.7を初めて学習する方。

- VCP-DCVを受験する方。

前提知識

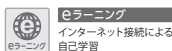
サーバ、LAN、SANの基礎知識があり、Windows OSの基本的な操作ができること。

内容

1. コースについて
2. vSphereとSoftware-Defined Data Centerの概要
3. 仮想マシンの作成
4. vCenter Server
5. 仮想ネットワークの設定および管理
6. 仮想ストレージの設定および管理
7. 仮想マシンの管理
8. リソースの管理および監視
9. vSphere HA、vSphere FTおよびデータ保護
10. vSphere DRS
11. vSphere Update Manager
12. vSphereトラブルシューティング

備考

- このコースは、VUEMウェア株式会社の認定コースです。
- このコースの受講には、研修受講にあたりVUEMウェア株式会社のアカウント登録が必要です。事前登録の詳細は別途ご連絡します。



ITサービスマネジメント

情報システムを活用し、ビジネスを支援するITサービスの業務プロセスを管理・改善するITサービスマネジメントの基礎知識・手法が修得できます。

日立製品
JP1
uCosminexus
Application Server
HiRDB
OpenTP1
VOS3
XDM
日立ストレージ
Pentaho

デジタルトランス
フォーメーション
DXマインド・
プロセス・
マネジメント
課題分析
(何をなすべきかを
着想する)
仮説構築
(ビジネスモデルを
デザインする)
プロトタイプと
価値検証(共通)
プロトタイプと
価値検証
(データ環境構築)
プロトタイプと
価値検証
(分析モデル構築)

RPA

クラウド/
サーバ仮想化

ITサービス
マネジメント

システム基盤

IT基本
オープンソース
ソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース

IT戦略・IS企画

システム開発
要件定義/設計
プログラミング

情報処理技術者
試験対策

ITリテラシ

プロジェクト
マネジメント

コンプライアンス

ビジネス/
ヒューマン

グローバル

OT(モノづくり・
専門技術)

● システム運用管理に関する基礎知識を身につけたい方

音声なし・説明文有

ITE701 eラーニング

【ナビ機能付き】
運用管理概説

6時間

初心者におすすめ

ITV008 グループ演習

情報システム運用入門
－運用からITサービスへ－

オンライン 1日間

● ITIL®に関する知識を修得したい方

PDU

ITV014 レクチャ

ITIL®ファンデーション
(ITIL® 2011対応)
(受験バウチャーチケット付き)

オンライン 3日間

PDU

ITV013 レクチャ

ITIL®4ファンデーション
(受験バウチャーチケット付き)

オンライン 3日間

● システム開発・運用を担当する方

音声なし・説明文有

ITE006 eラーニング

SLAにおける
サービスレベル設計の基礎

4時間

ITV009 グループ演習

IT運用における
ヒューマンエラー予防

オンライン 1日間

HSV062 グループ演習

事例から学ぶ
システムトラブル対策の考え方
－高信頼性システム実現のために－

オンライン 1日間

HSV018 グループ演習

システムトラブルの予防と是正
－ISMS・システム監査の
視点から－

オンライン 2日間

ITV004 グループ演習

システム運用の現状分析・
設計力養成ワークショップ

オンライン 2日間

CDV001 グループ演習

事業と技術の観点から検討
するクラウドへの移行と管理
－Cloud Essentials－

オンライン 2日間

音声有・説明文有 : 説明画面と説明文(音声あり)で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)

音声なし・説明文有 : 説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU : PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

バーチャル・クラスルーム(オンライン研修)については ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/virtualclassroom/>

● JP1を使用してシステムを運用管理する方

<p>JPV277 マシン実習</p> <p>JP1操作入門</p> <p>オンライン 1日間</p>	<p>JPV278 レクチャ</p> <p>JP1エンジニア機能概説</p> <p>オンライン 1日間</p>		
または			
<p>JPJ277 マシン実習</p> <p>JP1操作入門</p> <p>集合 1日間</p>			
<p>JPV279 マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル 統合管理1-システム監視</p> <p>オンライン 2日間</p>	<p>JPV280 マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル 統合管理2-システム設定</p> <p>オンライン 2日間</p>	<p>JPV281 マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル 統合管理セットコース</p> <p>オンライン 4日間</p>	<p>JPV304 マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル 統合管理3 -インテリジェント統合管理基盤</p> <p>オンライン 1日間</p>
または		または	
<p>JPJ279 マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル 統合管理1-システム監視</p> <p>集合 2日間</p>	<p>JPJ280/JPJ280T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル 統合管理2-システム設定</p> <p>集合 2日間</p>	<p>JPJ281/JPJ281T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル 統合管理セットコース</p> <p>集合 4日間</p>	<p>JPJ304 マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル 統合管理3 -インテリジェント統合管理基盤</p> <p>集合 1日間</p>
<p>JPV282 マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理</p> <p>オンライン 2日間</p>	<p>JPV283 マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1 -ジョブ定義・監視</p> <p>オンライン 2日間</p>	<p>JPV284 マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2 -システム設定・運用管理</p> <p>オンライン 2日間</p>	<p>JPV285 マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル ジョブ管理セットコース</p> <p>オンライン 4日間</p>
または		または	
<p>JPJ282/JPJ282T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理</p> <p>集合 2日間</p>	<p>JPJ283 マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1 -ジョブ定義・監視</p> <p>集合 2日間</p>	<p>JPJ284/JPJ284T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2 -システム設定・運用管理</p> <p>集合 2日間</p>	<p>JPJ285/JPJ285T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル ジョブ管理セットコース</p> <p>集合 4日間</p>
<p>JPV303 マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル ジョブ管理 -クライアント業務自動化</p> <p>オンライン 1日間</p>	<p>JPV102 マシン実習</p> <p>JP1/AJS3エキスパート 育成講座-開発編</p> <p>オンライン 1日間</p>	<p>JPV103 マシン実習</p> <p>JP1/AJS3エキスパート 育成講座-運用編</p> <p>オンライン 1日間</p>	

<p>JPV288 マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル ネットワーク管理1 -ネットワーク管理基盤</p> <p>オンライン 2日間</p>	<p>JPV289 マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル ネットワーク管理2 -システムリソース管理</p> <p>オンライン 1日間</p>	<p>JPV290 マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 セットコース</p> <p>オンライン 3日間</p>	<p>JPV286 マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル IT運用自動化</p> <p>オンライン 2日間</p>	
または		または		
<p>JPJ288 マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル ネットワーク管理1 -ネットワーク管理基盤</p> <p>集合 2日間</p>	<p>JPJ289/JPJ289T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル ネットワーク管理2 -システムリソース管理</p> <p>集合 1日間</p>	<p>JPJ290/JPJ290T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 セットコース</p> <p>集合 3日間</p>	<p>JPV287 マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル バックアップ管理</p> <p>オンライン 1日間</p>	
<p>JPV291 マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル 資産・配布管理1 -資産管理編</p> <p>オンライン 1日間</p>	<p>JPV292 マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル 資産・配布管理2 -セキュリティ管理編</p> <p>オンライン 1日間</p>	<p>JPV293 マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル 資産・配布管理3 -配布管理編</p> <p>オンライン 1日間</p>	<p>JPV294 マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 セットコース</p> <p>オンライン 3日間</p>	
または		または		
<p>JPJ291 マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル 資産・配布管理1 -資産管理編</p> <p>集合 1日間</p>	<p>JPJ292 マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル 資産・配布管理2 -セキュリティ管理編</p> <p>集合 1日間</p>	<p>JPJ293/JPJ293T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル 資産・配布管理3 -配布管理編</p> <p>集合 1日間</p>	<p>JPJ294/JPJ294T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 セットコース</p> <p>集合 3日間</p>	
<p>JPV295 マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル セキュリティ管理</p> <p>オンライン 1日間</p>	<p>JPV298 レクチャ</p> <p>JP1コンサルタント ジョブ管理-システム設計編</p> <p>オンライン 1日間</p>	<p>JPV299 レクチャ</p> <p>JP1コンサルタント ジョブ管理-チューニング編</p> <p>オンライン 1日間</p>	<p>JPV300 レクチャ</p> <p>JP1コンサルタント 資産・配布管理</p> <p>オンライン 1日間</p>	<p>JPV296 レクチャ</p> <p>JP1コンサルタント 統合管理</p> <p>オンライン 1日間</p>
<p>JPV297 レクチャ</p> <p>JP1コンサルタント パフォーマンス管理</p> <p>オンライン 1日間</p>	<p>JPV301 レクチャ</p> <p>JP1コンサルタント ネットワーク管理</p> <p>オンライン 1日間</p>			

音声有・説明文有 : 説明画面と説明文(音声あり)で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)

音声なし・説明文有 : 説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

資格 ITIL® 認定資格

ITIL® [Information Technology Infrastructure Library]は、英国政府が作成したITサービスマネジメントのベストプラクティスがまとめられた書籍です。ITIL®は、システム運用管理を中心とした幅広い分野で広く利用され、現在、ITサービスマネジメントの世界的な業界標準として普及しています。ITIL®認定資格は、ITIL®をベースとしたITサービスマネジメントに関するスキルを証明する資格です。

詳しくは、日立アカデミーのWebサイトにてご確認ください。

<https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/license/itil.html>

- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HiRDB
- OpenTP1
- VOS3
- XDM
- 日立ストレージ
- Pentaho
- デジタルトランスフォーメーション
- DXマインド・プロセス・マネジメント
- 課題分析(何をなすべきかを着想する)
- 仮設構築(ビジネスモデルをデザインする)
- プロトタイプと価値検証(共通)
- プロトタイプと価値検証(データ環境構築)
- プロトタイプと価値検証(分析モデル構築)
- RPA
- クラウド/サーバ仮想化
- ITサービスマネジメント
- システム基盤
- IT基本
- オープンソースソフトウェア(OSS)
- Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- ハードウェア
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画
- システム開発
- 要件定義/設計
- プログラミング
- 情報処理技術者試験対策
- ITリテラシ
- プロジェクトマネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル
- OT(モノづくり・専門技術)

- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HiRDB
- OpenTP1
- VOS3
- XDM
- 日立ストレージ
- Pentaho
- デジタルトランスフォーメーション
- DXマインド・プロセス・マネジメント
- 課題分析(何をなすべきかを着想する)
- 仮設構築(ビジネスモデルをデザインする)
- プロトタイプと価値検証(共通)
- プロトタイプと価値検証(データ環境構築)
- プロトタイプと価値検証(分析モデル構築)
- RPA
- クラウド/サーバ仮想化
- ITサービスマネジメント
- システム基盤
- IT基本
- オープンソースソフトウェア(OSS)
- Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- ハードウェア
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画
- システム開発
- 要件定義/設計
- プログラミング
- 情報処理技術者試験対策
- ITリテラシ
- プロジェクトマネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル
- OT(モノづくり・専門技術)

オープンソースソフトウェア(OSS)

OSSの概要や活用方法を理解し、OSSによるシステム運用やサーバ構築に関する技術が修得できます。

OSSを利用する方

音声なし・説明文有
eラーニング
UXE004
オープンソースソフトウェア(OSS)概説
3時間

要件定義/設計

- DevOpsによるアプリケーション開発の流れを理解したい方

OSSを使用してシステムを運用・管理する方

マシンプラクティス
UXV029
Linuxシステム管理 前編
-Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎-
オンライン 2日間

マシンプラクティス
UXV030
Linuxシステム管理 後編
-システム起動の仕組みとディスク管理技術-
オンライン 2日間

ネットワーク

仮想環境を構築・管理する方

マシンプラクティス
UXV029
Linuxシステム管理 前編
-Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎-
オンライン 2日間

ネットワーク

<Linux Foundation認定コース>

音声有・説明文有
eラーニング
UXE006
Kubernetes基礎
35時間

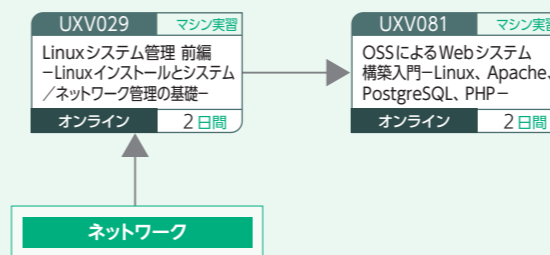
音声有・説明文有：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）

音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）

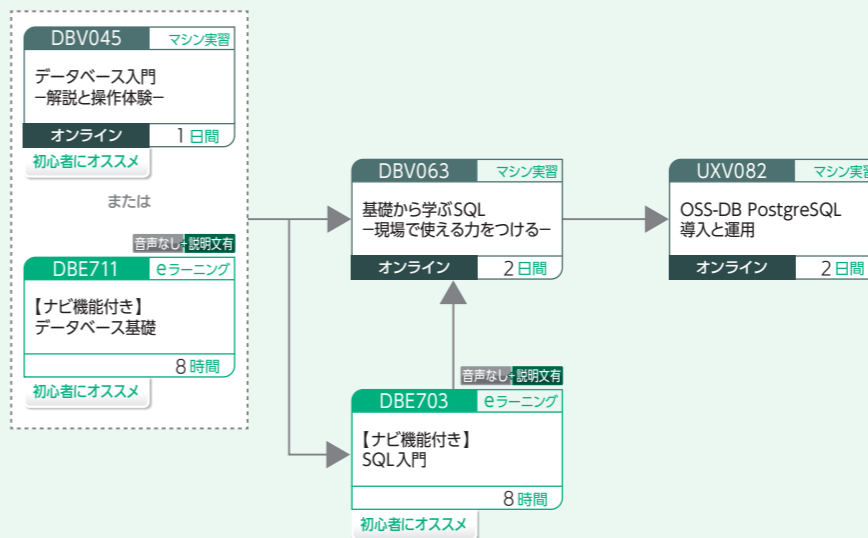
音声なし・説明文有：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。


OSSによるサーバ構築をする方



PostgreSQLを使用してデータベースを管理・運用する方



UXE004 オープンソースソフトウェア(OSS)

 **<eラーニング>**
オープンソースソフトウェア (OSS) 概説
3時間

OSSのビジネスモデルや活用領域の紹介を通して、さまざまな分野におけるOSSの利活用手法の基礎を学習します。

到達目標・OSSの概要を説明できる。
・OSSの活用方法を説明できる。
・OSSが活用されている分野を理解できる。


対象者・OSSの概要を修得したい方。
・OSS関連事業に従事する方。

前置知識 特に必要としません。

内 容 1. OSSとは
2. OSSの活用領域
3. OSS活用におけるコンプライアンス

備 考・開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります。
・説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

UXV082 オープンソースソフトウェア(OSS)

 **OSS-DB PostgreSQL 導入と運用**
【バーチャル・クラスルーム】
2日間

これからPostgreSQLを使用したシステム構築を行う開発者や管理者の方を対象に、PostgreSQLのインストールや基本的な設定、基本的な使い方について解説します。更にバックアップやリストア、PITRなどの運用管理、性能チューニング、障害対応について解説します。

到達目標 PostgreSQLを用いたデータベースシステムの構築や管理作業を行うことができる。

対象者 PostgreSQLを用いたデータベースシステムの構築や管理作業を行う方。

前置知識 「基礎から学ぶSQL－現場で使える力をつける－」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内 容 1. オープンソースデータベースの一般的特徴
2. インストール
3. 標準付属ツール
4. トランザクションとスキーマ
5. アーキテクチャ
6. セキュリティ
7. メンテナンス
8. 実行計画
9. 性能分析
10. 性能改善
11. 障害対応
12. PITR
13. Streaming Replication

UXE006 オープンソースソフトウェア(OSS)

 **<eラーニング>**
Kubernetes基礎
35時間

このコースは、Google等の企業がアプリケーションインフラを管理するために利用しているコンテナ管理プラットフォーム"Kubernetes"の利用法を教授します。Kubernetesの起源から高レベルのアーキテクチャ、API、基本概念に至るまでをカバーしており、このコースの受講により複雑なアプリケーション構築が可能な程度までの知識を得ることができます。

到達目標・Kubernetesの起源から高レベルのアーキテクチャ、API、基本概念に至るまでを理解できる。
・複雑なアプリケーション構築が可能な程度までの知識を得ることができる。

対象者 Kubernetesの全般的な基礎知識を得たいシステムズエンジニア、ソフトウェア開発者の方。

前置知識 基本的なLinuxコマンドラインの知識と、コンテナに関する基礎知識(Docker等)を持っていること。

内 容 1. コースイントロダクション
2. Kubernetesの基本
3. インストールと構成
4. Kubernetesのアーキテクチャ
5. APIとアクセス
6. OPIオブジェクト
7. デプロイメントでのステート管理
8. サービス
9. ポリュームとデータ
10. イングレス
11. スケジューリング
12. ロギングとトラブルシュート
13. カスタムリソース定義
14. Helm
15. セキュリティ
16. 高可用性

備 考・開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります。
・説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・日立アカデミーはThe Linux Foundation Authorized Training Partnerです。

 **マシン実習** マシンを使用しながらの研修


 **グループ演習** グループ演習を中心とした研修

 **レクチャ** 座学による研修

 **eラーニング** インターネット接続による自己学習

 **その他**

UXV081 オープンソースソフトウェア(OSS)

 **OSSによるWebシステム構築入門**
－Linux、Apache、PostgreSQL、PHP－
【バーチャル・クラスルーム】
2日間

OSからアプリケーションソフトウェアまで、OSSのみを使用したWebシステムの構築方法を学習します。また、OSSを利用する時の注意事項やDBサーバの構築方法なども学習します。

到達目標 Linux上で、Apache、PostgreSQL、PHPを使ったWeb・DB連携システムを構築できる。

対象者 OSSでWebシステムを構築する方。

前置知識 「Linuxシステム管理前編－Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎－」を修了しているか、または同等の知識があること。

内 容 1. オープンソースソフトウェア(OSS)概要
2. Linux
3. Apache
4. PostgreSQL
5. PHP

UXV078 **マシン実習**

UNIX/Linux 基礎
－コマンド編－
オンライン 2日間
初心者にオススメ

UXV049 **マシン実習**

UNIX/Linux 基礎
－シェルスクリプト編－
オンライン 2日間

UXV029 **マシン実習**

Linuxシステム管理 前編
－Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎－
オンライン 2日間

UXV030 **マシン実習**

Linuxシステム管理 後編
－システム起動の仕組みとディスク管理技術－
オンライン 2日間

UXV080 **マシン実習**

Linuxトラブルシューティング
オンライン 2日間

ネットワーク

休 講 休 講 今期の定期開催はありません

音 声 有 / 説 明 文 有 : 説明画面と説明文(音声あり)で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)

音 声 有 / 説 明 文 な し : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)

音 声 な し / 説 明 文 有 : 説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

初 心 者 に オ ス ス メ : コンピュータ未経験の方が前置知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

Linux

Linuxの機能や操作方法を理解し、システム構築・運用管理に関する技術が修得できます。

● UNIX/Linuxを利用する方

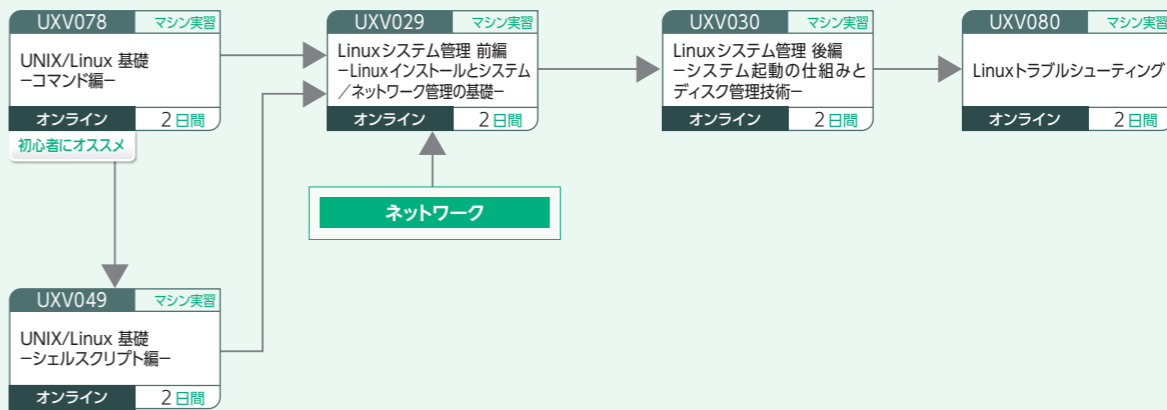
UXV078 **マシン実習**

UNIX/Linux 基礎
－コマンド編－
オンライン 2日間
初心者にオススメ

UXE303 **eラーニング**

【ナビ機能付き】
【マシン演習付き】
UNIX/Linux基本使用方法
8時間
初心者にオススメ

● Linuxを使用してシステムを構築・運用・管理する方





音 声 有 / 説 明 文 有 : 説明画面と説明文(音声あり)で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)




音 声 有 / 説 明 文 な し : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)

音 声 な し / 説 明 文 有 : 説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

初 心 者 に オ ス ス メ : コンピュータ未経験の方が前置知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

Linux

UXV078 Linux	UXV049 Linux
 マシン実習 UNIX/Linux 基礎—コマンド編—【バーチャル・クラスルーム】 2日間	 マシン実習 UNIX/Linux 基礎—シェルスクリプト編—【バーチャル・クラスルーム】 2日間
UNIXおよびLinuxOSの基本機能とコマンドの基本操作を、マシン実習を通して学習します。	シェルスクリプトの作成に必要なプログラミング技術を修得するとともに、シェルの機能をより深く理解することができます。
到達目標 <ul style="list-style-type: none"> UNIX/Linuxの基本的な操作ができる。 ネットワークの基本コマンドを実行できる。 	到達目標 <ul style="list-style-type: none"> シェルスクリプトの概要を説明できる。 変数、配列、算術、文字列操作の基本操作ができる。 制御文の基本を説明できる。 関数を利用した簡単な応用スクリプトを作成できる。
対象者 UNIX、またはLinuxOSの初心者の方で基礎から学習したい方。	対象者 UNIX/Linuxでシェルスクリプトの作成をする方、システム管理者の方。
前提知識 コンピュータの基礎知識があること。	前提知識 「UNIX/Linux基礎—コマンド編—」コース、または「【ナビ機能付き】【マシン演習付き】UNIX/Linux基本使用法」eラーニングを修了しているか、または同等の知識があること。
内容 <ol style="list-style-type: none"> 概要 コマンドの基本操作 ファイルシステム viエディタ シェル 知っておくと便利なシェルの機能 ネットワークの利用 	内容 <ol style="list-style-type: none"> シェルとシェルスクリプトの概要 パラメータの取り扱い 算術評価と文字列操作 制御文(分岐/繰り返しなど) 関数の利用 実践的なシェルスクリプト
備考 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。	備考 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

UXV029 Linux	UXV030 Linux	UXV080 Linux
 マシン実習 Linuxシステム管理 前編—Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎—【バーチャル・クラスルーム】 2日間	 マシン実習 Linuxシステム管理 後編—システム起動の仕組みとディスク管理技術—【バーチャル・クラスルーム】 2日間	 マシン実習 Linuxトラブルシューティング【バーチャル・クラスルーム】 2日間
Linuxシステムの管理や運用に必要な基礎知識を学習します。また、マシン実習を通して、インストール、ユーザ管理、およびネットワーク設定方法などのシステム管理作業を体験します。	Linuxシステムの起動の方法、およびディスク管理に必要な知識を学習します。また、マシン実習を通して、ファイルシステムの構築方法やLVMのディスク管理方法を体験します。	このコースではLinuxで発生するトラブルの原因分析方法と解決策を学習します。マシン実習では、運用中に実際に発生する可能性のあるトラブルを再現し、原因の分析と復旧作業を行います。
到達目標 <ul style="list-style-type: none"> Linuxをインストールできる。 Linuxシステムの運用・管理で必要となる、ユーザ管理、パッケージ管理およびログ管理などができる。 Linuxにてネットワークを利用するための設定ができる。 	到達目標 <ul style="list-style-type: none"> Linuxシステムの起動の仕組みを説明できる。 新規にパーティションやファイルシステムの作成ができる。 LVMやiSCSIによる高度なディスク管理ができる。 	到達目標 <ul style="list-style-type: none"> トラブル発生時の対応手順を説明できる。 Linuxシステムのトラブル発生時に、緊急ブート手段でブートできる。 Linuxシステムのトラブル発生状況から原因を究明し復旧できる。
対象者 Linuxシステムをはじめ運用・管理する方。	対象者 Linuxシステムを運用・管理する方。	対象者 Linuxシステムの運用/管理する方。
前提知識 「UNIX/Linux基礎—コマンド編—」および「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎 II—TCP/IPの仕組み—」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。	前提知識 「Linuxシステム管理前編—Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。	前提知識 「Linuxシステム管理後編—システム起動の仕組みとディスク管理技術—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容 <ol style="list-style-type: none"> Linuxシステム管理の基礎 Linuxのインストール ネットワークの基本設定とサービス制御 ユーザ・グループ管理 パッケージ管理 ログの取得と管理 バックアップとリストア 	内容 <ol style="list-style-type: none"> システムの起動 ファイルシステムの作成と管理 <ol style="list-style-type: none"> ファイルシステムの作成の手順 ファイルシステムの修復 ファイルシステムの管理 ファイルシステムの使用量の制限 LVM概要と環境構築 LVMの管理 <ol style="list-style-type: none"> LVMの特性変更 LVMの拡張 LVMの縮小 LVMの削除 iSCSI <ol style="list-style-type: none"> ストレージの共有 iSCSIとは iSCSIの設定 iSCSIの冗長化 	内容 <ol style="list-style-type: none"> トラブルシューティング概要 <ol style="list-style-type: none"> トラブルの種類 トラブルシューティングの流れ 情報の収集手段 バックアップとリストア トラブル発生時のLinux起動 ブート時のトラブルシューティング <ol style="list-style-type: none"> ブートの仕組み ブートデバイス関連のトラブルシューティング ブートローダ関連のトラブルシューティング init/systemd関連のトラブルシューティング システム稼働中のトラブルシューティング <ol style="list-style-type: none"> ログインの仕組み ログイン関連のトラブルシューティング ファイルシステムの仕組み ファイルシステム関連のトラブルシューティング ネットワークのトラブルシューティング <ol style="list-style-type: none"> ネットワークコマンドと設定ファイル ネットワークトラブルの原因と調査方法 ネットワーク設定関連のトラブルシューティング
備考 Linuxシステムの管理を行う方には、あわせて「Linuxシステム管理 後編—システム起動の仕組みとディスク管理技術—」コースのご受講を推奨します。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。	備考 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。	備考 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

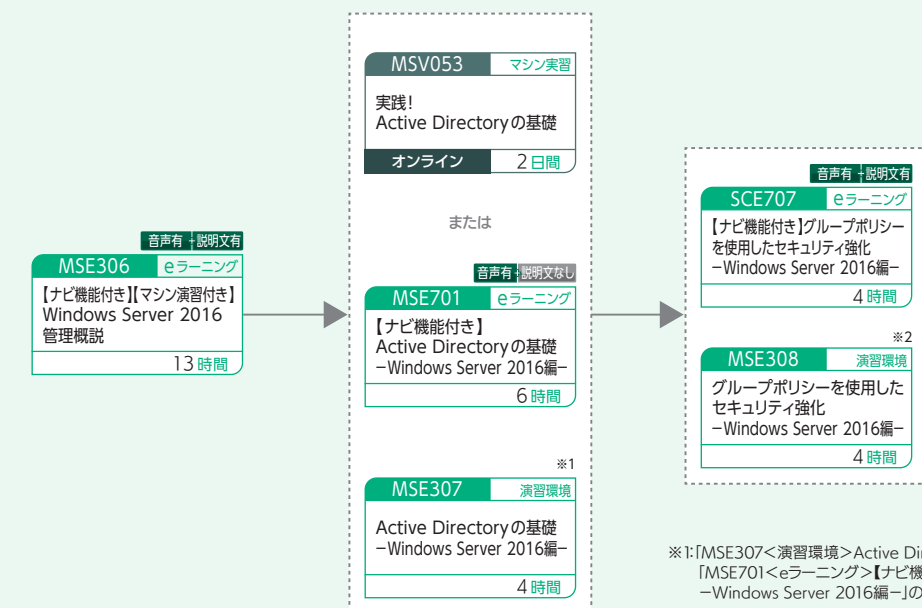
Microsoft

Windows ServerなどのMicrosoft製品を使用した、システム構築・運用管理に関する技術が修得できます。

● Windows Server 2019を使用してシステムを構築・運用・管理する方



● Windows Server 2016を使用してシステムを構築・運用・管理する方



● Windows Server 2016を使用してシステムを構築・運用・管理する方 (Continued)

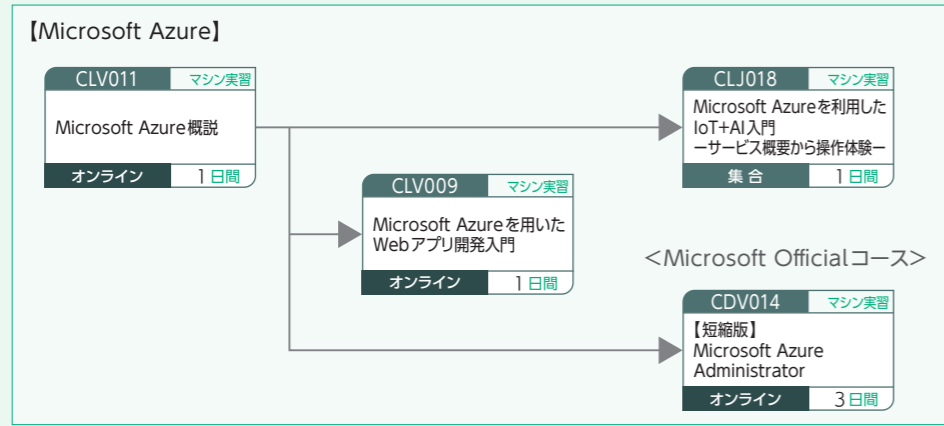
※1: 「MSE307<演習環境>Active Directoryの基礎—Windows Server 2016編—」は「MSE701<eラーニング>【ナビ機能付き】Active Directoryの基礎—Windows Server 2016編—」の修了後のご受講をお勧めします。

※2: 「MSE308<演習環境>グループポリシーを使用したセキュリティ強化—Windows Server 2016編—」は「SCE707<eラーニング>【ナビ機能付き】グループポリシーを使用したセキュリティ強化—Windows Server 2016編—」の修了後のご受講をお勧めします。

音声有 + 説明文有 : 説明画面と説明文(音声あり)で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)
音声有 + 説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
音声なし + 説明文有 : 説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

初心者におススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

● Microsoft Azureを使用してシステムを構築する方



【Microsoft Azure】

CLV011 マシン実習
Microsoft Azure 概説
オンライン 1 日間

CLV009 マシン実習
Microsoft Azureを用いたWebアプリ開発入門
オンライン 1 日間

CLJ018 マシン実習
Microsoft Azureを利用したIoT+AI入門 - サービス概要から操作体験 -
集合 1 日間

CDV014 マシン実習
【短縮版】Microsoft Azure Administrator
オンライン 3 日間

<Microsoft Officialコース>

音声有・説明文有：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
 音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
 音声なし・説明文有：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者におススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

資格 マイクロソフト認定資格

マイクロソフト認定資格は、Microsoft テクノロジにおける専門知識を証明するものです。マイクロソフト認定プロフェッショナルは、コミュニティ リソースやツールにアクセスして、仲間とアイデアを交換して自身の知識やスキルを高めたり、キャリアの可能性を広げたりできます。

詳しくは、日立アカデミーのWebサイトにてご確認ください。
<https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/license/mcp.html>



MSV052 Microsoft

Windows Server 2019管理概説【バーチャル・クラスルーム】

2日間

Windows Server 2019を使用してWindowsシステムを構築・運用・管理するために必要な技術の概要を、マシン実習を通して学習します。

到達目標・Windows Server 2019の概要が説明できる。
 ・ローカルユーザー、ドメインユーザーを管理できる。
 ・ファイルサーバーを構成し、資源を管理できる。
 ・Windows Server 2019のトラブルシューティングを実施できる。

対象者・Windows Server 2019を使用してシステムを管理される方。
 ・Windows Server 2019の導入を検討している方。

前提知識Windowsインターフェイスの十分な使用経験があり、「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ-TCP/IPの仕組み」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容】1. Windows Server 2019の概要
 2. Windows Server 2019のインストール
 3. サーバー管理ツール
 4. ワークグループ環境のアカウント管理
 5. ドメイン環境のアカウント管理
 6. Hyper-Vの管理
 7. ディスクの管理
 8. アクセス許可の設定
 9. ファイルサーバーの構築
 10. サーバーの監視
 11. サーバーのバックアップ

MSE701 Microsoft

<eラーニング>【ナビ機能付き】Active Directoryの基礎 -Windows Server 2016編-

6時間

Windows Server 2016にActive Directoryをインストールし、ドメインの構築・運用・管理するために必要な基礎知識を体系的に学習します。なお、このコースの学習項目は、「実践！Active Directoryの基礎 -Windows Server 2016編-」コースと同一です。

到達目標・Active Directoryの概要と実装方法について説明できる。
 ・グループポリシーの管理について説明できる。
 ・Active Directoryのバックアップと復元について説明できる。

対象者・Active Directoryを設計・構築・管理する方。
 ・Active Directoryの導入を検討している方。

前提知識「Windows Server 2016 管理概説」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容】1. Active Directoryドメインサービスの概要
 2. Active Directoryドメインの実装
 3. Active Directoryドメインのオブジェクト管理
 4. グループポリシーの実装と管理
 5. Active DirectoryドメインサービスとDNS
 6. サイトとグローバルカタログサーバーの構成
 7. 複数ドメイン環境の構成
 8. Active Directoryドメインサービスのバックアップと復元
 9. 修了試験

備考・開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります。
 ・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

MSV053 Microsoft

実践！Active Directoryの基礎【バーチャル・クラスルーム】

2日間

Windows ServerにActive Directoryをインストールし、ドメインの構築・運用・管理するために必要な技術を、マシン実習を通して学習します。

到達目標・Active Directoryの概要と実装方法が説明できる。
 ・Active Directoryを使用してドメイン環境を管理できる。
 ・グループポリシーの実装ができる。
 ・Active Directoryのバックアップと復元ができる。

対象者Active Directoryを設計・構築・管理する方、またはActive Directoryの導入を検討している方で、Active Directoryの基礎知識をご存じない方。

前提知識「Windows Server 2019管理概説」コース、または「【ナビ機能付き】【マシン演習付き】Windows Server 2016管理概説」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容】1. Active Directoryドメインサービスの概要
 2. Active Directoryドメインの実装
 3. Active Directoryドメインのオブジェクト管理
 4. グループポリシーの実装と管理
 5. Active DirectoryドメインサービスとDNS
 6. サイトの構成
 7. 信頼関係の構成
 8. Active Directoryドメインサービスのバックアップと復元

MSE307 Microsoft

<演習環境>Active Directoryの基礎 -Windows Server 2016編-

4時間

Active Directoryの構築・運用・管理方法を、当社の提供するクラウド上のマシンを使用して学習します。このコースは、クラウド上に演習環境をセットアップしたマシンと、演習題材を利用できるマシン演習環境サービスです。

到達目標Active Directoryの構築・運用・管理を実装できる。

対象者・Active Directoryの管理に関する操作スキルを身につけたいが自身で構築することは困難な方。
 ・Active Directoryの管理に関する検証を行いたいのが実際の運用環境では試せない方。

前提知識「Windows Server 2016管理概説」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容】1. Active Directoryドメインの実装
 2. Active Directoryドメインのオブジェクト管理
 3. グループポリシーの実装と管理
 4. Active DirectoryドメインサービスとDNS
 5. サイトとグローバルカタログサーバーの構成
 6. 複数ドメイン環境の構成
 7. Active Directoryドメインサービスのバックアップと復元

備考・サービス有効期間は21日間です。
 ・このコースは、演習問題と、それに必要なデータ、マシン環境が利用できるマシン演習環境サービスです。
 ・このコースの学習要領・学習利用環境をご確認のうえ、お申し込みください。
<https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/elearning/mc.html>
 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

MSE306 Microsoft

<eラーニング>【ナビ機能付き】【マシン演習付き】Windows Server 2016管理概説

13時間

Windows Server 2016を使用してWindowsシステムを構築・運用・管理するために必要な技術の概要を、マシン実習を通して学習します。

到達目標・Windows Server 2016の概要が説明できる。
 ・ローカルユーザー、ドメインユーザーを管理できる。
 ・ファイルサーバーを構成し、資源を管理できる。
 ・Windows Server 2016のトラブルシューティングを実施できる。

対象者・Windows Server 2016を使用してシステムを管理される方。
 ・Windows Server 2016の導入を検討している方。

前提知識Windowsインターフェイスの十分な使用経験があり、「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ-TCP/IPの仕組み」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容】1. Windows Server 2016の概要
 2. Windows Server 2016のインストール
 3. サーバー管理ツール
 4. ワークグループ環境のアカウント管理
 5. ドメイン環境のアカウント管理
 6. ポリシーの概要
 7. ディスクの管理
 8. アクセス許可の設定
 9. ファイルサーバーの構築
 10. サーバーの監視
 11. サーバーのバックアップ
 12. 修了試験

備考・サービス有効期間は21日間です。
【お申し込み前に必ずご確認ください】
 ・説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
 ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf>
 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
 ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

SCE707 Microsoft

<eラーニング>【ナビ機能付き】グループポリシーを使用したセキュリティ強化 -Windows Server 2016編-

4時間

Windows環境のセキュリティを向上するために用意されているグループポリシーを、シナリオベースで紹介します。

到達目標グループポリシーを使用したWindows環境のセキュリティ向上を実装できる。

対象者Windows環境のセキュリティ強化における、グループポリシーの活用方法を具体的に知りたい方。

前提知識「実践！Active Directoryの基礎 -Windows Server 2016編-」コース、または「【ナビ機能付き】Active Directoryの基礎 -Windows Server 2016編-」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容】1. グループポリシーの実装
 2. グループポリシーによるWindows環境のセキュリティ保護
 3. 修了試験

備考・開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります。
 ・説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HIRDB
- OpenTP1
- VOS3
- XDM
- 日立ストレージ
- Pentaho
- デジタルトランスフォーメーション
- DXマインド・プロセス・マネジメント
- 課題分析 (何をなすべきかを着想する)
- 仮設構築 (ビジネスモデルをデザインする)
- プロトタイプと価値検証 (共通)
- プロトタイプと価値検証 (データ環境構築)
- プロトタイプと価値検証 (分析モデル構築)
- RPA
- クラウド/サーバ仮想化
- ITサービスマネジメント
- システム基盤
- IT基本
- オープンソースソフトウェア(OSS)
- Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- ハードウェア
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画
- システム開発
- 要件定義/設計
- プログラミング
- 情報処理技術者試験対策
- ITリテラシ
- プロジェクトマネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル
- OT (モノづくり・専門技術)

MSE308 Microsoft

＜演習環境＞ グループポリシーを使用したセキュリティ強化 -Windows Server 2016編-

4時間

グループポリシーを実装してWindows環境のセキュリティを強化する方法を、クラウド上のマシンを使用して学習します。このコースは、クラウド上に演習環境をセットアップしたマシンと、演習題材を利用できるマシン演習環境サービスです。

到達目標 グループポリシーを実装し、Windows環境のセキュリティを強化できる。

対象者 ・グループポリシーによるセキュリティ強化を実装する操作スキルを身につけたいが自身で構築することは困難な方。
・グループポリシーによるセキュリティ強化に関する検証を行いたいが実際の運用環境では試せない方。

前提知識 「実践! Active Directoryの基礎 -Windows Server 2016編-」コース、または「【ナビ機能付き】Active Directoryの基礎 -Windows Server 2016編-」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. グループポリシーの実装
2. グループポリシーによるWindows環境のセキュリティ保護

備考 ・サービス有効期間は21日間です。
・このコースは、演習問題と、それに必要なデータ、マシン環境が利用できるマシン演習環境サービスです。
・このコースの学習要領・学習利用環境をご確認のうえ、お申し込みください。
<https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/elearning/mc.html>
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

MSV054 Microsoft

実践! Windows PowerShellを用いたシステム管理の効率化 Renewal

1日間

PowerShellを用いたWindowsシステムの管理方法を、マシン実習を通して学習します。また、与えられた要件をもとにPowerShellスクリプトを作成する演習を用意し、実践的な力の強化に繋がります。

到達目標 ・Windowsシステム上でPowerShellを使用するメソッドを説明できる。
・PowerShellを使用して、Windowsシステムを設定・管理できる。

対象者 ・PowerShellを用いて環境構築をしなければならないが、PowerShellの基礎的な内容をご存知ない方。
・PowerShellを用いて、業務を自動化し、効率化したい方。

前提知識 プログラミングの基本を理解し、「Windows Server 2019管理概説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

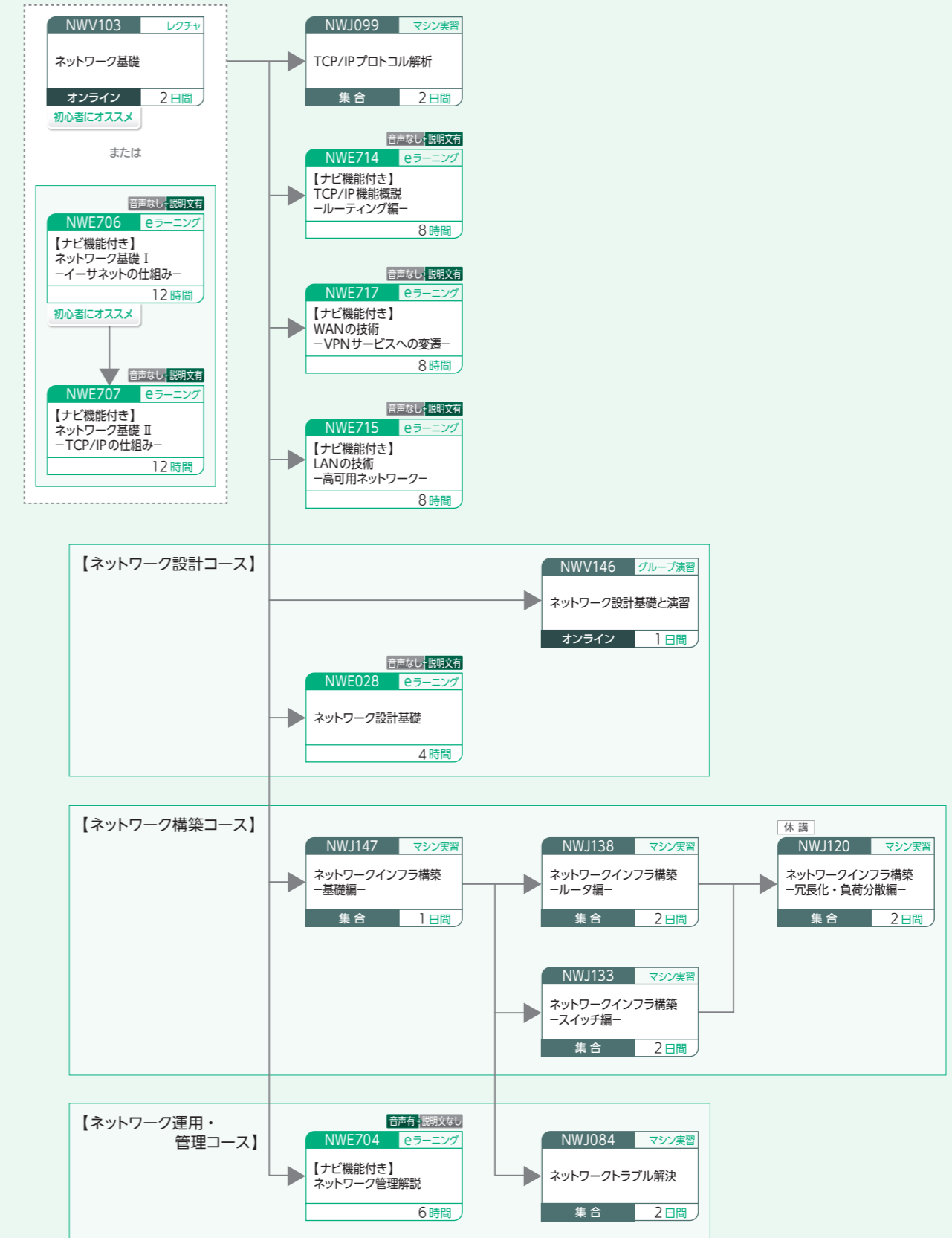
内容 1. Windows PowerShellの概要
2. 基本的な文法
3. Windows PowerShellによるリモート管理

備考 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

ネットワーク

ネットワークの構成を理解し、LANおよびWANに接続したシステム設計・構築・運用管理に関する技術が修得できます。

● ネットワークを設計・構築・運用する方、技術を詳しく学びたい方



- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HIRDB
- OpenTP1
- VOS3
- XDM
- 日立ストレージ
- Pentaho
- デジタルトランスフォーメーション
- DXマインド・プロセス・マネジメント
- 課題分析 (何をなすべきかを着想する)
- 仮設構築 (ビジネスモデルをデザインする)
- プロトタイプと価値検証 (共通)
- プロトタイプと価値検証 (データ環境構築)
- プロトタイプと価値検証 (分析モデル構築)
- RPA
- クラウド/サーバ仮想化
- ITサービスマネジメント
- システム基盤
- IT基本
- オープンソースソフトウェア(OSS)
- Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- ハードウェア
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画
- システム開発
- 要件定義/設計
- プログラミング
- 情報処理技術者試験対策
- ITリテラシ
- プロジェクトマネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル
- OT (モノづくり・専門技術)

● インターネットサーバを構築・運用・管理する方

音声なし、説明文有

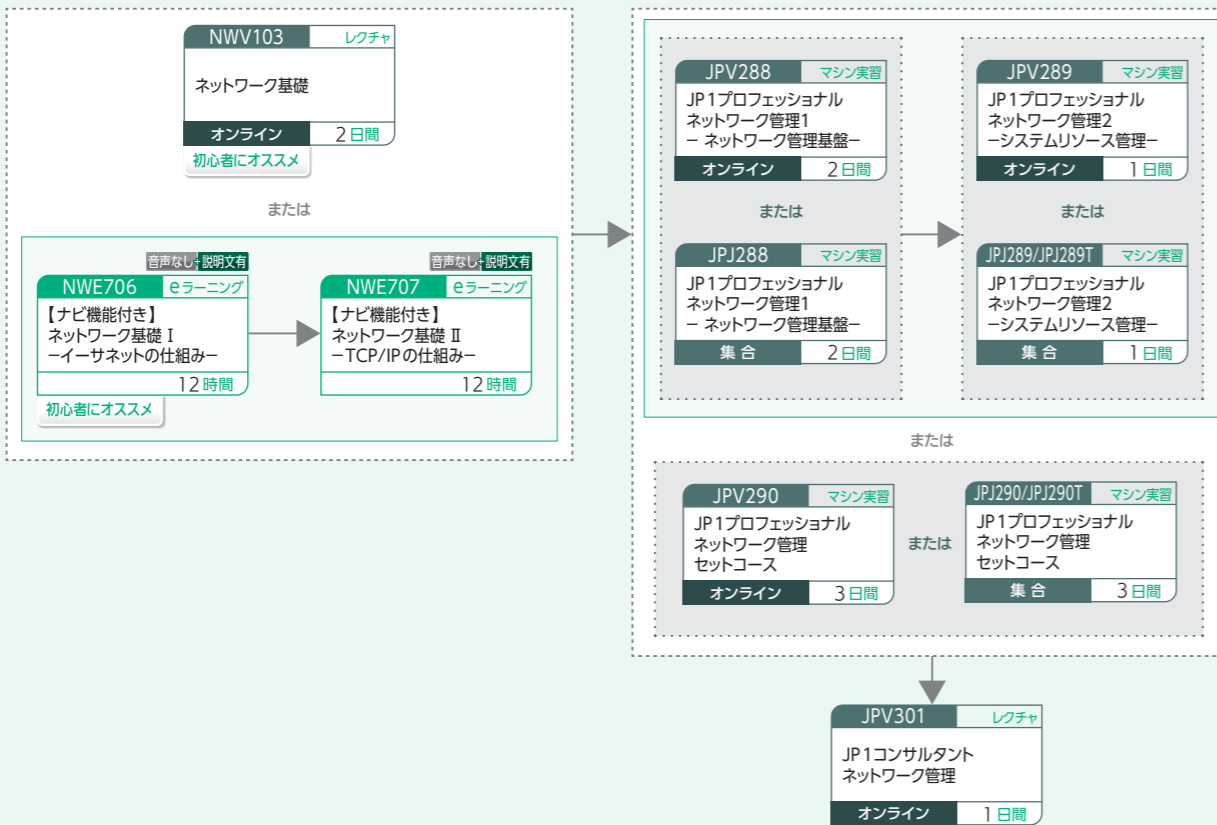
NWE001 eラーニング

インターネット技術入門

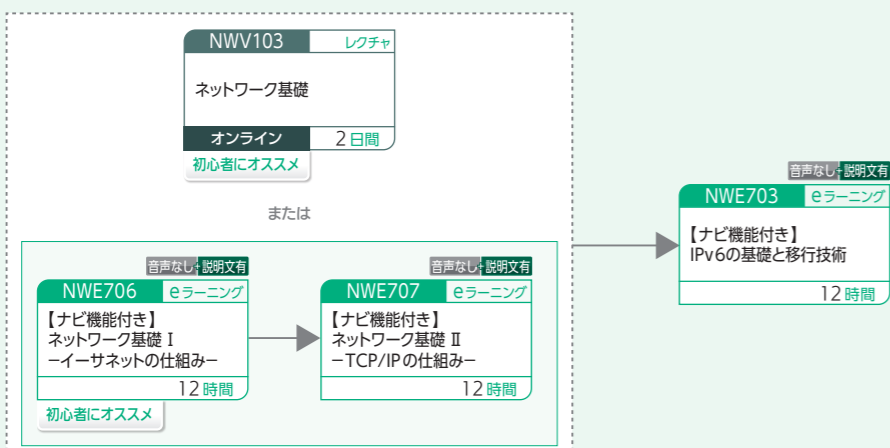
6時間

初心者にオススメ

● JP1 ネットワーク管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



● IPv6 ネットワークを構築・運用・管理する方、技術を詳しく学びたい方



- 音声有、説明文有：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
- 音声有、説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
- 音声なし、説明文有：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

マシン実習：マシンを使用しながらの研修

グループ演習：グループ演習を中心とした研修

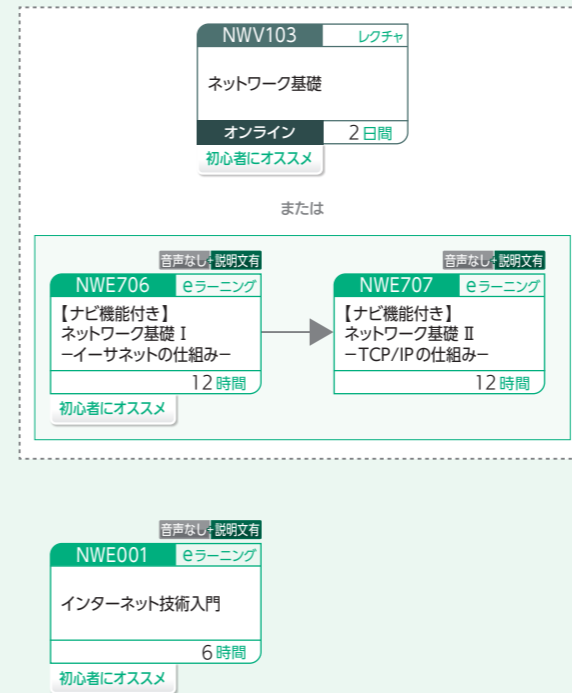
レクチャ：座学による研修

eラーニング：インターネット接続による自己学習

その他

休講：休講（今期の定期開催はありません）

● ネットワークシステム、インターネットを利用する方



日立製品

JP1

uCosminexus Application Server

HiRDB

OpenTP1

VOS3

XDM

日立ストレージ

Pentaho

デジタルトランスフォーメーション

DXマインド・プロセス・マネジメント

課題分析（何をなすべきかを着想する）

仮設構築（ビジネスモデルをデザインする）

プロトタイプと価値検証（共通）

プロトタイプと価値検証（データ環境構築）

プロトタイプと価値検証（分析モデル構築）

RPA

クラウド/サーバ仮想化

ITサービスマネジメント

システム基盤

IT基本

オープンソースソフトウェア(OSS)

Linux

Microsoft

ネットワーク

ハードウェア

セキュリティ

データベース

IT戦略・IS企画

システム開発

要件定義/設計

プログラミング

情報処理技術者試験対策

ITリテラシ

プロジェクトマネジメント

コンプライアンス

ビジネス/ヒューマン

グローバル

OT(モノづくり・専門技術)

NWJ133 ネットワーク

**ネットワークインフラ構築
-スイッチ編-**

2日間

L3スイッチを使ったマシン演習を通し、VLAN、リンクアグリゲーション、STP、ルーティング、フィルタリング、運用管理について学習します。

到達目標 L3スイッチによるネットワークを構築できる。

対象者 LANスイッチを使用したネットワークを構築、管理する方。

前提知識 「ネットワークインフラ構築-基礎編-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. スイッチの概要
2. スイッチの基本操作(コンフィギュレーション、ミラーポート)
3. VLAN(ポートVLAN、タグVLAN、VLAN間ルーティング)
4. リンクアグリゲーション
5. STP(RSTP、MSTP)
6. パケットフィルタリング(ACL)
7. 運用管理(SNMP、Syslog)

NWJ120 ネットワーク

**ネットワークインフラ構築
-冗長化・負荷分散編-**

2日間

高可用性ネットワークを実現するための冗長化技術および負荷分散技術について、マシン実習を通して学習します。

到達目標 冗長化技術を用いたネットワークを設計・構築できる。

- ・負荷分散技術を用いたネットワークを設計・構築できる。

対象者 ネットワークインフラを設計、構築、管理する方。

前提知識 「ネットワークインフラ構築-スイッチ編-」および「ネットワークインフラ構築-ルータ編-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. L2冗長化・負荷分散(STP、RSTP、MSTP)
2. L3冗長化・負荷分散(OSPF、RIP)
3. ゲートウェイ冗長化(VRRP)
4. ロードバランサによる負荷分散
5. NIC冗長化(チーミング)
6. 総合演習

備考 ※このコースは、休講とさせていただきます。

NWE703 ネットワーク

**<eラーニング>【ナビ機能付き】
IPv6の基礎と移行技術**

12時間

IPv6プロトコルに関連する基礎技術(アドレス、ヘッダ、ICMP等)と移行技術を学習します。

到達目標 IPv6の概要を説明できる。

- ・IPv6移行技術の概要を説明できる。

対象者 IPv6の基礎的な知識を必要とする方、ネットワークの設計、構築、運用管理を行う方。

前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ-TCP/IPの仕組み-Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. IPv4の問題点とIPv6の特徴
2. IPv6の仕様(プロトコルスタックやアドレスなど)
3. ICMPv6の仕様(アドレス解決やステートレスアドレス自動設定など)
4. IPv6への移行(移行形態やアドレス設計例など)
5. 修了試験

備考 ・開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります。

- ・説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

NWJ084 ネットワーク

ネットワークトラブル解決

2日間

ネットワークにおけるトラブルシューティングについて、マシン実習を通して学習します。

到達目標 トラブルシューティングの基礎的な考え方について説明できる。

- ・トラフィック解析ツールを利用したトラブルシューティングができる。

対象者 ネットワークを構築・管理する方、トラブルの切り分けを行う方。

前提知識 「ネットワークインフラ構築-基礎編-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. ネットワーク概要
2. トラブル解析手順
 - (1) ネットワークトラブルに対する考え方
 - (2) トラブルシューティングに必要なこと
 - (3) トラブルの絞り込み
3. ルータの基本操作
4. スイッチの基本操作
5. LANアナライザの使用方法
6. トラブルシューティング演習

NWE704 ネットワーク

**<eラーニング>【ナビ機能付き】
ネットワーク管理解説**

6時間

ネットワークの運用管理の対象となる項目(構成管理・性能管理・障害管理等)と、ネットワーク運用管理において利用するプロトコル、各種管理ツールの特徴について学習します。

到達目標 ネットワークの管理項目(構成管理・性能管理・障害管理等)について説明できる。

- ・各種管理ツールの利用方法・特徴について説明できる。
- ・SNMPによるネットワーク管理の構成要素と、要素の概要を説明できる。

対象者 情報システムにおけるネットワークの運用管理を行う方。

前提知識 「ネットワークインフラ構築-基礎編-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. ネットワーク管理の概要
2. 資産・構成管理
3. 性能管理
4. 障害管理
5. ネットワーク管理ツール
6. SNMPを用いたネットワーク管理
7. 修了試験

備考 ・開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります。

- ・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

ハードウェア

サーバ・ストレージシステムの構築・活用に有効なハードウェア技術が修得できます。

● SAN関連業務に携わる方

音声有・説明文なし
eラーニング

SJE705

【ナビ機能付き】
SAN概説

5 時間

音声なし・説明文有
eラーニング

SJE708

【ナビ機能付き】
ストレージシステム基礎

8 時間

● サーバ・ストレージシステムを活用・構築する方

音声有・説明文なし
eラーニング

SJE016

Fibre Channel 概説
一日立ストレージ・ホストの
接続を理解するために

4 時間

音声有・説明文なし
eラーニング

SJE028

SCSI 入門
ーストレージインタフェース
を理解するために

2 時間

● サーバ製品の設計・システム構築に携わる方

音声有・説明文なし
eラーニング

SJE018

SAS (Serial Attached SCSI)
入門ーストレージインタフェース
を理解するために

2 時間

● HDDを含む製品の開発に携わる方

音声有・説明文なし
eラーニング

SJE017

SATA 入門

2 時間

音声有・説明文有 : 説明画面と説明文(音声あり)で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)

音声なし・説明文有 : 説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

日立製品

JP1

uCosminexus
Application Server

HiRDB

OpenTP1

VOS3

XDM

日立ストレージ

Pentaho

デジタルトランス
フォーメーションDXマインド・
プロセス・
マネジメント課題分析
(何をなすべきかを
着想する)仮説構築
(ビジネスモデルを
デザインする)プロトタイプと
価値検証(共通)プロトタイプと
価値検証
(データ環境構築)プロトタイプと
価値検証
(分析モデル構築)

RPA

クラウド/
サーバ仮想化ITサービス
マネジメント

システム基盤

IT基本

オープンソース
ソフトウェア(OSS)

Linux

Microsoft

ネットワーク

ハードウェア

セキュリティ

データベース

IT戦略・IS企画

システム開発

要件定義/設計

プログラミング

情報処理技術者
試験対策

ITリテラシ

プロジェクト
マネジメント

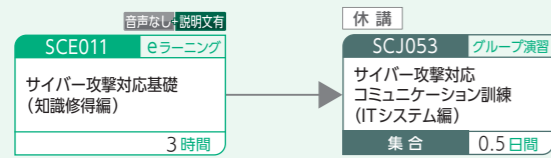
コンプライアンス

ビジネス/
ヒューマン

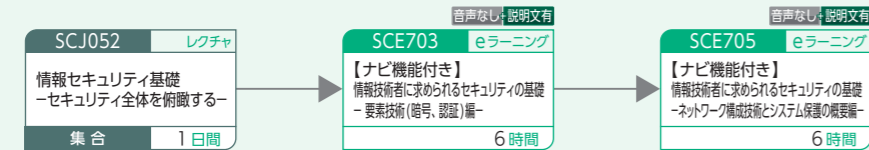
グローバル

OT(モノづくり・
専門技術)

● セキュリティインシデント対応の基礎を身につけたい方

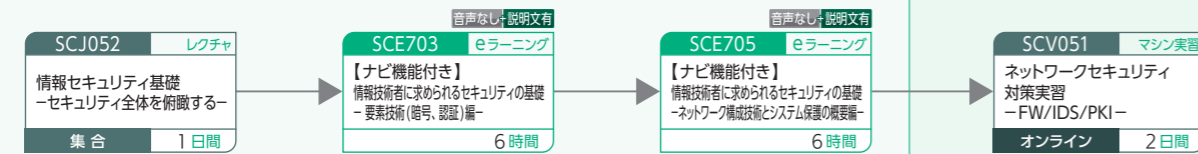


● 情報システムを構築・運用する方 (セキュリティの基礎)



● ネットワークシステムを構築・運用する方

【セキュリティの基礎コース】



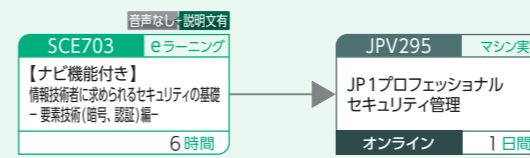
音声有・説明文有：説明画面と説明文(音声あり)で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)

音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)

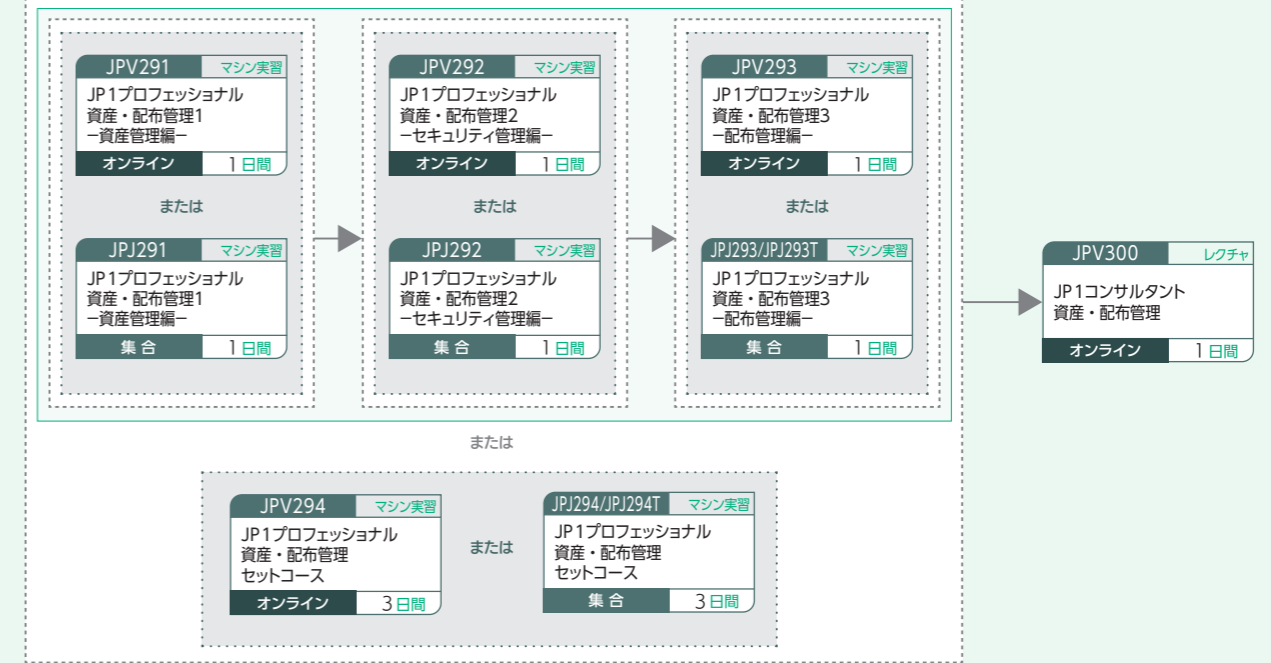
音声なし・説明文有：説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

初心者におススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

● JP1セキュリティ管理製品を使用してシステムを構築・運用する方

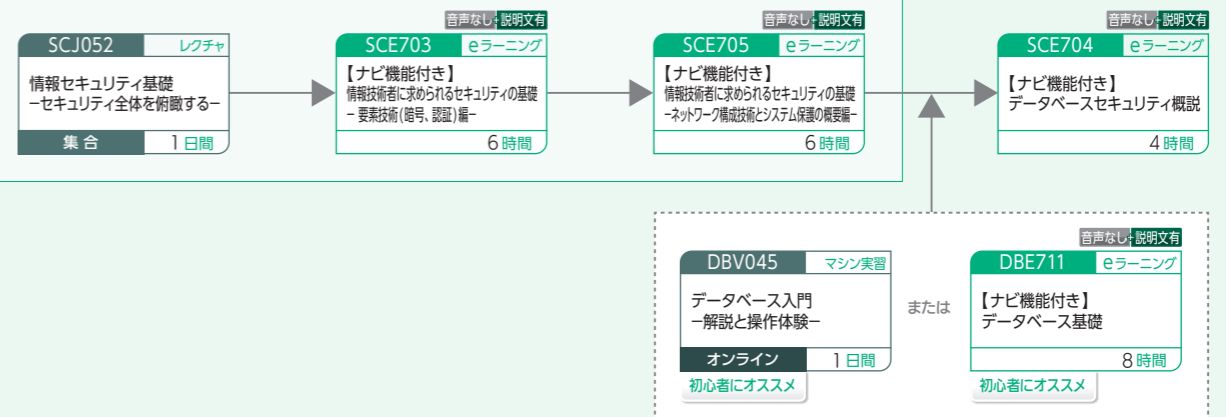


● JP1資産・配布管理製品を使用してシステムを構築・運用する方



● データベースを構築・運用する方

【セキュリティの基礎コース】



● 制御システムを構築・運用・管理する方

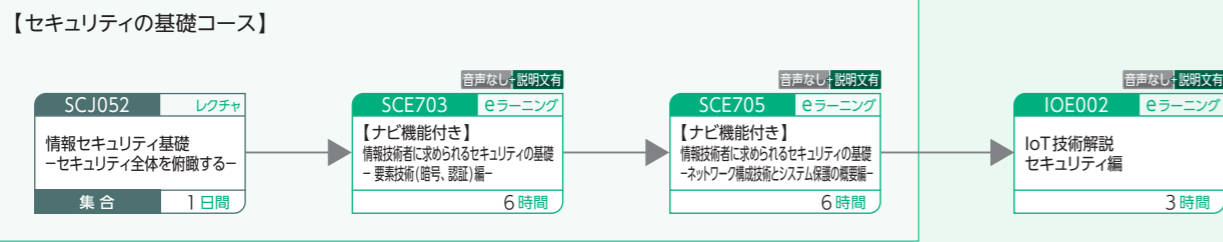
休講

SCJ048 **グループ演習**

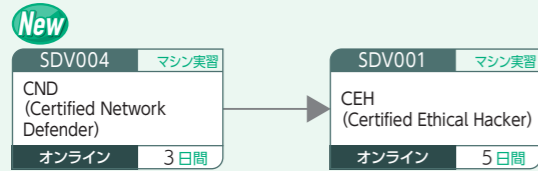
セキュリティリスク分析
-IPA「制御システムのセキュリティ
リスク分析ガイド」解説-

集合 1日間

● IoTのシステムを構築・運用・管理する方



● ホワイトハッカーをめざす方



- 音声有+説明文有** : 説明画面と説明文(音声あり)で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)
- 音声有+説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
- 音声なし+説明文有** : 説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

初心者におススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

資格 EC-Council 認定資格

EC-Council認定資格は、EC-Council Internationalが「情報セキュリティ技術者として、一定水準以上の技術力を持つこと」を認定する資格です。

詳しくは、日立アカデミーのWebサイトにてご確認ください。

<https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/license/ecc.html>

SCE708 セキュリティ

**<eラーニング>【ナビ機能付き】
情報セキュリティリテラシー
-セキュリティの必要性和対策-**

4時間

情報システムの利用者が理解しておくべき、セキュリティ上の対策の必要性、および基礎的なセキュリティ用語について学習します。

到達目標 情報システムにおけるセキュリティの必要性について説明できる。
・情報システムの利用者が理解しておくべき、セキュリティ上のリスクとその対策方法を説明できる。
・基礎的な情報セキュリティ用語を説明できる。

対象者 情報セキュリティに関する基礎知識を必要とする方。

前提知識 特に必要としません。

内容 1. 情報セキュリティ概要
2. 通常業務におけるリスクと対策
3. Web利用におけるリスクと対策
4. メール利用におけるリスクと対策
5. コンプライアンス
6. 修了試験

備考 ・開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります。
・説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

SCJ052 セキュリティ

**情報セキュリティ基礎
-セキュリティ全体を俯瞰する-**

1日間

これからセキュリティを学ぶにあたり、セキュリティの全体像(俯瞰して捉える)と、基礎的な技術/事項の関連性を学習します。

到達目標 ・セキュリティの全体像を俯瞰して説明できる。
・自分の業務に関連する様々なセキュリティ技術について、内容と関係性を説明できる。

対象者 ・これからセキュリティを学んでいく方。
・SIベンダー、情報システム部門の担当者の方。

前提知識 ITに関する基礎的な知識があること。

内容 1. セキュリティとは
2. セキュリティに対する脅威
3. セキュリティの基礎技術
(1)暗号
(2)認証
4. セキュリティ対策
(1)通信の制御
(2)Webシステム対策
(3)セキュアプロトコル
(4)システムセキュリティ
5. セキュリティマネジメント

SCV041 セキュリティ

**セキュリティ最新動向
【バーチャル・クラスルーム】**

0.5日間

セキュリティの基本概念からセキュリティ対策の最新動向を学習します。

到達目標 ・セキュリティの必要性が説明できる。
・最新のセキュリティ脅威を説明できる。
・セキュリティ対策における最新動向を説明できる。

対象者 セキュリティの最新動向を知りたい方。

前提知識 オペレーティングシステム、およびネットワークに関する基本的な知識があること。

内容 1. 情報セキュリティの基礎
2. 最新の攻撃方法と対策
3. セキュリティ対策の実例
4. 今後増加すると考えられる攻撃
5. 新しい対策技術
6. さらに知りたい人のために

SCE706 セキュリティ

**<eラーニング>【ナビ機能付き】
情報セキュリティマネジメント概説
-セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度-**

8時間

情報セキュリティ維持、個人情報保護のための管理システムと情報セキュリティに関連する規格、法律制度など管理的対策に関する概要を学びます。

到達目標 情報セキュリティ、コンプライアンスの概念を説明できる。
・情報セキュリティ維持、個人情報保護のマネジメントシステムの概要を説明できる。
・情報セキュリティに関連する規格、法律制度を説明できる。

対象者 ・情報システムを運用・管理する方。
・情報セキュリティを計画・立案する方。

前提知識 コンピュータシステムの基礎知識があること。

内容 1. 情報セキュリティの概要
2. 情報セキュリティマネジメントの基本概念
(1)情報セキュリティマネジメントの概要
(2)情報セキュリティポリシーの概要
3. リスクマネジメント
(1)リスクアセスメント
(2)リスク対応
4. 情報セキュリティの維持
(1)ISMS認証基準
(2)インシデントレスポンス
5. 情報セキュリティ関連の法規と規格
(1)個人情報保護
(2)サイバー犯罪関連法規
6. 修了試験

備考 ・開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります。
・説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

SCJ048 セキュリティ

**セキュリティリスク分析
-IPA「制御システムの
セキュリティリスク分析ガイド」解説-**

1日間

「制御システムのセキュリティリスク分析ガイド」(IPA発行)をベースに、リスク分析の代表的な手法である「資産/攻撃シナリオ(事業被害)ベース」の手順を学習します。また、制御システムの事例を用いて演習を行います。

到達目標 制御システム、情報システムにおけるセキュリティリスク分析ができる。

対象者 制御システムのセキュリティリスク管理(現状分析)の関係者の方。
・重要インフラのセキュリティに関わる視野を広げたい方。
・情報システムのセキュリティリスク管理を行う方。

前提知識 情報セキュリティにおける基礎的な知識があること。
・「情報セキュリティマネジメント概説-セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度-Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. 制御セキュリティと本講義で解説する手法について
2. セキュリティ対策におけるリスク分析の位置付けとその全体像
3. リスク分析の手順
(1)事前定義・演習
(2)資産ベースのリスク分析手順・演習
(3)シナリオベースのリスク分析手順・演習
4. リスク分析結果の活用

備考 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
※このコースは、休講とさせていただきます。

SCV047 セキュリティ

**ケーススタディから学ぶ
情報セキュリティリスクマネジメント
【バーチャル・クラスルーム】**

1日間

部門の情報セキュリティマネジメントを構築するための基本事項・部門で守るべき情報資産の洗い出し・リスクアセスメントの実施、管理台帳の作成について、部門の情報セキュリティマネジメントの観点からケーススタディを通して修得します。

到達目標 部門の情報セキュリティマネジメントの位置づけ、体制、構築対象、プロセスを説明できる。
・部門の情報資産の捉え方を理解し、リスクアセスメントができる。

対象者 情報セキュリティを計画・立案する方。

前提知識 「【ナビ機能付き】情報セキュリティマネジメント概説-セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度-Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

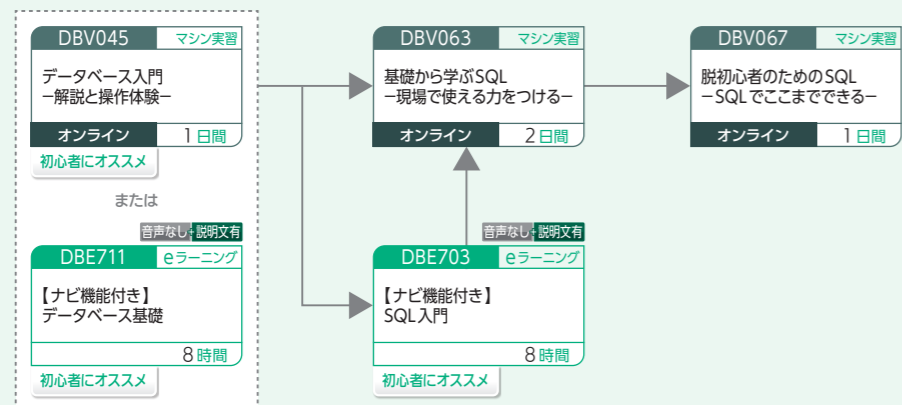
内容 1. 情報セキュリティマネジメントの構築
(1)情報セキュリティ対策の基本
(2)情報セキュリティ規程の体系と部門ルール
2. 情報資産の調査と分類、管理台帳
(1)守るべき情報資産の洗い出し
(2)情報資産の分類
3. リスクアセスメントの実施
(1)リスクアセスメントの流れ
(2)アプローチ方法と例
(3)情報セキュリティ対策
4. ケーススタディ

備考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

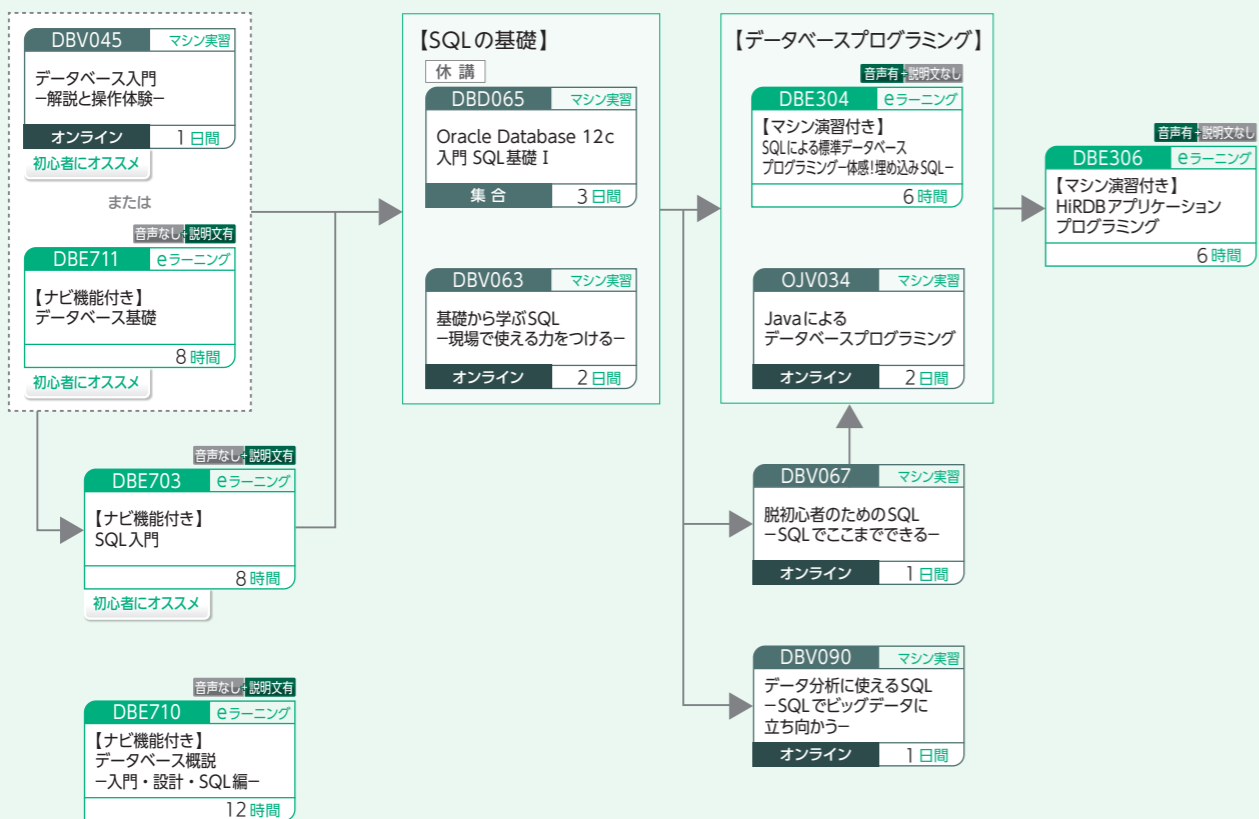
データベース

データベースの概念を理解し、データベースシステムを構築するための技術が修得できます。

データベースを利用する方



データベースを利用したアプリケーションを開発する方



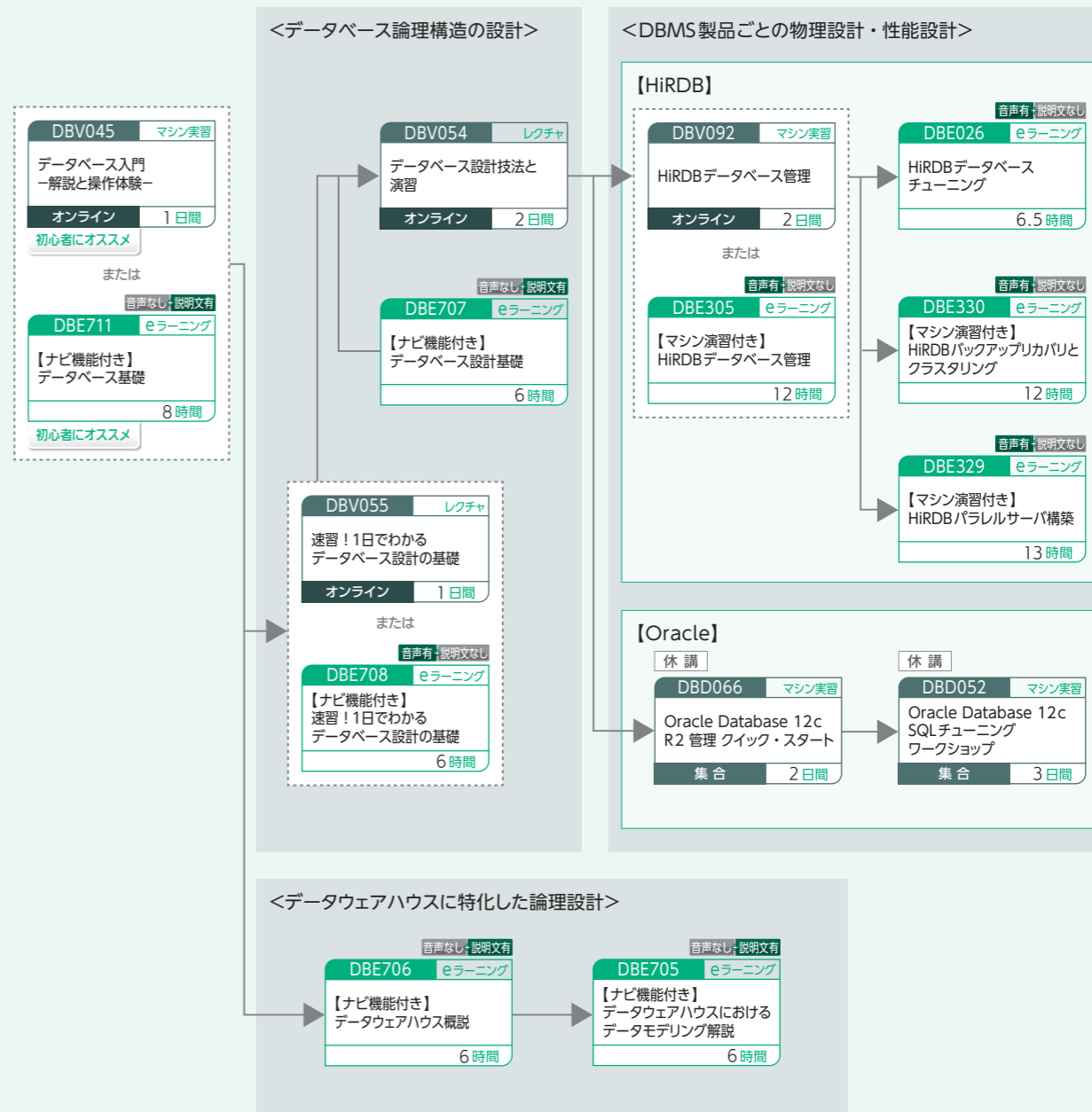
音声有・説明文有：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）

音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）

音声なし・説明文有：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

データベースを設計する方



データベースのチューニング方法を修得したい方

【標準】 DBV067 マシン実習 脱初心者のためのSQL -SQLでここまでできる- オンライン 1日間	【HiRDB】 DBE026 eラーニング HiRDB データベース チューニング 6.5時間 <small>音声有・説明文なし</small>	【Oracle】 DBD052 マシン実習 Oracle Database 12c SQL チューニング ワークショップ 集合 3日間
	DBE318 eラーニング 【マシン演習付き】 HiRDB アプリケーション チューニング 13時間 <small>音声有・説明文なし</small>	DBD068 レクチャ Oracle Database 実例から学ぶ！ パフォーマンス・チューニング 集合 1日間

データウェアハウスに特化した論理設計を修得したい方

DBV045 マシン実習 データベース入門 -解説と操作体験- オンライン 1日間 初心者におススメ	DBE706 eラーニング 【ナビ機能付き】 データウェアハウス概説 6時間 <small>音声なし・説明文有</small>	DBE705 eラーニング 【ナビ機能付き】 データウェアハウスにおける データモデリング解説 6時間 <small>音声なし・説明文有</small>
または DBE711 eラーニング 【ナビ機能付き】 データベース基礎 8時間 初心者におススメ		

オンライントランザクション処理 (OLTP) やTPモニターの概要を修得したい方

DBV009 レクチャ OpenTP1基礎 オンライン 1日間	DBE709 eラーニング 【ナビ機能付き】 OpenTP1基礎 6時間 <small>音声なし・説明文有</small>
DBE704 eラーニング 【ナビ機能付き】 OLTP概説 7時間 <small>音声なし・説明文有</small>	【推奨】 <small>音声なし・説明文有</small>

音声有・説明文有 : 説明画面と説明文 (音声あり) で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)

音声なし・説明文有 : 説明画面と説明文 (音声なし) で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

初心者におススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

HiRDBの概要を修得したい方

DBV045 マシン実習 データベース入門 -解説と操作体験- オンライン 1日間 初心者におススメ	DBE015 eラーニング HiRDB 機能解説 7時間 <small>音声有・説明文なし</small>
または DBE711 eラーニング 【ナビ機能付き】 データベース基礎 8時間 初心者におススメ	

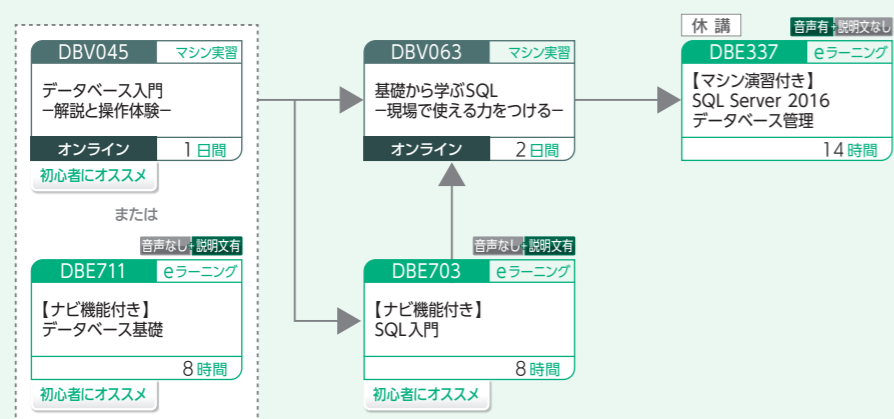
※1: このコースは、HiRDBに特化した内容ではありません。

HiRDBを使用してデータベースを構築・運用・アプリケーションプログラム開発をする方

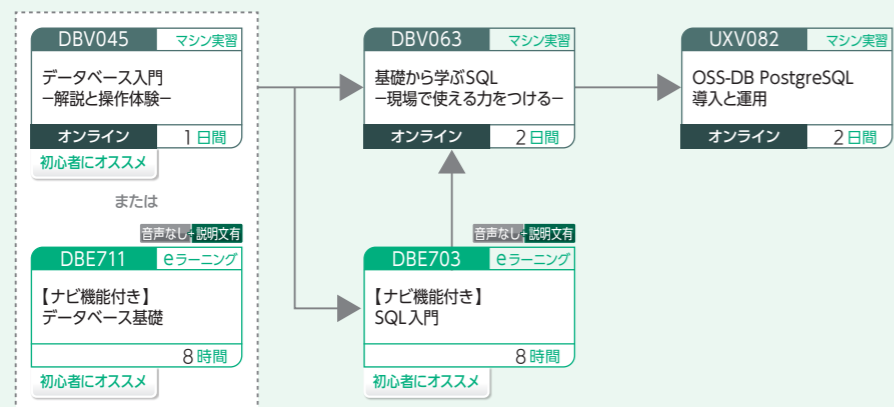
DBV045 マシン実習 データベース入門 -解説と操作体験- オンライン 1日間 初心者におススメ	DBE711 eラーニング 【ナビ機能付き】 データベース基礎 8時間 <small>音声なし・説明文有</small>	DBV064 マシン実習 HiRDB入門 -データベース構築編- オンライン 1日間	DBE338 eラーニング 【ナビ機能付き】 HiRDB入門 -データベース構築編- 7時間 <small>音声有・説明文なし</small>	DBV092 マシン実習 HiRDB データベース管理 オンライン 2日間	DBE305 eラーニング 【マシン演習付き】 HiRDB データベース管理 12時間 <small>音声有・説明文なし</small>	DBE026 eラーニング HiRDB データベース チューニング 6.5時間 <small>音声有・説明文なし</small>	DBE318 eラーニング 【マシン演習付き】 HiRDB アプリケーション チューニング 13時間 <small>音声有・説明文なし</small>
DBV045 マシン実習 データベース入門 -解説と操作体験- オンライン 1日間 初心者におススメ	DBE711 eラーニング 【ナビ機能付き】 データベース基礎 8時間 <small>音声なし・説明文有</small>	DBV063 マシン実習 基礎から学ぶSQL -現場で使える力をつける- オンライン 2日間	DBE306 eラーニング 【マシン演習付き】 HiRDB アプリケーション プログラミング 6時間 <small>音声有・説明文なし</small>	DBV034 マシン実習 Javaによる データベースプログラミング オンライン 2日間	DBE304 eラーニング 【マシン演習付き】 SQLによる標準データベース プログラミング-体感!埋め込みSQL- 6時間 <small>音声有・説明文なし</small>	DBE330 eラーニング 【マシン演習付き】 HiRDBバックアップリカバリと クラスタリング 12時間 <small>音声有・説明文なし</small>	DBE329 eラーニング 【マシン演習付き】 HiRDBパラレルサーバ構築 13時間 <small>音声有・説明文なし</small>

※1: このコースは、HiRDBに特化した内容ではありません。

● SQL Server 2016 を使用してデータベースを管理・運用する方



● PostgreSQL を使用してデータベースを管理・運用する方



● Oracleのチューニング方法を修得したい方



● Oracleにおけるトラブル発生時における対応方法を修得したい方



- 音声有、説明文有：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
- 音声有、説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
- 音声なし、説明文有：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

● Oracleを使用してデータベースを設計・運用する方



● Oracle全般の技術を修得したい方



資格 オラクル認定技術者制度

オラクル認定技術者制度とは、日本オラクル社が世界で高い評価を受けているOracle製品に関する技術者を認定する制度です。認定を受けるためには、日本オラクル社の試験に合格する必要がある、合格した試験科目の組み合わせにより認定技術資格を取得できます。

詳しくは、日立アカデミーのWebサイトにてご確認ください。

<https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/license/oramas.html>



コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

バーチャル・クラスルーム(オンライン研修)については ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/virtualclassroom/>

IT戦略・IS企画

IT戦略・企画立案やプロセス評価、BA(Business Analysis)に関する知識や手法が修得できます。

● 経営戦略/IT戦略の立案・強化をお考えの方

<ITコーディネータ関連コース>

CTD010 <small>レクチャ</small>	CTD011 <small>レクチャ</small>	CTD007 <small>レクチャ</small>
(PDU) IT経営戦略 (経営戦略コース)	(PDU) IT経営戦略 (IT戦略コース)	ITC資格試験対策
集合 2日間	集合 2日間	集合 1日間

CTV070 グループ演習

(PDU) 1日でわかる
今、必要な戦略的IT投資のポイント
—変革の時代に生き残るために—

オンライン 1日間

● 内部統制の向上・強化をお考えの方

HSV062 グループ演習

事例から学ぶ
システムトラブル対策の考え方
—高信頼性システム実現のために—

オンライン 1日間

HSV018 グループ演習

システムトラブルの
予防と是正
—ISMS・システム監査の視点から—

オンライン 2日間

● システム企画/要件定義に携わる方

SPV058 <small>グループ演習</small>	SPV071 <small>グループ演習</small>	SPJ036 <small>グループ演習</small>
演習で学ぶ! 情報システムの役割と 開発の進め方	システムのニーズ分析	システム化要求を 実現するための業務設計
オンライン 2日間 初心者におススメ	オンライン 2日間	集合 2日間
	SPJ024 <small>グループ演習</small>	CTJ018 <small>グループ演習</small>
	システムの要件定義技法	非機能要求の考え方
	集合 2日間	集合 1日間
	CTD009 <small>グループ演習</small>	CTV005 <small>グループ演習</small>
	ビジネスプロセスの 分析と設計	(PDU) トラブルを防止する 調達要件の分析-RFPの作成と 提案書の評価を中心に—
	集合 1日間	オンライン 2日間

- 音声有+説明文有** : 説明画面と説明文(音声あり)で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)
- 音声有+説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
- 音声なし+説明文有** : 説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

初心者におススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU : PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

マシナリ学習 マシンを使用しながらの研修	グループ演習 グループ演習を中心とした研修	レクチャ 座学による研修	eラーニング インターネット接続による自己学習	その他	休講 休講 今期の定期開催はありません
-------------------------	--------------------------	-----------------	----------------------------	-----	-------------------------------

● システム企画/要件定義に携わる方(特に、現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたってお悩みの方向け)

〔新規事業に基づく開発〕

1. ビジネス要件定義とIT企画立案

CTV071 グループ演習
IT主導で攻めのビジネスを実現するためのビジネス要件とIT企画の作り方
オンライン 1日間

4. 業務要件定義

CTV074 グループ演習
IT活用による業務改善を実現するための業務要件定義と業務プロセス設計のコツ
オンライン 1日間

〔業務改善をねらいとした開発〕

2. 現状業務の可視化

CTV072 グループ演習
現場主導で現状業務の見える化を推進するための業務フロー作成技法
オンライン 1日間

3. 現行システムの要件リバース

CTV073 グループ演習
既存システムの改修/リプレースのための現行システム要件と利用業務状況の洗い出し方
オンライン 1日間

5. ユーザオペレーション要件

SPV073 グループ演習
業務要件とユーザビリティを確保するためのユーザ要件定義とUIデザインのコツ
オンライン 1日間

6. システム要件定義

SPV074 グループ演習
後工程で慌てない!
ユーザ/業務要件の漏れを未然に防ぐシステム要件定義のコツ
オンライン 1日間

7. 要件チェックと基本設計

SPV075 グループ演習
開発の手戻りを最小限にするシステム要件の品質チェックと基本設計のコツ
オンライン 1日間

● ビジネスアナリシスに取り組まれる方、関心をお持ちの方

CTV068 <small>グループ演習</small>	CTD013 <small>グループ演習</small>	CDV008 <small>レクチャ</small>
(PDU) BABOK®で学ぶ ビジネスアナリシスの基礎	(PDU) エンタープライズ・ ビジネスアナリシス	(PDU) CBAP® 試験対策コース
オンライン 2日間	集合 2日間	オンライン 3日間

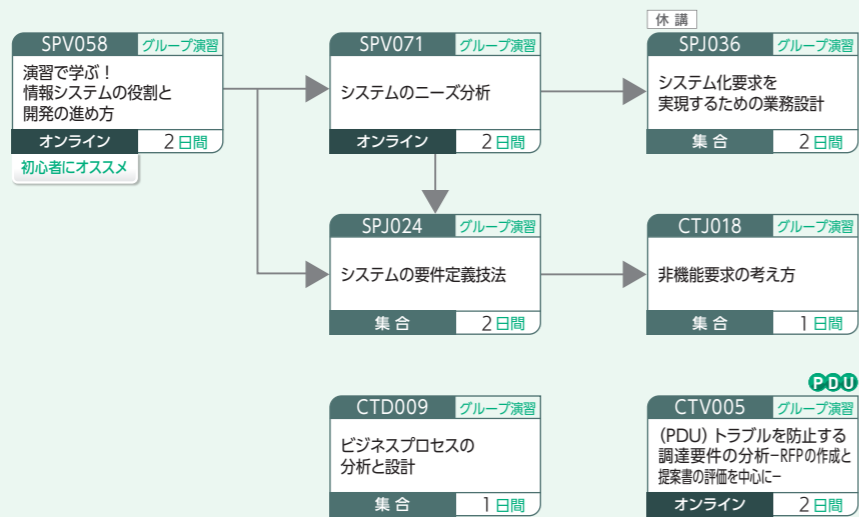
要件定義 / 設計

情報システムの開発に必要な基礎知識や、開発手順、分析、設計技法が修得できます。

初めて情報システムの開発に携わる方



システムの分析・要件定義を担当する方



音声有+説明文有：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）

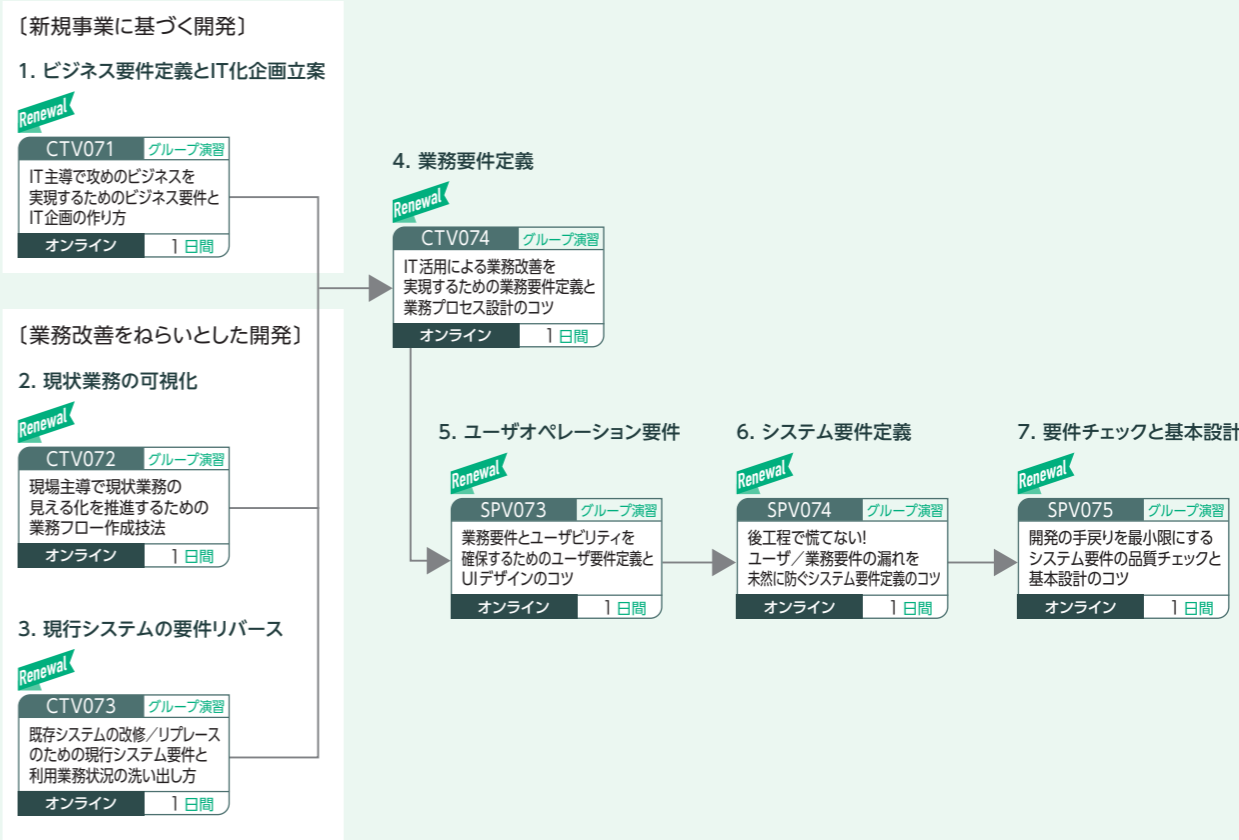
音声有+説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）

音声なし+説明文有：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

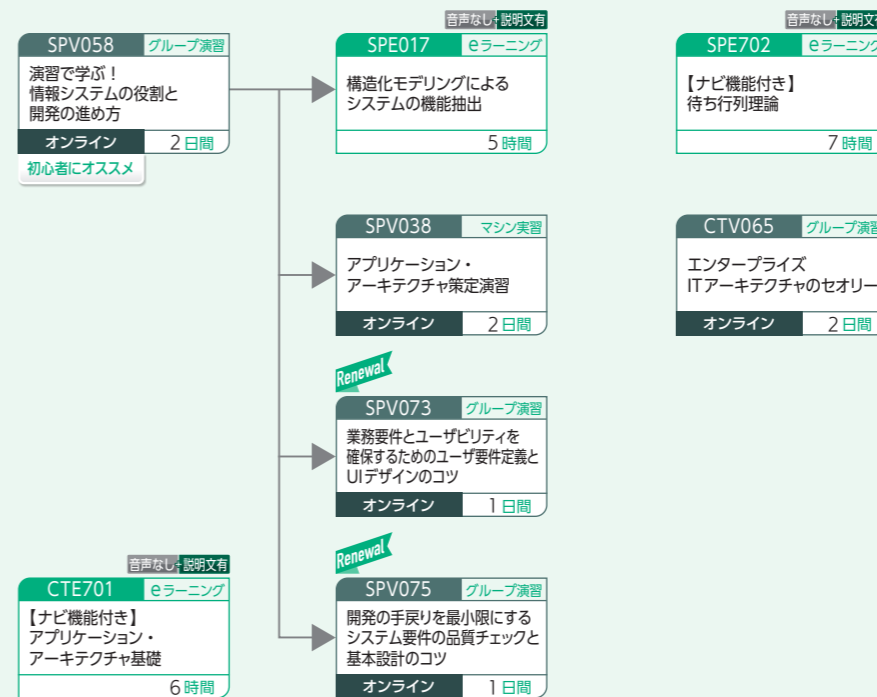
初心者におススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

システム企画/要件定義に携わる方(特に、現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたってお悩みの方向け)



システム開発の設計を担当する方



● システムの最新動向や事例を把握したい方

休講

CLV019 **レクチャ**

クラウドコンピューティングで読み解くITサービスの最新動向

オンライン 0.5日間

● DevOpsによるアプリケーション開発の流れを理解したい方

SPV060 **マシン実習**

体験! 最新OSSを活用したDevOps入門-Lumada!におけるアプリケーション開発の流れ

オンライン 1日間

SPV059 **マシン実習**

(PDU)実践! DevOpsによるアジャイル開発-お客様に素早く価値を届けるために-

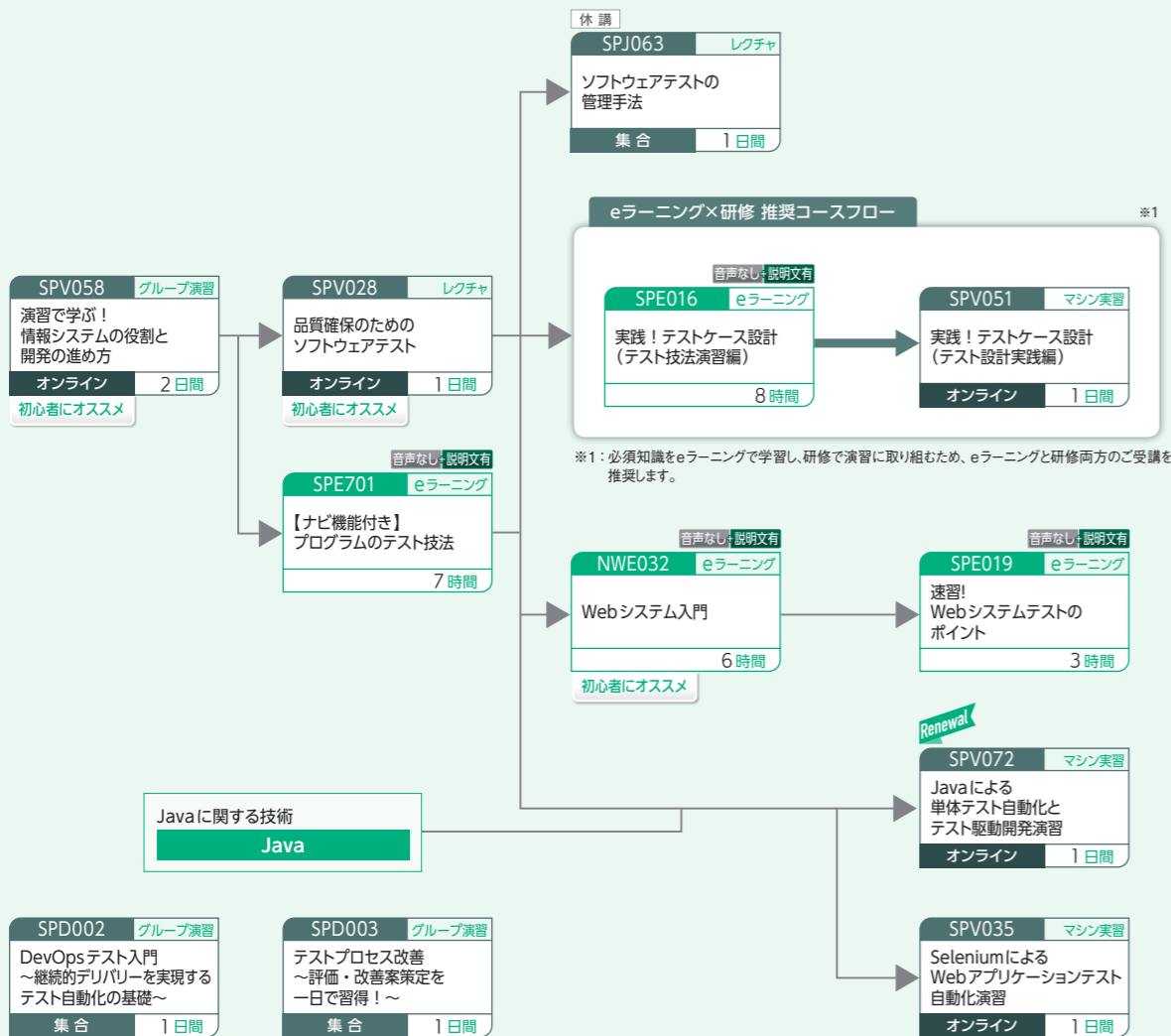
オンライン 1日間

UXV070 **マシン実習**

gitによるソフトウェア構成管理

オンライン 1日間

● システムまたはプログラムのテストを担当する方



音声有 + 説明文有 : 説明画面と説明文 (音声あり) で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)

音声有 ; 説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)

音声なし ; 説明文有 : 説明画面と説明文 (音声なし) で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU : PMP® 資格更新に必要なポイント (PDU) を取得できます。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修

グループ演習 グループ演習を中心とした研修

レクチャ 座席による研修

eラーニング インターネット接続による自己学習

その他

休講 休講 今期の定期開催はありません

SPV058 要件定義/設計

グループ演習

2日間

演習で学ぶ! 情報システムの役割と開発の進め方 【バーチャル・クラスルーム】

情報システムを開発・発注するうえで必要な基礎知識として、工程別に作業内容や作業目的を学習します。加えて開発プロジェクトの計画・統制・終結の側面から、代表的な仕事(見積り、契約など)についても学習します。

到達目標 ・情報システムの役割を説明できる。
・開発プロセスおよび作業工程における作業概要を説明できる。
・開発方法論、代表的な成果物の表記法を説明できる。

対象者 これからシステムを企画、開発する方。

前提知識 「コンピュータ基礎」コースを修了しているか、またはコンピュータの基礎知識があること。

内容 1. 情報システムとは
(1)市場、定義、役割
2. 情報システムの開発
(1)作業と作業順序
(2)開発プロセス
(3)開発方式
3. 情報システムの維持・メンテナンス
(1)情報システムの寿命と保管場所
(2)必要な作業
4. 情報システムに関わる人
(1)プロジェクト・ステークホルダ
(2)職種
5. 情報システムのコスト
(1)見積り
(2)契約
6. 情報システムを支える技術
(1)サーバ、冗長化、クラウド、ビッグデータ
7. 演習
(1)業務分析、データ分析、機能分析

備考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただきます。ご了承ください。ご了承ください。ご了承ください。

SJE707 要件定義/設計

eラーニング

4時間

<eラーニング> [ナビ機能付き] システム開発の基礎

システム設計の手法について基礎的な知識を学習します。

到達目標 ・システム設計に必要な作業について、手順や内容を説明できる。

対象者 ・システム設計をこれから始める方。
・システム設計の基礎知識を身につけたい方。

前提知識 特に必要としません。

内容 1. システム開発と設計の役割
2. システムの品質と設計手法
(1)段階的詳細化のレベル
(2)業務機能設計
(3)実現方式設計(アーキテクチャ)
(4)外部インタフェース設計(遷移、レイアウト)
(5)バッチ処理設計
(6)データ基本設計(論理DB設計)
(7)プログラム詳細設計
(8)共通部品設計
(9)データ詳細設計
4. その他の開発手法
5. 修了試験

備考 ・開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります。
・説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

SPV071 要件定義/設計

グループ演習

2日間

システムのニーズ分析 【バーチャル・クラスルーム】

顧客の業務に一步踏み込み、的確なシステム化要件を導き出すまでの一連の基本動作を、ニーズ分析の進め方の解説と演習を通して学習します。

到達目標 ・ニーズ分析の基礎を説明できる。
・顧客の業務に一步踏み込み、的確なシステム化要件を導き出すまでの一連の基本動作を理解できる。

対象者 要求分析に関心のある方。

前提知識 特に必要としません。

内容 1. ニーズ分析の位置付けと意義
(1)「上流工程」で行うべきこと
(2)ニーズ分析の全体プロセス
(3)ニーズ分析の意義
2. ニーズ分析のプロセス
(1)準備フェーズ
(2)分析フェーズ

備考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただきます。ご了承ください。ご了承ください。

SPJ036 要件定義/設計

グループ演習

2日間

システム化要求を実現するための業務設計

ニーズ分析に基づく業務アプリケーションの基本設計トレーニングです。システム設計の前提となる要求仕様定義を、業務の仕組みを念頭に確実にするための手法を修得します。

到達目標 ・業務設計の進め方を説明できる。
・要求仕様定義を、業務の仕組みを念頭に確実に行うことができる。

対象者 業務モデリングに関心のある方。

前提知識 特に必要としません。

内容 1. 業務設計の位置づけと意義
(1)「上流工程」で行うべきこと
(2)業務設計の全体プロセス
(3)業務設計の意義
2. 業務設計のプロセス
(1)業務プロセスデザインフェーズ
(2)アプリケーションデザインフェーズ

備考 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただきます。ご了承ください。ご了承ください。
・このコースは、「ビジネスアプリケーション設計」コースの内容改訂および名称を変更したものです。
※このコースは、休講とさせていただきます。

SPJ024 要件定義/設計

グループ演習

2日間

システムの要件定義技法

システム化による問題解決を図る際に求められる"システムが提供すべき機能"の導出方法について学習します。また、要件定義書を策定するうえで必須となる考え方について演習を通して学習します。非機能要件については、性能、セキュリティなどの観点から整理しておくべき事項を紹介いたします。

到達目標 ・要件定義工程の作業概要、考慮すべき点を説明できる。
・要件定義工程で作成すべき成果物を説明できる。
・システム開発プロジェクトにおいて要件定義に携わる方。

対象者 システム開発プロジェクトにおいて要件定義に携わる方。

前提知識 「演習で学ぶ! 情報システムの役割と開発の進め方」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. 要件とは
(1)定義
(2)各要件の内容
2. 要件定義と前後の作業
(1)共通フレームでの位置付け
(2)一般的な位置付け
(3)現状調査
(4)問題点分析・課題設定
(5)基本設計
3. 要件定義
(1)業務の表記法
(2)業務の検討
(3)アプリケーションの検討
(4)データの検討
(5)非機能要件の検討

CJT018 要件定義/設計

グループ演習

1日間

非機能要求の考え方

非機能要求グレードの意義や要求項目の定義を正しく理解し、非機能要件を的確に分析・仕様化するための知識修得をめざします。

到達目標 ・非機能要求の概要を説明できる。
・非機能要求を規定する際の勘所を理解できる。
・非機能要求グレードの活用方法を説明できる。

対象者 上流工程を担当するシステムエンジニアの方。

前提知識 「演習で学ぶ! 情報システムの役割と開発の進め方」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. 非機能要求とは
(1)定義
(2)業務、実現手段との関係
(3)ステークホルダとの関係
(4)非機能要求間の関係
2. 非機能要求グレードとは
(1)概要
(2)非機能要求グレード活用手順
(3)非機能要求グレード活用事例
3. ケーススタディ演習(非機能要求の分析)
4. まとめ

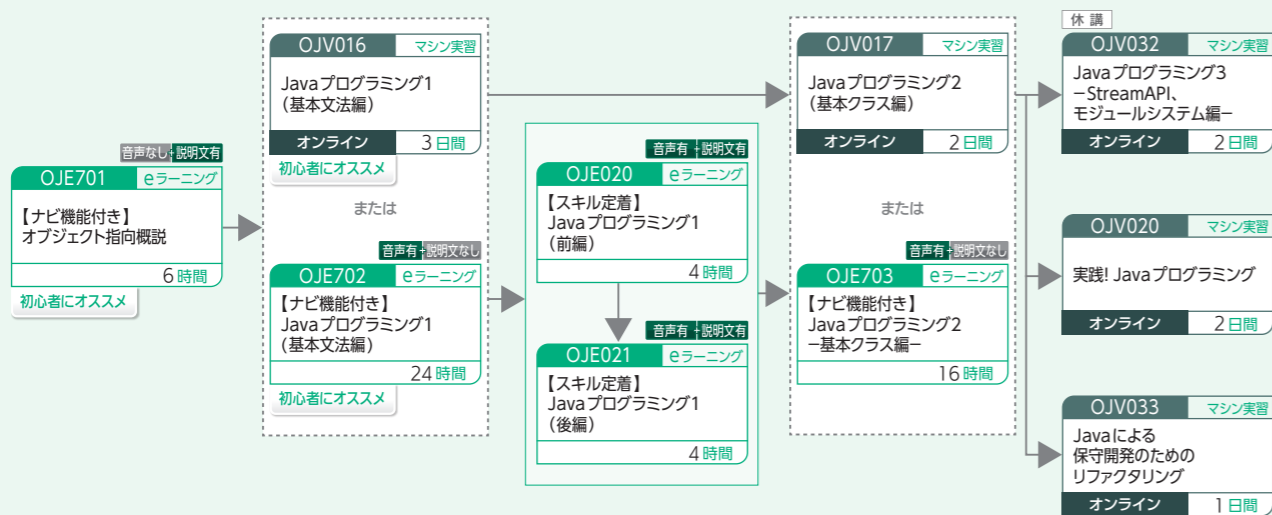
備考 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただきます。ご了承ください。ご了承ください。

※別途ご案内いたします。

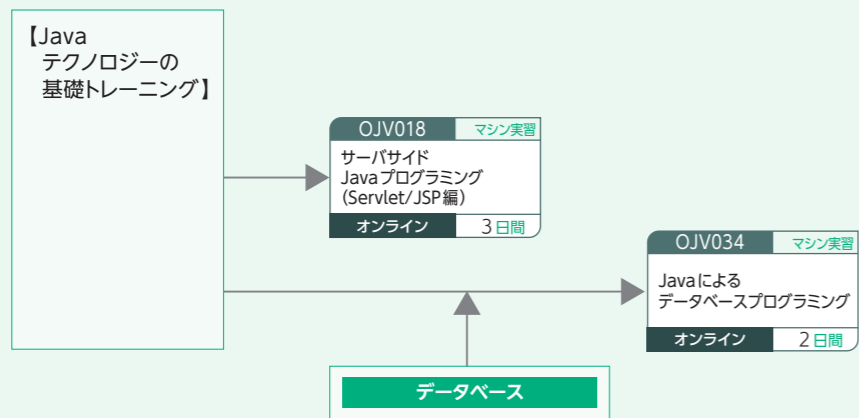
プログラミング

各種プログラミング言語を使用したアプリケーション開発を行うために必要な基本文法やプログラミング技術、Webアプリケーションの開発技術が修得できます。

● Java言語を使用してプログラムを開発する方 (Javaテクノロジーの基礎トレーニング)



● サーバサイド・テクノロジーを使用してアプリケーションを開発する方 (Java EEテクノロジーのトレーニング)



● Python言語を使ってアプリケーション開発する方

DBV107 マシン実習

0から始めるPython入門 -データ分析での活用をテーマとして-

オンライン 2日間

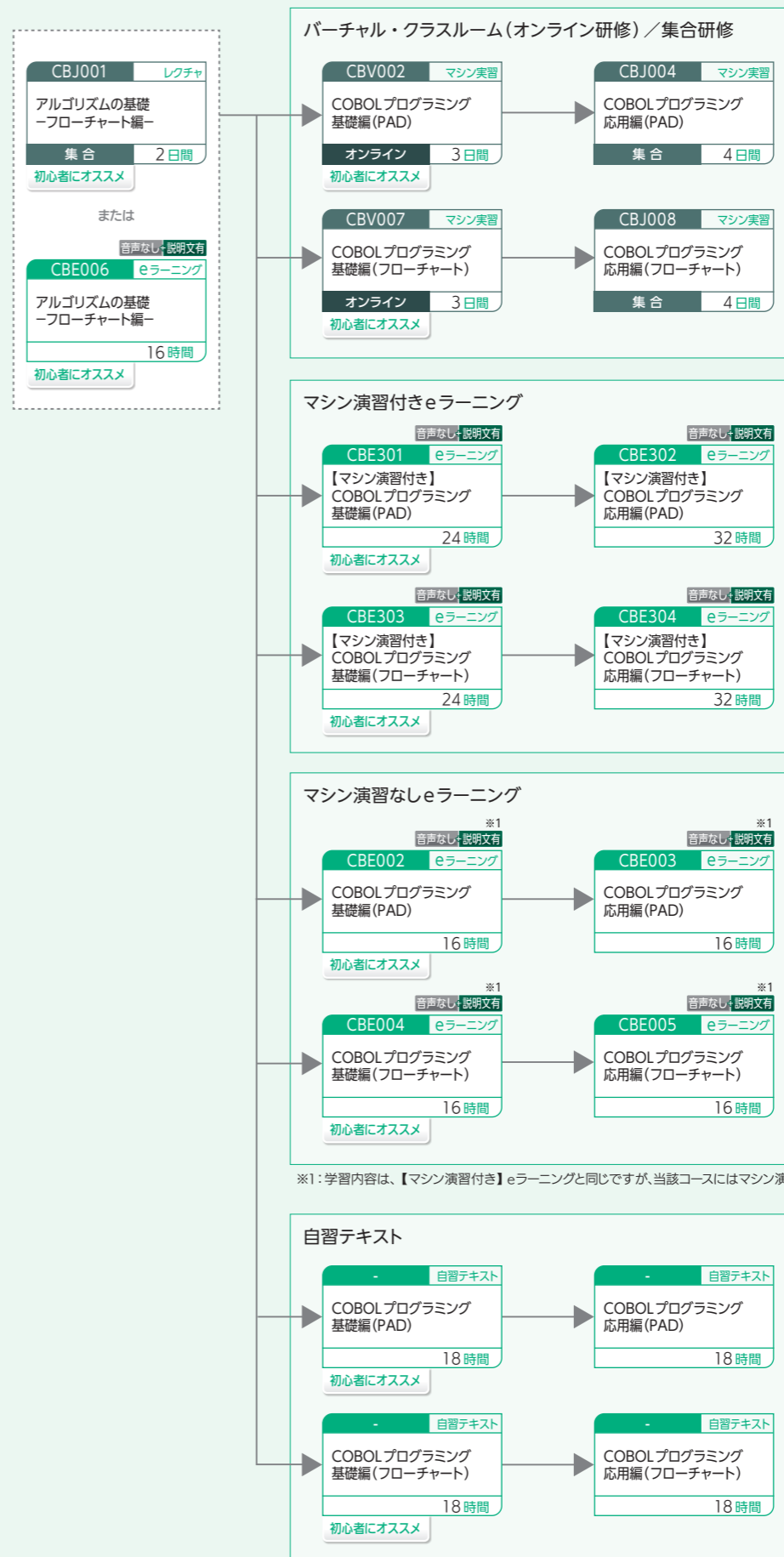
● はじめてプログラミングを学習する方

DBV123 マシン実習

プログラミングはじめての一步 -Pythonで学ぶアルゴリズム入門-

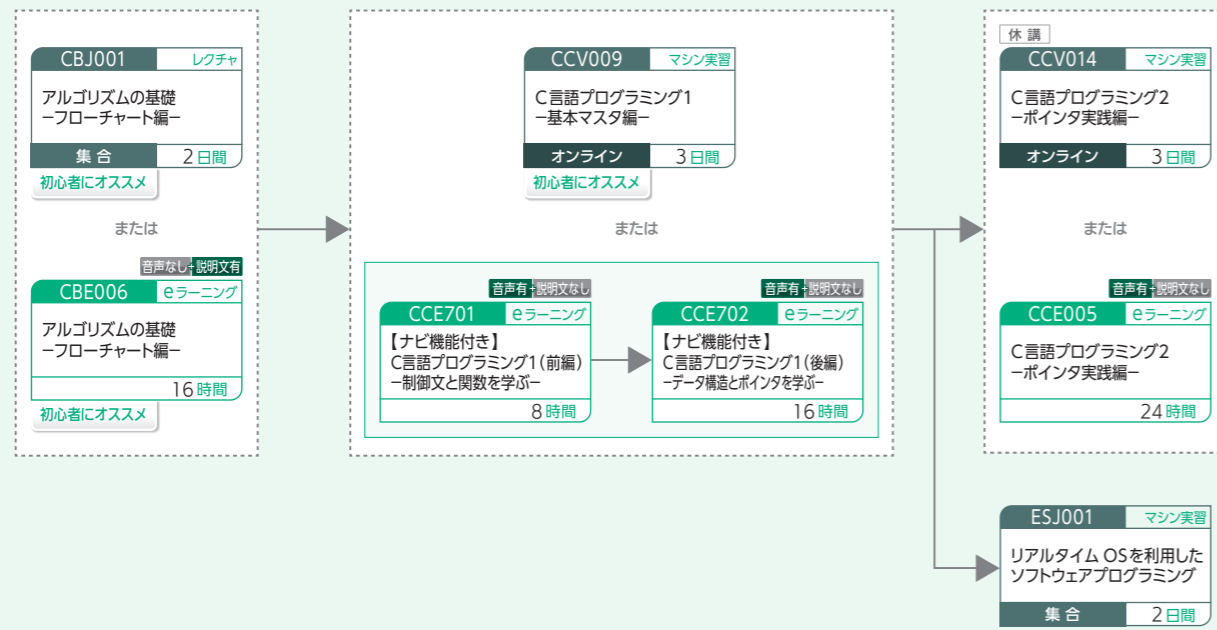
オンライン 1日間

● COBOLを使用してプログラムを開発する方



※1: 学習内容は、【マシン演習付き】eラーニングと同じですが、当該コースにはマシン演習はありません。

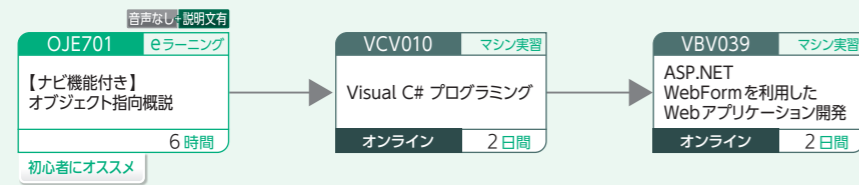
● C言語を使用してプログラムを開発する方



● Visual Basic を使用してアプリケーションを開発する方



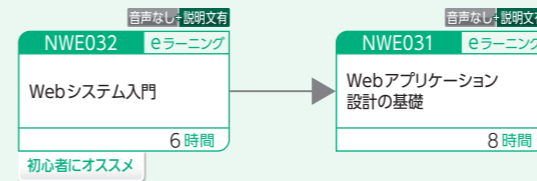
● Visual C# を使用してアプリケーションを開発する方



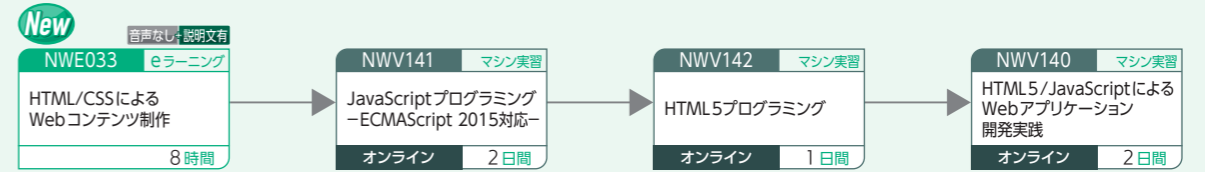
音声有・説明文有：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
 音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
 音声なし・説明文有：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

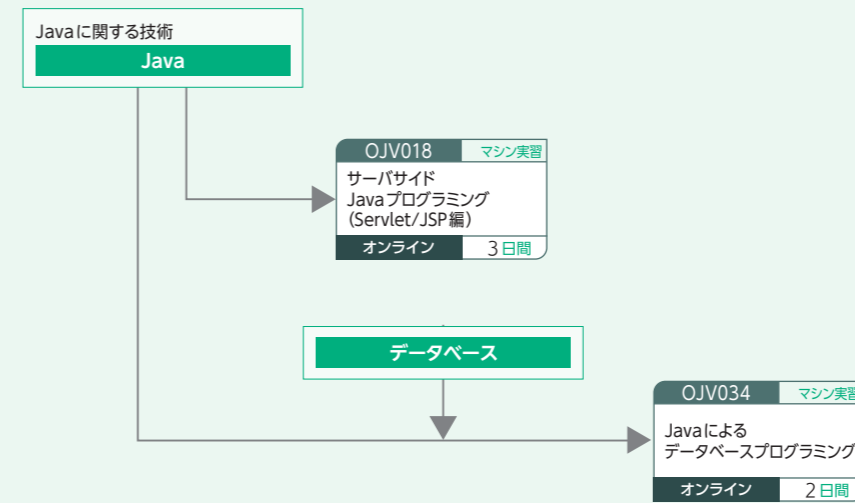
● Webアプリケーションの開発技術について幅広く知りたい方



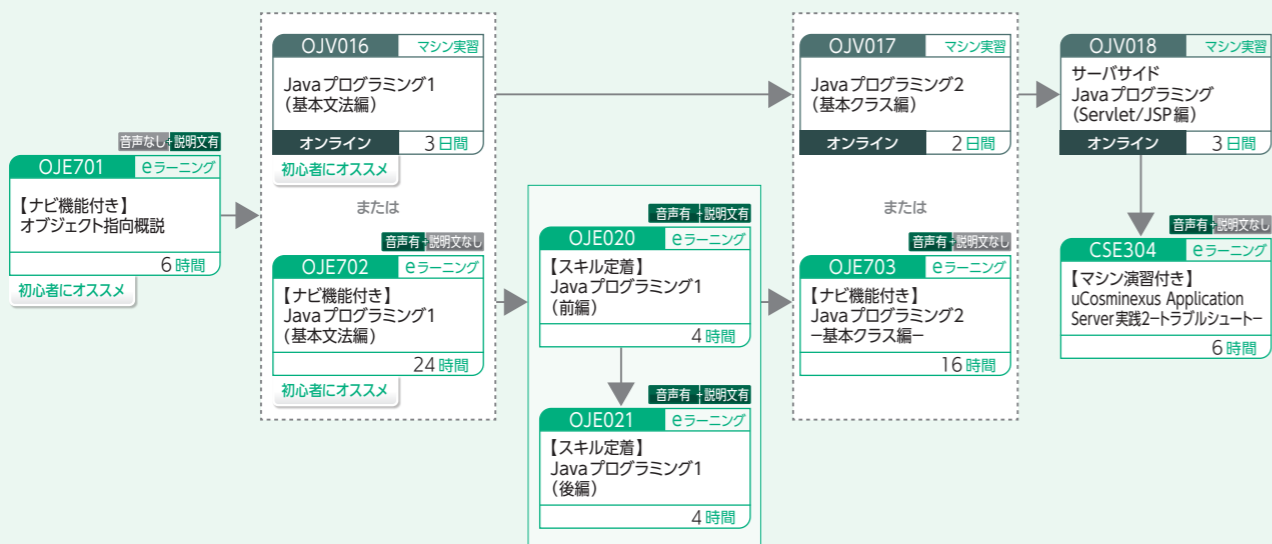
● Webコンテンツを制作する方



● Java EEテクノロジーのトレーニング（サーバサイド・テクノロジーを使用してアプリケーションを開発する方）



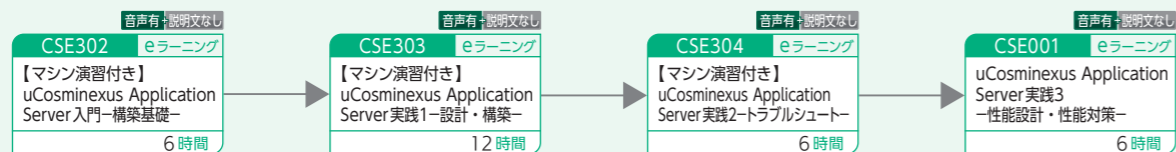
● uCosminexus Application Serverを使用してWebアプリケーションの開発をする方



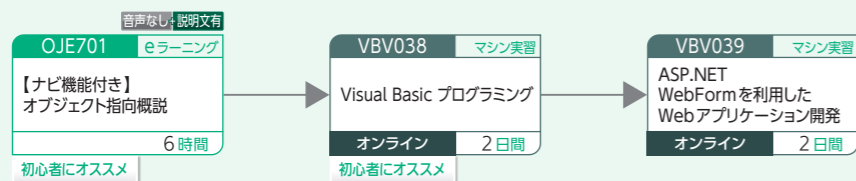
● Androidアプリケーションを開発する方

NWV150 マシン実習
体験! Android
アプリケーションの開発
- Kotlinを利用して -
オンライン 1日間

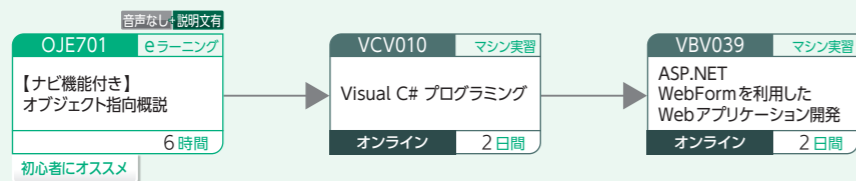
● uCosminexus Application Serverを使用したWebシステムの性能設計・性能対策をする方



● Visual Basicを使用してWebアプリケーションを開発する方



● Visual C#を使用してWebアプリケーションを開発する方



音声有・説明文有 : 説明画面と説明文 (音声あり) で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)

音声なし・説明文有 : 説明画面と説明文 (音声なし) で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

情報処理技術者試験対策

情報処理技術者試験の資格取得に向け、知識や解答技法が修得できます。

● 情報処理技術者試験の取得をめざす方

<春秋期実施試験対策>

【IP】【FE】共通

音声なし+説明文有

SCE703 eラーニング

【ナビ機能付き】
情報技術者に求められるセキュリティの基礎
- 要素技術(番号、認証)編 -
6 時間

音声なし+説明文有

NWE706 eラーニング

【ナビ機能付き】
ネットワーク基礎 I
- イーサネットの仕組み -
12 時間

音声なし+説明文有

NWE707 eラーニング

【ナビ機能付き】
ネットワーク基礎 II
- TCP/IPの仕組み -
12 時間

音声なし+説明文有

DBE711 eラーニング

【ナビ機能付き】
データベース基礎
8 時間
初心者にオススメ

【IP】 IT パスポート試験対策

音声なし+説明文なし

SJE301 eラーニング

集中演習
IT パスポート試験【IP】
80 時間

【SG】情報セキュリティマネジメント試験対策

音声なし+説明文なし

SJE302 eラーニング

集中演習
情報セキュリティ
マネジメント試験【SG】
162 時間

【FE】基本情報技術者試験対策

音声なし+説明文なし

SJE303 eラーニング

集中演習
基本情報技術者試験【FE】
200 時間

SJV012 レクチャ

基本情報技術者試験
【FE】対策講座(試験直前に
模擬試験で得点をUPする)
オンライン 1 日間

【AP】応用情報技術者試験対策

SJV002 レクチャ

応用情報技術者試験
【AP】対策講座
(合格に必要な知識と解答力を養う)
オンライン 1 日間

SJV003 レクチャ

応用情報技術者試験
【AP】対策講座(試験直前に
模擬試験で得点をUPする)
オンライン 1 日間

音声なし+説明文なし

SJE304 eラーニング

集中演習
応用情報技術者試験【AP】
162 時間

【SC】情報処理安全確保支援士試験対策

SJV006 レクチャ

情報処理安全確保支援士試験
【SC】対策講座
(合格に必要な知識と解答力を養う)
オンライン 3 日間

SJV007 レクチャ

情報処理安全確保支援士試験
【SC】対策講座(試験直前に
模擬試験で得点をUPする)
オンライン 1 日間

音声なし+説明文なし

SJE312 eラーニング

集中演習
情報処理安全確保支援士試験
【SC】
162 時間

<秋期実施試験対策>

【DB】データベーススペシャリスト試験対策

SJV004 レクチャ

データベーススペシャリスト試験
【DB】対策講座
(合格に必要な知識と解答力を養う)
オンライン 3 日間

SJV005 レクチャ

データベーススペシャリスト試験
【DB】対策講座(試験直前に
模擬試験で得点をUPする)
オンライン 1 日間

音声なし+説明文なし

SJE309 eラーニング

集中演習
データベーススペシャリスト
試験【DB】
162 時間

【PM】プロジェクトマネージャ試験対策

SJV001 レクチャ

高度試験受験者向け
論文の書き方-問題文の
読み方から論文構成方法まで-
オンライン 1 日間

SJV011 レクチャ

高度試験【PM】【AU】対策講座
実践!論文を書く-添削指導で
合格するための論述力を養成する-
オンライン 2 日間

音声なし+説明文なし

SJE307 eラーニング

集中演習
プロジェクトマネージャ試験
【PM】
162 時間

【AU】システム監査技術者試験対策

SJV001 レクチャ

高度試験受験者向け
論文の書き方-問題文の
読み方から論文構成方法まで-
オンライン 1 日間

SJV011 レクチャ

高度試験【PM】【AU】対策講座
実践!論文を書く-添削指導で
合格するための論述力を養成する-
オンライン 2 日間

音声なし+説明文なし

SJE311 eラーニング

集中演習
システム監査技術者試験
【AU】
162 時間

- 音声有+説明文有 : 説明画面と説明文(音声あり)で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)
- 音声有+説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
- 音声なし+説明文有 : 説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)
- 音声なし+説明文なし : 説明画面で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

初心者にオススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

資格 情報処理技術者試験・情報処理安全確保支援士試験

情報処理技術者試験、および情報処理安全確保支援士試験は、「情報処理の促進に関する法律」に基づき、情報処理に関する一定水準以上の「知識・技能」を持っていることを、経済産業省が認定する国家試験です。

詳しくは、日立アカデミーのWebサイトにてご確認ください。

<https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/license/hcom.html>

マシナ学習 : マシンを使用しながらの研修

グループ演習 : グループ演習を中心とした研修

レクチャ : 座学による研修

eラーニング : インターネット接続による自己学習

その他

休講 : 休講(今期の定期開催はありません)

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

バーチャル・クラスルーム(オンライン研修)については ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/virtualclassroom/>

<春期実施試験対策>

【NW】ネットワークスペシャリスト試験対策

休講	レクチャ	休講	レクチャ
SJV008		SJV009	
ネットワークスペシャリスト試験【NW】対策講座(合格に必要な知識と解答力を養う)		ネットワークスペシャリスト試験【NW】対策講座(試験直前に模擬試験で得点をUPする)	
オンライン 3日間		オンライン 1日間	

休講	音声なし+説明文なし
SJE308	eラーニング
集中演習 ネットワークスペシャリスト試験【NW】	
162時間	

【ST】ITストラテジスト試験対策

レクチャ	レクチャ
SJV001	SJV010
高度試験受験者向け論文の書き方-問題文の読み方から論文構成方法まで-	高度試験【SM】【SA】【ST】対策講座 実践!論文を書く-添削指導で合格するための論述力を養成する-
オンライン 1日間	オンライン 2日間

休講	音声なし+説明文なし
SJE305	eラーニング
集中演習 ITストラテジスト試験【ST】	
162時間	

【SA】システムアーキテクト試験対策

レクチャ	レクチャ
SJV001	SJV010
高度試験受験者向け論文の書き方-問題文の読み方から論文構成方法まで-	高度試験【SM】【SA】【ST】対策講座 実践!論文を書く-添削指導で合格するための論述力を養成する-
オンライン 1日間	オンライン 2日間

休講	音声なし+説明文なし
SJE306	eラーニング
集中演習 システムアーキテクト試験【SA】	
162時間	

【SM】ITサービスマネージャ試験対策

レクチャ	レクチャ
SJV001	SJV010
高度試験受験者向け論文の書き方-問題文の読み方から論文構成方法まで-	高度試験【SM】【SA】【ST】対策講座 実践!論文を書く-添削指導で合格するための論述力を養成する-
オンライン 1日間	オンライン 2日間

休講	音声なし+説明文なし
SJE310	eラーニング
集中演習 ITサービスマネージャ試験【SM】	
162時間	

SJE301 情報処理技術者試験対策

<eラーニング>集中演習 ITパスポート試験【IP】

80時間

eラーニングを使用し、ITパスポート試験【IP】の合格に必要な知識を学習します。

到達目標・職業人が共通に備えておくべき情報技術に関する基礎的な知識を持ち、担当業務に対して情報技術を活用できる。
・ITパスポート試験【IP】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 ITパスポート試験【IP】合格をめざす方。
前置知識 情報技術の基礎知識があること。

内容 1. 基礎事項の学習
2. 問題演習
3. 小テスト

備考 ・開始日にかかわらず学習終了日は10月29日になります。
・説明画面で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・このコースは、アイテック社より提供いたします。
・コース実施に必要なご受講者の個人情報をアイテック社へ提供いたします。
・学習開始日15営業日前を過ぎてのキャンセル、日程変更および受講者変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。

SJE302 情報処理技術者試験対策

<eラーニング>集中演習 情報セキュリティマネジメント試験【SG】

162時間

eラーニングを使用し、情報セキュリティマネジメント試験【SG】の合格に必要な知識を学習します。

到達目標・高度IT人材となるために必要な基本知識・技能を持ち、実践的な活用能力を身につけることができる。
・情報セキュリティマネジメント試験【SG】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 情報セキュリティマネジメント試験【SG】の合格をめざす方。
前置知識 ITパスポート試験【IP】に合格しているか、または同等の知識/技術があること。

内容 1. 基礎事項の学習
2. 問題演習
3. 小テスト

備考 ・開始日にかかわらず学習終了日は10月29日になります。
・説明画面で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・このコースは、アイテック社より提供いたします。
・コース実施に必要なご受講者の個人情報をアイテック社へ提供いたします。
・学習開始日15営業日前を過ぎてのキャンセル、日程変更および受講者変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。

SJE303 情報処理技術者試験対策

<eラーニング>集中演習 基本情報技術者試験【FE】

200時間

eラーニングを使用し、基本情報技術者試験【FE】の合格に必要な知識を学習します。

到達目標・高度IT人材となるために必要な基本知識・技能を持ち、実践的な活用能力を身につけることができる。
・基本情報処理技術者試験【FE】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 基本情報技術者試験【FE】合格をめざす方。
前置知識 ITパスポート試験【IP】に合格しているか、あるいは基本戦略立案やITソリューション・製品・サービスを実現する業務に従事していること。

内容 1. 基礎事項の学習
2. 問題演習
3. 小テスト

備考 ・開始日にかかわらず学習終了日は10月29日になります。
・説明画面で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・このコースは、アイテック社より提供いたします。
・コース実施に必要なご受講者の個人情報をアイテック社へ提供いたします。
・学習開始日15営業日前を過ぎてのキャンセル、日程変更および受講者変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。

SJV012 情報処理技術者試験対策

基本情報技術者試験【FE】対策講座 (試験直前に模擬試験で得点をUPする) 【バーチャル・クラスルーム】

1日間

模擬試験により、積み重ねた学習成果を再確認し、知識を定着させ、合格ライン到達をめざして学習します。

到達目標・試験対策の総仕上げとして、重要ポイントを再確認できる。
・現状から得点をUPできる知識、解答技法を本試験に活用できる。

対象者 基本情報技術者試験【FE】合格をめざす方。
前置知識 上位指導者のもと、基本戦略立案やITソリューション・製品・サービスを実現する業務に従事していること。

内容 1. 模擬試験 (ITECまたはTAC模擬試験を使用)
2. 解答と解説

SJV002 情報処理技術者試験対策

応用情報技術者試験【AP】対策講座 (合格に必要な知識と解答力を養う) 【バーチャル・クラスルーム】

3日間

応用情報技術者試験【AP】合格に向けて、必要な知識や解答方法を問題演習を中心として学習します。

到達目標 応用情報技術者試験【AP】に出題される重点テーマの知識から応用問題を解答できる。
・現状から得点をUPできる知識、解答技法を本試験に活用できる。

対象者 応用情報技術者試験【AP】合格をめざす方。
前置知識 基本情報技術者試験【FE】に合格された方、あるいは基本戦略立案やITソリューション・製品・サービスを実現する業務に従事している方。

内容 1. 基礎理論について
2. コンピュータシステムについて
3. 技術要素について
4. 開発技術について
5. 組み込みシステムについて
6. マネジメント/ストラテジ系について

備考 このコースは、学習効果を高めるため日程をあけて開催します。開催日程は以下の通りです。
【日程1】
7/12(1日目)
7/30(2日目)
9/3(3日目)
【日程2】
7/19(1日目)
8/23(2日目)
9/15(3日目)

SJV003 情報処理技術者試験対策

応用情報技術者試験【AP】対策講座 (試験直前に模擬試験で得点をUPする) 【バーチャル・クラスルーム】

1日間

模擬試験により、積み重ねた学習成果を再確認し、知識を定着させ、合格ライン到達をめざして学習します。

到達目標・試験対策の総仕上げとして、重要ポイントを再確認できる。
・現状から得点をUPできる知識、解答技法を本試験に活用できる。

対象者 応用情報技術者試験【AP】合格をめざす方。
前置知識 基本情報技術者試験【FE】に合格された方、あるいは基本戦略立案やITソリューション・製品・サービスを実現する業務に従事している方。

内容 1. 模擬試験 (ITECまたはTAC模擬試験を使用)
2. 解答&解説

- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HIRDB
- OpenTP1
- VOS3
- XDM
- 日立ストレージ
- Pentaho
- デジタルトランスフォーメーション
- DXマインド・プロセス・マネジメント
- 課題分析 (何をなすべきかを着想する)
- 仮説構築 (ビジネスモデルをデザインする)
- プロトタイプと価値検証 (共通)
- プロトタイプと価値検証 (データ環境構築)
- プロトタイプと価値検証 (分析モデル構築)
- RPA
- クラウド/サーバ仮想化
- ITサービスマネジメント
- システム基盤
- IT基本
- オープンソースソフトウェア(OSS)
- Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- ハードウェア
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画
- システム開発
- 要件定義/設計
- プログラミング
- 情報処理技術者試験対策
- ITリテラシ
- プロジェクトマネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル
- OT(モノ作り・専門技術)

SJE308 情報処理技術者試験対策

<eラーニング>集中演習 ネットワークスペシャリスト試験【NW】 休講

162時間

eラーニングを使用し、ネットワークスペシャリスト試験【NW】の合格に必要な知識を学習します。

到達目標 ・高度IT人材として確立した専門分野を持ち、ネットワーク技術の専門家として、情報システムへの技術支援を行うことができる。
 ・ネットワークスペシャリスト試験【NW】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 ネットワークスペシャリスト試験【NW】合格をめざす方。

前提知識 応用情報技術者試験【AP】に合格しているか、あるいはネットワークシステムの企画・要件定義・開発・運用・保守を推進・支援する業務に従事していること。

内容 1. 基礎事項の学習
 2. 問題演習
 3. 小テスト

備考 ・説明画面で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます)
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
 ・このコースは、アイテック社より提供いたします。
 ・コース実施に必要なご受講者の個人情報をアイテック社へ提供いたします。
 ・学習開始日15営業日前を過ぎてもキャンセル、日程変更および受講者変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。

※このコースは、休講とさせていただきます。

SJV001 情報処理技術者試験対策

高度試験受験者向け 論文の書き方 一問題文の読み方から論文構成方法までー【バーチャル・クラスルーム】

1日間

講師によるポイント面談で論述をするために必要な基盤を学習します。

到達目標 ・各試験区分において、求められるスキルを説明できる。
 ・問題文の読み方から論文を構成できる。
 ・各設問において、論述する内容を明確にできる。

対象者 高度試験の午後Ⅱ(論述式)の基盤作りをした方。

前提知識 情報処理技術者試験(SC/DB/NW/その他の高度)に合格しているか、または同等の知識・業務経験があること。

内容 1. 各試験区分の求められるスキルとは
 2. 「論文の書き方」共通部分
 3. 採点者の視点
 4. 問題文の読み方と論文構成
 5. 論文演習
 6. 個別面談

SJV010 情報処理技術者試験対策

高度試験【SM】【SA】【ST】対策講座 実践！論文を書くー添削指導で合格するための論述力を養成するー【バーチャル・クラスルーム】 休講

2日間

講師による面談を踏まえながら、合格するための論述力を学習します。

到達目標 ・試験区分において、求められるスキルを説明できる。
 ・問題文の読み方から論文を構成できる。
 ・各設問において、論述する内容を明確にできる。
 ・論述することができる。

対象者 秋期高度試験【SM】【SA】【ST】の午後Ⅱ(論述式)の論述を実践したい方。

前提知識 情報処理技術者試験(SC/DB/NW/その他の高度)に合格された方、あるいは同等の知識・業務経験をお持ちの方。また「高度試験受験者向け論文の書き方一問題文の読み方から論文構成方法までー」コースを受講された方。

内容 1. 論文解答攻略のポイント解説
 2. 過去問題を題材にした論文解答実践
 3. 講師が個人面談指導
 4. 添削
 5. 1日目の論文をブラッシュアップ
 6. 時間内に書き上げるためのステップ
 7. 個別にて論文添削

備考 このコースは、学習効果を高めるため日程をあけて開催します。

※このコースは、休講とさせていただきます。

SJE310 情報処理技術者試験対策

<eラーニング>集中演習 ITサービスマネージャ試験【SM】 休講

162時間

eラーニングを使用し、ITサービスマネージャ試験【SM】の合格に必要な知識を学習します。

到達目標 ・高度IT人材として確立した専門分野を持ち、情報システム全体について、安全性と信頼性の高いサービスの提供を行うことができる。
 ・ITサービスマネージャ試験【SM】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 ITサービスマネージャ試験【SM】合格をめざす方。

前提知識 情報処理技術者試験(SC/DB/NW/その他の高度)に合格しているか、または同等の知識・業務経験があること。

内容 1. 基礎事項の学習
 2. 問題演習
 3. 小テスト

備考 ・説明画面で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます)
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
 ・このコースは、アイテック社より提供いたします。
 ・コース実施に必要なご受講者の個人情報をアイテック社へ提供いたします。
 ・学習開始日15営業日前を過ぎてもキャンセル、日程変更および受講者変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。

※このコースは、休講とさせていただきます。

SJE305 情報処理技術者試験対策

<eラーニング>集中演習 ITストラテジスト試験【ST】 休講

162時間

eラーニングを使用し、ITストラテジスト試験【ST】の合格に必要な知識を学習します。

到達目標 ・高度IT人材として確立した専門分野を持ち、企業の経営戦略に基づいて、情報システムの基本戦略を策定・提案・推進することができる。
 ・ITストラテジスト試験【ST】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 ITストラテジスト試験【ST】合格をめざす方。

前提知識 情報処理技術者試験(SC/DB/NW/その他の高度)に合格しているか、または同等の知識・業務経験があること。

内容 1. 基礎事項の学習
 2. 問題演習
 3. 小テスト

備考 ・説明画面で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます)
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
 ・このコースは、アイテック社より提供いたします。
 ・コース実施に必要なご受講者の個人情報をアイテック社へ提供いたします。
 ・学習開始日15営業日前を過ぎてもキャンセル、日程変更および受講者変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。

※このコースは、休講とさせていただきます。

SJE306 情報処理技術者試験対策

<eラーニング>集中演習 システムアーキテクト試験【SA】 休講

162時間

eラーニングを使用し、システムアーキテクト試験【SA】の合格に必要な知識を学習します。

到達目標 ・高度IT人材として確立した専門分野を持ち、情報システムの開発に必要な要件定義・アーキテクチャ設計・開発主導を行うことができる。
 ・システムアーキテクト試験【SA】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 システムアーキテクト試験【SA】合格をめざす方。

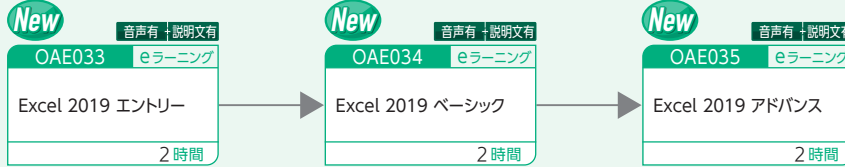
前提知識 情報処理技術者試験(SC/DB/NW/その他の高度)に合格しているか、または同等の知識・業務経験があること。

内容 1. 基礎事項の学習
 2. 問題演習
 3. 小テスト

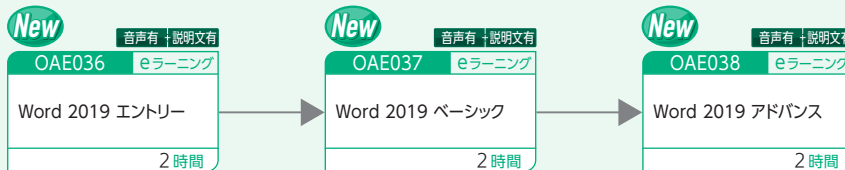
備考 ・説明画面で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます)
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
 ・このコースは、アイテック社より提供いたします。
 ・コース実施に必要なご受講者の個人情報をアイテック社へ提供いたします。
 ・学習開始日15営業日前を過ぎてもキャンセル、日程変更および受講者変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。

※このコースは、休講とさせていただきます。

● Excelを使用して表やグラフを作成する方



● Wordを使用して文書を作成する方



● PowerPointを使用してプレゼンテーション資料を作成する方



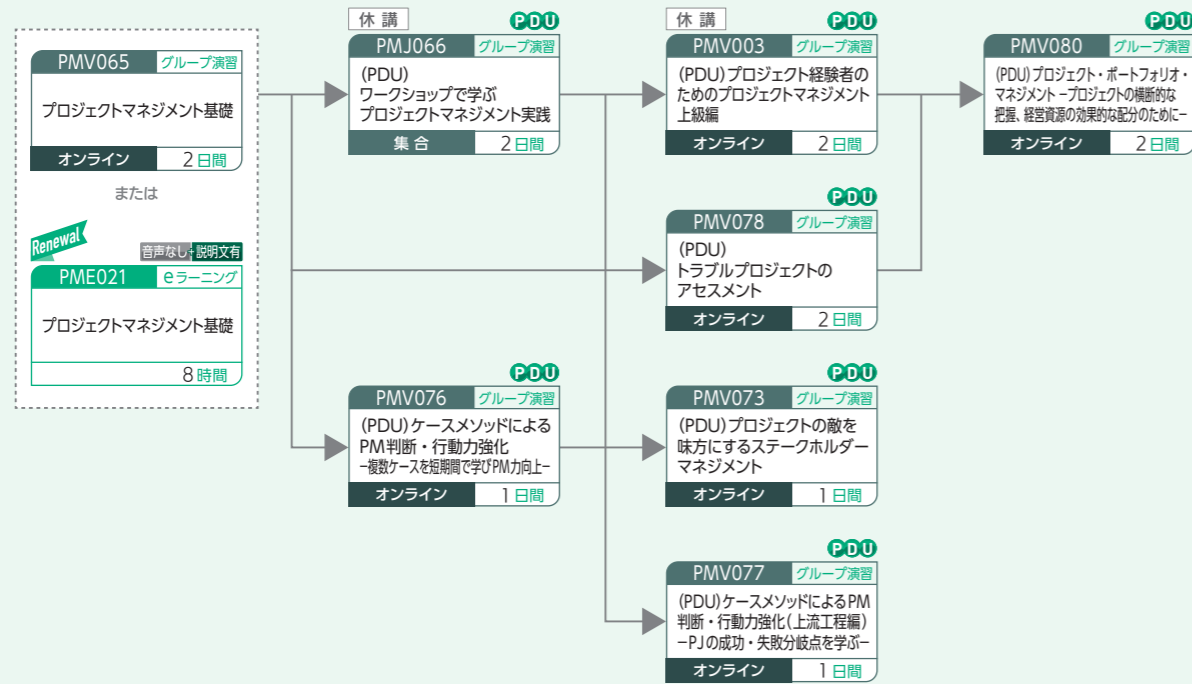
音声有 + 説明文有 : 説明画面と説明文 (音声あり) で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)
 音声有、説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
 音声なし、説明文有 : 説明画面と説明文 (音声なし) で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

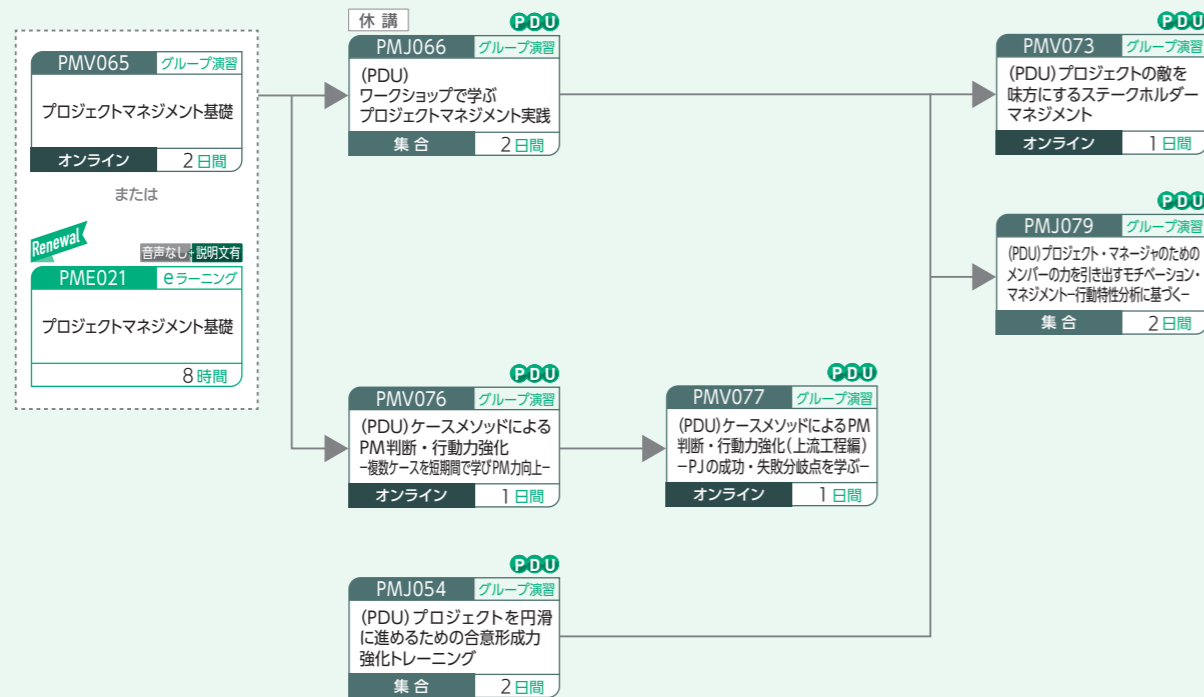
プロジェクトマネジメント

情報システム開発プロジェクトの計画・実行を行うために必要な知識や手順、技法が修得できます。

プロジェクトマネージャをめざす方



プロジェクトマネージャに必要なヒューマン系能力向上をめざす方



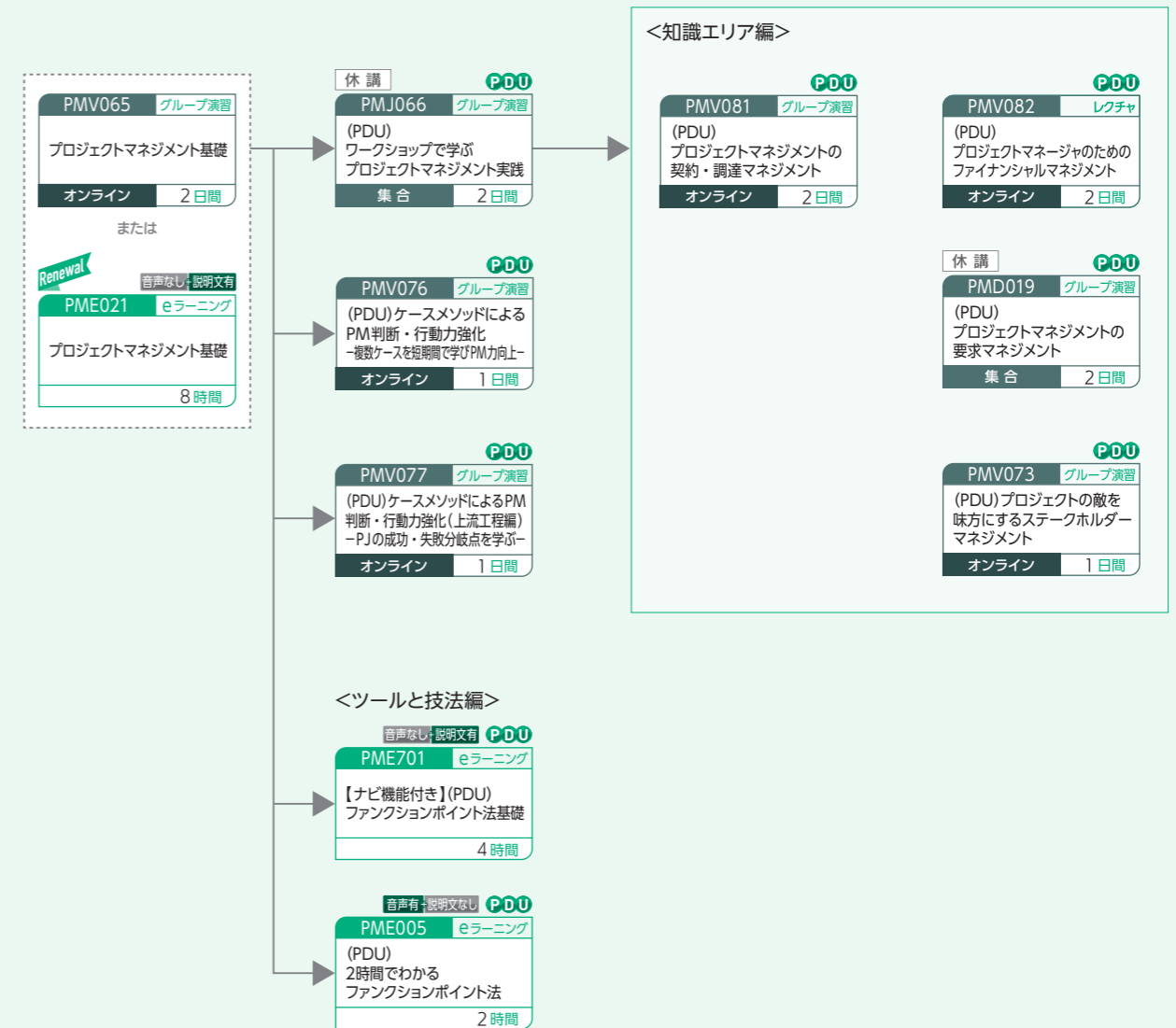
音声有+説明文有：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

マシニング：マシンを使用しながらの研修
 グループ演習：グループ演習を中心とした研修
 レクチャ：座席による研修
 eラーニング：インターネット接続による自己学習
 その他
 休講：休講（今期の定期開催はありません）

プロジェクトマネージャに必要な専門能力向上をめざす方



PMP®：Project Management Professionalの略で、米国PMI®(Project Management Institute)が認定する国際資格です。
PDU：Professional Development Unitの略で、PMP®資格維持に必要な単位です。
PMBOK®ガイドはプロジェクトマネジメント協会発行のA Guide to the Project Management Body of knowledgeの略称です。
 PMI®, PMP®, PMBOK®ガイド®, PM Network®, PM Today®, PMCDF®, R.E.P.ロゴは、プロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

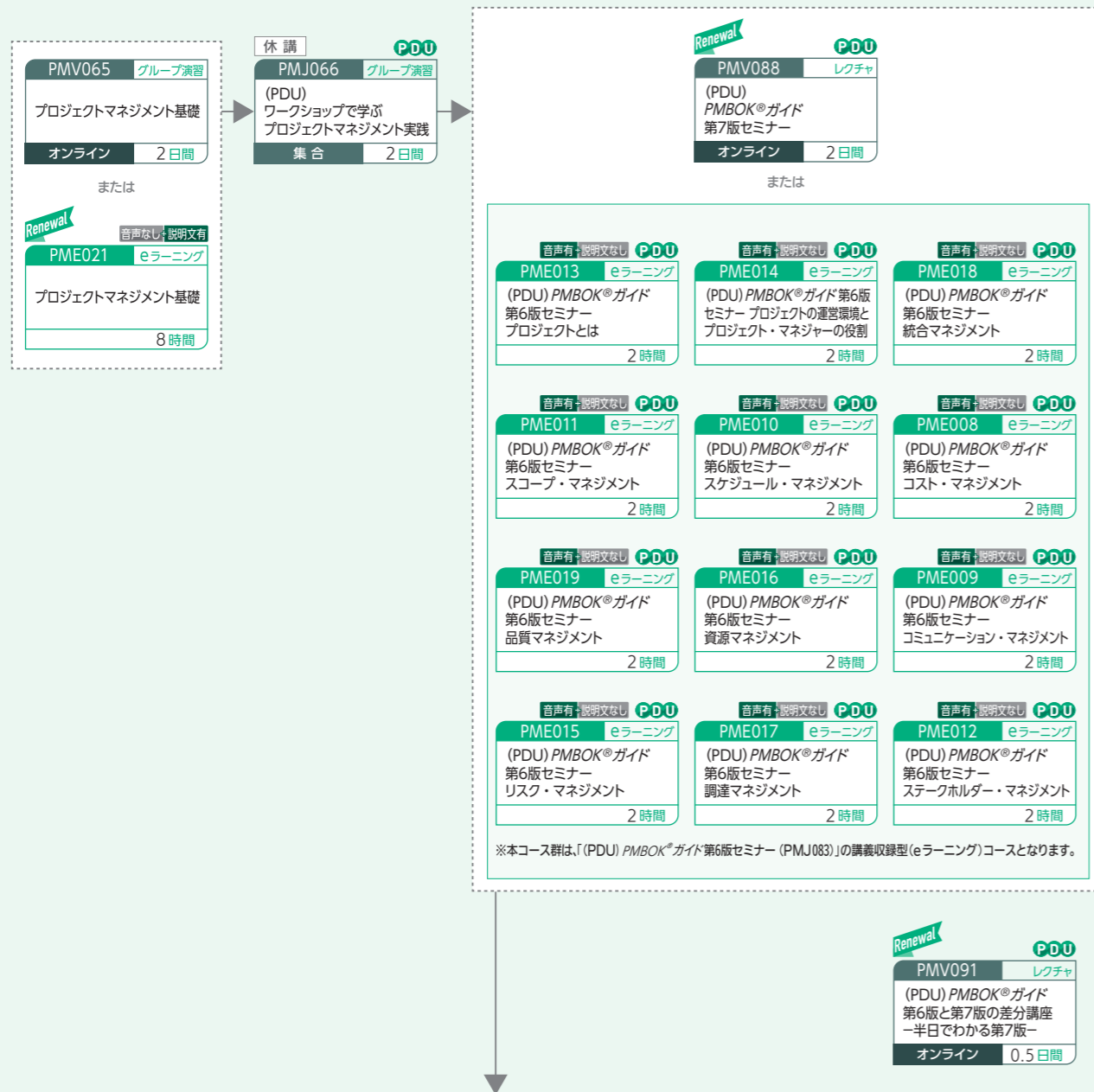
音声有+説明文有：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>
 バーチャル・クラスルーム(オンライン研修)については ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/virtualclassroom/>

● プロジェクトマネージャの国際資格PMP®の取得をめざす方



PMP®対策コースは別途案内
 2021年1月から、米国PMI®による試験改訂の影響でコース体系が大きく変わります。
 詳細は別途広報いたします。

PMP® : Project Management Professionalの略で、米国PMI®(Project Management Institute)が認定する国際資格です。
 PDU : Professional Development Unitの略で、PMP®資格維持に必要な単位です。
 PMBOK®ガイドはプロジェクトマネジメント協会発行のA Guide to the Project Management Body of knowledgeの略称です。
 PMI®, PMP®, PMBOK®ガイド、PM Network®, PMI Today®, PMCDF®, R.E.P.ロゴは、プロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

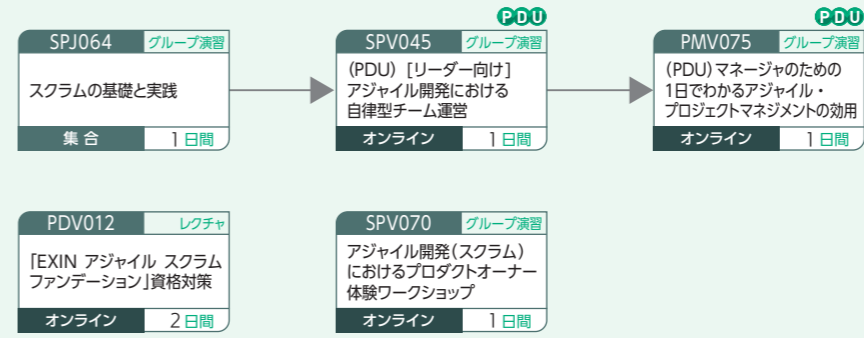
- 音声有+説明文有** : 説明画面と説明文(音声あり)で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)
- 音声有+説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
- 音声なし+説明文有** : 説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU : PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

マシンの使用からマシンの使用なしの研修 | グループ演習(グループ演習を中心とした研修) | レクチャ(座席による研修) | eラーニング(インターネット接続による自己学習) | その他 | 休講(休講の定期開催はありません)

● アジャイル開発に携わる方、関心のある方



● PMP®資格維持を図る方(PMP®資格維持に必要なPDUが取得できます)

日立講習会では、PMP®資格(米国PMI®認定)に対応したコースを多数提供しています。
 詳細は、Webサイトをご覧ください。
<https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/license/pmp.html>

PMP® : Project Management Professionalの略で、米国PMI®(Project Management Institute)が認定する国際資格です。
 PDU : Professional Development Unitの略で、PMP®資格維持に必要な単位です。
 PMBOK®ガイドはプロジェクトマネジメント協会発行のA Guide to the Project Management Body of knowledgeの略称です。
 PMI®, PMP®, PMBOK®ガイド、PM Network®, PMI Today®, PMCDF®, R.E.P.ロゴは、プロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

- 音声有+説明文有** : 説明画面と説明文(音声あり)で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)
- 音声有+説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
- 音声なし+説明文有** : 説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU : PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

資格 PMP®資格(米国PMI®認定)

- Project Management Professional (PMP)®資格は、プロジェクトマネジメントの専門知識を有していることを証明するために、米国Project Management Institute (PMI)®が認定する資格です。
- PMP®の人気は世界的に非常に高く、資格受験者は年々増加を続けています。
- PMP®は、システム発注条件に記載されるケースも増えており、また、各社のプロジェクト・マネージャ資格認定制度においても認定要件である公的資格の一つに位置付けられることが多く、プロジェクト・マネージャをめざす方にとって人気の高い資格となっています。

詳しくは、日立アカデミーのWebサイトにてご確認ください。

<https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/license/pmp.html>



PMI ATP ロゴはプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

バーチャル・クラスルーム(オンライン研修)については ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/virtualclassroom/>

PDU 対象コース一覧

New: 新設コース Renewal: 改訂コース 休講: 今期の定期開催はありません

Table with columns: 分野, コースコード, 区分, コース名, 日数, PDU合計, テクニカル・プロジェクトマネジメント, リーダーシップ, ストラテジック&ビジネスマネジメント. Rows include Digital Transformation, IT Service Management, IT Strategy & IS Planning, and Project Management.

*eラーニングコースの日数欄には、平均学習時間を記載しています。

Icons for learning methods: マシン学習, グループ学習, レクチャ, eラーニング, その他, 休講.

New: 新設コース Renewal: 改訂コース 休講: 今期の定期開催はありません

Table with columns: 分野, コースコード, 区分, コース名, 日数, PDU合計, テクニカル・プロジェクトマネジメント, リーダーシップ, ストラテジック&ビジネスマネジメント. Rows include Project Management, Business/Human, and Communication.

*eラーニングコースの日数欄には、平均学習時間を記載しています。

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

バーチャル・クラスルーム (オンライン研修) については ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/virtualclassroom/>

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3
XDM
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
DXマインド・プロセス・マネジメント
課題分析 (何をなすべきかを着想する)
仮説構築 (ビジネスモデルをデザインする)
プロトタイプと価値検証(共通)
プロトタイプと価値検証 (データ環境構築)
プロトタイプと価値検証 (分析モデル構築)
RPA
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
IT基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル
OT(モノづくり・専門技術)

SPJ064 プロジェクトマネジメント

スクラムの基礎と実践

1日間

このコースは、アジャイル開発手法の中でも主流のスクラムを取り上げます。基礎知識の解説に加え、実際のプロジェクトの進め方や要素技術など、アジャイル開発/スクラムの基礎と実践について学習します。また演習やワークショップによってアジャイル開発のメリットを体験します。

到達目標 スクラムの基本的なプロセスフレームワークを理解し、実践できる。

対象者 ・アジャイル開発の基礎を修得したい方。
・スクラムの修得をめざす方。

前提知識 特に必要としません。

内容 1. アジャイル開発の概要
2. スクラム入門
3. アジャイル開発の演習/ワークショップ
4. まとめ

備考 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

SPV045 プロジェクトマネジメント

(PDU) [リーダー向け]
アジャイル開発における自律型チーム運営
【バーチャル・クラスルーム】 PDU

1日間

アジャイル開発を担当するリーダーとして、その力量がもっとも発揮されるべき局面がチーム運営です。「チームがうまくまとまっていけない」「メンバーは指示待ちで自分から動かない」というように自律型チームにならないことが多いのが現実です。このコースでは、自律的なチームとは何か、どうすれば自律的なチームになるのかを、開発現場の状況を想定した講師とのディスカッション演習や質疑応答を通して考察します。それを通して、適用可能なプラクティスからチーム運営のあり方をつかむことをめざします。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:6ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ・リーダーとしてアジャイル手法におけるチーム運営のヒントを説明できる。
・アジャイルプラクティスの実践的な取り組み方を説明できる。

対象者 ・アジャイル開発に適したチームを作りたい方。
・アジャイルに限らず、効果的なチームビルディングを行いたいリーダー(マネージャ)の方。

前提知識 一般的なソフトウェア開発プロセス(ウォーターフォール開発)を理解していること。
・ソフトウェア開発の経験があること。

内容 1. アジャイル開発におけるチームとは
(1)アジャイル開発とチーム
(2)チームを構成するもの
(3)チームを動かすもの
(4)チームの成長
2. アジャイル開発における要件管理とは
(1)反復のサイクル
(2)ストーリーとタスク
(3)ストーリーの見積り方法
3. ディスカッション演習: ユーザストーリー
4. アジャイル開発における進捗管理とは
(1)タスクボード (2)バーンダウンチャート
5. ディスカッション演習: タスクボードの効果的な使い方
6. アジャイル開発における品質管理とは(CI)
7. アジャイル開発における「カイゼン」とは
8. ディスカッション演習: レトロスペクティブケーススタディ

備考 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。
・PMI®, PMP®, PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

PMV075 プロジェクトマネジメント

(PDU) マネージャのための1日でわかる
アジャイル・プロジェクトマネジメントの効用
【バーチャル・クラスルーム】 PDU

1日間

従来、行われてきた計画重視型のプロジェクトマネジメントから、アジャイル開発導入への変化をマネジメント視点で学びます。経営管理上のメトリクスを残しながら、プロジェクトガバナンスをどのように確立するかを理解し、顧客に提案できる知識を身につけます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:6.5ポイント)の取得が可能です。

到達目標 マネジメント視点でのアジャイル開発の利点を理解し、顧客に提案できる。

対象者 アジャイル開発の導入を検討しているマネージャ、リーダーの方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. アジャイルの背景
(1)なぜアジャイルが生まれたのか
(2)従来の「ウォーターフォール」との相違
2. アジャイルによるマネジメント
(1)アジャイルマネジメントの導入
(2)失敗例からの教訓
(3)アジャイルマネジメントの事例から
3. まとめ

備考 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。
・PMI®, PMP®, PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

PMV012 プロジェクトマネジメント

「EXIN アジャイル スクラム
ファンデーション」資格対策
【ITPライブ配信】

2日間

EXIN(www.exin.com)本部が公開する試験要件に沿ったカリキュラムにより基本事項の概念や用例を学習します。なお、研修の最後にアジャイル スクラム ファンデーション認定試験(60分)を用意しています。

到達目標 ・アジャイル手法の重要性と、アジャイルがどのように付加価値を付けられるかを説明できる。
・アジャイルの原則とアジャイルマニフェストについて説明できる。
・アジャイル・プロジェクトマネジメント・フレームワークを説明できる。
・アジャイル スクラム ファンデーション認定試験に合格できる。

対象者 アジャイル・プロジェクトマネジメント、スクラムの基本を体系的に把握したい方。

前提知識 プロジェクトマネジメントに関する基本的な知識・技術があること。

内容 1. アジャイルとスクラム
2. 役割、儀式、タイムボックス
3. 手法とプラクティス
4. バックログ
5. 上級概念
6. 計画とリリース
7. モニタリング
8. アジャイルスクラムファンデーション認定試験(60分)

備考 ・このコースは、株式会社ITプレナーズジャパン・アジアパシフィック主催の「EXIN アジャイル スクラム ファンデーションコース」を実施するものです。
・コース実施に必要なご受講者の個人情報をITプレナーズ社へ提供いたします。
・このコースは、オンライン研修にてご提供します。

SPV070 プロジェクトマネジメント

アジャイル開発(スクラム)における
プロダクトオーナー体験ワークショップ
【バーチャル・クラスルーム】

1日間

このコースは、ワークショップを通してアジャイル開発(スクラム)におけるプロダクトオーナーの責務、作業内容、振る舞いについて体験します。

到達目標 アジャイル開発(スクラム)においてプロダクトオーナーを実践できる。

対象者 スクラムにおけるプロダクトオーナーの責務、仕事の進め方を理解し体験したい方。

前提知識 特に必要としません。

内容 1. アジャイル開発の概要
2. スクラムの基礎
3. 製品開発のプロダクトオーナー体験ワークショップ

備考 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。
・学習項目は予告なく変更になることがあります。あらかじめご了承ください。

コンプライアンス

個人情報保護や情報セキュリティ、内部統制といった、コンプライアンス意識向上に不可欠な知識が修得できます。

● モニタリング：内部統制が有効に機能しているかを継続的に監視する

HSV062 グループ演習

事例から学ぶ
システムトラブル対策の考え方
—高信頼性システム実現のために—

オンライン 1 日間

HSV018 グループ演習

システムトラブルの予防と是正
—ISMS・システム監査の
視点から—

オンライン 2 日間

● 記録管理：内部統制の状況の確認、不正の発見、不正の抑止効果、内部統制の有効性の説明のために、企業活動を網羅的かつ正確に記録として残し管理する

音声有+説明文なし

DBE015 eラーニング

HiRDB機能解説

7 時間

DBV092 マシン実習

HiRDBデータベース管理

オンライン 2 日間

または

音声有+説明文なし

DBE305 eラーニング

【マシン演習付き】
HiRDBデータベース管理

12 時間

● セキュリティ管理：内部統制を実現するシステムが不正にアクセスされることを防止・抑止するためのセキュリティを管理する

音声なし+説明文有

SCE708 eラーニング

【ナビ機能付き】
情報セキュリティリテラシー
—セキュリティの必要性と対策—

4 時間

初心者におすすめ

音声なし+説明文有

SCE706 eラーニング

【ナビ機能付き】
情報セキュリティマネジメント概説
—セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度—

8 時間

音声なし+説明文有

SCE703 eラーニング

【ナビ機能付き】
情報技術者に求められるセキュリティの基礎
—要素技術(暗号、認証)編—

6 時間

音声有+説明文有：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）

音声有+説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）

音声なし+説明文有：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

バーチャル・クラスルーム(オンライン研修)については ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/virtualclassroom/>

日立製品

JP1

uCosminexus
Application Server

HiRDB

OpenTP1

VOS3

XDM

日立ストレージ

Pentaho

デジタルトランス
フォーメーション

DXマインド・
プロセス・
マネジメント

課題分析
(何をなすべきかを
着想する)

仮説構築
(ビジネスモデルを
デザインする)

プロトタイプと
価値検証(共通)

プロトタイプと
価値検証
(データ環境構築)

プロトタイプと
価値検証
(分析モデル構築)

RPA

クラウド/
サーバ仮想化

IT サービス
マネジメント

システム基盤

IT 基本

オープンソース
ソフトウェア(OSS)

Linux

Microsoft

ネットワーク

ハードウェア

セキュリティ

データベース

IT戦略・IS企画

システム開発

要件定義/設計

プログラミング

情報処理技術者
試験対策

ITリテラシ

プロジェクト
マネジメント

コンプライアンス

ビジネス/
ヒューマン

グローバル

OT(モノづくり・
専門技術)

● システム運用管理：内部統制を実現する各システムが正しく導入・運用されることを保証するために管理する

JPV279 マシン実習 JP1プロフェッショナル 統合管理1-システム監視- オンライン 2日間
JPV280 マシン実習 JP1プロフェッショナル 統合管理2-システム設定- オンライン 2日間
JPV281 マシン実習 JP1プロフェッショナル 統合管理セットコース オンライン 4日間
JPV282 マシン実習 JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理 オンライン 2日間

JPV291 マシン実習 JP1プロフェッショナル 資産・配布管理1-資産管理編- オンライン 1日間
JPV292 マシン実習 JP1プロフェッショナル 資産・配布管理2-セキュリティ管理編- オンライン 1日間
JPV293 マシン実習 JP1プロフェッショナル 資産・配布管理3-配布管理編- オンライン 1日間
JPV294 マシン実習 JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 セットコース オンライン 3日間

JPV295 マシン実習 JP1プロフェッショナル セキュリティ管理 オンライン 1日間
JPV296 レクチャ JP1コンサルタント 統合管理 オンライン 1日間
JPV297 レクチャ JP1コンサルタント パフォーマンス管理 オンライン 1日間
JPV300 レクチャ JP1コンサルタント 資産・配布管理 オンライン 1日間

ITE701 eラーニング 【ナビ機能付き】 運用管理概説 6時間
ITV008 グループ演習 情報システム運用入門 -運用からITサービスへ- オンライン 1日間
ITV009 グループ演習 IT運用における ヒューマンエラー予防 オンライン 1日間
ITE006 eラーニング SLAにおける サービスレベル設計の基礎 4時間

ITV004 グループ演習 システム運用の現状分析・ 設計力養成ワークショップ オンライン 2日間
ITV014 レクチャ ITIL®ファンデーション (ITIL® 2011対応) (受験バウチャーチケット付き) オンライン 3日間
ITV013 レクチャ ITIL® 4ファンデーション (受験バウチャーチケット付き) オンライン 3日間
CDV001 グループ演習 事業と技術の観点から検討 するクラウドへの移行と管理 - Cloud Essentials - オンライン 2日間

● SNSコンプライアンス：SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) のトラブルを防ぐ

HSE129 eラーニング SNSのリスクと 利用時のガイドライン 1時間

音声有+説明文有：説明画面と説明文(音声あり)で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)
音声有+説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
音声なし+説明文有：説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

初心者におススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
休講 休講 今期の定期開催はありません

HSV062 コンプライアンス

事例から学ぶシステムトラブル対策の 考え方-高信頼性システム実現のために- 【バーチャル・クラスルーム】 1日間

情報化社会におけるコンピュータシステムは、組織や社会のインフラを支えるという極めて重要な役割を担っています。これらのシステムに障害が発生すると、ビジネスに与える影響は非常に大きなものとなるため、今日の情報システムには高い信頼性と安全性が求められています。システムトラブル対策の実践的知識を学習します。IT技術者が開発段階と運用段階で実施すべきトラブル対策のポイント、解説とグループ演習を通して学習します。

到達目標 システムトラブル発生状況とその対策実施状況を 確認できる。
開発段階と運用段階で留意すべきトラブル対策の ポイントを理解できる。
システムトラブルマネジメントシステムの構築手 順を理解できる。
対象者 プロジェクトマネージャ、システム開発担当者、シ ステム運用担当者の方、システム品質管理担当者、 ISMS導入担当者、内部監査担当者の方。

前提知識 情報化に関する基礎知識があること。
内容 1. 今なぜシステムトラブル対策なのか
(1)システムトラブル統計情報
(2)トラブル防止に向けた取り組み
2. 開発段階で実施するトラブル対策
(1)開発段階における留意事項
(2)開発段階での対策提言
3. 運用段階で実施するトラブル対策
(1)運用段階における留意事項
(2)運用段階での対策提言
4. システムトラブルをマネジメントする
(1)トラブル情報の収集とその活用
(2)原因分析と対策立案
5. まとめ
講師：前橋システムコンサルティング株式会社 代表取締役 前橋雅夫氏(公認システム監査人)

備考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせて いただいております。ご了承のほどよろしくお願 いたします。

HSV018 コンプライアンス

システムトラブルの予防と是正 -ISMS・システム監査の観点から- 【バーチャル・クラスルーム】 2日間

情報システムの開発業務や運用業務で発生したトラブル事例を、 予防処置と是正処置の観点から分析し、自らの職場において同 様のトラブルを引き起こさないようにするために何をすべきか、 その対策ポイントについて研究・学習します。

到達目標 情報システムの開発業務や運用業務でトラブルを 引き起こさないための対策ポイントを説明できる。
システムトラブルの原因分析ならびに対策立案の 手法を説明できる。
ケーススタディ演習において、システムトラブルの 原因分析ならびに対策方法を立案できる。
対象者 ISMS導入を担当する方、ISMS内部監査人、プロ ジェクトマネージャ、システム開発・運用を担当す る方。

前提知識 情報化に関する基礎知識があること。
内容 1. 今なぜシステムトラブルの予防と是正なのか
(1)情報セキュリティ対策の実施状況
(2)システムトラブルの発生状況ほか
2. 情報セキュリティ概論
(1)情報資産とは
(2)脅威と脆弱性ほか
3. システムトラブルを未然に防止する
(1)物理的な事前対策
(2)技術的な事前対策
(3)管理的な事前対策
(4)システム監査によるトラブル防止ほか
4. システムトラブルの再発を防止する
(1)セキュリティ事件・事故への対処
(2)システムトラブル報告書
(3)ヒューマンファクタ分析ほか
5. まとめ
(1)危機管理の鉄則
講師：前橋システムコンサルティング株式会社 代表取締役 前橋雅夫氏(公認システム監査人)

備考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせて いただいております。ご了承のほどよろしくお願 いたします。

HSE129 コンプライアンス

<eラーニング> SNSのリスクと利用時のガイドライン 1時間

SNSの特性やリスクについて事例を交えて紹介します。トラブ ルを未然に防ぐ重要性とそのポイントを学習し、SNS利用時の ガイドラインを紹介します。また、万一、トラブルが起きた時に影 響を最小化するためのポイントを学習します。

到達目標 SNSの特性、リスクを理解できる。
トラブル予防の重要性を理解し、実行できる。
迅速な対応の重要性を理解し、トラブル発生可能性があ る、または発生した際に適切な初期対応ができる。
対象者 SNSを利用している全ての方。
SNS上のトラブルを予防したい方。
トラブル発生時の対応を知りたい方。

前提知識 特に必要なしません。
内容 1. SNSとは
(1)SNSとは (2)SNSの影響力
(3)利便性と危険性の共存
(4)SNS上のトラブルを予防したい方。
(5)SNSのトラブルは身近な問題
2. SNSの特性
(1)SNS理解の重要性
(2)SNSの特性 (3)SNS利用時には
(4)SNSのリスクを知る意義 (2)SNSのリスク分類
(3)企業の機密情報の漏えい (4)顧客情報の漏えい
(5)私的な投稿によるトラブル
(6)著作権・肖像権侵害リスク
(7)不適切な業務遂行に関する投稿
(8)誹謗中傷・風評 (9)なりすまし
(10)企業におよぼす影響
3. SNSのリスクおよび個人・企業への影響
(1)SNSのリスクを知る意義 (2)SNSのリスク分類
(3)企業の機密情報の漏えい (4)顧客情報の漏えい
(5)私的な投稿によるトラブル
(6)著作権・肖像権侵害リスク
(7)不適切な業務遂行に関する投稿
(8)誹謗中傷・風評 (9)なりすまし
(10)企業におよぼす影響
4. SNS利用時のガイドライン
(1)トラブル防止の重要性
(2)SNS利用時のガイドライン
(3)ガイドラインの目的
5. トラブル発生時の対応
(1)初期対応の重要性 (2)トラブル対応の流れ
(3)企業の初期対応 (4)従業員の初期対応
6. まとめ
(1)SNSのリスクの再確認 (2)今後に向け

備考 開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります。
説明画面で学習するタイプのeラーニングです。(音声再 生環境は不要です)
このコースは、インターネットによる研修のため、パソ コンとWeb環境が必要です。
お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。 なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の 方のE-Mailアドレスが必須となります。

ビジネス/ヒューマン

仕事を進めるうえで必要となるスキル(ロジカルシンキング、コミュニケーション、ライティング、リーダーシップ、業務知識など)が修得できます。

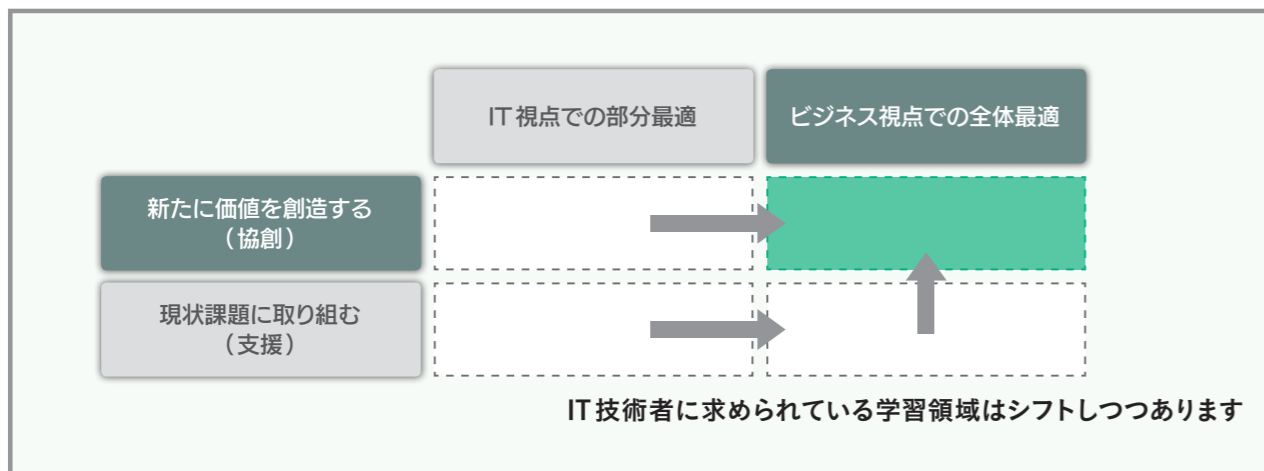
ビジネススキル修得のための推奨講座体系～変化の激しい時代を生き抜くために～

今後、IT技術者は何を学ぶべきか

ITが融合した市場・社会でのパラダイムシフトに企業が応えるためには、企業活動とITとの融合を継続的に進化(深化)させていく必要があります。ビジネスプロセス=ITシステムという現在、IT部門・技術者は「ITシステムを作るだけの人」で良いのでしょうか。ITがビジネスのあらゆる場面を支えるインフラとなり、ユーザー部門がIT部門・技術者に期待する関わり方は、「支援」ではなく「一体」に、そして「結果の共有」まで、全工程をマネジメントすることが求められるようになりました。

また、経営戦略の具現化・課題解決のために、ITの知見を軸としながらも、ITのみの視点にとどまらず、ビジネスの視点で全体最適な解決策を提案することが期待されています。

ITという技術を社会やビジネスで役立たせるには、「現実の場」とITを結びつけ、協創することが不可欠です。ビジネス推進と一体となって、ビジネスでの結果の共有を実践するために、IT技術者は使命の拡大に合わせて学習の領域を広げていくことが望まれています。



確実なスキルアップを促す講座体系の特長

上記のような要請を踏まえ日立講習会では、システム計画系やプロジェクトマネジメント系の講座体系に、ビジネススキル系のコースを追加し、段階的に拡充を図って参りました。

ビジネススキルの修得は「なかなか効果が見えないもの」といわれます。

そこで日立講習会では、日立グループ向けのビジネス教育のノウハウを活用し、最短期間で修得できるよう、各項目の最終的な到達レベルを定義したうえで、その修得までに最適な時間を導き出しています。また、修得内容に一貫性を持たせつつ、必要最小限の項目で構成しています。

講座体系を活用したコースの選び方

次ページの講座体系では、ビジネス推進のスキルとして欠かせない四分野(問題解決、人・組織・リーダーシップ、戦略・マーケティング・セールス、財務)を縦軸に採り、横軸にレベル感や難易度を表現しました。お客様内での階層別育成の実施状況や、対象者の方の経験年数・業務経験・職位と照らし合わせて、コースをご検討ください。

また、P.232以降では、ビジネススキルの講座群を目的別のコースフローで掲載しています。こちらでは、今必要なスキル修得に最適なコース選択のために、「速引き」でコースを見つけていただけるように整理しました。

実績豊富な日立講習会のビジネス/ヒューマン講座をご活用いただければ幸いです。

問題解決能力修得の共通ステップ	ビジネスの問題解決の基本を理解し、意識を高める	各自のビジネスにおける問題解決を実行する	先の見えない困難な状況下でも合理的な解を立案し、組織を導く	
レベル	入門	基礎	応用・中級	上級
心構え	HSV202 0.5日間 クリティカルマインド基礎 -メタ思考で「考え抜ける」ビジネスパーソンへ-			
思考法	HSV114 2日間 ロジカルシンキング基礎 -論理の可視化と論理チェックのポイント-	HSV170 2日間 イノベティブ思考-単なるアイデアで終わらせないためのロジカル・システム・デザイン思考の組み合わせ方-		
ライティング	HSE131 8時間 eL ビジネスライティング(基礎知識) -読みやすい文書を作成する-	HSE132 6時間 eL ロジカルライティング(基礎知識) -読み手が納得・行動する文書を作成する-	HSV205 1日間 ロジカルライティング(演習編) -読み手が納得・行動する文書を作成する-	問題解決のための コンセプトual総合コース
プレゼンテーション	HSV154 2日間 ロジカルプレゼンテーション基礎			
意思決定	HSE072 4時間 eL 意思決定のスキル -合理と心理を理解したうえでの意思決定-			
交渉	HSE711 4時間 eL 【ナビ機能付き】協創を生み出す交渉(基礎知識編)	HSV145 1日間 協創を生み出す交渉(基礎演習編)	HSV146 1.5日間 協創を生み出す交渉(実践演習編)	
			HSJ185 1日間 行動経済学を応用したベースエイション(取得)のスキル-ハーバード交渉術を越えて-	
人・組織・リーダーシップ	HSE049 8時間 eL ビジネススキル基礎	HSV126 1日間 報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎	HSV219 1日間 (PDU)アサーティブ・コミュニケーション -職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上-	コミュニケーション系総合コース (各人・各組織の価値観や、非言語部分までを含んだ「人の情念の変容に踏み込む総合的ファシリテーション講座」)
マネジメント/リーダーシップ		HSV214 1日間 コーチング基礎 -ケース動画で実感が高まる!	HSV217 1日間 (PDU)部下のパフォーマンスを高める1on1ミーティングとフィードバック	
		HSV218 1日間 自己回復力を高めるストレスマネジメント -レジリエンスを育むために-	HSV222 1日間 (PDU)リーダーのためのマインドフルネス -成果発揮へのセルフリーダーシップとマインドフル-	
戦略・マーケティング・セールス				戦略基礎理論と応用 HSV182 1日間 (PDU)ITビジネスにおける戦略の基本と最新動向-イノベーション実現のために-
戦略				戦略的思考基礎 (コンサルタントの顧客対応ノウハウを学ぶ)
マーケティング				マーケティング基礎理論と応用
セールス		HSV199 2日間 顧客の心をつかむ戦略的提案活動 -体系的に学ぶ提案活動の進め方-	HSV200 1日間 高評価をねらえる提案書作成 -顕在・潜在ニーズに訴求する-	HSV180 1日間 顧客協創を促すディスカッション ペーパーの作成・活用の仕方
財務	HSE709 8時間 eL 【ナビ機能付き】WHYで学ぶアカウンティング(基礎知識編)			財務系総合コース
アカウンティング				
ファイナンス				

□ : 順次提供予定コース eL eラーニング

確実なスキルアップを促す4つの講座群

問題解決スキル

ビジネスパーソンが修得すべき論理的思考をベースとした問題解決のためのスキルを身につけることができます。

戦略・マーケティング・セールススキル

顧客の環境変化や顧客との協創を考え、ビジネスアイデアを創造するスキルを修得できます。

人・組織・リーダーシップスキル

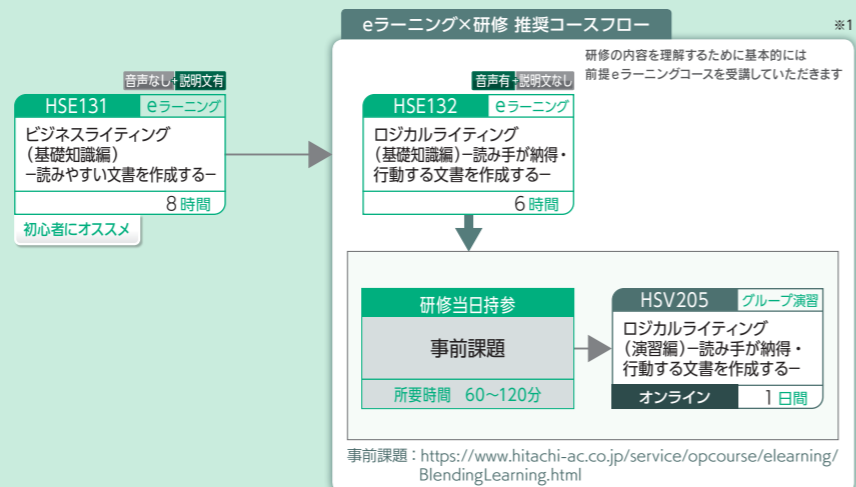
個人と組織が連携していくための真の対人能力を身につけ、「組織マネジメント」と「変革のリーダーシップ」を修得できます。

財務スキル

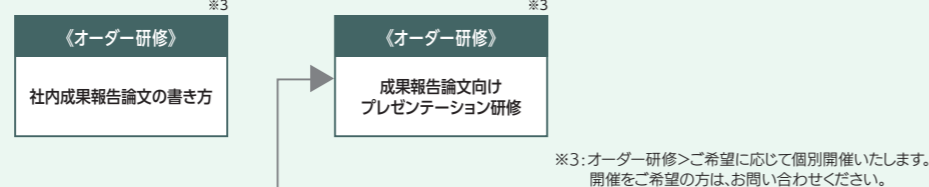
アカウンティングの本質から、連結経営、ファイナンス、経営分析を用いた経営改革のスキルを修得できます。

● 文書作成、プレゼンテーション力を高めたい方

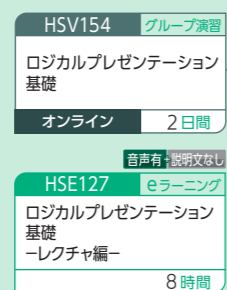
文書作成の基本を押さえたい/押さえさせたい



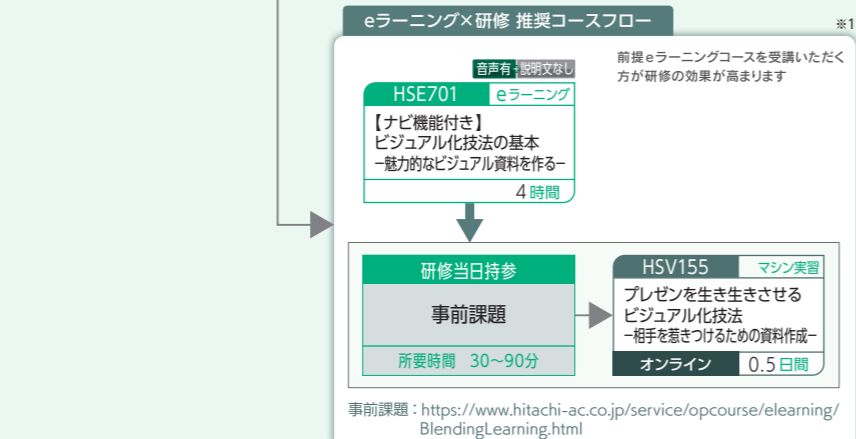
社内成果報告論文を書く



プレゼンテーションの準備プロセスを知りたい



資料のデザインのポイントを知りたい



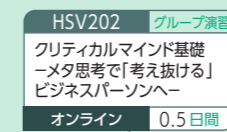
- 音声有+説明文有: 説明画面と説明文(音声あり)で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)
- 音声有+説明文なし: 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
- 音声なし+説明文有: 説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

初心者におすすめ: コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

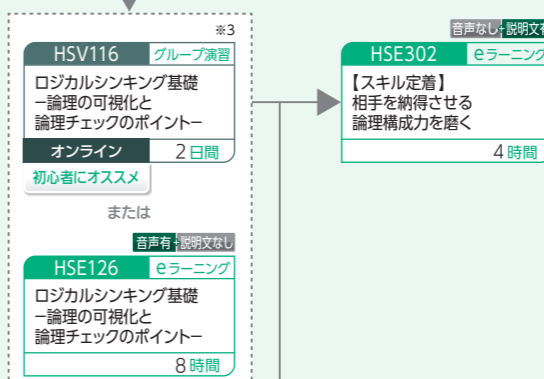
PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

● 論理的思考、問題発見・解決能力、発想力を高めたい方

論理的に考えるうえでの心構えを知りたい



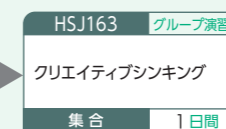
問題解決のプロセス、論理的思考の技法を知りたい



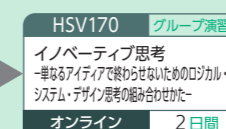
論理的にアイデアを発想する手順を知りたい



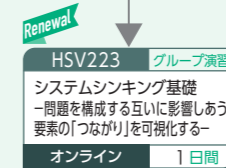
イノベティブに新しいことを考え出す必要性・考え方を知りたい



イノベティブな問題解決の場合の手順、思考技法を知りたい

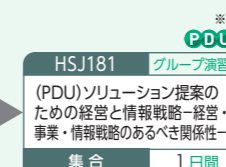


相互に関連する要因から成る問題の可視化を知りたい



シーン別学習

戦略マップ/KPIツリーを作成することに応用する



※3: オーダー研修>ご希望に応じて個別開催いたします。開催をご希望の方は、お問い合わせください。

プレゼンテーションの構成づくりに応用する

- HSV154 グループ演習: ロジカルプレゼンテーション基礎 (オンライン) 2日間
- HSE127 eラーニング: ロジカルプレゼンテーション基礎 -レクチャ編- (8時間)

文書構成に応用する

eラーニング×研修 推奨コースフロー ※1

HSE132 eラーニング: ロジカルライティング(基礎知識編)-読み手が納得・行動する文書を作成する- (6時間)

事前課題 (所要時間 60~120分)

研習当日持参

HSV205 グループ演習: ロジカルライティング(演習編)-読み手が納得・行動する文書を作成する- (オンライン) 1日間

事前課題: <https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/elearning/BlendingLearning.html>

意思決定に応用する

HSE036 eラーニング: QFD(品質機能展開)で学ぶマトリクス表の上手な使い方-マトリクス表を使って決めるを考える- (4時間)

HSE072 eラーニング: 意思決定のスキル-合理と心理を理解したうえでの意思決定- (4時間)

テストケースの作成に応用する

eラーニング×研修 推奨コースフロー ※2

SPE016 eラーニング: 実践！テストケース設計(テスト技法演習編) (8時間)

SPV051 マシン演習: 実践！テストケース設計(テスト設計実践編) (オンライン) 1日間

ニーズ分析に応用する

SPV071 グループ演習: システムのニーズ分析 (オンライン) 2日間

仮説をもとに顧客と検証する

HSV180 グループ演習: 顧客協創を促すディスカッションペーパーの作成・活用の仕方 (オンライン) 1日間

※1: 必須知識をeラーニングで学習し、研修で演習に取り組むため、eラーニングと研修両方のご受講を推奨します。研修は事前課題に取り組むことが前提となります。
 ※2: 必須知識をeラーニングで学習し、研修で演習に取り組むため、eラーニングと研修両方のご受講を推奨します。

音声有+説明文有: 説明画面と説明文(音声あり)で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)
音声有+説明文なし: 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
音声なし+説明文有: 説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

初心者におススメ: コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

マシーン演習 マシンを使用した研修

グループ演習 グループ演習を中心とした研修

レクチャ 座席による研修

eラーニング インターネット接続による自己学習

その他

休講 休講 休講の定期開催はありません

● サービスマインドを高めたい方

HSV152 グループ演習: SEのためのサービスマインド醸成-顧客対応の質を高め、他社と差別化を図る- (オンライン) 1日間

● 社会人としての基本動作を身につけたい方

HSE049 eラーニング: ビジネススキル基礎 (8時間) **初心者におススメ**

HSV126 グループ演習: 報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎 (オンライン) 1日間 **初心者におススメ**

HSE131 eラーニング: ビジネスライティング(基礎知識編)-読みやすい文書を作成する- (8時間) **初心者におススメ**

HSE123 eラーニング: 報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎-レクチャ編- (4時間)

● コミュニケーションスキルを高めたい方

【コミュニケーションスキルの基礎】

HSV116 グループ演習: ロジカルシンキング基礎-論理の可視化と論理チェックのポイント- (オンライン) 2日間 **初心者におススメ**

または

HSE126 eラーニング: ロジカルシンキング基礎-論理の可視化と論理チェックのポイント- (8時間)

HSE117 eラーニング: (PDU)リーダ向け報連相 (4時間) **PDU**

HSV154 グループ演習: ロジカルプレゼンテーション基礎 (オンライン) 2日間

HSE127 eラーニング: ロジカルプレゼンテーション基礎-レクチャ編- (8時間)

HSV216 グループ演習: (PDU)ストラクチャード・コミュニケーション-会議を空中戦にせず、図で共有する・伝える・理解する・考える- (オンライン) 1日間 **Renewal** **PDU**

HSE124 eラーニング: リスニング力を高めるコミュニケーションスキルアップ-レクチャ編- (4時間)

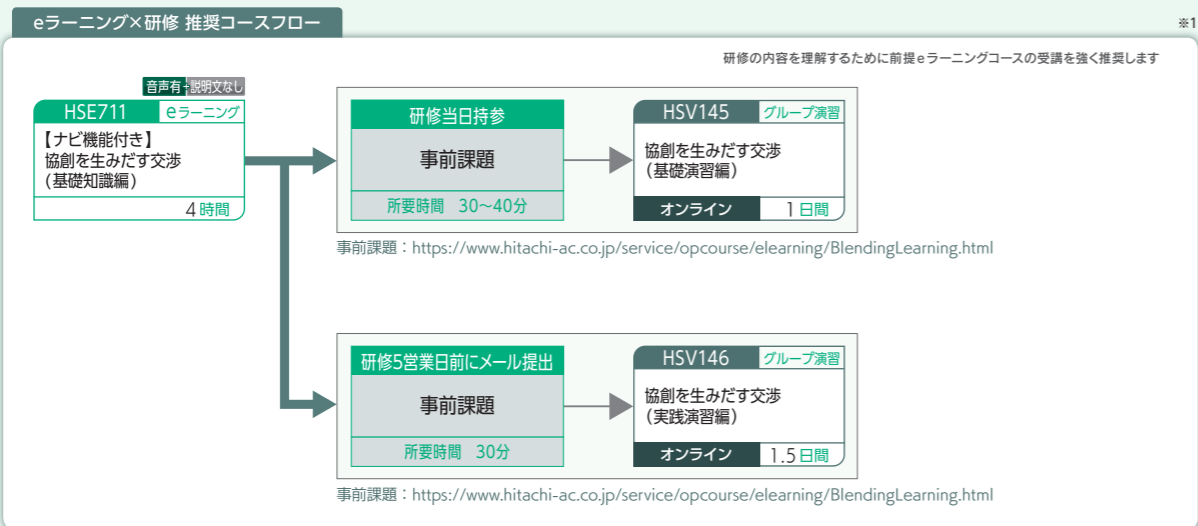
HSV219 グループ演習: (PDU)自分を知り他者を知るコミュニケーションマネジメント-DISCモデルによる- (オンライン) 2日間 **Renewal** **PDU**

HSV218 グループ演習: 自己回復力を高めるストレスマネジメント-レジリエンスを育むために- (オンライン) 1日間 **New**

HSE125 eラーニング: アサーティブ・コミュニケーション-レクチャ編- (4時間)

※3: オダー研修>ご希望に応じて個別開催いたします。開催をご希望の方は、お問い合わせください。

● ネゴシエーションスキルを高めたい方



HSJ185 グループ演習

行動経済学を応用したパース
エイション(説得)のスキル
-ハーバード流交渉術を越えて-

集合 1日間

● ビジュアルデザインの基本スキルを身につけたい方



HSE708 eラーニング

【ナビ機能付き】
グラフィカルトレーニング
-思考を図解で強化する-

2時間

※1: 必須知識をeラーニングで学習し、研修で演習に取り組み、eラーニングと研修両方のご受講を推奨します。研修は事前課題に取り組むことが前提となります。

- 音声有+説明文有: 説明画面と説明文(音声あり)で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)
- 音声有+説明文なし: 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
- 音声なし+説明文有: 説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

初心者におススメ: コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

マシニング: マシンを使用しながらの研修

グループ演習: グループ演習を中心とした研修

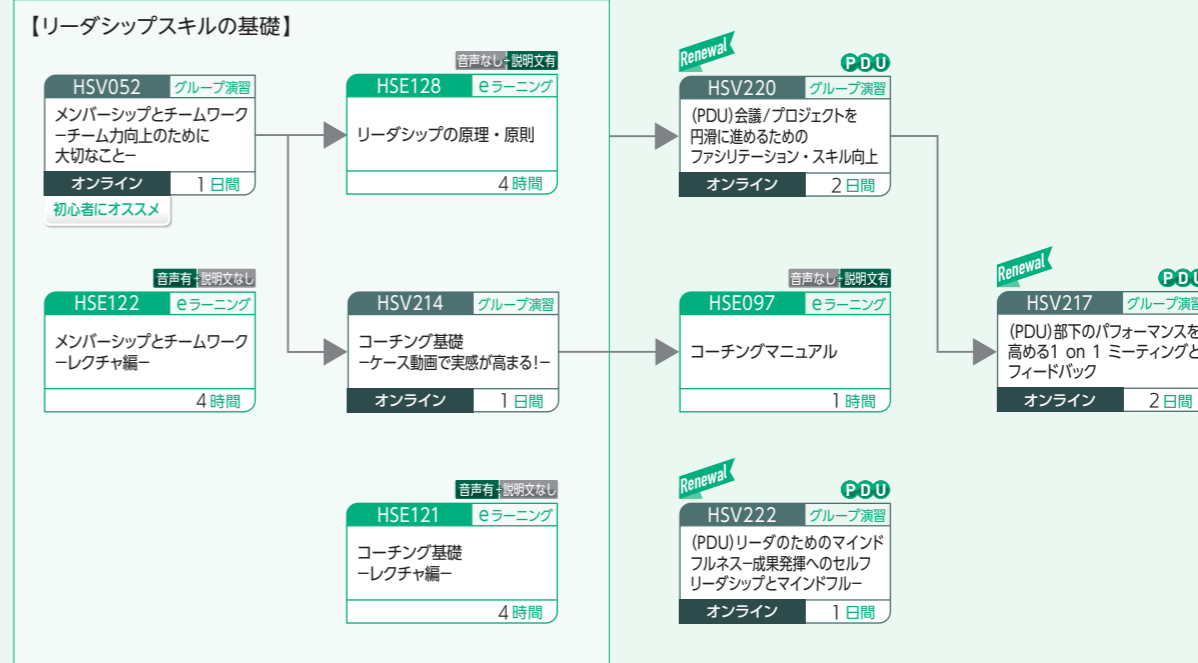
レクチャ: 座学による研修

eラーニング: インターネット接続による自己学習

その他

休講: 休講(今期の定期開催はありません)

● リーダシップ能力を向上し、チームをマネジメントしたい方



● 事業、マーケティング戦略、セールスを学びたい方

HSE130 eラーニング (PDU) 17時間: (PDU)知っておくべきビジネスモデルの基本-顧客のビジネスをより理解するために-

HSJ181 グループ演習 (PDU) 1日間: (PDU)ソリューション提案のための経営と情報戦略-経営・事業・情報戦略のあるべき関係性-

HSV182 グループ演習 (PDU) 1日間: (PDU)ITビジネスにおける戦略の基本と最新動向-イノベーション実現のために-

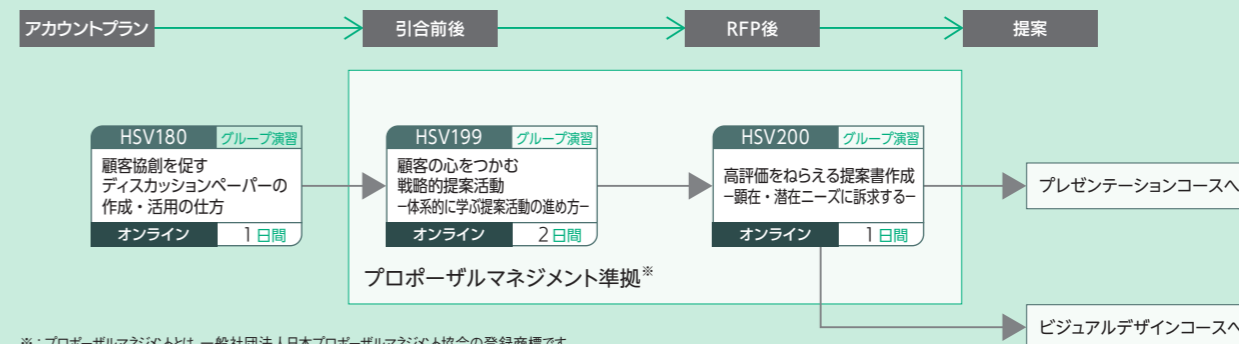
※2: SBI大学院大学が提供する単科コースを一部カスタマイズしてご提供します。
※3: オーダー研修>ご希望に応じて個別開催いたします。開催をご希望の方は、お問い合わせください。

● サプライチェーンの基礎、経営を学びたい方

HSJ201 グループ演習: サプライチェーン経営(SCM)の世界標準APICSの認定講師と学ぶSCM基礎 (0.5日間)

HSJ203 グループ演習: 体験型サプライチェーン経営(SCM)学習プログラム「The Fresh Connection」 (2日間)

《フロント営業活動のプロセスに添った学習フロー》



*: プロポーザルマネジメントとは、一般社団法人日本プロポーザルマネジメント協会の登録商標です

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

バーチャル・クラスルーム(オンライン研修)については ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/virtualclassroom/>

日立製品 JP1 uCosminexus Application Server HiRDB OpenTP1 VOS3 XDM 日立ストレージ Pentaho

デジタルトランスフォーメーション DXマインド・プロセス・マネジメント

課題分析 (何をなすべきかを考える)

仮説構築 (ビジネスモデルをデザインする)

プロトタイプと価値検証 (共通)

プロトタイプと価値検証 (データ環境構築)

プロトタイプと価値検証 (分析モデル構築)

RPA

クラウド/サーバ仮想化

ITサービスマネジメント

システム基盤

IT基本

オープンソースソフトウェア(OSS)

Linux

Microsoft

ネットワーク

ハードウェア

セキュリティ

データベース

IT戦略・IS企画

システム開発

要件定義/設計

プログラミング

情報処理技術者試験対策

ITリテラシ

プロジェクトマネジメント

コンプライアンス

グローバル

OT (モノづくり・専門技術)

日立製品 JP1 uCosminexus Application Server HiRDB OpenTP1 VOS3 XDM 日立ストレージ Pentaho

デジタルトランスフォーメーション DXマインド・プロセス・マネジメント

課題分析 (何をなすべきかを考える)

仮説構築 (ビジネスモデルをデザインする)

プロトタイプと価値検証 (共通)

プロトタイプと価値検証 (データ環境構築)

プロトタイプと価値検証 (分析モデル構築)

RPA

クラウド/サーバ仮想化

ITサービスマネジメント

システム基盤

IT基本

オープンソースソフトウェア(OSS)

Linux

Microsoft

ネットワーク

ハードウェア

セキュリティ

データベース

IT戦略・IS企画

システム開発

要件定義/設計

プログラミング

情報処理技術者試験対策

ITリテラシ

プロジェクトマネジメント

コンプライアンス

グローバル

OT (モノづくり・専門技術)

● アカウンティングに関するスキルを高めたい方

コースカード: HSE709 eラーニング 8時間 【ナビ機能付き】 WHYで学ぶアカウンティング (基礎知識編) 初心者におすすめ

● 中国古典を通して経営人間学を学びたい方

コースカード: HSE115 eラーニング 10時間 (PDU) 中国古典に見る指導者の条件

● ビジネス教養を身につけたい方

コースカード: HSE118 eラーニング 6時間 (PDU) よくわかるビジネス・ミクロ経済 1-経済学の思考、費用分析、市場経済、ゲーム理論

音声有り+説明有り: 説明画面と説明文(音声あり)で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)

初心者におすすめ: コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

HSV202 ビジネス／ヒューマン

グループ演習 クリティカルマインド基礎 -メタ思考で「考え抜ける」ビジネスパーソンへ【バーチャル・クラスルーム】 0.5日間

いくつかの業務経験を経た方に、よくあるシーンを取り上げ、考え抜けていないと感じてもらい、どう行動すべきかを考えます。

到達目標 クリティカルに考える(考え抜く)とはどういうことか、理解できる。 対象者 ・日頃「考え抜く」ということが実践できていない方。

HSE066 ビジネス／ヒューマン

eラーニング <eラーニング>思考技法の概要 4時間

これまで以上に業務における「思考」のウェイトが増えています。このような状況に対応するため、古今東西のあらゆる思考技法を、発想と情報整理の技法を中心に広く浅く学習します。

到達目標 ・業務における思考の重要性を理解し、思考に時間を割く意識が持てる。

HSV116 ビジネス／ヒューマン

グループ演習 ロジカルシンキング基礎 -論理の可視化と論理チェックのポイント【バーチャル・クラスルーム】 2日間

問題を解決する際や、相手の納得を得られるために伝える際に必要となる、論理的思考の標準的なプロセスを学習します。

到達目標 ・論理展開の基本が理解できる。 ・前提から結論までの論理のつながりを理解できる。

HSE036 ビジネス／ヒューマン

eラーニング <eラーニング>QFD(品質機能展開)で学ぶマトリクス表の上手な使い方 -マトリクス表を使って「決める」を考える- 4時間

QFD(品質機能展開)の手法を学習します。

到達目標 QFD(品質機能展開)の概要を説明できる。

HSE126 ビジネス／ヒューマン

eラーニング <eラーニング> ロジカルシンキング基礎 -論理の可視化と論理チェックのポイント- 8時間

問題を解決する際や、相手の納得を得られるために伝える際に必要となる、論理的思考の標準的なプロセスを学習します。

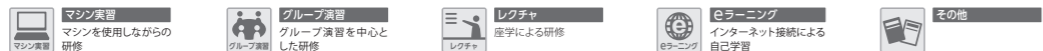
到達目標 ・論理展開の基本が理解できる。 ・前提から結論までの論理のつながりを理解できる。

HSE037 ビジネス／ヒューマン

eラーニング <eラーニング> TRIZで学ぶ発想のパターン -科学的な強制発想法- 4時間

TRIZの手法を学習します。

到達目標 TRIZの概要を説明できる。



- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HIRDB
- OpenTP1
- VOS3
- XDM
- 日立ストレージ
- Pentaho
- デジタルトランスフォーメーション
- DXマインド・プロセス・マネジメント
- 課題分析 (何をなすべきかを着想する)
- 仮説構築 (ビジネスモデルをデザインする)
- プロトタイプと価値検証(共通)
- プロトタイプと価値検証 (データ環境構築)
- プロトタイプと価値検証 (分析モデル構築)
- RPA
- クラウド/サーバ仮想化
- ITサービスマネジメント
- システム基盤
- IT基本
- オープンソースソフトウェア(OSS)
- Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- ハードウェア
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画
- システム開発
- 要件定義/設計
- プログラミング
- 情報処理技術者試験対策
- ITリテラシ
- プロジェクトマネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル
- OT(モノづくり・専門技術)

HSE111 ビジネス/ヒューマン

<eラーニング>
(PDU) 孫子の兵法を現代に役立てる方法

PDU

10時間

孫子の兵法の概要を理解したうえで、その教えを現代に活かすための考え方を学習します。このコースでは「孫子の兵法」に加え、戦国時代の「孫子の兵法」の両方を紹介します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 8ポイント)の取得が可能です。

到達目標 孫子の兵法の概要を理解できる。

- ・孫子の兵法を活用するための思考方法を会得できる。

対象者 「孫子の兵法」に興味がある方。

- ・これから戦略を学び始める方で、古典を知っておきたい方。

前提知識 特に必要としません。

内容

1. 孫子の兵法始計から謀攻まで
 - (1) 中国兵法を現代のビジネスに活かすにあたり必要なこと
2. 孫子の兵法軍形から虚实まで
 - (1) 戦わずして勝つ方法
3. 孫子の兵法軍争から行軍まで
 - (1) 戦わずして勝つ方法
4. 孫子の兵法地形から用間まで
 - (1) 状況や環境に応じてやり方を変える
5. 孫子の兵法擒ポウ洞から殺士まで
 - (1) 成功には信用と正義が欠かせない
6. 孫子の兵法延気から将義まで
 - (1) イマジネーションを働かせて活用する方法を考へてみる
7. 孫子の兵法将徳から奇正まで
 - (1) 事前に準備をし、勝ちに行ける状態を作っておく
8. 修了試験

備考

- ・サービス有効期間は56日間です。
- ・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
- ・このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

HSE110 ビジネス/ヒューマン

<eラーニング>
(PDU) リーダに必要な人間力

PDU

10時間

正史『三国志』にもとづき、主な登場人物-魏の曹操、蜀の劉備、呉の孫権、蜀の諸葛亮、魏の司馬懿らを取り上げ、彼らがこの激動の時代を、どう生き抜いたのか、また、リーダーとしてどんな長所を持っていたのか、そのあたりを中心に紹介します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 7ポイント)の取得が可能です。

到達目標 激動の時代を生きた『三国志』のリーダーから、現代を生きる知略と勇気を学ぶことができる。

対象者 3年以上の業務経験がある方。

前提知識 特に必要としません。

内容

1. 非常の人、曹操1
2. 非常の人、曹操2
3. 蜀の劉備
4. 呉の孫権
5. 戦略家、諸葛亮1
6. 名宰相、蜀の諸葛亮2
7. 権謀家、魏の司馬懿

備考

- ・サービス有効期間は56日間です。
- ・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
- ・このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。



マシン実習
マシンを使用しながらの研修



グループ演習
グループ演習を中心とした研修



レクチャ
座学による研修



eラーニング
インターネット接続による自己学習



その他

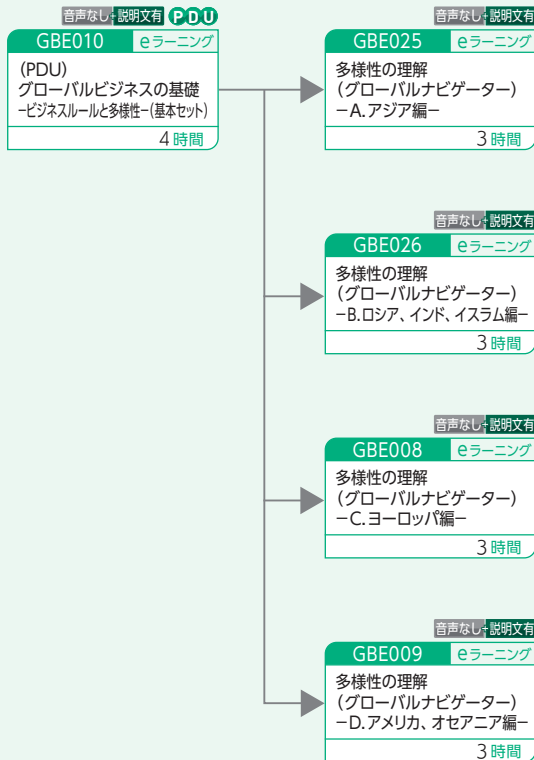


休講
今期の定期開催はありません

グローバル

グローバルでビジネスを進めるうえで必要となるスキル（グローバルマインドセット、各国の動機付け要因、反発要因など）が修得できます。

● 多様性について理解を深めたい方



● 中国ビジネスを学びたい方

音声有+説明文なし PDU ※1
GBE023 eラーニング
(PDU)中国ビジネスの鉄則
10 時間

※1: SBI 大学院大学が提供する単科コースを一部カスタマイズしてご提供します。

● インドビジネスを学びたい方

音声有+説明文なし PDU ※1
GBE024 eラーニング
(PDU)インドビジネスの鉄則
10 時間

※1: SBI 大学院大学が提供する単科コースを一部カスタマイズしてご提供します。

音声有+説明文有 : 説明画面と説明文(音声あり)で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)

音声有+説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)

音声なし+説明文有 : 説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU : PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/>

バーチャル・クラスルーム(オンライン研修)については ▶▶▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/virtualclassroom/>

日立製品

JP1

uCosminexus
Application Server

HiRDB

OpenTP1

VOS3

XDM

日立ストレージ

Pentaho

デジタルトランス
フォーメーション

DXマインド・
プロセス・
マネジメント

課題分析
(何をなすべきかを
着想する)

仮説構築
(ビジネスモデルを
デザインする)

プロトタイプと
価値検証(共通)

プロトタイプと
価値検証
(データ環境構築)

プロトタイプと
価値検証
(分析モデル構築)

RPA

クラウド/
サーバ仮想化

ITサービス
マネジメント

システム基盤

IT基本

オープンソース
ソフトウェア(OSS)

Linux

Microsoft

ネットワーク

ハードウェア

セキュリティ

データベース

IT戦略・IS企画

システム開発

要件定義/設計

プログラミング

情報処理技術者
試験対策

ITリテラシ

プロジェクト
マネジメント

コンプライアンス

ビジネス/
ヒューマン

グローバル

OT(モノづくり・
専門技術)

東京地区

東京(大森)

大森ベルポートD館5階・12階・13階

(株)日立アカデミー
大森キャンパス

品川区南大井6丁目26番3号(〒140-0013)
電話(03)5471-8962
FAX(03)5471-2564

- JR京浜東北線 大森駅北口(改札を出て右)より徒歩約3分
- 京浜急行線 大森海岸駅より徒歩約5分

※当ビル西入口、または北入口、南入口よりアトリウムに入り、D館入口のエレベータにてご来場ください。
※エレベータは、7:30~9:30、12:00~13:00の時間帯は特別運転となりますので、ご入館の際にはご注意ください
※受付は研修室で行いますので、直接研修室にお入りください。
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。

日立地区

日立

(株)日立アカデミー
日立キャンパス

日立市西成沢町2丁目17番1号(〒316-0032)
電話(0294)28-5019
FAX(0294)28-5394

- JR常磐線 日立駅または常陸多賀駅下車 日立電鉄バス(兔平方面行き)乗り換え、日専校前下車 徒歩1分
- JR常磐線 日立駅または常陸多賀駅よりタクシー約10分

※受付は研修室で行いますので、直接研修室にお入りください。
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。

東京地区

提携コースの研修会場

※提携先により研修会場またはオンライン配信に変更になる場合がございます。その場合は、事前に当社よりご連絡いたします。

会場地図は、当社Webサイト (<https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/bureau.html>) よりご確認ください。

開催地区	住所・会場名
東京(PLI)	パーソルラーニング(株) パーソルラーニング株式会社主催の研修会場につきましては、コース・日程により会場が異なります。お申し込み後、「受講案内通知(メール)」にて、研修会場をご連絡いたします。
白金台(BrainPad)	〒108-0071 東京都港区白金台3-2-10 白金台ビル3階 (株)ブレインパッド
浜松町(GSX)	〒105-0022 東京都港区海岸1-15-1 スズエヘイディアム4階 グローバルセキュリティエキスパート(株)東京本社
麹町(ITプレナーズ)	〒102-0083 東京都千代田区麹町2-3-3 FDC麹町ビル5階 (株)ITプレナーズジャパン・アジアパシフィック
麻布台(SHIFT)	〒106-0041 東京都港区麻布台2-4-5 メソニック39MTビル11階 (株)SHIFT

大阪地区

大阪

新ダイビル6階

(株)日立アカデミー
大阪キャンパス

大阪市北区堂島浜1丁目2番1号(〒530-0004)
電話(06)4797-7360
FAX(06)4797-7361

- 京阪中之島線 大江橋駅より徒歩約2分
- 地下鉄御堂筋線/京阪本線 淀屋橋駅より徒歩約5分
- JR東西線 北新地駅より徒歩約5分
- 地下鉄四つ橋線 肥後橋駅より徒歩約7分

※受付は研修室で行いますので、直接研修室にお入りください。
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。

名古屋地区

名古屋

大津通電気ビル4階

(株)日立アカデミー
名古屋キャンパス

名古屋市中区栄3丁目17番12号(〒460-8435)
電話(052)269-8940
FAX(052)261-8276

- 地下鉄名城線 栄場町駅 6番出口から西へ徒歩2分
- 地下鉄東山線 栄駅 サカエチカ7番出口から南へ徒歩5分

※受付は研修室で行いますので、直接研修室にお入りください。
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。

広島地区

広島

広島袋町ビルディング11階

(株)日立アカデミー
広島キャンパス

広島市中区袋町5番25号(〒730-0036)
電話(082)546-6172
FAX(082)546-6173

- 広島電鉄(市内電車)宇品線 袋町(電停)より徒歩約1分
- 広島バスセンターより徒歩約8分

※受付は研修室で行いますので、直接研修室にお入りください。
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。

福岡地区

福岡

日立九州ビル2階

(株)日立アカデミー
福岡キャンパス

福岡市早良区百道浜2丁目1番1号(〒814-8577)
電話(092)844-7522
FAX(092)844-7580

- 天神高速バスターミナル前(1A)のりばより、[302][W1][W2]などのバスに乗り。医師会館・ソフトリサーチパーク前にて下車。<所要時間:約20分>
- 博多バスターミナル1F(5)(6)のりばより、[306][312][直行]などのバスに乗り。医師会館・ソフトリサーチパーク前にて下車。<所要時間:約30分>(地下鉄の場合は、西新駅より約1.5kmです。バスまたは徒歩にてお越しください。)

※1階受付で、お名前と日立講習会に参加の旨をお申し出いただき、入館証をお受け取りのうえ、該当研修室にお入りください。
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。

- 1 日立講習会
コース活用例
- 2 開催コース/スケジュール一覧
- 3 講座別コースフロー/コースカリキュラム
- 4 研修会場
- 5 お申込方法
- 6 受講規約

株式会社日立アカデミー個人情報保護に関して



10860958(07)

当社は、一般財団法人日本情報経済社会推進協会より、個人情報の適切な取扱いを行う事業者が付与されるプライバシーマークの付与認定を受けています。

制定年月日 2004年6月23日
最終改定年月日 2019年4月1日
株式会社 日立アカデミー
取締役社長 迫田 雷蔵

個人情報保護の理念

株式会社日立アカデミー（以下、「当社」といいます。）は人材育成のためのトータルソリューションの提供を通じて社会に貢献してまいります。そうした中で、当社は氏名、生年月日のような個人を特定できる情報（以下、「個人情報」と総称します。）が従業員のみならずお客さまにとりまして重要な情報であり、適切に扱われるべき情報であると認識しております。又、これら個人情報を利用し、保護することが当社の社会的責任であり、当社の事業の基本であると考えております。当社では個人情報を適切に取扱うべく役員、従業員に「個人情報保護方針」の周知徹底を図り、その実行、維持、改善に努めます。

株式会社日立アカデミー個人情報保護方針

1. 個人情報の取得・利用・提供

当社は、事業活動において、お客さまの情報をお預かりしていることを考慮し、各事業に応じた個人情報保護のための管理体制を確立します。又、個人情報の取得、利用、提供において、特定された利用目的の達成に必要な範囲を超えた個人情報の取扱いを行わないための適切な措置を講じます。

2. 法令・規範の遵守

当社は、個人情報の取扱いにおいて、当該個人情報の保護に適用される法令および国が定める指針その他の規範を遵守します。又、これらの法令および指針その他の規範に適合した、当社の個人情報管理規則を作成し、遵守いたします。

3. 安全対策の実施

当社は、個人情報の正確性および安全性を確保するため、当社の情報セキュリティに関する諸規則に則り、個人情報へのアクセス管理、個人情報の持ち出し手段の制限、外部からの不正アクセスの防止等の対策を実施し、個人情報の漏えい、滅失又はき損の防止および是正に努めます。

4. 個人情報に関する本人の権利尊重

当社は、個人情報に関するご本人さまから求められる開示、内容の訂正、追加又は削除、又は苦情および相談を求められた時は、個人情報に関するご本人さまの権利を尊重し、誠意を持って対応いたします。

5. 個人情報保護マネジメントシステムの確立及び継続的改善

当社は、役員および従業員に個人情報保護の重要性を認識させ、個人情報を適切に利用し、保護するための個人情報保護マネジメントシステムを確立し、これを着実に実施します。更に、これを維持し、継続的に改善いたします。

個人情報の利用目的

当社は、次の利用目的の範囲内で利用するため、個人情報を収集させていただく場合がございます。

個人情報	利用目的
(1) お客さまに関する個人情報	<ul style="list-style-type: none"> お客さまへの連絡のため 研修サービス業務の運用・実施のため（受講案内・請求書発行、名簿・名札作成等の事務処理、ロイヤリティ支払いの確認、ご案内冊子送付） 各種研修サービスご案内のためのDMや電子メール等の発送のため（商品 / サービス / 展示会等の情報や宣伝物等のご案内。委託先会社が独自に企画・開催するものも含む） 教材販売業務の運用のため（教材発送、請求書発行） チケット販売業務の運用のため（チケット発送、請求書発行） より良い商品・サービス開発、サービス品質維持・改善のための調査・分析のため お客さまとの交渉、契約履行のため <p>上記の目的に必要な範囲で、お客さまの自社窓口部署または各種施策の取纏め部署に提供することがあります。</p>
(2) お取引先、提携先に関する個人情報	<ul style="list-style-type: none"> お取引先、提携先への連絡のため お取引先、提携先との各種研修サービスの運用・実施のため お取引先、提携先との交渉、契約履行のため お取引先、提携先との事業協力のため
(3) お取引先から委託を受けた個人情報	<ul style="list-style-type: none"> お取引先への連絡のため お取引先から受託した各種研修サービスの運用・実施のため お取引先との契約履行のため
(4) イベント、展示会等で取得した個人情報	<ul style="list-style-type: none"> 連絡、イベントの関連情報のご提供 商品またはサービスのご案内 お取引先から委託を受けた調査、分析、宣伝、広告業務の遂行等 <p>上記の目的に必要な範囲で、当社の関係会社、販売店、お取引先などに提供することがあります。</p>
(5) 当社へ入社を希望される皆様に関する個人情報	<ul style="list-style-type: none"> 連絡、情報のご提供および採用選考 採用選考に関わる業務委託
(6) 当社に派遣入場している皆様に関する個人情報	<ul style="list-style-type: none"> 構内秩序の維持、当社の財産又は営業秘密の管理上、本人特定するため 法令に定められた義務を履行するため
(7) 上記以外の個人情報	<ul style="list-style-type: none"> 防犯のための監視カメラによる撮影と録画

Web サイトでの情報の取扱い

当社が運営する Web サイト（以下、「本 Web サイト」という。）を利用される方に関わる情報を以下の通り取扱います。

A. 本 Web サイトへアクセスしたことを契機として機械的に取得される情報

当社は、閲覧された本 Web サイトのセキュリティ確保・ユーザビリティ向上のため、アクセスログおよび Cookie により、閲覧された方の情報を取得します。

- 取得した個人情報は、当社規定に基づき厳重な管理を行います。
- 取得する個人情報の取扱いを外部に委託する場合があります。
- 取得した個人情報は、利用目的に応じて保存期間を設定し、保存期間終了後は速やかに削除、廃棄します。

B. クッキーおよび Web ビーコンの利用について

本 Web サイトの一部では、ご本人さまがより便利にご利用いただくために、クッキー (Cookie)*1 や Web ビーコン (クリア GIF)*2 を利用しております。

ご本人さまは、ウェブブラウザの設定を変更することにより、クッキーの受け取りを拒否し、または、クッキーを受け取った場合に警告を表示させることができます。詳しくは、ご使用のブラウザの説明をご覧ください。また、ご本人さまは、クッキーの受け取りを拒否することによって、Web ビーコンを拒否することができます。

しかし、クッキーの受け取りを拒否された場合には、本 Web サイトにて提供するサービスの全部または一部がご利用できなくなる場合もございますので、ご了承ください。

また、お客さまへお送りするメールマガジンと Web ビーコンを組み合わせて使用することにより、お客さまにお送りしたメールが開封されたかどうか、お客さまがどのウェブページを訪問されたかといった情報を収集させていただく場合があります。当社では収集したこれらの情報につき、サービスの向上のために利用させていただきます。収集させていただいた情報の具体的な利用範囲等につきましては、上記「取得・利用目的・第三者提供」をご確認ください。

C. Google Analytics の利用について

本 Web サイトでは、お客さまの本 Web サイトの訪問状況を把握するために Google 社のサービスである Google Analytics を利用しています。Google Analytics では、当社が発行するクッキーをもとにして、Google 社がお客さまの本 Web サイトの訪問履歴を収集、記録、分析します。

当社は、Google 社からその分析結果を受け取り、お客さまの本 Web サイトの訪問状況を把握します。お客さまは、ブラウザのアドオン設定で Google Analytics を無効にすることにより、当社の Google Analytics 利用によるお客さまの情報の収集を停止することも可能です。

また、Google Analytics により収集された情報は、Google 社のプライバシーポリシーに基づいて管理されます。

Google Analytics によるクッキーの使用に関する説明およびクッキーにより収集される情報は、Google Analytics の利用規約およびプライバシーポリシーをご確認ください。

Google Analytics の利用規約

<http://www.google.com/analytics/terms/jp.html>

Google のプライバシーポリシー

<http://www.google.com/intl/ja/policies/privacy/>

Google Analytics オプトアウトアドオン

<https://tools.google.com/dlpage/gaoptout?hl=ja>

D. Google の行動ターゲティング広告利用について

個人を特定しない属性情報・行動履歴の取得および利用について

本 Web サイトでは、広告配信事業者が提供するプログラムを利用し、特定のサイトにおいて行動ターゲティング広告（サイト閲覧情報などをもとにユーザーの興味・関心にあわせて広告を配信する広告手法）を行っております。その際、ユーザーのサイト訪問履歴情報を採取するため Cookie を使用しています（ただし、個人を特定・識別できるような情報は一切含まれておりません）

広告配信事業者は当該 Cookie を使用して本 Web サイトへの過去のアクセス情報に基づいて広告を配信します。この広告の無効化を希望されるユーザーは 広告配信事業者のオプトアウトページにアクセスして、Cookie の使用を無効にできます。ブラウザの変更、Cookie の削除および新しい PC へ変更等の場合には再度設定が必要となります。

ユーザーは広告のオプトアウトページで Google の Cookie を使用しないよう設定できます（また、Network Advertising Initiative のオプトアウトページでも第三者配信事業者の Cookie の使用を無効にできます）。

オプトアウトを行っていない場合、Google 他、第三者配信事業者または広告ネットワークの Cookie も使用される可能性があります。Network Advertising Initiative のオプトアウト ウェブサイトでは、一部の Cookie（全てではありません）をまとめて無効にできます。

E. 本 Web サイトで利用しているソーシャルメディアサービスについて

当該サイトのうち他のソーシャルメディア（SNS）のボタン等が設置されているページを閲覧した際、当該 SNS に閲覧者に関する情報が送信されることがあります。

当該サイトで利用している他の SNS 等のサービスのプライバシーポリシー等は、各事業者のサイト等でご確認ください。

Facebook 「データに関するポリシー」 <https://www.facebook.com/privacy/explanation>

YouTube 「ポリシーとセキュリティ」 <https://www.youtube.com/intl/ja/yt/about/policies/#community-guidelines>

F. 本 Web サイトからリンクされている当社外の Web サイト

本 Web サイトからリンクされている当社外の Web サイトにおけるご本人さまの個人情報の安全性確保については、当社では責任を負いかねますので、ご承知おきください。

当社では、より良い個人情報保護を実現するために、また、法令、政省令、およびその他の規範の制改定に伴い、本ページに掲載いたしております個人情報保護方針を改定することがございます。定期的に当社の Web サイトにてご確認いただきますようお願いいたします。

本ページの内容は、掲載日以降に適用されるものといたします。

用語説明

*1 **クッキー**：ウェブサイトを管理するウェブサーバとお客さまのウェブブラウザとの間で相互にやりとりされる情報のことをいいます。クッキーは、お客さまのコンピュータのディスクにファイルとして格納されることがあります。クッキーをご利用になりますと、ウェブサーバは特定のコンピュータがウェブサイト中のどのページを訪れたか等を記録することが可能となります。但し、お客さまがお客さまご自身の個人情報をウェブサイト上で入力されない限り、当社はお客さまを特定、識別することはできません。

*2 **Web ビーコン**：クッキーと一緒に機能し、ご本人さまが特定のページに何回アクセスされたかを知ることができる技術のことをいいます。但し、ご本人さまが、ご自身の個人情報をクッキーの受け取り時に入力されない限り、当社はご本人さまを特定、識別することはできません。

個人情報の目的外利用の禁止

取得した個人情報は、お客さまの承諾がない限り、および以下のいずれかに該当する場合を除き、利用目的の範囲を超えて利用したり、第三者へ開示または提供しません。

- ・法令に基づく場合
- ・人の生命、身体又は財産の保護のために必要がある場合であって、ご本人さまの同意を得ることが困難であるとき
- ・公衆衛生の向上又は児童の健全な育成の推進のために特に必要がある場合であって、ご本人さまの同意を得ることが困難であるとき
- ・国の機関若しくは地方公共団体又はその委託を受けた者が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、ご本人さまの同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき

個人情報の取扱いの委託

利用目的を達成するために、個人情報の取扱いを外部に委託する場合があります。その場合も、十分な個人情報保護水準を有する会社を選定するとともに、個人情報保護の覚書等を締結し、必要な管理・監督を行います。

開示・利用停止等手続きのご案内

個人情報に関して開示等の求め（利用目的の通知、開示、内容の訂正、追加または削除、利用の停止、消去および第三者への提供の停止）は、ご本人さまによる場合のほか、代理人による場合も受けさせていただきます。

A. 開示等の求めのお申し出先

下記窓口宛に所定の申請書および必要書類を添付のうえ、郵送にてお送りいただけますようお願い申し上げます。

(1) お申し出先窓口 〒110-0015 東京都台東区東上野二丁目16番1号 上野イーストタワー18階
株式会社日立アカデミー コンプライアンス推進センタ センタ長

(2) 当社所定の申請書

- ・個人情報の開示等の請求書[※]

※：当社 Web サイト (<https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/utility/privacy/priv01.pdf>) をご覧ください。

(3) ご本人さま確認のため、以下の書類を(2)申請書とともに(1)に郵送ください。

- ・運転免許証、パスポート等の写真でご本人さま確認ができるものの写し（開示等の求めをするご本人さまの名前および住所が記載されているもの）
- ・住民票の写し（開示等の求めをする日前30日以内に作成されたもの）

(4) 代理人の方が手続きをされる場合は、(2)申請書、(3)ご本人さま確認書類に加え、以下の書類も郵送してください。

- ・代理人を証明する書類、代理人の運転免許証、パスポート等の写真で代理人確認ができるものの写し（開示等の求めをする代理人の名前および住所が記載されているもの）
- ・代理人の住民票の写し（開示等の求めをする日前30日以内に作成されたもの）
- ・代理人が弁護士の場合は、登録番号のわかる書類
- ・代理を示す旨の委任状

B. 開示等の求めに対するその他の注意事項

- ・個人情報保護法上対応を要しない場合、所定の書類に不備があった場合等には、開示等の求めに対応できないこともあります。
- ・開示等の求めにともない取得した個人情報は、開示等の求めに必要な範囲でのみ取り扱うものとします。開示等の求めに際しご提出いただきました書面は返却致しかねます。
- ・申請書の記載住所（日本国内）の請求者（代理人宛の場合は代理人）ご本人さま宛に書面によってご回答させていただきます。
- ・お問い合わせの内容によっては回答にお時間をいただく場合もございます。
- ・個人情報の消去の求めの場合において、当該個人情報を消去させていただいたときでも、個人情報の消去の求めの申請書、ご本人さま確認の書面、回答書の写しは保管させていただきます。
- ・個人情報の利用停止もしくは消去、または第三者への提供停止の求めの結果、当該の個人情報に対するサービス等はご利用いただけなくなることをあらかじめご承知おきください。

個人情報に関するお問い合わせ

A. 個人情報の取扱いに関する苦情のお申し出に関して

個人情報の取扱いに関する苦情のお申し出に関しては「個人情報の取扱いに関する苦情申出書[※]」に必要事項をご記入いただき、郵送にてお問い合わせください。

※：当社 Web サイト (<https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/utility/privacy/priv02.pdf>) をご覧ください。

(郵送先) 〒110-0015 東京都台東区東上野二丁目16番1号 上野イーストタワー18階
株式会社日立アカデミー コンプライアンス推進センタ

B. 個人情報に関するお問い合わせ（個人情報保護管理者）

当社の個人情報の取扱い全般に関するお問い合わせは、お問い合わせ入力フォーム[※]からご連絡ください。

※：お問い合わせ入力フォーム (<https://www.hitachi-ac.co.jp/inquiry/index.html#06>)

雇用関係助成金のご案内

人材開発支援助成金

人材開発支援助成金は、事業主等が雇用する労働者に対して、職務に関連した専門的な知識及び技能の習得を目的とした職業訓練等を計画に沿って実施した場合に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等を助成する制度です。

●人材開発支援助成金

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html
(厚生労働省 Web サイト)

※上記は2020年12月現在の内容です。

最新情報は、日立アカデミーのWebサイトをご覧ください。<https://www.hitachi-ac.co.jp/support/crjo.html>

他社所有商標に対する表示

- ・ Adobe, Adobeロゴ, Adobe Flash Player, Adobe Reader, Flash, Flex, MXML, ActionScriptは、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
 - ・ アマゾン ウェブ サービス, Amazon Web Services, Amazon EC2 および Amazon Web Services ロゴは、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。
 - ・ Androidは、Google Inc.の商標または登録商標です。
 - ・ Automation Anywhere, Bot Insight, IQ BotはAutomation Anywhere, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 - ・ BABOK®およびBusiness Analysis Body of Knowledge®, CCBA®, CBAP®は、International Institute of Business Analysisの登録商標です。
 - ・ BizRobo!は、RPA テクノロジーズ株式会社の登録商標です。
 - ・ CMMI, Capability Maturity Modelは、米国カーネギーメロン大学及びその他の国における商標または登録商標です。
 - ・ CoreExplorer, SynVizは株式会社日立ソリューションズ東日本の登録商標です。
 - ・ DataStageは、世界の多くの国で登録されたInternational Business Machines Corp.の商標です。
 - ・ EQI®は(株)アドバンテッジリスツ マネジメントの登録商標です。
 - ・ Ethernet/イーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
 - ・ Ethernetは、米国Xerox Corp.の商品名称です。
 - ・ Getting Things Done®とGTD®は、David Allen Companyの登録商標です。
 - ・ Hadoopは、Apache Software Foundationの米国およびその他の国における商標です。
 - ・ HP-UXは、米国Hewlett-Packard Companyのオペレーティングシステムの名称です。
 - ・ IBM, IBMロゴ, ibm.com, AIXは、世界の多くの国で登録されたInternational Business Machines Corporationの商標です。
 - ・ ITIL®, PRINCE2®, AXELOS Limitedの登録商標です。The Swirl logoはAXELOS社の商標です。
 - ・ iPhone, iPad, iOS, iBooks, Safariは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
 - ・ JPl, HiRDB, Cosminexus, BladeSymphony, Hitachi Storage Solutions, Groupmax, GEMPLANET, HIPACE, e-CANDO, EP8000, OpenTP1, XDM, Hitachi Command Suite, Hitachi Advanced Data Binder, Hitachi Virtual File Platform は株式会社日立製作所の商標または登録商標です。
 - ・ Jtestは、米国ParaSoft Corporationの商標または登録商標です。
 - ・ Linuxは、Linus Torvalds氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
 - ・ Microsoft, Azure, Visual Basic, Visual C++, Visual Studio, Windows, Windows Server, Windows PowerShell, SQL Server, Active Directory, Hyper-V, Excel, PowerPoint, Word, Outlook, Access, SharePoint, Internet Explorer, Silverlightは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
 - ・ Netscreenは米国Juniper Networks, Inc.の商標です。
 - ・ NVIDIAは、米国NVIDIA Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
 - ・ Pentahoは、Hitachi Vantara Corporationの日本及びその他の国における商標または登録商標です。
 - ・ OCUP, オーカップ, UML 技術者資格試験は、(株)UML教育研究所の商標、または登録商標です。
 - ・ OMG, UML, Unified Modeling Language, UML ロゴ, UML Certification ロゴ, MDA, Model Driven Architectureは、Object Management Group Inc.の商標または登録商標です。
 - ・ Oracle, Oracle Database 11g, Oracle Database 12c, Java, JavaScript, Solarisは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 - ・ PMI®, PMP®, PMBOK®ガイド, OPM3®, CAPM®, PgMP®, PMI-ACP®, PMI-SP®, PMI-RMP®, PM Network®, PMI Today®, PMCDF®, R.E.P. ロゴはプロジェクトマネジメント協会 (Project Management Institute Inc.)の登録商標です。
 - ・ Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, JBossは、米国およびその他の国におけるRed Hat, Inc.の登録商標です。
 - ・ Salesforce, Salesforce ロゴは、米国その他の国における米国 salesforce.com, inc.の登録商標または商標です。
 - ・ SAPは、SAP AGのドイツおよびその他の国における登録商標または商標です。
 - ・ SEIは、カーネギーメロン大学のサービスマークです。
 - ・ Sixseconds, シックスセカンズ, SEI, SEI360, SEI-YV, Vital Signs, OVS, TVS, LVS, EQ プラクティショナー, SEI アセッサー, EQエデュケーター, EQ コーチ, CreatePositiveChangeはシックスセカンズジャパン株式会社およびグループの日本、その他の国における登録商標または商標です。
 - ・ TOEIC®は、Educational Testing Service (ETS)の登録商標です。
 - ・ UiPathは、UiPath 株式会社の登録商標です。
 - ・ UNIXは、The Open Groupの米国ならびに他の国における登録商標です。
 - ・ VMware, VMware vSphere, ESXi, VMware vCenter, VMware Viewは、VMware, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 - ・ WinActorは、NTTアドバンステクノロジの登録商標です。
 - ・ 7つの習慣®, 5つの選択®, スピード・オブ・トラスト®は、米国フランクリン・コヴィーまたはフランクリン・コヴィー・ジャパン株式会社の登録商標です。
 - ・ 秘文、活文は株式会社日立ソリューションズの登録商標です。
- その他記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。

HITACHI
Inspire the Next

